
日本消化器がん検診学会
中国四国支部

50周年記念誌

日本消化器がん検診学会
中国四国支部

50周年記念誌

巻頭言

吉原正治先生が支部長を務められていた平成28年12月の日本消化器がん検診学会中国四国支部県代表幹事会ならびに幹事会において、「あり方委員会」の設立が承認され、そのメンバーとして謝花典子先生（山陰労災病院）、本田浩仁先生（徳島県総合健診センター）、安田貢先生（KKR 高松病院）、日山亨先生（広島大学保健管理センター）、そして、私、井上和彦（淳風会健康管理センター）の5名が選ばれました。この「あり方委員会」の最初の課題は地方会50周年記念事業であり、謝花先生を委員長として協議を重ねた結果、①第50回地方会（会長：大黒隆司先生、高知市）においては、特別企画として前支部長の吉原先生と新支部長になる井上が講演すること、また、各県代表1名ずつによる50周年記念シンポジウムを開催すること、②50周年記念誌を発行する運びとなりました。そして、日山先生に記念誌の編集委員長を務めていただくこととなりました。記念誌の具体的内容は、第1回～第50回までのプログラムを掲載し、また、支部長、会長経験者に原稿と写真の提供を依頼し、掲載することとしました。50年と長い期間であり、原稿をいただくことができなかった地方会もありますが、記憶をたどりながら原稿を作成し、資料を提供いただいた先生方のご協力があり、また、日山編集委員長の多大なご尽力により、このたび、50周年記念誌を発行することができました。深く感謝申し上げます。

昭和から平成、そして令和へと時代は変わり、消化器がん検診のスタイルも変遷してきました。今後も検診受診者にとって「利」となることが多いように変わらなければならないと思われまます。50周年記念誌作成開始時には想像もできなかった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックが起き、収束の出口が見えない状態が続いています。社会生活の様式も新たなスタイルへの変貌が求められており、消化器がん検診のあり方にも影響があるかもしれません。

「温故知新」

この50周年記念誌はまずは懐かしくご覧ください。その中で不確かな将来に向けての何らかのヒントに気づいていただくことができれば、大変嬉しく思います。

日本消化器がん検診学会中国四国支部 支部長 井 上 和 彦

日本消化器がん検診学会 中国四国支部長

初代 小坂 淳夫

岡山大学第一内科教授
昭和45年4月～平成3年3月

2代 北 昭一

川崎医科大学保健医療学教授
平成3年4月～平成13年3月

3代 河村 奨

河村内科理事長
平成13年4月～平成15年3月

4代 伊東 進

徳島大学第二内科教授
平成15年4月～平成21年3月

5代 吉原 正治

広島大学保健管理センター教授
平成21年4月～平成31年3月

6代 井上 和彦

淳風会健康管理センター長
平成31年4月～

第1回～第50回 大会概要

学会名	回	会長(敬称略)	所属(当時記載のもの)	日程	開催市	会場(当時記載のもの)
中四国地方 胃集検の会	1	小坂淳夫	岡山大学医学部第一内科	昭和46年1月17日	岡山市	岡山大学医学部図書館
	2	小坂淳夫	岡山大学医学部第一内科	昭和47年1月14日	岡山市	岡山衛生会館
日本胃集検学会	3	竹内義員	香川県成人病センター	昭和48年1月13日	高松市	香川県成人病センター
	4	藤田輝雄	山口大学医学部第一内科	昭和49年1月12日	宇部市	国際ホテル宇部
	5	近藤慶二	高知県立中央病院	昭和50年1月11日	高知市	高知県医師会館
	6	阿武保郎	鳥取大学放射線科	昭和51年1月31日	米子市	皆生 温泉会館
	7	今川七郎	愛媛県がん予防協会	昭和52年1月22日	松山市	道後 文教会館
	8	石原 国	島根医科大学	昭和53年1月21日	松江市	ホテル穴道湖
	9	森 博愛	徳島大学医学部第2内科	昭和54年1月19日, 20日	徳島市	徳島県医師会館
	10	三好秋馬	広島大学第1内科	昭和55年1月25日, 26日	広島市	広島医師会館
	11	長島秀夫	岡山大学第一内科第	昭和56年1月30日, 31日	岡山市	岡山衛生会館
	12	竹内義員	香川県成人病センター	昭和57年2月5日, 6日	高松市	高松国際ホテル
日本消化器集団検診学会	13	勝部吉雄	鳥取大学放射線科	昭和58年1月28日, 29日	米子市	鳥取大学医学部記念講堂
	14	近藤慶二	高知県立中央病院	昭和59年1月20日, 21日	高知市	高知新聞放送会館
	15	河村 奨	山口労災病院内科	昭和60年1月18日, 19日	宇部市	宇部市文化会館
	16	河野恒文	愛媛県がん予防協会	昭和61年1月24日, 25日	松山市	愛媛県医師会医学研修所
	17	福本四郎	島根医科大学第2内科	昭和62年1月30日, 31日	松江市	松江東急イン
	18	岸清一郎	徳島大学第2内科	昭和63年2月5日, 6日	徳島市	徳島県青少年センター
	19	梶山梧朗	広島大学第1内科	平成元年2月3日, 4日	広島市	広島医師会館
	20	北 昭一	川崎医科大学保健医療学	平成2年2月9日, 10日	岡山市	岡山衛生会館
	21	竹内義員	香川県立がん検診センター	平成3年2月8日, 9日	高松市	香川県立がん検診センター
	22	入江宏一	鳥取県健康対策協議会	平成4年2月7日, 8日	鳥取市	鳥取県健康会館
	23	近藤慶二	高知県	平成5年2月12日, 13日	高知市	高知市・県民文化ホール (グリーンホール)
	24	中田太志	山口大学医学部放射線医学	平成6年2月18日, 19日	山口市	山口県婦人教育文化会館
	25	淵上忠彦	松山赤十字病院第一消化器科	平成7年2月17日, 18日	松山市	愛媛県医師会館

特別講演	合同ディスカッション	一般演題		
特別講演	自由討論	一般演題		
特別講演	特別講演	特別講演	シンポジウム	一般演題
特別講演	シンポジウム	シンポジウム	一般演題	
特別講演	パネルディスカッション	一般演題		
会長講演	特別講演	一般演題		
特別講演	シンポジウム	一般演題		
特別講演	シンポジウム	一般演題		
特別講演	シンポジウム	一般演題	パラメディカルの集い	
会長講演	特別講演	シンポジウム	一般演題	パラメディカルの集い
特別講演	シンポジウム	一般演題	パラメジカルの集い	
特別講演	シンポジウム	一般演題	パラメディカルの集い	
特別講演	シンポジウム	シンポジウム	一般演題	パラメジカルの集い
特別講演	シンポジウム	シンポジウム	一般演題	パラメジカルの集い
特別講演	特別講演	シンポジウム	一般演題	パラメジカルの集い
特別講演	シンポジウム	パネルディスカッション	一般演題	
特別講演	シンポジウム	一般演題	パラメディカルの集い	
特別講演	シンポジウム	一般演題		
特別講演	シンポジウム	一般演題		
特別講演	シンポジウム	一般演題	コメディカルの集い	
特別講演	特別講演	シンポジウム	一般演題	コ・メディカルの集い
特別講演	特別講演	シンポジウム	一般演題	コ・メディカルの集い
特別講演	特別講演	シンポジウム	一般演題	コ・メディカルの集い
特別講演	特別講演	シンポジウム	一般演題	コ・メディカルの集い
特別講演	特別講演	特別講演	シンポジウム	一般演題

学会名	回	会長(敬称略)	所属(当時記載のもの)	日程	開催市	会場(当時記載のもの)
日本消化器集団検診学会	26	佐藤方則	松江市立病院院	平成8年2月2日, 3日	松江市	くにびきメッセ国際会議場
	27	伊東 進	徳島大学医学部	平成9年2月7日, 8日	徳島市	長井記念ホール (徳島大学医学部内)
	28	吉原正治	広島大学保健管理センター	平成10年2月6日, 7日	広島市	広島国際会議場
	29	池田 敏	岡山大学医学部公衆衛生学	平成11年2月5日, 6日	岡山市	岡山衛生会館
	30	坂下 修	香川県立がん検診センター	平成12年2月4日, 5日	高松市	香川県社会福祉総合センター
	31	三浦邦彦	山陰労災病院・鳥取県健康対策協議会	平成13年3月2日, 3日	鳥取市	鳥取県健康会館
	32	長田裕典	防治会いずみの病院外科	平成14年2月22日, 23日	高知市	高新文化ホール (高知新聞放送会館東館)
	33	三浦 修	防府消化器センター防府胃腸病院	平成15年2月7日, 8日	防府市	防府市地域交流センター (アスピラート)
	34	小林広幸	松山赤十字病院消化器科	平成16年2月6日, 7日	松山市	愛媛県医師会館
	35	相良安信	徳島県総合検診センター	平成17年2月4日, 5日	徳島市	徳島県郷土文化会館
36	佐々木宏之	島根県環境保健公社	平成18年2月17日, 18日	松江市	くにびきメッセ (島根県立産業交流会館)	
日本消化器がん検診学会	37	隅井浩治	済生会広島病院	平成18年11月11日	広島市	広島大学医学部
	38	春間 賢	川崎医科大学食道・胃腸内科	平成20年2月23日, 24日	岡山市	川崎医療福祉大学
	39	山ノ井昭	香川県立がん検診センター	平成21年2月21日, 22日	高松市	サンポート高松
	40	岡本公男	鳥取県健康対策協議会	平成22年2月6日, 7日	鳥取市	鳥取県健康会館 (鳥取県医師会館)
	41	井上修志	国立病院機構高知病院消化器内科	平成23年2月5日, 6日	高知市	高知市文化プラザかるぽーと
	42	有山重美	和同会宇部リハビリテーション病院	平成23年12月10日, 11日	宇部市	ヒストリア宇部
	43	津田孝治	愛媛大学医学部生体画像応用医学	平成24年12月15日, 16日	松山市	愛媛県医師会館
	44	足立経一	島根県環境保健公社総合健診センター	平成25年12月14日, 15日	松江市	くにびきメッセ
	45	高山哲治	徳島大学大学院消化器内科学	平成26年12月13日, 14日	徳島市	徳島大学大塚講堂
	46	茶山一彰	広島大学大学院消化器・代謝内科学	平成27年11月28日, 29日	広島市	広島大学医学部広仁会館
	47	鎌田智有	川崎医科大学健康管理学	平成28年12月10日, 11日	倉敷市	川崎医科大学現代医学教育博物館
	48	前田 剛	KKR 高松病院内科	平成29年12月9日, 10日	高松市	かがわ国際会議場 / サンポートホール高松
	49	謝花典子	山陰労災病院消化器内科	平成30年12月8日, 9日	鳥取市	鳥取県健康会館 (鳥取県医師会館)
	50	大黒隆司	高知赤十字病院健康管理センター	令和元年12月7日, 8日	高知市	高知城ホール

特別講演	特別講演	シンポジウム	シンポジウム	一般演題	コ・メディカルの集い				
特別講演	シンポジウム	シンポジウム	一般演題						
会長講演	特別講演	シンポジウム	シンポジウム	一般演題					
特別講演	特別講演	シンポジウム	シンポジウム	一般演題					
特別講演	特別講演	シンポジウム	シンポジウム	一般演題					
会長講演	特別講演	特別講演	指定演題	シンポジウム	一般演題				
特別講演	特別講演	指定演題	シンポジウム	一般演題					
特別講演	特別講演	教育講演	ランチョンセミナー	シンポジウム	一般演題	症例検討			
特別講演	特別講演	教育講演	シンポジウム	シンポジウム	一般演題	症例検討			
特別講演	特別講演	シンポジウム	シンポジウム	ワークショップ	一般演題	症例検討	市民公開講座		
会長講演	特別講演	教育講演	教育講演	ランチョンセミナー	シンポジウム	シンポジウム	一般演題	症例検討	市民公開講座
特別講演	教育講演	教育講演	教育講演(ランチョン)	シンポジウム	ワークショップ	一般演題	症例検討	市民公開講座	
特別講演	教育講演	教育講演(ランチョン)	シンポジウム	一般演題	症例検討	市民公開講座			
特別講演	教育講演	シンポジウム	シンポジウム	一般演題	症例検討	市民公開講座			
会長講演	特別講演	教育講演	ランチョンセミナー	シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム	一般演題	症例検討	市民公開講座
特別講演	特別講演	教育講演	ランチョンセミナー	シンポジウム	シンポジウム	シンポジウム	一般演題	症例検討	市民公開講座
特別講演	特別講演	特別講演	ランチョンセミナー	シンポジウム	パネルディスカッション	一般演題	市民公開講座		
特別講演	特別講演	教育講演	ランチョンセミナー	シンポジウム	一般演題	症例検討	市民公開講座		
特別講演	特別講演	教育講演	ランチョンセミナー	シンポジウム	一般演題	症例検討			
特別講演	特別講演	教育講演	ランチョンセミナー	シンポジウム	一般演題	症例検討			
会長講演	特別企画	教育講演	ランチョンセミナー	イブニングセミナー	モーニングセミナー	シンポジウム	一般演題	症例検討	
会長講演	特別講演	教育講演	ランチョンセミナー	モーニングセミナー	シンポジウム	ミニシンポジウム	一般演題	症例検討	
会長講演	特別講演	特別講演	特別企画	教育講演	ランチョンセミナー	シンポジウム	一般演題	症例検討	
特別講演	特別講演	特別講演	特別講演	教育講演	ランチョンセミナー	シンポジウム	シンポジウム	一般演題	症例検討

消化器集団検診学会中国四国支部会 50周年記念にあたって



元中国四国支部長
徳島大学名誉教授 伊 東 進

消化器集団検診学会中国四国支部会は十二月に開催されることが多く、「鳥取県、島根県で開催される時には大雪になる」というジンクスがありました。事実、何回か大雪に見舞われたことがあり、学会担当は大変だったと思いますが今となっては楽しい思い出となっております。幸い、私が支部長を担当している間はそのような大雪はありませんでした。

私が医学部を卒業し、医療の現場に立った昭和40（1965）年代は既に胃集団検診は最盛期に入り、昭和50（1975）年代には胃集団検診受診者も増加の一途を辿り、早期胃がんの発見率も向上し、その有用性は疑う余地もないほどでした。昭和60（1985）年代に入り、消化器集団検診の受診者も頭落ちとなり、その問題点が指摘され、内視鏡検診の必要性が議論されるようになりました。その様な中、平成2（1990）年9月に徳島大学医学部教授に就任することになりました。そこで新しい研究テーマとして「夢のがん診断・治療法の開発」を夢見て「赤外線蛍光内視鏡の開発」に取り組みました。10年余りかかりましたが何とか試作機が完成しました。丁度その頃、第40回日本消化器検診学会大会（DDW2002）の会長を担当することになり、会長講演として「消化器集団検診の過去・現在・未来」と題して講演させていただきました。すなわち、「新しい効率的なスクリーニング法で検査対象を精選し、特殊内視鏡で診断・治療する」という夢物語でした（伊東進：赤外線蛍光内視鏡の開発—夢のがん診断・治療法、医学出版社、2012）。これを機に消化器内視鏡検診の充実・発展を考えるようになりました。

日本消化器集団検診学会中国・四国支部長は平成15年（2003）～21年（2009年）の間担当させていただきましたが、同時期に日本消化器集団検診学会理事も担当し、平成21年（2009）～23年（2011年）の間は日本消化器集団検診学会監事も担当することとなりました。消化器内視鏡検診の充実・発展のため胃内視鏡検診標準化委員会を立ち上げ、5回の研究会を開催し「胃内視鏡検診マニュアル（2010年）」を発刊しました。

胃内視鏡検診マニュアル発刊に当たっては中国四国支部の絶大なるご尽力があったことは言うまでもありません。また、胃内視鏡検診の充実・発展のため中国・四国支部でもリスク検診等を導入した内視鏡検診を実践し、内視鏡検診の有用性の証明に寄与し、内視鏡検診ガイドライン作成の一助となったことは支部長経験者として誇りに思いますとともに感謝申し上げます。

最近は週3回鴨島病院で外来診療をし、時間がとれば病院スタッフと眉山散策を楽しみながら認知症対策を勉強するとともに実践しています。

中国四国支部第5代支部長を拝命して

— 日本消化器がん検診学会の一般社団法人化と支部の変化 —

前中国四国支部長

広島大学保健管理センター 吉原 正 治

この度日本消化器がん検診学会中国四国支部50周年を迎えるにあたり、その一員としてもお祝いの言葉を述べさせていただきます。これまでの一つ一つの歩みが皆様と共にあったことが、嬉しく誇らしく思えます。本当にありがとうございました。

ここでは支部長を務めさせていただいた者の一人として、稿を起こさせていただきます。私は中国四国支部の5代目の支部長として、伊東進元支部長から引き継がせていただきました。私の在任期間は、平成21(2009)年4月から平成31(2019)年3月までの丸10年間という、私にとりまして長い期間を務めさせていただきました。この期間を無事務めることができましたのも、支部の皆様のご支援とご協力のおかげですが、なにより支部事務局としての運営・業務に尽力してもらった保健管理センターの日山亨先生と、広島大学内視鏡診療科の田中信治教授のご高配により支部経理を担当いただいた秋山女史には、多大なる感謝をいたします。

在任中のことを書かせていただきますが、なにぶん記憶がいくらか不確かなところもあり、回顧録としてご容赦いただきたく思います。また、資料として、学会から発刊されている「日本消化器がん検診学会創立50周年記念50年の歩み」も参考にさせていただきました。

さて、支部長の務めと言いますと、支部の管理・運営、推薦・認定、経理などに関する職務を行って参りましたが、10年間の中でも特に大きなこととしましては、学会本部が新制度による一般社団法人へ移行することに伴って起こる支部体制の変化でした。公益法人制度改革関連3法案が成立し、平成20(2008)年12月1日の法律完全施行日から5年以内に新制度に移行しなくてはならないことになり、学会本部は平成25(2013)年4月1日に一般社団法人に移行しました。

この移行により、学会本部の組織、体制、会員の位置づけ等も新制度に沿った形へと変わりましたが、その要点は、組織・会員の一元化と経理体制の連結が主たるものであったと思います。まず、本部支部の連結決算制度は、平成22(2010)年度より完全実施されました。経理面の取り扱い、書類整備では、学会長ならびに事務局の皆様にもお手数をおかけしたことと思います。

組織・会員の一元化ですが、本学会の組織は、元々学会本体と7支部に加え、3つの部会（診療放射線技師の技師部会、超音波部会、保健部会）が存在しました。会員にも本部会員と支部のみの会員や部会のみの会員という混成の形でありながら、一堂に介して学術集会や研修会、総会などが開催、運営されてきました。中国四国支部では、医師会員と技師会員、技師部会、超音波部会が地方会開催時に集まりましたが、中でも技師部会は、地方会の開催（冬）以外に、夏季にも研修会を開催し、活発に活動し、地方会のみの会員として参加される方もおられました。

一元化により全ての会員が本部の会員となることで、学会事業（学術大会、地方会、研修会等）は、それに関連する本部会員が集まって開催する形になりました。

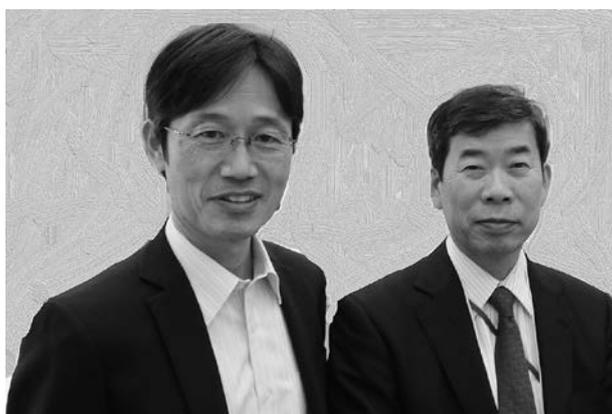
学会本部が一般社団法人化するに伴って起きた変更点を箇条書きにしてみますと、まず本部に関しては、(1) 全ての会員は本部の会員（正会員、一般会員 A・B、名誉会員、功労会員）となる、(2) 代議員をもって社員とし、代議員会が決議機関となる、一方従来の評議員会、総会は廃止、(4) 部会は検診従事者委員会、超音波部会は超音波委員会となり、技師部会総会はその後胃がん検診専門技師研修会の形で開催となりました。

次に支部・地方会の変化としましては、(1) 支部規約は本部の支部運営細則に則った会則を作成する、(2) 支部の幹事会を議決機関とし、支部の評議員会、総会は廃止する、(3) 旧体制時の幹事と評議員は、新体制では幹事・名誉幹事・顧問等になる、(4) 支部幹事の中から各県2名の代表幹事を選出する、(5) 支部役員は定年68歳とし、任期中に68歳を超える者は、任期は継続するが、更新しない、(6) 支部予算等の変更として本部からの支部補助金が減額し、研修会を合わせて行うことで対応する、(7) 支部は会員管理（入会や会費請求）を行わないなどです。

このように本部の一般社団法人化に伴い、会員のあり方も支部運営も様々なことが変わりました。会員の皆様にはそれまでの歴史や経緯もある中で、いろいろの思いもおありであったかもしれませんが、一丸となって新しい学会を作り上げたいという気運のなかで、移行ができました。これも皆様のご理解ご協力のおかげと改めて感謝いたします。

支部長の任期中に10回の地方会に支部長として参加しました。一番初めは第40回（岡本公男会長、平成22年2月6－7日）で、最後は第49回（謝花典子会長、平成30年12月8－9日）で、鳥取市で始まり、鳥取市で締め括っていただきました。会長並びに役員・会員の皆様ありがとうございました。

支部長在任中には、行き届かない点多々あったと思いますが、常に暖かくご支援とご協力を賜りましたすべての役員、会員の皆様に深く感謝申し上げます。これからも中国四国支部のますますの発展と会員一同のご健勝を祈念し、中国四国支部の50周年の感謝とお祝いの言葉とさせていただきます。ありがとうございました。



写真は日山先生と。

日本消化器がん検診学会中国四国支部50周年を迎えて

— 未来志向で議論を —

現中国四国支部長

淳風会健康管理センター センター長 井 上 和 彦

昭和46年1月に岡山市で日本消化器がん検診学会中国四国支部の第1回地方会が開催されました。その後毎年1回、近年では中四国9県で順番に開催され、令和元年12月の高知市での地方会で節目の50回目を迎えました。以前は日本消化器病学会と日本消化器内視鏡学会も地方会を中四国で開催していましたが、支部が中国と四国に分離され、現在消化器分野で中国四国支部として活動しているのは本学会のみです。私は高校時代まで四国の愛媛県で過ごし、広島大学で学び、広島大学第一内科で育てていただいた後、医局人事で山陰の島根に赴任し16年間勤務しました。その後、再度山陽、今度は岡山県に移動しました。中国と四国が一緒に活動する本学会の存在はありがたいと思っています。本支部は小坂淳夫先生（岡山）が初代支部長を務められ、その後、北昭一先生（岡山）、河村奨先生（山口）、伊東進先生（徳島）、吉原正治先生（広島）が率いてこられ、平成31年4月に私が拝命しました。

川崎医科大学に勤務していた2014年にはJDDWで「消化器がん検診の近未来像」をテーマとして第52回大会を開催しました（写真はその拡大プログラム委員会のものです）。本学会は胃がん早期発見をめざした胃X線検査の普及とともに歩んできましたが、内視鏡の進歩・普及も目覚ましいものがあります。胃がん診断の精度は内視鏡の方が優れており、また、死亡率減少効果も示され、平成28年には対策型検診の方法としても認められました。さらに、胃がん発生にヘリコバクターピロリが必要条件と位置づけられ、その中でも進展した胃粘膜萎縮や高度の胃粘膜炎症が高リスクであることが明らかになっており、検診への応用の普及が望まれます。

がんによる死亡者数の1位は肺ですが、2位が大腸、3位が胃、4位膵臓であり、本学会の果たすべき役割は今後も大きいと思われまます。大腸がん検診には便潜血検査が高いエビデンスレベルで有効とされており、本邦でも対策型検診のみならず職域検診や人間ドックで非常に多数の検査が行われています。しかしながら、それでも死亡者数は増加しており、3億人以上の人口のアメリカよりも多くなっています。何とか突破口を見出さなければならないのではないのでしょうか。また、予後の悪い膵臓がんについても、基礎医学や臨床医学と共同して対策を早急に打ち出す必要があります。

時代の変遷とともに、新たな事実が解明されますので、それらを検診に応用していく姿勢も大切です。また、疾病スペクトルも変わっていきますので、その対応も求められます。検診の原則を遵守することはもちろん重要ですが、学会として新たなことを導入する議論を行う柔軟性も大切と思われまます。

私は現在、検診・健診を中心とする施設で予防医学に取り組んでいます。早期発見の二次予防にとどまらず、疾病発生を予防する一次予防にも向き合う必要があります。また、広い視野で全体像を見据えた上で、日々の検診・健診を実践しなければならぬと考えています。



プログラム

第1回～第50回

午前の部 (AM 9:30~PM 0:00)

講演 (医師の立場から)

1. 広島県における胃集検の現状と問題点
 広島大学 第一内科, 広島県成人病予防協会 佐々木 弘 行
2. 香川県における胃集検の現状
 香川県成人病センター 竹内 義 貞
3. 山口県における胃集検の現状
 山口大学 第一内科 篠山 哲 郎
4. 高知県における胃集検の現状
 高知県立中央病院 近藤 慶 二
5. 岡山方式胃集検の現状と問題点
 岡山中央放射線診療所。山本 弘 毅, 内藤 尚 之
 岡山大学 小坂内科 北 昭 一, 小坂 久 史
6. 徳島県における胃集検の現状と問題点
 徳島大学 第二内科。淡 義 博, 岸 清 一 郎, 石川 公
 球 崎 英 治, 金 城 政 亀, 油 谷 友 三
7. 愛媛県における胃集検——モデル地区を中心として
 四国地方がんセンター 浅野 宏 国
8. 山口県農村における胃集検とその問題点
 山口県厚生連 周東総合病院内科 三宅 隆 生
9. 簡便胃X線検見と精検X線所見との対比
 岡山大学 小坂内科。小坂 久 史, 北 昭 一, 栗原 徹
10. 間接撮影の方法
 鳥取大学 第二内科 栗原 達 郎
11. 胃集検の精検における問題点
 山口大学 放射線科。木村 安 行, 桜井 孝, 中西 忍
 藤田 良 樹, 横山 啓, 西村 真 吉
 末 富 一 巨
12. 鳥根県における外来胃集検について
 鳥根県成人病センター 若月 茂 徳
13. 当院における職域胃集検の現状と問題点
 山口労災病院 内科。伊崎 博 明, 林 謙 也, 倉 富 満
 長井 謙 造
 外科 石田 一 夫, 平野 英 輔, 神代 龍之助
 坂 用 洋 三

午後の部 (PM 1:00~PM 3:00)

特別講演 (PM 1:00~PM 1:20)

胃集検について

日本大学 医学部 有賀 櫻 三 教授

講演 (衛生 行政の立場から) (PM 1:20~PM 2:30)

1. 地域住民胃集検の経緯
 岡山県 上道町 保健婦 竹本 喜代子
2. モデル地区胃集検における私の体験
 愛媛県 伊予市 保健婦 加藤 あいの
3. 鳥取県における胃集検体系と今後の方向
 鳥取県 医務予防課 福波 靖
4. 高知県の胃集検について
 高知県 医務予防課 藤原 健二郎
5. 鳥根県の胃集検について
 鳥根県 医務予防課 今村 隆
6. 広島県の胃集検について
 広島県成人病予防協会 林 孝

合同ディスカッション

助言者予定 (敬称略, 順序不同)

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| 福 渡 靖 (鳥取県医務予防課) | 福 本 四 郎 (鳥取大学第二内科) |
| 今 村 隆 (鳥根県医務予防課) | 柚 木 宏 (広島大学第一内科) |
| 寺 上 正 人 (広島県予防課) | 竹 内 義 貞 (香川県成人病センター) |
| 村 木 允 男 (愛媛県予防課) | 岸 清 一 郎 (徳島大学第二内科) |
| 藤 原 健二郎 (高知県予防課) | 額 田 要 (岡山県公衆衛生課) |
| 新 泰 雄 (岡山県医師会) | 小 谷 光 江 (岡山済生会総合病院
院ケースワーカー) |
| 石 川 勝 志 (岡山県河本病院) | 草 加 芳 郎 (岡山 県) |
| 北 昭 一 (岡山大学第一内科) | |

午前の部 (AM9:00~PM0:00)

一般講演

1. 岡山方式による胃集検の管理
岡山大学 小坂内科 ○北 昭一, 小坂 久史, 栗原 徹
2. Field 選定に関する一考察
香川県成人病センター ○鶴 岡 政 徳, 辻 田 一 雄, 坂 下 修
鳥 巢 隆 資, 鎌 田 英 信, 松 岡 隼 三
竹 内 義 貞
3. 胃集検の管理 (事業所を中心として)
徳島大 第2内科 ○淡 義 博, 岸 清一郎, 石 川 公
伊 藤 進, 浦 上 慶 仁, 坪 崎 英 治
関 啓, 木 村 信 士
4. 幸島地区 (岡山県南部) の胃集検の管理
岡山市役所 西大寺支所 ○成 本 静 枝
5. 広島県下に於ける胃集検の実態について
広島県成人病予防協会 ○木 村 規 雄 志
6. 愛媛県におけるモデル地区胃集検
四国地方がんセンター 第一放射線科 ○浅 野 宏 四
7. 地方自治団体を主体とした新しい胃集検方式の試み ——その成果と問題点
山口大学 藤田内科
○藤 山 哲 郎, 藤 田 輝 雄, 中 村 克 衛, 河 村 奨
藤 本 茂 博, 浦 山 澄 夫, 松 浦 宏 他
山口県長門郡胃集検協議会
河 村 寿 夫, 谷 山 信 夫, 奥 田 芳 明, 関 谷 智 雄
8. 当院における職域胃集検の現況と問題点 (続報)
山口労災病院 内科 ○長 井 謙 造, 林 謙 也, 倉 富 満
甲 嶋 博 明
外科 石 田 一 夫, 田 村 勝 一, 平 野 英 輔
吉 岡 嘉 明, 光 武 達 夫, 安 本 忠 道
中 村 克 衛, 河 村 奨, 浦 山 澄 夫
山口大学 第一内科
9. 胃集検率による胃集検の現況
山口大 放射線科 ○中 田 大 志, 藤 田 良 樹, 沖 田 功
末 富 一 臣, 福 山 勝, 中 西 光 敬
横 山 敬, 萩 野 和 彦, 小 林 光 昭
田 中 隆 雄, 桜 井 孝
10. 重複撮影と要精検率
鳥取大学 石原内科 ○福 本 四 郎
11. 間接診断能の検討
山口大 放射線科 ○沖 田 功, 藤 田 良 樹, 中 田 大 志
末 富 一 臣, 福 山 勝, 桜 井 孝
12. 圧迫装置付集検車で発見した胃癌症例
岡山中央放射線診療所 ○内 藤 尚 之, 山 本 弘 毅
岡山大学 小坂内科 北 昭 一, 栗 原 徹

午後の部 (PM1:00~PM4:00)

特別講演 (PM1:00~PM2:30)

「胃集検の管理を中心に」

宮城県立成人病センター 二階堂 昇 先生

自由討論 (PM2:30~PM4:00)

司会 岡山大学 第一内科 小坂 淳 夫

宮城県立成人病センター 二階堂 昇

助言者 (敬称略, 順序不同)

福 渡 晴 (鳥取県医師会防課) 田 中 弘 道 (鳥取大学第二内科)

竹 内 義 貞 (香川県成人病センター) 岸 清 一 郎 (徳島大学第二内科)

浜 田 有 敬 (高知県予防課) 中 村 克 衛 (山口大学第一内科)

小 谷 光 江 (岡山済生会総合病院 ケースワーカー) 北 昭 一 (岡山大学第一内科)

成 本 静 枝 (岡山市保健婦) 新 泰 雄 (岡山成人病センタ)

開 会 (AM 9:10~AM 9:20)

祝 辞 香川県厚生部長 入 江 興 太 郎
祝 辞 香川県医師会長 松 岡 健 雄

一般講演の部 (AM 9:20~AM 11:10)

- 演題 1~3 (9:20~9:45) 座 長 坂 下 修
- 胃集検における発見胃癌の転帰
香川県成人病センター 相 良 安 信
 - 胃集検にて発見された微小Ⅱc型早期胃癌の1例
高知市民病院放射線科 佐 光 正 一
 - 長期間経過観察できた胃集検発見胃癌症例
川崎区大田區川崎病院放射線科 平 松 収
- 演題 4~7 (9:45~10:20) 座 長 近 藤 慶 二
- 当院における外来胃集検のシステムについて
愛媛労災病院放射線科 木 村 安 行
 - 高知県の胃集検、特に移動精検について
高知県立中央病院 徳 岡 裕 之
 - 胃集検による発見疾患の管理状況 — 職域を中心として —
徳島大学第2内科 北 村 嘉 男
 - 胃前庭部を中心とした胃集検フィルム読影上の問題点について
高知市民病院放射線科 佐 光 正 一
- 演題 8~10 (10:20~10:45) 座 長 藤 田 良 樹
- 胃集検X線テレビ装置技術的問題
香川県厚生部予防課診療放射線技師 真 鍋 勉
 - 放射線技師の立場より見た胃集検フィルム接影に関する2~3の問題点
岡山成人病センター放射線技師 高 橋 義 光
 - 間接及び密接兼用X線装置の試作
香川県成人病センター 高 橋 和 男
- 演題 11~13 (10:45~11:10) 座 長 福 本 四 郎
- 職域胃集検の現況と胃癌の発生状況
山口労災病院内科 甲 橋 博 明
 - 県衛生部逐年胃集検の現況
山口大学医学部放射線医学教室 福 山 勝
 - 職域集検10年の反省
山口大学第1内科 飯 田 洋 三

特 別 講 演 I (AM 11:20~PM 0:00)

胃集検の回顧と反省

日本大学教授 有 賀 梅 三
司 会 香川県厚生部次長 高 橋 正 浩

特 別 講 演 II (PM 1:00~PM 1:40)

間接X線フィルムの撮影と読影のポイント

東京都がん検診センター診断第1部長 堀 越 寛 孝
司 会 山口大学教授 桜 井 稔

特 別 講 演 III (PM 1:40~PM 2:20)

職域集検における発見胃癌の取扱い

日本大学講師 高 橋 淳
司 会 山口大学講師 中 村 克 衛

シ ン ポ ジ ュ ム (PM 2:30~PM 4:00)

胃集検における発見疾患の管理

司 会 岡山大学教授 小 坂 淳 夫
徳島大学講師 岸 清 一 郎

- 1) 駐在保健婦制度による疾患の管理
高知県駐在保健婦 羽 神 辰 子
- 2) モデル地区における胃集検の管理
四国地方がんセンター 浅 野 宏 国
- 3) 発見胃癌の管理 (地域・職域)
香川県成人病センター 鳥 巢 隆 資
- 4) 発見胃癌の管理 (職域)
岡山大学第1内科 北 昭 一
- 5) 胃癌患者の管理
鳥取大学第2内科 沖 田 茂 一
- 6) 胃癌患者の管理
山口大学第1内科 河 村 榮

一般講演の部 (AM9:10~AM10:54)

- 演題 1~3 (9:10~9:34) 座長 河村 奨
- 癌症月間における当科の逐年検診について
山口大学放射線科 橋本 敏行 他
 - 集検胃癌の實態
山口大学第一内科 富士 匡 他
 - 山口県衛生部胃集検の逐年成績について
山口大学放射線科 末富 一 臣 他
- 演題 4~5 (9:35~9:50) 座長 坂下 修
- 電々公社職員の胃集検に関する報告
下関市通信診療所保健婦 田中 フミエ
 - 電々公社における胃集検の状況について
宇部通信診療所 橋田 和雄 他
- 演題 6~7 (9:51~10:06) 座長 福本 四郎
- 発見胃癌20症例に関する間接フィルム読影能の検討
鳥取大学医学部第二内科 渡部 和彦 他
 - 内視鏡的に4年間逆追跡し得た集検発見早期胃癌の一例
山口労災病院内科 篠山 哲郎 他
- 演題 8~9 (10:07~10:22) 座長 近藤 慶二
- 精密検診受診率とその向上について
共立美東病院内科 重田 幸二郎 他
 - 高知県に於ける胃集検特に移動精検の最近の傾向
高知県胃集検移動精検班 徳岡 裕文 他
- 演題 10~11 (10:23~10:38) 座長 北 昭一
- PF型胃カメラ併用によるモデル地区胃集検
香川県成人病センター 藤田 英信 他
 - 地域胃集検の現況と諸問題 一保健行政の面から一
徳島県胃集検研究協議会 上田 碩啓 他
- 演題 12~13 (10:39~10:54) 座長 藤田 良樹
- 高知県胃集検における放射線被曝について
高知県 下保 登春夫 他
 - 胃集検に於ける被曝線量軽減について
山口労災病院放射線科技師 藤田 敏博

特別講演 (AM11:00~12:00)

地方胃集検の現況と将来の展望

香川県成人病センター 竹内 義員
座長 山口大学教授 藤田 輝雄

シンポジウム (PM1:10~4:10)

主題：精検の段階における諸問題

1部：医師の面から (1:10~2:40)

- 職域集検における精検の諸問題
岡山大学第一内科 ○ 小坂 久史
榎 史朗
- 精検見逃し例からみた検査法の選択
鳥取大第二内科 福本 四郎
- 精検における諸問題
香川県成人病センター 松岡 謙三
- 精検方法の反省と将来の課題
山口大放射線科 中田 太志
- 特に職域集検の立場から
山口労災病院内科 長井 謙造
- 精検の問題点
四国地方ガンセンター 放射線科 浅野 宏樹

2部：保健行政の面から (2:50~4:10)

- 岡山県に於ける精検時の問題点
岡山成人病センター ○ 文谷 高史
小坂 久史
- 保健行政の面から
山口県衛生部(予防課) 松田 学哉
- 発見胃癌患者の追跡
香川県成人病センター 鹿嶋 静子
谷 敬子
- 保健行政の面から
高知県厚生労働部(予防課) 土井 正洋
- 精検率の向上
鳥取県益田保健所 梅津 フミ子

— プ ロ グ ラ ム —

時間	行	事
8.30	受付開始	
9.00	開 会	
	司 会	高知対ガン協会事務局長 山下 俊 男
	開会のことば	会長 高知県立中央病院副院長 近 藤 慶 二
	あいさつ	高知県知事 溝 淵 増 巳
		高知県医師会長 石 川 侃
9.20	一 般 講 演	
	特 別 講 演	「胃集検の将来」 東北大学医学部教授 山 形 敏 一
	昼 食 休 憩	
	世 話 人 会	
	パネルディスカッション	「胃集検はこれでよいのか」

一 般 講 演 の 部 (AM9:00~10:55)

- 演題 1~3 (9:20~9:44) 座長 内多 嘉 具
1. 梶原町の胃集検の取り組みについて
高知県梶原町福祉衛生課 青 木 光 夫
 2. 問 診 の 評 価
香川県成人病センター 鹿 鍋 静 子 他
 3. 胃集団検診、土佐市方式について
土佐市民病院 下 保 登 喜 夫 他
- 演題 4~5 (9:45~10:01) 座長 中村 克 衛
4. 山口県衛生部逐年胃集検の現況
山口大学医学部放射線医学教室 廣 本 敏 行 他
 5. 室戸地区並びに足摺地区の集検に発見した胃疾患の特徴について
高知県立中央病院 内 多 嘉 具 他
- 演題 6~7 (10:02~10:18) 座長 竹内 義 員
6. 病型、占居部位別にみた所見示現能の検討
山口大学医学部放射線医学教室 田 中 隆 雄 他
 7. 胃間接X線診断能の再検討
山口大学 第一内科 浜 田 義 之 他
- 演題 8~9 (10:19~10:37) 座長 岸 清 一 郎
8. 胃集検でひろいあげ手術した症例について
岡山成人病センター 小 坂 久 史 他
 9. 発見胃癌の予後について
香川県成人病センター 鶴 岡 敏 徳 他
- 演題 10~11 (10:38~10:54) 座長 福本 四 郎
10. 某職域における集検で発見した消化性潰瘍患者の管理と予後
岡山通信診療所 山 崎 史 朗 他
 11. 胃集団検診における被曝総量
香川県成人病センター 相 良 安 信 他

特 別 講 演 (AM11:00~12:00)

- 座長 小坂 淳 夫 教授
- 「胃集検の将来」
東北大学医学部 山 形 敏 一 教授
- パネルディスカッション (PM1:10~4:00)
- 主 題 「胃集検はこれでよいのか」 座長 北 昭 一
近 藤 慶 一
- 胃 集 検 の 歩 み
岡山県公衆衛生課長 額 田 要
- 一 般 集 検 の 概 況
島根県環境保健部衛生課 多 田 学
高知県厚生労働部予防課 中 島 盛 幸
- 集検発見胃癌の特徴
徳島大学医学部第二内科 ○北 村 嘉 男
岸 清 一 郎
鳥取大学医学部第二内科 福 本 四 郎
- 内視鏡による集検
香川県立成人病センター 坂 下 修
- 胃 集 検 方 式
高知県立中央病院 内 多 嘉 具
四国地方がんセンター 淡 野 宏 国
山口大学医学部第一内科 岡 崎 幸 紀
- 見逃し例について
香川県立成人病センター 坂 下 修
岡山成人病センター 小 坂 久 史
- 被 曝 量 に 関 して
高知県中央保健所 橋 瀬 正

時間	行 事
8. 30	受け付け開始
9. 00	開 会 開会のことば 会長 鳥取大学教授 阿 武 保 郎 あいさつ 鳥 取 県 知 事 平 林 鴻 三 鳥 取 県 医 師 会 長 松 岡 新 平
9. 20	一 般 講 演 会 長 講 演 昼 食 休 憩 世 話 人 会 特 別 講 演 (終 了 談 話 会)

一 般 講 演 の 部 (AM 9 : 20 ~ 11 : 30)

演 題 1 ~ 3 (9 : 20 ~ 9 : 50)

座 長 福 本 四 郎

1. 微小胃癌の間接所見示現能の検討

山口大学放射線科

○永野己喜雄, 中田 太志, 田中 陸雄, 楠元志都生
根本みゆき, 西原 正信,

宇部市藤田放射線科

藤田 良樹, 福山 勝

2. 胃部前壁撮影: 低濃度バリウム使用における前壁撮影の検討

高知検診クリニック

○所谷 元行, 鍋島 考与, 岡本 哲雄,

高知県中央保健所 楠瀬 正

3. Fieldにおける前壁撮影法の有用性

香川県成人病センター

○鎌田 英信, 坂下 修, 相良 安信, 鶴岡 政徳

原 敬, 仲村 真, 軒原 正仁, 竹内 義貞

演 題 4 ~ 6 (9 : 50 ~ 10 : 20)

座 長 兵 頭 春 夫

4. 愛媛県における集検発見胃癌

四国地方癌センター

浅野 宏国

5. 胃集検により発見された胃リンパ肉腫の1例

高知県立中央病院胃腸科

○寺田 紘一, 近藤 慶二, 吉田 貴, 内多 嘉具

徳岡 裕文

高知県立中央病院臨床病理科 岩田 克美

6. 集検と外来における十二指腸潰瘍の対比

山口大学第一内科

○小田原 嵩, 中村 克爾, 河村 奨, 岡崎 幸紀

飯田 洋三, 浜田 義之, 森戸 正俊, 清水 道彦

富士 匡, 神 信広, 渡辺 正俊

県衛生部予診課

上野 和彦, 古屋 新一, 田村 元彦, 久原 勉,

藤田 登, 上田 静雄, 酒井 和江

長 門 保 健 所 竹 中 義 行

柳 井 保 健 所 藤 田 博 人

18. 胃集検事業の今後のために

岡山成人病センター

新 泰雄

演 題 7 ~ 9 (10 : 20 ~ 10 : 50)

座 長 中 村 良 文

7. 胃集検診の追跡一受診後の悪性新生物発生の状況一

鳥取大学公衆衛生学教室 能勢 隆之

8. 鳥取県中部地区に於ける胃集検の見逃し例の検討

鳥取県立厚生病院

○石飛 誠一, 湯川 勝祐

9. 胃集検, 精検指示者中3年以上経過観察し得た500症例について

土佐市立土佐市民病院 下保登喜夫

会 長 講 演 (AM 11 : 30 ~ 12 : 20)

座 長 近 藤 慶 二 先生

「鳥取県における胃集検診の評価」

鳥取大学医学部

阿 武 保 郎 教 授

演 題 10 ~ 13 (10 : 50 ~ 11 : 30)

座 長 北 昭 一

10. 会社従業員の胃集検, 特に87年度実施後の14年間の経過について

東洋工業附属病院放射線科 勝原 良

11. ある地域の逐年検診成績について

山口県予防衛生医学協会

○中村 敏志, 藤永 洋文, 中川 浩貴,

阿武郡医師会 小河 博

藤田放射線科 藤田 良樹, 福山 勝

山口大学放射線科 中田 太志, 田中 陸雄

特 別 講 演 (PM 1 : 30 ~ 2 : 30)

座 長 阿 武 保 郎 教 授

「集検診の効果と問題点」

日本対ガン協会参与

相 良 貞 直 先生

12. 山口県衛生部逐年胃集検の現況

山口大学放射線科

○楠元志都生, 中西 敬, 横山 敬, 中田 太志,

末富 一臣, 沖田 功, 田中 陸雄, 小林 光昭,

橋本 紘行, 新富 武則, 野井 憲治, 永野己喜雄,

根本みゆき,

時間	行 事
9.00	受付開始
9.30	開 会 開会のことば 会長 愛媛県がん予防協会 今川七郎 あいさつ 愛媛県知事 白石春樹 愛媛県医師会長 吉野 章
10.00	シンポジウム 演 題 「みのりある集検とするには」
12.00	昼 食 (休 憩) (世 話 人 会)
13.00	一 般 講 演
15.00	特 別 講 演 講 師 国立ガンセンター 放射線診断部長 山田 達哉
16.30	閉 会

シンポジウムの部 (10:00~12:00)

演 題 みのりある集検とするには 座 長 額 田 要
演 者 香川県政人病センター 竹内 義 員
山口大学医学部第一内科 河 村 葵
国立松山病院放射線科 浅野 宏 国
放 射 線 技 師 篠 藤 進
保 健 婦 久 住 美 作 尾
行 政 職 員 中 島 盛 幸
集 検 機 関 職 員 遠 藤 六 郎

〈発言要旨〉

1. 愛媛県厚生農業協同組合連合会 放射線技師 篠藤 進
みのりある集検とするには、住民を礎とした医民一体の検診体制が必要である。そこで、それぞれの立場におけるとるべき措置等について意見または要望を述べてみたい。
 - (1) 住民と受診者への要望
 - (2) 放射線技師としての態度
 - (3) 行政に対しての要望
 - (4) 集検受入機関への要望
 - (5) 集検機関としてのとるべき措置
2. 岡山県津山保健所福渡支所 保健婦 久住 美作尾
久米南町においては、管内でもいち早く昭和38年から胃の集団検診をとりあげており、受診率も年々向上し、昭和50年は受診率24.4%精検受診率は100%と向上したこれまでの保健婦活動で次のことについて述べてみたい。
 - (1) 啓蒙活動
 - (2) 要精検者への対応

3. 高知県厚生労働部予防課 中島 盛 幸
本県は、昭和38年から一般住民を対象に、市町村の協力を得て次の方針により胃集検を実施してきた。
 - (1) 可能な限り優秀な検診機械を使って、責任のある検診を行なう。
 - (2) へき地についても均等に受診機会を与える。
 - (3) 関係技術者の研修に勉める。
 - (4) 保健所の機能を胃集検でも全面的に發揮し、衛生教育調査、市町村に対する指導を統一的に強化する。
 - (5) 駐在保健婦を中心に、事後管理の徹底をはかる。
4. 徳島県対ガン協会 遠藤 六 郎
みのりある集検とするには、次の事項を重点に努力すべきであると考え。
 - (1) ガン予防法(成人病予防)(仮称)早急制定に努力を結集しよう。
 - (2) 新しいガンの知識の普及、啓発に最大の努力を傾注しよう。
 - (3) ガン予防資材、施設の整備等に対する努力を積極的に行なおう。
 - (4) 集検実施目標はガン年令層(40才以上)の10%は確実に実施しよう。
 - (5) 集検従事者の確保と、従事者の熱意が最大の要素であることを自覚しよう。

時 間	行 事
9.00	受付開始
9.30	開 会 開会のことは 会長 島根医科大学副学長 石原 国 あ い さ つ 島根県知事 恒松 制治 島根県医師会会長 小玉 博
10.00	一般講演
12.00	昼 食 (休憩) (世話人会 3階 307号室 12.00～13.00)
13.00	シンポジウム 「胃集検における部位別診断能」
15.00	特別講演 講師 国立ガンセンター 院長 市川平三郎先生
16.30	閉 会

-1-

シンポジウムの部 (13:00～15:00)

演題 胃集検における部位別診断能 司会 野田 良吉
福本 四郎

1 岡山県の胃手術成績による検討した間接フィルムの
部位別診断能

岡山大学医学部第一内科
○山崎 史郎, 北 昭一

(発言要旨)

岡山県の胃集検を得て胃切除を行なった約700例について、切除胃の所見と間接フィルムの所見を対比し、部位別診断能の次の諸点について検討した成績を報告する。

1. CMA分類よりみた部位別診断成績
2. 大彎、小彎、前壁、後壁の部位別よりみた診断成績
3. 胃がん、胃ポリープ等の疾患別にみた診断成績
4. 所謂「見逃し例」について
5. その他

-8-

2 胃集検における部位別診断能

香川県成人病センター
○鎌田 英信, 仲村 真

(発言要旨)

香川県下の胃集検で発見された胃癌のうちで、切除胃の検索までが可能であった症例は、進行癌114例、早期癌88例の計197症例である。これらを部位別に分けて、その特徴を検討し、かつこれらの症例のなかから、間接フィルムの再読影が可能であったものにつき、間接フィルムでの示現能を部位別に分けて検討したい。

-9-

3 集検後発見胃癌を通じての検討

鳥取県立中央病院放射線科
○中村 良文

(発言要旨)

鳥取県では胃集検は昭和42年より、また腫瘍登録は44年より実施している。集検で異常なしとされた群で、その後腫瘍登録に胃癌として登録される者があり、それらの集検時の写真を再読影した。それらのうち約 $\frac{1}{4}$ は見落としと思われるもので、また約4割は所見が見出せず集検の限界と思われた。

見落とし所見は前後壁病変より辺縁病変の方が多く、胃角部および前庭部病変が可成り多かった。集検時写真に所見を見出せないものの大部分は、胃体下部より幽門までの病変であった。この部位の良好な写真を得ることの困難さを示すものと思われる。

-10-

4 小胃癌、早期胃癌を中心として

山口大学医学部第一内科

○浜田 義之，渡部 正俊

(発言要旨)

我々は昭和38年以降、山口県の山陽道に沿った下関から岩国までの工場地帯及び宇部、下関地区の通信関係の職務において、主として職域逐年胃集検をおこなっている。

今までの集検受診総数は約5万4千人で、要精検者は約20%で、そのうちの約76%にあたる約8,000人に出張精検をおこなった。

現在までに集検によって発見された胃癌は69例で、そのうち2cm以下の小胃癌は13例14病変、小胃癌以外の早期癌は12例12病変である。これらの癌と、外末における直接X線検査で発見された小胃癌症例のうち、無作為に選出した20例21病変とを対比した。

上記の各病変における部位別診断能について検討を加え、間接X線写真の撮影法、読影法の問題点及び逐年検診の重要性について述べたい。

第9回日本胃集検学会中四国地方会

S. 54. 1. 20

時間	行 事
9. 00	受付開始
9. 30	開 会 開会のことば 会長徳島大学医学部第2内科教授 森 博 愛
	あいさつ 徳島県知事 武市 恭 信 徳島県医師会会長 斎 藤 利 勝 徳島県対がん協会会長
9. 45	一 般 演 題 (1) ~ (10)
11. 10	特 別 講 演 山口大学医学部第1内科教授 竹 本 忠 良
12. 10	昼 食 (休 憩) (世話人会)
13. 10	シンポジウム 演題「胃集検発見胃癌の特徴」
15. 10	閉 会

- 5 -

シンポジウム

胃集検発見胃癌の特徴

司 会 : 竹 内 義 員 福 本 四 郎

1. 島根県成人病予防センター
岡 本 英 樹
 2. 山口大学第1内科
河 原 清 博
河 村 博 燦
 3. 岡山大学第1内科
北 昭 一
 4. 香川県成人病センター
相 良 安 信
 5. 徳島大学第2内科
北 村 嘉 男
 6. 鳥取大学第1外科
川 口 広 樹
- 総括発言 高知県立中央病院
近 藤 慶 二

- 9 -

胃集検の会 昭和55年1月26日(土)

広島医師会館
広島市観音本町1丁目1-1

- 9:00~9:15 開会のことば 会長 広島大学医学部第1内科教授
三好 秋馬
祝 辞 広島県知事 宮沢 弘
広島県医師会会長 大内 五良
- 9:15~10:35 一般講演
10:35~10:40 休憩
10:40~11:00 会長講演 座長 炭田胃腸科 炭田 秀男
広島大学医学部第1内科教授 三好 秋馬
「広島県成人病予防会における胃集団検診の評価と反省」
- 11:00~12:00 特別公演 座長 三好 秋馬
癌研究会附属病院検診センター所長 淵上 在弥
「胃集検の諸問題」
- 12:00~13:00 昼食 (世話人会)
- 13:00~14:30 (日本消化器内視鏡学会 会長講演ならびに特別講演)
14:30~16:30 シンポジウム 司会 北 昭一(岡山大学第1内科)
日高 徹(広島大学放射線部)
「胃集検により発見された胃癌、消化性潰瘍の追跡」
(日本消化器内視鏡学会中国四国地方会と合同)

※一般演題の講演時間は7分とし、プロジェクターは一台とする。

一般演題

- 9:15~10:35 座長 近藤 慶二
1. 胃集検間接フィルムにおける胃・十二指腸・小腸の重複像について
高知県中央保健所 ○楠瀬 正
高知県立中央病院外科 近藤 慶二
2. 発育速度から経過を検討しえた長期逐年検診巨大B2胃がん例
川崎医科大学附属川崎病院放射線科 ○平松 収
同 内科 篠原 昭博、山本 俊
3. 胃集検受診者の年齢構成と発見疾患
山口大学放射線科 ○田中 陸雄、中田 太志
松本 常男、鳥井原盛子、江口 誠一
小林 久人、広瀬 孝男、長岡 栄
北崎 公子、菅 一能、中西 敬
4. 岡山県の集検発見胃がんの集検受診歴について
岡山大学第1内科 ○北 昭一
川崎医科大学附属川崎病院放射線科 平松 収
岡山中央放射線診療所 神 幹雄
淳風会柳川成人病センター内科 栗原 徹
岡山県医師会 小坂 久史、新 泰雄

9:50~10:30 座長 福本四郎

5. 山口県衛生部逐年胃集検の現況
山口大学放射線科 ○菅 一能、中田太志、田中陸雄
松本 常男、鳥井原盛子、江口 誠一、小林 久人
広瀬 孝男、長岡 栄、北崎 公子、中西 敬
山口県衛生部予防課 上部 和彦、古屋 新一
吹屋 快治、岩本 秋光、山本 直
柳井保健所 辻野 俊一
長門保健所 中川 浩貴
6. 鳥取県における胃集団検診の評価——10年間の繰返し受診状況——
鳥取大学公衆衛生学 ○能勢 隆之、石沢 正一
鳥取県立中央病院放射線科 中村 良文
鳥取大学放射線部 石川 宏輔
同 衛生学 滝田親友郎、渡辺 嶺男
同 放射線科 勝部 吉雄
7. 原爆被爆者の胃検診成績
広島原爆被爆者健康管理所 ○伊藤千賀子
坪田 元記、熊沢 俊彦
8. 広島県における胃集団検診と胃癌死亡
広島大学第1内科 ○井上 正規、天本 健、丸橋 暉
三好 秋馬
同 放射線部 日高 徹
広島県成人病予防協会 上田 坦

パラメディカルの集い 1月25日(金)

広島県教育会館
広島市光町2丁目7-31

14:00~17:00 淵上先生の話題提供とくに胃集検の効果とその問題点を中心として

話題提供者

淵上在弥 (癌研究会附属病院検診センター)

司会

伊藤 剛二 (伊藤胃腸科病院長)
田中喜代史 (広島県公衆衛生課長)

発言者

河本 玉江 (山口県柳井保健所)
山田 恵子 (広島県庄原保健所)
仲田二三子 (岡山県山陽町)
下山 英二 (鳥取県保健事業団)
和呷 慶満 (鳥根県環境保健公社)
朝倉 勝 (徳島県公衆衛生課長)
楠瀬 正 (高知県中央保健所)

胃集検の会

昭和56年1月31日(土)

岡山衛生会館5階中ホール
岡山市古京町1-1-10
TEL (0862) 72-3275

10:00~10:10 開会のあいさつ

会長 岡山大学医学部第一内科教授 長島秀夫

10:10~12:00 一般講演

12:00~13:00 昼食(世話人会)

13:00~14:00 特別講演

座長 長島秀夫

「胃集検をかえりみて」

日本胃集検学会理事長 有賀槐三

14:10~15:50 シンポジウム

司会 香川県成人病センター所長 竹内義員
川崎医科大学教授 北昭一

テーマ 「胃集検診技術の向上のために」

15:50~ 閉会のあいさつ

会長 長島秀夫

シンポジウム及び一般講演の演者は講演終了後所属、氏名も含め400字以内の抄録を受け付けに提出して下さい。

- 3 -

シンポジウム

胃集検診技術の向上のために

司会 香川県成人病センター所長 竹内義員
川崎医科大学教授 北昭一

1. 放射線技師の立場から

高知県中央保健所 楠瀬正

2. 読影側から

鳥取県立中央病院 中村良文

3. 大学の立場から

山口大学放射線科 中田太志

4. 検診施設の側から

香川県成人病センター 相良安信

5. 検診方式より

岡山大学医学部第一内科 友田純

特別発言

草加内科 草加芳郎

- 4 -

一般講演の部

10:10~10:45

座長 草加芳郎

1. 山陽町における胃集検の反省—14年間の成績について—

岡山県赤磐郡山陽町役場 ○榊野千恵美, 仲田三子
金道 雅子, 谷口 悦子, 新谷 保美

2. 当院に於ける胃集検の現況

淳風会柳川成人病センター ○栗原 徹

3. 山口県衛生部逐年胃集検の現況

山口大学医学部放射線医学教室 ○中村 洋, 中田 太志
田中 陸雄, 佐々井一彦, 江口 誠一
吉井 民子, 中西 敬

山口県衛生部予防課 上部 和彦, 古屋 新一
山口 浩, 杉山 美晴, 田村 嘉生

柳井保健所 辻野 俊一

山口県予防衛生医学協会 坂本 忠男, 永島 静

木本 弘子, 藤井 則江

10:45~11:20

座長 中田太志

4. 岡山県における胃集検の実施状況

岡山県衛生部公衆衛生課 ○吉田 暎

- 5 -

5. 原爆被爆者の胃検診成績(第2報)

広島原爆被爆者健康管理所 ○河瀬 徹, 伊藤千賀子

6. がん登録の利用による胃集検の評価

鳥取県立中央病院 ○中村 良文
鳥取大学医学部公衆衛生 能勢 隆之
鳥取大学医学部放射線科 入沢 輝男, 勝部 吉雄
鳥取大学医学部衛生学 滝田親友朗, 渡辺 嶺男

11:20~12:00

座長 近藤慶二

7. 高知県における胃集検初回受診の考察

高知県中央保健所 ○徳広喜八郎, 友永 節雄, 楠瀬 正
高知県立中央病院 近藤慶二

8. 当院における胃癌患者の集検群と外来群との比較検討

高知県立中央病院外科 ○寺田 紘一, 酒井 弘典, 奥田 知紀
戸田佐登志, 徳岡 裕文, 吉田 貢
近藤 慶二
高知県立中央病院胃腸科 内多 嘉具

9. 発見早期胃癌の間接フィルム示現能について

山口大学医学部放射線医学教室 ○中田 太志, 田中 陸雄
佐々井一彦, 江口 誠一, 中村 洋
吉井 民子, 中西 敬

- 6 -

パラメディカルの集い

1月30日(土) 10:00-16:00

(岡山対ガン協会中四国研修会と合同開催)

- 10:00 開 会 岡山県胃集検の会世話人 新 泰 雄
換 拶 岡山対ガン協会会長 赤 木 五 郎
岡山県衛生部長 大 森 文太郎
岡山県医師会長 笹 木 泰 夫
- 10:30 I 放射線技師部会
講 演 座 長 高 木 寛 治
演 題 胃X線検査における諸問題
講 師 国立ガンセンター放射線診断部 齋 藤 裕 久
消化管撮影主任
- 10:30 II 保健婦部会
研 修 会 司 会 平 田 孝 子
テ ー マ 胃集検と保健婦活動について
助 言 者 川 崎 医 科 大 学 教 授 北 昭 一
- 12:00 昼 食
- 13:00 講 演 座 長 額 田 要
演 題 岡山県の胃集団検診で発見された胃ガン
患者の追跡調査について
講 師 岡山県医師会副会長 新 泰 雄
岡山対ガン協会理事
- 14:00 特 別 講 演
演 題 集検方式の向上をめざして
講 師 日本胃集検学会理事長 有 賀 棟 三
日本大学総合科学研究所副所長

胃集検の会 昭和57年2月6日(土)

午前 9:20 ~ 午後 3:00

- 9:20 ~ 9:30 開会のあいさつ 会長 竹内 義員
来賓祝辞 香川県知事
香川県医師会長
- 9:30 ~ 10:50 一般講演
- 11:00 ~ 12:00 特別講演 座長 竹内 義員
「胃集検の評価」
東北大学医学部 公衆衛生学教授
久道 茂
- 12:00 ~ 13:00 昼 食
- 13:00 ~ 15:00 シンポジウム
司会 島根医科大学内科助教授
福本 四郎
- テ ー マ 胃集検の受診間隔
—より多くの胃癌発見のために—
- 15:00 ~ 閉会のあいさつ

- 2 -

一般講演の部

9:30 ~ 10:02 座長 岸 清一郎

- 胃集検15年のまとめ
香川県庵治町保健婦 ○向井 明美
- 神石町における胃集検の現状と課題
神石町役場 黒川 勝, 香川 基明
○大谷智登子
- 仁尾町における胃集検受診状況
香川県仁尾町役場 ○横山 幸枝, 永江真理子
- 山口県衛生部集検車による胃集検の現況
山口大・医・放射線医学教室
○森谷 和子, 中田 太志, 田中 陸雄
広瀬 孝男, 長岡 栄, 小林 久人
吉田 民子, 狩野 裕一, 片山 節
坂本 英一, 中西 敬
山口県衛生部予防課 上部 和彦, 古屋 新一, 石田 孜
田村 嘉三
柳井保健所 原田 茂夫
山口県予衛衛生医学協会 坂本 忠男, 永島 静, 木本 弘子
藤井 則江

- 3 -

10:02 ~ 10:26 座長 河村 奨

- 問診の再評価
香川県成人病センター ○佐光 春信, 大浦 正博, 野村 実,
上田 征人, 仲村 真, 鳥巢 隆資,
相良 安信, 坂下 修, 竹内 義員
- 読影医からみた間接フィルム条件の検討
山口大・医・放射線医学教室
○狩野 裕一, 中田 太志, 田中 陸雄,
広瀬 孝男, 長岡 栄, 吉井 民子,
江部 和勇, 森谷 和子, 中西 敬
- 現地移動胃集検における色素撒布法の採用について
高知県立中央病院 依光 幸夫, 徳岡 裕文, 寺田 絃一,
内多 嘉具, 吉田 貢, 近藤 慶二

- 4 -

10:26 ~ 10:50 座長 中田 太志

- 胃集検の場における胆のう集検
～超音波検査による～
山口労災病院・内科 ○藤山 哲郎, 河村 奨, 田辺 満彦
大下 芳人, 林 藤也
山口大・医・第一内科 渡辺精四郎, 浅上 文雄, 飯田 洋三
相部 剛, 竹本 忠良
- 高解像度12インチIIの経時変化
高知県中央保健所 ○橋本 正, 山崎 勲, 友永 節雄
日立メディオ高知出張所 溝淵 俊三
土佐市民病院 下保登喜夫
高知県立中央病院 近藤 慶二
- 胃集検にて発見された胃原発悪性リンパ腫の一例
愛媛大・医・放射線科 ○伊東 久雄, 石根 正博, 河村 正
望月 輝一, 真鍋 俊治, 浜本 研
美須賀病院・放射線科 小松 晃

- 5 -

シンポジウム

13:00~15:00 胃集検の受診間隔
—より多くの胃癌発見のために—
司 会 島根医科大学内科助教授 福本 四郎

1. 土佐市における集検の現状と集検効果
土佐市民病院放射線科 下 保 登喜夫
2. 集検前歴からみた胃癌発見率
香川県成人病センター 仲 村 真
3. 胃癌の発見状況について
山口大学医学部放射線医学教室 田 中 陸 雄
4. 鳥取県における胃集検の評価
鳥取大学医学部公衆衛生学教室 能勢 隆之
中村 良文・渡辺 義男
入沢 輝男・勝部 吉雄
5. 胃集検の受診間隔—岡山県の発見胃癌について
川崎医科大学公衆衛生学教室 北 昭 一
6. 保健婦の立場からの受診勧奨
広島県山県郡筒賀村 大 林 むつえ

- 6 -

第7回 全国胃集検合同研究会(胃合研)
第20回 日本胃集検検診学会総会(胃集検)の御案内

御承知の如く胃集検の研究会、学会が広島市において下記の要領で行われます。中国・四国の皆様方の御参加をお願い申し上げます。

第7回 胃集検全国合同研究会

5月12日(火) 午前9時—午後6時 会場・中国新聞社ホール
特別講演 胃集検の在り方と問題点 市 川 平 三 郎
シンポジウム 胃集検の問題点
(特別発言者) 淵 上 在 弥・愛 川 幸 平
他に一般演題あり
世話人代表 広島大学第1内科 三 好 秋 馬

第20回 日本胃集検検診学会総会

5月13日(水) 午前9時—午後7時15分 会場・広島市公会堂
特別講演 胃がんの地理病理学 栗 原 登
胃集検の過去・現在・未来 山 形 徹 一
胃集検20年を迎えて 有 賀 槐 三
(本特別講演は20回記念講演です。10時半より12時まで)
シンポジウム 1. 早期胃がんはどこまで発見できるか
司会 本 田 利 男
福 本 四 郎
2. 胃集検における見逃し例の経験—その反省
と検討—
司会 松 浦 啓 一
奥 原 種 臣
会長 広島大学第1内科 三 好 秋 馬

パラメディカルの集い 2月5日(金)午後2:00~5:00

2:00~2:10 開会のあいさつ
2:10~5:00 シンポジウム
総司会 香川県健康増進課課長 守 屋 罔 昭
司 会 高知県中央保健所 楠 瀬 正
" 高松市保健指導課 土 井 信 子

テ ー マ 地域における胃癌検診の状況
—行政のなかの胃集検—

問題提起者

1. 富村における胃集検の現状
津山環境保健所 和 氣 いづみ
2. 木頭村における胃集検検診状況
徳島県阿南保健所 近 藤 久美子
3. 行政の中の胃集検
高松市保健指導課 三 好 ナ カ
4. 胃集検の問題点
香川県園分寺町 中 山 照 美
5. 高知県の胃集検の現状と行政評価
高知県予防課 別 役 和 男
6. 胃ガン検診効率化の対策
香川県ガン予防協会 中 村 吉 彦
7. 山口県の胃集検と今後の課題
山口県柳井保健所 原 田 茂 夫
山口県予防衛生医学協会 篠 原 勲

助 言 者

川崎医科大学教授 北 昭 一
島根県公衆衛生課長 関 龍太郎

- 1 -

胃集検の会

1月29日(土) 8:50~15:40

8:50~9:00 開会のあいさつ

会長 勝部 吉雄

来賓祝辞

鳥取県知事 平林 鴻三
鳥取県医師会長 三好 実三

9:00~10:30 一般講演

- 演題1~3 座長 中田 太志
1. 発見疾患からみた精検のあり方
山口労災病院内科 篠山 哲郎他
2. 山口県衛生部集検率による胃集検の現況
山口大学医学部放射線科 東 祐二郎他
3. 胃集検における精検精度の検討
香川県成人病センター 大浦 正博他
演題4~6 座長 河野 恒文
4. 移動胃精検における色素内視鏡検査の意義(第1報)
高知県立中央病院消化器科 依光 幸夫他
5. 胃透視にて診断困難であったIIc型早期胃癌の1例
鳥取県立中央病院内科 梶井 英治他
6. 胃部における造影法の比較検討について
山口県予防衛生医学協会 篠原 勲他
演題7~9 座長 下保 登喜夫
7. 胃集検時腹部超音波併用検診(第2報)
山口労災病院内科 河村 奨他
8. 外来胃集検時の胆嚢集検の経験
山口大学医学部放射線科 小林 初美他
9. S状結腸ファイバースコープによる大腸集検の試み
広島県加計町立病院内科 岡本 一馬他

10:40~12:10 シンポジウムI

司会 鳥取県立厚生病院内科 石飛 誠一

テーマ 胃集検における良性疾患をめぐる問題点

シンポジスト

- 1. 鳥取大学医学部第二内科 三浦 邦彦
渡部 和彦
2. 鳥取県立厚生病院内科 湯川 喜美
石飛 誠一
3. 山口労災病院内科 田辺 満彦
篠山 哲郎
4. 高知県立中央病院消化器科 内多 嘉具
" 外科 近藤 慶二

指定発言者

鳥根医科大学内科 福本 四郎

シンポジスト打合せ会

9:30~10:00 (医学部第2会議室)

12:10~13:00 世話人会 (医学部第2会議室)

13:00~14:00 特別講演

座長 勝部 吉雄

「人口現象からみた胃癌の挙動」

鳥取大学医学部衛生学教授

渡邊 嶺男

14:10~15:40 シンポジウムII

司会 鳥取県立中央病院副院長 中村 良文

テーマ 高齢者の胃集検の問題点

シンポジスト

- 1. 集検施設の立場から
香川県成人病センター 竹内 義員
2. 外科からみた高齢者胃集検の問題点
鳥取大学医学部第一外科 西土井 英昭
古賀 成昌
3. 主として内科、とくに内視鏡的立場からみた高齢者
胃集検の問題点
山口大学医学部第一内科 飯田 洋三
4. 保健婦の立場から
鳥取県智頭町役場保健婦 安原 君枝

指定発言者

川崎医科大学公衆衛生学 北 昭一

シンポジスト打合せ会

13:30~14:00 (医学部第2会議室)

プログラム

パラメジカルの集い 1月28日(金) 14:00~17:00

14:00~14:10 開会のあいさつ

会長 鳥取大学医学部放射線科教授 勝部 吉雄

14:10~17:00 シンポジウム

司会 鳥取大学医学部公衆衛生学教授 能勢 隆之
鳥取県衛生環境部健康対策課長 小田 清一

テーマ 各県の胃集検の現況

— 胃集検システムの問題点 —

シンポジスト

- 1. 鳥根県における胃集検の現況
鳥根県公衆衛生課課長補佐 亀家 朗介
2. 集検発見胃がんの追跡
岡山成人病センター 文谷 寛
3. 加計町における胃及び大腸集検の取り組みについて
— 行政の立場から —
広島県加計町民生部長 湯浅 男一郎
4. 香川県における胃集検の現況
香川県成人病センター看護婦長 鹿鍋 静子
5. 胃集検の現況と問題点
徳島県日和佐保健所保健婦 宮原 さよ子
6. 鳥取県における胃集検の流れについて
鳥取県保健事業課主任診療放射線技師 世良田 章

指定発言者

山口県予防衛生医学協会 篠原 勲
鳥取県立中央病院副院長 中村 良文

シンポジスト打合せ会

13:00~14:00 (医学部第2会議室)

胃集検の会

1月21日(土) 8:30~15:40

8:30~8:40 開会のあいさつ 会長 近藤 慶二
来賓祝辞 高知県知事 中内 力
高知県医師会長 石川 侃

8:40~10:24 一般講演

演題 1~3 (8:40~9:04) 座長 高橋 晃 (高知外科胃腸病院)
1. 高知県における胃がん5年(相対)生存率について
高知県医師会がん調査部 下保 登喜夫
2. 僻地における胃がん対策
梶原町福祉衛生課 川上 寿久
3. 胃集検の現状からみた30%受診
—— 山口県下保健所に対するアンケート調査 ——
山口県成人病検診管理指導協議会胃がん部会
河村 晃, 佐野和男, 中田太志, 柳原照生, 吉富正一, 磯山明一, 上部和彦
山口県予防衛生課, 長崎哲男, 大石 徹

演題 4~6 (9:04~9:28) 座長 坂本 言方 (高知赤十字病院)
4. ゼル,バリウム剤の考察
医療法人久病院 楠 瀬 正
5. 胃集検時腹部超音波併用検診(第2報)
山口労災病院 内科 河村 晃, 篠山哲郎, 田辺清彦, 宮崎誠司, 田辺一郎, 武波俊彦, 林 謙也
山口大学第一内科 相部 剛, 河原清博, 竹本忠良

6. 胃集検で発見出来た胃外腫瘍病変の2例
山口大学放射線科 奥田公子, 中田太志, 田中陸雄, 佐々井一彦, 小林久人, 片山 節, 狩野裕一, 三浦剛史, 中西 敬

- 2 -

演題 7~10 (9:28~10:00) 座長 西山 壘 (厚生年金高知リハビリテーション病院)

7. 職域胃集検における内視鏡一次精検の試み
岡山大学第一内科 坂野 徹, 原田仁史, 永原章正, 上坂好一, 香川俊介, 杉原 徹, 山本 博, 友田 純, 長島秀夫
岡山健康管理所 佐藤いさの, 大村博信, 福岡悦子

8. 高齢者の内視鏡集検
山口労災病院内科 宮崎誠司, 河村 晃, 篠山哲郎, 田辺清彦, 田辺一郎, 武波俊彦, 林謙也
山口大学第一内科 河原清博, 竹本忠良

9. 職域における大腸集検のこころみ
岩園放射線科 松浦康彦
旭化成岩園工場 関重孝義, 上山和子
東洋紡岩園工場 伊ヶ崎滋, 安保喜三

10. S状結腸ファイバースコープによる大腸集検
加計町立病院内科 小出和伸, 稲葉義郎, 佐野宏一
同 外科 岸 明宏
可部保健所々長 丹下宗一
広島大学医学部第一内科 隅井浩治, 岸本真也, 梶山悟朗

演題 11~13 (10:00~10:24) 座長 中田太志 (山口大学放射線科)

11. 山口県予防衛生医学協会集検車による胃集検の現状
山口大学放射線科 三浦剛史, 中田太志, 田中陸雄
佐々井一彦, 片山節, 狩野裕一, 奥田公子, 中西敬
山口県予防衛生協会 篠原 勲, 坂本忠男, 木本弘子
藤井則江
山口県衛生部予防課 長崎哲男, 長谷智水, 上田城一
斎藤憲平, 大石 徹

12. 胃移動精検班によって発見された胃がんの検討
—— 自覚症状を中心として ——
高知県立中央病院外科 平川恵一, 上岡教人, 長田裕典
久明史, 酒井弘典, 徳岡裕文, 寺田紘一, 吉田良
近藤慶二

- 3 -

高知県立中央病院消化器科 横田哲夫, 依光幸夫, 内多嘉具
13. 胃移動精検班によって発見された胃がんの検討
—— 受診歴を中心として ——
高知県立中央病院外科 上岡教人, 平川恵一, 長田裕典
久明史, 酒井弘典, 徳岡裕文, 寺田紘一, 吉田良, 近藤慶二
高知県立中央病院消化器科 横田哲夫, 依光幸夫, 内多嘉具

10:30~12:00 シンポジウム I

司会 高知県立中央病院 消化器科 内多 嘉 具
主 題 胃集検とsmがん
シンポジスト

- 1. 胃集検発見smがんの再検討
—— 間接フィルム再読影から見たsmがんの比較検討 ——
鳥取大学第二内科 門原三志男, 渡辺和彦
山陰労災病院内科 三浦邦彦
2. 間接X線フィルムとsmがん
—— 異常陰影の描出性について ——
国立病院四国がんセンター放射線科 森田 稔
3. 集検発見胃がんにおけるm, sm, Pmがんの対比検討
高知県立中央病院消化器科 依光幸夫, 横田哲夫, 内多嘉具
4. smがんの特徴
香川県成人病センター 相良安信, 竹内義員
5. 胃集検発見smがんと外来発見smがんの対比
山口労災病院内科 田辺一郎, 篠山哲郎, 河村晃
6. がん発育速度の導入による精度向上の試み
川崎医大附属病院放射線科 平松 収
総括 岡山県備前市草加内科病院 草加 芳 郎

(シンポジスト打合せ会 9:30~10:00 (高知新聞放送会館 RKCホール))

- 4 -

12:00~12:50 世話人会 (高知新聞放送会館 RKCホール)

13:00~14:00 特別講演 座長 近藤 慶二

便潜血テストによる大腸集検
—— 胃集検との併用の試み ——

愛知ガンセンター内科 小林 世 美

14:00~15:40 シンポジウム II

司会 川崎医科大学公衆衛生学 北 昭 一
主 題 精度管理の問題点

- シンポジスト
1. 鳥根医科大学第二内科 福本 四 郎
2. 山口労災病院内科 河村 晃
3. 高知県立中央病院外科 寺田 紘 一
4. 岡山県環境衛生部公衆衛生課 野上 浜 子
5. 鳥取大学医学部衛生学 陶山 昭 彦
6. 香川県成人病センター 馬場 淑 子

(シンポジスト打合せ会 13:00~13:30 (高知新聞放送会館 RKCホール))

- 5 -

プログラム

パラメディカルの集い 1月20日(金) 14:00~17:00

14:00~14:10 開会のあいさつ

会長 高知県立中央病院長 近藤 慶二

14:10~17:00 シンポジウム

司会 岡山県備前市草加内科病院 草加 芳郎

〃 高知県保健環境部 予防課 関 一夫

主 題 30%受診目標をめざして
——計画検診をどう進めるか——

シンポジスト

1. 県の立場から見た30%受診目標
岡山県環境衛生部公衆衛生課 野上 浜子
2. 地区ぐるみの検診をめざして
愛媛県広見町保健衛生課 堀部 初恵
3. 日和佐町胃集検の現状から
徳島県日和佐町住民課 木内 万紀子
4. 高知市健康都市づくりのなかですめる
計画検診
高知市福祉生活部保健予防課 森田 昌雄
5. 受診率30%は可能か
広島県尾道保健所 園川 真基裕
6. 胃集団検診受診者の意識調査について
高知県中央保健所 大野 数英

(シンポジスト打合せ会 13:00~14:00
(高知新聞放送会館 RKCホール)
電話 0888-22-2111)

胃集検の会

1月19日(土) 8:30~16:00

8:30~8:45 開会のあいさつ 会長 河村 奨
来賓祝辞 山口県知事 平井 龍
山口県医師会長 平田 晴夫

8:40~11:28 一般演題

演題 1~4 (8:40~9:08) 座長 磯山 明一 (済生会下関総合病院)

- 1. 胃集検専用コリメーターについて
済生会下関総合病院...。前平 晃, 磯山明一, 福岡民子
竹之内光昭
2. 体位変換指示の被検者反応について
済生会下関総合病院...。福岡民子, 磯山明一, 杉原広頼
米北浩一郎, 前平 晃, 竹之内光昭
3. もう一度"すつまっぷ"を確認しましょう
山口県予防衛生医学協会...。篠原 勲, 武智正敏
長 安代, 植崎末太郎, 坂本忠男, 三宅利雄
4. 胃集検車の保守管理について
山口県厚生連周東総合病院・長門総合病院・第一病院
。中村健一

演題 5~8 (9:08~9:36) 座長 藤田 良樹 (山口県放射線科)

- 5. 山口県厚生連の胃集検の現況
山口県厚生連周東総合病院内科...。永富裕二, 村上不二夫
大村良介, 森本哲雄, 村田欣也, 水田 実
6. 山口県予防衛生医学協会集検車による胃集検の現況
山口大学放射線科...。中野真理, 中田太志, 田中隆雄
長岡 栄, 佐々井一彦, 坂本英一, 東祐一郎,
島袋明子, 中西 敬
山口県予防衛生医学協会...。篠原 勲, 坂本忠男
木本弘子, 藤井則江
宇部市藤田放射線科...。藤田良樹
岩国胃腸科放射線科...。松浦康彦

7. 広島地区における胃集検検診成績
広島原爆被爆者健康管理所...。伊藤千賀子, 長谷川和代
加藤雅史, 熊沢俊彦

8. 当院における地域胃集検の現況
済生会山口総合病院内科...。神 信広, 野村幸治
保健婦...。栗田洋子

演題 9~12 (9:36~10:04) 座長 北 昭一 (川崎区大公園衛生)

- 9. 某事業所の逐年胃集検成績
徳島大学第2内科...。松村光博, 伊東 進, 溝淵 猛
大浦正博, 清水一郎, 井上修志, 林紀美子, 岸清一郎
10. 胃集検受診率向上への取り組み
山口県福栄村役場...。青木史枝, 安田和照, 波多野すみ枝
萩 保健所...。岡本久美子
11. 胃集検対象者の受診動向と受診率向上策の試みについて
新日鉄光製鉄所健康管理室...。伊藤久美子, 山本信子
山下洋子, 山柿精代, 竹内真里, 林 悦久
12. 老人保健法施行による胃集検受診率の変動
川崎医科大学保健婦...。清水徳子, 小見山京子
小林美智恵, 上坂智子, 田中妃斗美, 田中智子
高橋美月, 山田敦子, 藤井清子
川崎医科大学臨床放射線技師...。吉岡公平
瀬崎町保健婦...。橋本真紀, 岡田悦子, 岩戸尚子
船穂町保健婦...。湯口寿子
鶴方町保健婦...。島田美津子, 森 和江
里庄町保健婦...。羽原由美子, 高橋桂子
金光町保健婦...。清水昌子

演題 13~16 (10:04~10:32) 座長 中村 克衛 (中村内科胃腸科)

- 13. 直接X線撮影法による施設胃集検の検討
香川県成人病センター内科...。春藤謙治, 矢野充保
石原昭彦, 小林総一郎, 山ノ井昭, 須崎勢至,
小川俊樹, 鳥巢隆賢, 相良安信, 坂下 修, 竹内義員

- 14. 胃集検発見がんの検討
済生会下関病院外科...。江本 勲, 千原龍夫
15. 胃集検早期癌の占居部位についての検討
— 外来群との比較 —
高知県立中央病院外科...。宇田憲司, 津野憲雄, 寺田絃一
近藤慶二
同 消化器科...。横田哲夫, 内田嘉具
高知外科胃腸病院...。高橋 晃

- 16. 胃集検誤診例の検討
松山成人病センター...。河野恒文
松山市医師会...。光宗正就, 三宅正夫, 重松 武
米湊 徹

演題 17~19 (10:32~11:00) 座長 田 中 陸 雄 (山口大学放射線科)

- 17. 精検受診機関の実状
山口大学放射線科...。坂本英一, 中田太志, 田中隆雄
長岡 栄, 佐々井一彦, 東祐一郎, 島袋明子
中野真理, 中西 敬
山口県衛生部予防課...。長崎哲男, 長谷智水, 山本 直
斎藤憲平, 大石 徹
18. 逐年職域検診における出張精検の検討
山口労災病院内科...。中田和孝, 河村 奨, 篠山哲郎
田辺満彦, 佐々木透, 相部 剛, 倉富 満, 林 謹也
同 外科...。田村陽一, 石田一夫

- 19. 移動精検方式による胃集検の評価
高知県立中央病院外科...。津野憲雄, 宇田憲司, 寺田絃一
近藤慶二
同 消化器科...。横田哲夫, 内田嘉具
高知外科胃腸病院...。高橋 晃

演題 20~24 (11:00~11:35) 座長 坂下 修 (香川成人病センター)

- 20. 一職域における全消化器集検の試み
山口労災病院内科...。田辺満彦, 河村 奨, 篠山哲郎

相部 剛, 中田和孝, 林 謹也
セントラル硝子診療所...。吉久 浩, 稲村元子
佐々木真砂子

- 21. 腹部エコー集検の経験
愛媛大放射線科...。伊東久雄, 河村 正, 石根正博
石川元正, 大谷治彦, 浜本 研
3内科...。西村庸夫, 大久保博忠, 坂上博
美須賀病院放射線科...。小松 晃

- 22. 大腸集検法の検討
広島加計町立病院...。清水 哲, 小出和伸, 岸 明宏
広島大第一内科...。春間 賢, 田利 晶, 岡本一馬
吉原正治, 上村直美, 隅井浩治, 岸本真也, 梶山悟朗

- 23. 大腸癌の臨床的検討
— 特に便潜血反応を中心として —
広島大第一内科...。春間 賢, 隅井浩治, 上村直美
熊本 隆, 田利 晶, 清水秀明, 吉原正治, 徳富 正
関藤正喜, 梶山悟朗

- 24. リレショナル・データベースによる集検データ解析の試み
山口大学第1内科...。有山重美, 川嶋正男, 大下芳人
富士 匠, 岡崎幸紀, 竹本忠良
山口労災病院内科...。河村 奨

11:35~12:20 特別講演 I
座長 前岡山大学々長 小坂 洋夫
高度情報化社会と消化器集団検診
山口大学第一内科教授 竹本 忠良

12:20~13:10 世話人会 (国際ホテル宇部 1階ホール)

13:15~14:00 特別講演 II
座長 徳島大学第二内科助教授 岸 清一郎
胃集検の精度管理と偽陰性
香川成人病センター所長 竹内 義員

14:00~16:00 シンポジウム

司会 山口大学放射線科助教授 中 田 太 志
 広島大学第一内科 隅 井 浩 治

主 題

シンポジスト

1. 老健法にもとづいて実施した胃集検7枚撮影法の特徴について
 川崎医科大学公衆衛生Ⅱ 草 加 勝 康
 2. 間接7枚法の検討
 土佐市民病院 下 保 登 喜 夫
 3. 間接12枚法の示現能の検討
 山口大学放射線科 田 中 陸 雄
 4. 間接撮影法の反省点
 香川成人病センター ◦相 良 安 信, 竹 内 義 員
 5. 胃集検10年を振り返って
 山口県川上村 阿 武 玲 子
 6. 胃集検時腹部超音波併用検診
 山口労災病院内科 ◦藤 山 哲 郎, 河 村 奨
 7. 大腸集検
 広島瀬戸田町立病院 田 中 一 也
 8. 地域集検における消化器総合集検の試み
 島根医科大学第二内科 ◦池 田 敏, 西 村 公 一, 福 本 四 郎
- 追加発言 中村内科胃腸科 中 村 克 衛

シンポジウム打合せ会 9:00~9:40
 文化会館 第3研修室(2F)

16:00 開会のあいさつ

会長 山口労災病院 河 村 奨

パラメジカルの集い

1月18日(金) 14:00~17:00

14:00~14:10 開会のあいさつ

会長 山口労災病院内科部長 河 村 奨

14:00~17:00 シンポジウム

司会 島根医科大学第二内科助教授 福 本 四 郎
 山口県予防課主幹 健康づくり推進室長 辻 田 智 恵 子

主 題 老健法と地域集検

シンポジスト

1. 胃ガン集検に携わって
 山口県三隅町保健婦 宮 崎 節 子
 2. 事後指導と健康相談
 広島県倉橋町保健婦 奥 久 保 左 知 子
 3. 受診率向上のためのとりくみについて
 岡山県真備町保健婦 内 田 多 美 江
 4. 胃現地精検と保健婦
 高知県土佐清水保健婦 畑 山 治 子
 5. 学会答申案の試行と考察
 高知県立中央保健所放射線技師 大 野 数 英
 6. 実施機関からみた老健法後の地域集検
 島根県環境保健公社常務理事 天 野 文 治
 7. 30名検診へのアプローチ
 香川県環境保健部健康増進課 神 原 勳
 8. 老健法と地域集検
 松山成人病センター 河 野 恒 文
- 追加発言 川崎医科大学公衆衛生教授 北 昭 一

(シンポジウム打合せ会 13:00~14:00
 文化会館 第3研修室(2F))

1月24日

開 会 14:00
米 会 長 挨拶
米 来 賓 挨拶

(シンポジウム) 14:20~16:00

検診率の向上と精度管理

司会 香川県成人病センター所長 竹内 義員先生
愛媛県御荘保健所長 榎本 真一先生

- 1. 保健所の立場から 岡山県瀬戸地域保健所 廣取 弘子
2. 市町村 " 愛媛県野村町 井関 正和
3. 検診機関 島根県環境保健公社 清原 寛孝
4. 行政 " 鳥取県衛生環境部健康対策課 西村治寿賀
5. 放射線技師 高知県総合保健協会 別役 和男
6. 市町村保健婦 " 山口県徳地町 中島美智枝

助言者 川崎医科大学公衆衛生学教授 北 昭一先生
愛媛県松山中央保健所長 材木 允男先生

全国集検報告 16:05~16:10

昭和58年度全国集計(中・四国地方)報告

- 北 昭一 隅井 浩治 河村 英
福本 四郎 勝部 吉雄 岸 清一郎
竹内 義員 近藤 慶二 河野 恒文

一般演題 [1] 16:10~16:50 座長 中田 太志先生

- 1. 鳥取県根雨保健所管内胃がん集団検診から
鳥取県根雨保健所 黒田 善市
(財)鳥取県保健事業団 丸瀬 和美 増田 孝良
日野郡日南町役場 大塚紅美代 松原 幸枝
" 江府町役場 清水 孝司
2. 鳥取県溝口町胃がん集団検診から
日野郡溝口町役場 榎代 勝治

- 3. 地域車集検に関する住民意識調査の解析
鳥根医科大学第二内科 福本 四郎 池田 敏 西村 公一
吉田 裕 天野 裕二 横山 元裕
島田 宜浩
鳥根県老検法調査事業消化器癌部会

- 4. 山口県予防衛生医学協会集検車による胃集検の現況
山口大学医学部放射線 西川 浩子 中田 太志 田中 陸雄
医学教室 長岡 栄 西垣内一哉 西田 宏二
須田 博喜 中西 敬
山口県予防衛生医学会 篠原 勲 坂本 忠男 木本 弘子
藤井 則江
宇部市藤田放射線科 藤田 良樹
岩国胃腸科放射線科 松浦 康彦

一般演題 [2] 16:50~17:30 座長 森田 稔 先生

- 5. 胃集検における精検受診率の動向
川崎医科大学公衆衛生部 森 奈緒美 小見山京子 小林美智恵
上坂 智子 田中 智子 高橋 美月
清水 徳子 藤井 清子 横山 和美
診療放射線技師 吉岡 公平
灘崎町保健婦 橋本 真紀 岡田 悦子
鴨方町 " 島田美津子 小坂 和江
船穂町 " 池宗 礼子
金光町 " 清水 昌子
里庄町 " 羽原由美子 高橋 桂子

- 6. 胃がん5年生生存率と胃集検受診率について地域別検討
高知県医師会
土佐市民病院長 下保登喜夫
7. 受診者の増加にともなう発見がん患者の大増について
愛媛県がん予防協会 森川 東 江戸 勝男 田村 亀一
徳永 清司 村上 達夫 栄 浩司
遠藤 昌夫 笠松 豪 安井 利裕
8. 胃集検における発見胃がん患者の追跡調査
愛媛県厚生農業協同組合 西尾 秀博 新山 博彬 山下 良雄
連合会 堀江民三良 篠藤 進
愛媛大学医学部附属病院 伊達 卓二 名本 繁樹 川上 寿昭
放射線部

1月25日

一般演題 [3] 8:30~9:00 座長 隅井 浩治先生

- 9. 岡山県における胃ガン死亡率低下と胃集検
川崎医科大学公衆衛生学 草加 勝康 阿多 雄之 平井 龍三
教室 北 昭一
10. 腫瘍登録よりみた胃集検の評価
鳥取県立中央病院放射線科 中村 良文
11. 受診率からみた30名検診の臨路
香川県成人病センター 秋山 恭介 天羽 浩二 猪井 順也
溝淵美恵子 山ノ井 昭 小林総一郎
鳥巢 隆資 相良 安信 坂下 修
竹内 義員

一般演題 [4] 9:00~9:40 座長 下保 登喜夫先生

- 12. 胃集検における使用装置の評価(その1)
-物理面からの評価-
愛媛大学医学部放射線科 伊東 久雄 河村 正 石川 元正
石根 正博 浜本 研
愛媛大学病院放射線部 伊達 卓二 大石 茂雄 川上 寿昭
13. 胃集検における使用装置の評価(その2)
-心理面からの評価-
愛媛大学医学部放射線科 石川 元正 伊東 久雄 河村 正
石根 正博 浜本 研
美須賀病院 小松 晃
愛媛大学病院放射線部 伊達 卓二 大石 茂雄 川上 寿昭
14. 胃上部における示現能
山口大学医学部放射線 西田 宏二 中田 太志 田中 陸雄
医学教室 長岡 栄 西垣内一哉 西川 浩子
須田 博喜 中西 敬

15. 胃集検で発見された大彎側胃がんの検討

- 松山市医師会 蔵原 一郎 中田新一郎 今川 玄一
佐野 精一 遠藤恭二郎 橋本 誠志
山崎 史朗 重松 武 光宗 正就
三宅 正夫 長井新一郎 香妻 康彦
矢野 幹夫 藤原 寿則 米湊 徹
浅野 宏園 福本 朗 南 正夫

一般演題 [5] 9:40~10:10 座長 中村 良文先生

- 16. 胃集検より発見された胃がん手術症例の検討
防府消化器病センター 三浦 修 長崎 進 南園 義一
戸田 智博 韓 相宗
17. 集検発見胃がんからみたスキルズ胃がんの外科的治療について
鳥取大学医学部第一外科 西土井英昭 古賀 成昌
" 放射線科 今本 博
18. 胃集検が発見の端緒となったGardner症候群の家系発端者の2例
国立病院四国がんセンター
放射線科 森田 稔 稲月 伸一 木村 誠
内 科 神野 健二 下江 俊成
臨床研究部 森脇 昭介

一般演題 [6] 10:10~10:40 座長 福本 四郎先生

- 19. 職種, 地理別にみた腹部超音波発見疾患の検討
山口労災病院内科 東 光生 河村 奨 藤山 哲郎
田辺 満彦 有山 重美 田中 慎也
林 謙也 石田 一夫
山口大学医学部第一内科 竹本 忠良

20. 腹部超音波集検の同時胃集検併用効果に関する検討
- | | | | |
|-------------|--------|-------|-------|
| 山口労災病院内科 | ○田中 慎也 | 河村 奨 | 篠山 哲郎 |
| | 田辺 満彦 | 有山 重美 | 東 光生 |
| | 林 謙也 | 石田 一夫 | |
| 山口大学医学部第一内科 | 中田 和孝 | 田辺 一郎 | 相部 剛 |
| | 竹本 忠良 | | |
21. 関金町肝疾患9年後の予後調査
- | | | | |
|--------------|--------|-------|-------|
| 鳥取県立厚生病院 | ○石飛 誠一 | 五代 和紀 | 細川 勝紀 |
| | 山屋 洋樹 | 湯川 喜美 | 飯塚 幹夫 |
| 倉吉保健所 | 高野 正明 | | |
| 鳥取県中部医師会 | 大石 恒善 | 安梅 正威 | 佐々木安夫 |
| 鳥取大学医学部衛生学教室 | 吉田 良平 | | |

特別講演 10:45～12:00

演題 (これからのX線診断と胃集検)

国立がんセンター放射線診断部長

山田 達哉 先生

座長 北 昭一先生

パネルディスカッション 13:10～15:00

(30%検診は可能か)

司会 河野 恒文先生

岸 清一郎先生

パネラー

1. 鳥取県立中央病院 中村 良文 先生
2. 高知県予防課 石川 善紀 先生
3. 山口労災病院 河村 奨 先生
4. 岡山県津山医師会 平野 義郎 先生

第17回日本消化器集団検診学会中国四国地方会
第17回中国四国地方胃集検の会

日 程 表

第1日 1月30日(金)		第2日 1月31日(土)	
14:00	開会の辞 会長 福本 四郎	9:00	開会の辞 会長 福本 四郎
14:05	パラメディカルの集い シンポジウム 受診率向上への施策と その成果 司会 竹内 義員 岡田 尚久	9:05	胃集検(I) (1~3) 座長 中村 良文
16:30	閉会の辞 会長 福本 四郎	9:32	胃集検(II) (4~7) 座長 鳥巣 隆資
		10:08	超音波集検 (8~10) 座長 西村 公一
		10:35	大腸集検 (11~14) 座長 河村 葵
		11:11	
		11:20	特別講演 島田 宜浩 司会 小坂 淳夫
		12:00	休 憩・世話人会
		13:00	シンポジウム 集検発見胃癌をめぐって 司会 福本 四郎
		15:00	閉会の辞 会長 福本 四郎

パラメディカルの集い
シンポジウム：受診率向上への施策とその成果

第1日(1月30日) 14:05~16:30

- 司会 香川県成人病センター所長 竹内 義員
島根県公衆衛生課長 岡田 尚久
- 市町村保健婦の立場から
—定期検診の意識づけと魅力ある検診体制を—
島根県旭町保健婦 馬場 真由美
 - 市町村保健婦の立場から
山口県山陽町保健婦 藤田 桂子
 - 検診機関の立場から
広島県成人病予防協会 中島 弘
 - 検診機関の立場から
徳島県総合検診センター 上田 順啓
徳島大学第二内科 岸 清一郎
 - 放射線技師の立場から
鳥取県保健事業団 野田 清孝
 - 放射線技師の立場から
愛媛県がん予防協会 江戸 勝男
 - 保健所の立場から
高知県本山保健所 山下 敏正
 - 県行政の立場から
—受診率向上への施策とその効果—
香川県健康増進課 岩井 敏泰
 - 県行政の立場から
岡山県公衆衛生課 野上 濱子

特 別 講 演
“肝 臓 集 検”

第2日(1月31日) 11:20~12:00

島根医科大学第二内科教授 島田 宜浩
司会 岡山大学名誉教授 小坂 淳夫

シンポジウム：集検発見胃癌をめぐって

第2日(1月31日) 13:00~15:00

- 司会 島根医科大学第二内科助教授 福本 四郎
- 集検発見胃癌の間接X線診断能
山口大学放射線医学教室 中田 太志・田中 陸雄
 - 集検発見胃癌における他部位チェック例の検討
鳥取大学第二内科 門原三志男・河村 学・波部 和彦
 - 胃集検における偽陰性例の検討
香川県成人病センター 井内 新・相良 安信
 - 集検発見胃癌をめぐって—症例検討会の成績から—
鳥取県健康対策協議会胃集検検討委員会
鳥取県立中央病院内科 岡本 公男・宮崎 博実
同 放射線科 中村 良文
 - 集検発見胃癌をめぐって—出張内視鏡検診発見胃癌—
山口労災病院内科 河村 葵・篠山 哲郎
 - 昭和60年度集検発見胃癌解析と反省
松山成人病センター 河野 恒文
愛媛県がん予防協会 森川 東
 - 外科からみた集検発見胃癌
鳥取大学第一外科 西土井英昭
- 特 別 発 言
川崎医科大学公衆衛生学(Ⅲ) 北 昭一

一般演題

第2日(1月31日) 9:05~11:11

胃集検(I) (9:06~9:32) 座長 中村 良文

1. 当院における集検発見胃癌と問題点
町立広瀬病院内科 佐々木宏之・乗本 道子・乗本 業文
同 外科 小川 東明・河村 良寛
2. 山口県予防保健協会集検車による胃集検の現況
山口大学医学部放射線医学教室 岡田 守久・中田 太志・田中 陸雄・佐々井一彦
片山 節・吉井 民子・田中 和雄・島中 雅生
中西 敬
山口県予防保健協会 武智 正敏・谷口 三郎・山田 義人・金谷 浩三
田中 美子
宇部市藤田放射線科医院 藤田 良樹
岩国青腸科放射線科医院 松浦 康彦
3. 当センターにおける胃集検発見胃癌の検討
防府消化器病センター外科 島田 幸男・長崎 進・韓 相宗・戸田 智博
南園 義一

胃集検(II) (9:32~10:08) 座長 鳥巢 隆實

4. 移動胃集検における色素内視鏡の意義(第2報)
高知県立中央病院消化器科 依光 幸夫・横田 哲夫・内多 嘉具
同 外科 徳岡 裕文・寺田 隼一・吉田 貴・近藤 慶二
同 放射線科 森田莊二郎・小谷 了一
5. 胃集検における内視鏡精検の検討
鳥取県健康対策協議会胃集検読影委員会
鳥取県立中央病院内科 石飛 誠一
鳥取県立厚生病院内科 湯川 嘉美・細川 勝紀・山尾 洋樹
6. 胃集検にて発見された進行胃癌—精査委嘱施設からみた胃集検—
平田市立病院内科 池田 重聖・山本 俊・梅川 康弘・松尾 龍一
松浦 達也・松下 公紀・坪井 修平・河合 利夫
平田市社会課健康係 横野 淑子・土江 松子
7. 胃集検異所チェックで発見されたIIc小胃癌の1例
鳥取県胃集検読影委員会
鳥取県立中央病院内科 中村 一彦・山本 哲章・佐藤 徹・秋藤 洋一
宮崎 博実・田村 公平・岡本 公男・石飛 誠一
同 放射線科 中村 良文

超音波集検 (10:08~10:35) 座長 西村 公一

8. 胃集検時腹部超音波検診結果の検討
山口労災病院内科 河村 奨・有山 重美・篠山 哲郎・田辺 満彦
河野 裕・宮口 宣也・林 謙也・石田 一夫
山口大学第一内科 相部 剛・野口 隆義・中田 和孝・田邊 一郎
竹本 忠良
9. NTT松江健康管理所における肝集検の試み
NTT松江健康管理所 春木 淳子・宇山真由美
鳥根医科大学第二内科 西村 公一・池田 敏・小野 直美
10. 腹部超音波集検にて発見されたstage I 胆嚢癌の一例
鳥根医科大学第二内科 岡田 正史・西村 公一・池田 敏・吉田 裕
天野 祐二・足立 経一・栗 稔弘・福本 四郎
島田 宜浩

大腸集検 (10:35~11:11) 座長 河村 奨

11. 地域集団検診における大腸癌検診に対する意識調査
川崎医科大学附属病院保健婦 横山 和美・小見山京子・上坂 智子・田中 智子
原田 好子・清水 徳子・森 奈緒美・藤井 清子
中西美恵子・松森 由夏
12. 人間ドックにおいて大腸癌検診に対する受診者の意識調査と術前処置に関する検討
川崎医科大学附属病院保健婦 田中 智子・小見山京子・上坂 智子・原田 好子
清水 徳子・森 奈緒美・藤井 清子・横山 和美
中西美恵子・松森 由夏
13. 大腸検診における便潜血反応検査の検討
川崎医科大学公衆衛生学(Ⅲ) 成本 仁・草加 勝康・北 昭一
同 総合臨床医学(Ⅲ) 土本 薫・赤木 公成
14. 大腸癌検診における内視鏡検査の検討
川崎医科大学公衆衛生学(Ⅲ) 成本 仁・草加 勝康・三宅 一裕・北 昭一
同 総合臨床医学(Ⅲ) 土本 薫・赤木 公成

2月5日(金)

開会 14:00
* 会長挨拶
* 来賓挨拶

[シンポジウム] 14:20 ~ 17:00

30%検診をめざして

—— 受診率向上のための工夫 ——

司会 川崎医科大学公衆衛生学教室 北 昭一
松山成人病センター 河野恒文

- 1. 山口県 徳山市保健婦 木下カズエ
2. 広島県 比和町保健婦 富原順子
3. 島根県 加茂町保健婦 秋山悦子
4. 岡山県 川崎医大保健婦 上坂智子
5. 香川県 香川県成人病センター保健婦 神原淑子
6. 高知県 須崎保健所保健婦 中越 緑
7. 徳島県 相生町保健婦 殿谷加代子
8. 山口県 福栄村保健婦 青木史枝

2月6日(土)

(一般演題) 9:15 ~ 9:50 座長 近藤慶二

- 1. 間接撮影技術の新しい試み
山口大学医学部放射線医学教室
o 松浦 京子, 中田 太志, 田中 陸雄, 佐々井一彦, 長岡 栄
三浦 公子, 吉井 民子, 西川 英一, 横山 敬, 中西 敬
下関市医師会病院放射線科
妹尾 安時, 石元 律枝, 和田由理子
2. 高齢者における胃集検の検討
山口労災病院内科
o 河村 奨, 篠山 哲郎, 有山 重美, 河野 裕, 田辺 満彦
稲本 善人, 足立佳代子
山口大学第1内科
竹本 忠良
山口県保健予防課
恵美須勝美, 長崎 哲男
3. 山口県予保健協会集検車による胃集検の現況
山口大学医学部放射線医学教室
o 金子 隆文, 中田 太志, 田中 陸雄, 佐々井一彦
片山 節, 吉井 民子, 有吉 功, 中西 敬
徳山中央病院放射線科
岡本 安定, 福山 勝
宇部市医師会
藤田 良樹, 末富 一臣, 根木みゆき
岩国市医師会
松浦 康彦

- 4. 高知県の移動(出張)胃精検地区における管理精検の意義について
高知県立中央病院 消化器科
o 森 佐和, 横田 哲夫, 依光 幸夫, 内多 嘉具, 近藤 慶二
胃 精 検 班
坂本 言方, 里見 建裕, 西山 登

9:50 ~ 10:15 座長 中田太志

- 5. 胃集検で指摘され、精検で良性として観察中にII Cが確定された一例
松山市医師会統影委員会
o 光宗 正就
松山成人病センター
河野 恒文
6. 胃集検発見早期胃癌と併存病変
香川県成人病センター
o 溝淵 猛, 岡村 誠介, 由宇 敬浩, 秋山 恭介, 清水 良策
山ノ井 昭, 鳥巢 隆資, 相良 安信, 坂下 修, 竹内 義員
7. 胃集検発見胃癌の外科的検討
防府消化器病センター外科
o 島田 幸男, 長崎 進, 北畠 滋郎, 東野 一二, 大森 義信
市吉 裕二, 川野 豊一, 戸田 智博, 南園 義一

10:15 ~ 10:40 座長 隅井浩治

- 8. 昭和56年度から昭和61年度までに川崎医大
公衆衛生部が行った胃集検の実施成績
川崎医科大学総合臨床医学(Ⅲ)
o 赤木 公成, 土木 薫, 福嶋 啓祐, 大橋 勝彦, 笠井万里子
川崎医科大学公衆衛生学(Ⅲ)
吉岡 公平, 志村有佳里, 米田 昌道, 草加 勝康, 坂本さゆり
成本 仁, 三谷 一裕, 北 昭一

- 9. 人間ドックにおける大腸検査の前処置に関する検討
川崎医科大学附属病院保健婦
o 中西美恵子, 小見山京子, 上坂 智子, 原田 好子, 清水 徳子
森 奈緒美, 藤井 清子, 松森 由夏, 若本 純子, 田中 智子
10. 免疫学的便潜血反応による大腸癌
スクリーニングの問題点
山口労災病院 内科
o 河村 奨, 有山 重美, 河野 裕, 田辺 満彦, 稲本 善人
足立佳代子, 篠山 哲郎
山口大学第一内科
竹本 忠良
美祿保健所
奥田 信之

10:40 ~ 11:05 座長 河村 奨

- 11. 便潜血反応による大腸癌検診の成績と問題点
広大1内
o 隅井 浩治, 春間 賢, 吉原 正治, 梶山 栞朗
加計町立病院
岸 明宏, 関藤 雅喜, 小出 和伸
双三中央病院
末永 健治
庄原赤十字病院
迫 勝博, 三川 義博, 中島浩一郎
県立瀬戸田病院
竹内 啓祐
広島三菱病院
小山田 健
N T T 広島中央管理所
山本 昌弘

12. 地域住民を対象とした大腸集検における便潜血検査法の比較
島根医科大学第二内科
○池田 敏, 西村 公一, 福本 四郎, 島田 宣浩
島根県成人病予防センター
中村 洋三, 木村 清志
13. 大腸癌検診における便潜血反応検査及び内視鏡検査の検討
川崎医科大学 公衆衛生学(Ⅱ)
○成本 仁, 草加 勝康, 米田 昌道, 三谷 一裕, 北 昭一
総合臨床医学(Ⅲ)
土木 薫, 赤木 公成, 福嶋 啓祐, 大橋 勝彦

〔特別講演〕 11:10 ~ 12:10

演題 間接~~と~~線不確定所見の実体

岐阜大学放射線医学教室

土井 偉 著

司会 岸 清一郎

〔世話人会〕 12:10 ~ 13:10

〔シンポジウム〕 13:10 ~ 15:10

消化器集検の現況と将来

司会 香川県成人病センター 竹内 義員

島根医科大学第二内科学教室 福本 四郎

シンポジスト

1. 香川県成人病センター 鳥 巢 隆 資
2. 山口労災病院 河 村 奨
3. 川崎医科大学総合臨床医学 福 嶋 啓 祐
4. 広島大学第一内科学教室 春 間 賢
5. 高知県立中央病院消化器科 横 田 哲 夫
6. 徳島大学第二内科学教室 春 藤 譲 治

日 程 表

第一日 2月3日(金) 広島医師会館2階大講堂

14:00	開会の挨拶 会長 梶山 梧朗 来賓祝辞
14:20	シンポジウム(パラメディカルの集い) 「地域胃集検と保健婦の役割」 ——高令者受診勧奨と都市部集検—— 司会 河路 明夫 河村 奨
17:00	

第二日 2月4日(土) 広島医師会館2階大講堂

8:25	開会の挨拶 会長 梶山 梧朗
8:30	一般口演 (I) 1-4 座長 炭田 正孝
9:02	" (II) 5-8 座長 河野 恒文
9:34	" (III) 9-11 座長 日高 徹
9:58	" (IV) 12-14 座長 村井 知也
10:22	" (V) 15-17 座長 丸橋 暉
10:46	" (VI) 18-21 座長 福本 四郎
11:18	特別講演 「北海道における肝臓集検の実績」 福田 守道
11:30	司会 梶山 梧朗
12:30	昼食：世話人会(6階第一会議室)
13:30	シンポジウム 「消化器集検の問題点」 司会 岸 清一郎 隅井 浩治
15:30	閉会の辞

プログラム

第一日 2月3日(金) 14:00~17:00

- 14:00~14:20 開会の挨拶
会長 広島大学第一内科教授 梶山 梧朗
来賓祝辞
広島県知事 竹下 虎之助
広島県医師会長 杉本 純雄

- 14:20~17:00 シンポジウム
司会 広島県環境保健部長 河路 明夫
山口労災病院内科部長 河村 奨
主 題 地域胃集検と保健婦の役割
——高令者受診勧奨と都市部集検——

シンポジスト

- ◆高令者集検◆ 鳥取県溝口町役場 保健婦 絹谷 裕美子
島根県旭町役場 保健婦 馬場 真由美
香川県直島町役場 保健婦 石川 昭子
愛媛県新居浜市保健センター保健婦 石川 恵美子
徳島県美郷村役場 保健婦 佐藤 公子

- ◆都市部集検◆ 岡山県総社市役所保健環境課保健婦 松永 梧代
広島県広島市東保健所 保健婦 古川 智恵
山口県長門市保健センター 保健婦 山根 浩美
高知県高知市役所 保健予防課長 松村 信夫

(シンポジスト打合わせ会
13:00より 3階健康教育室)

第二日 2月4日(土) 8:25~15:30

- 8:25~8:30 開会挨拶
会長 梶山 梧朗

(8:30~9:02) 一般口演 (I) 1-4 座長 炭田 正孝

1. 広島大学における職域胃集団検診の検討

- 広島大学保健管理センター
○吉原 正治, 石下 早苗, 横田 好人, 小田 健司, 重信 卓三,
梶山 梧朗
広島赤十字原爆病院
白川 敏夫

2. 広島県警察職員における胃・大腸癌検診について

- 広島市 舟入香川胃腸科医院
○香川 圭介

3. 山口県における職域集検の実態

- 山口労災病院 内科
○栗屋 信仁, 河村 奨, 篠山 哲郎, 田辺 満彦, 有山 重美,
河野 裕, 稲本 善人
山口大学 第一内科
竹本 忠良

4. 医療機関における事後管理を含めた胃集検

- 川崎医科大学附属病院 保健婦
○小見山京子, 上坂 智子, 田中 智子, 中西美恵子, 松森 由夏,

- 若本 純子, 森 智恵美, 池本真弓美, 善勝 邦香, 福田 久美,
大森 友子

(9:02~9:34) 一般口演 (II) 5-8 座長 河野 恒文

5. 山口県下予防保健協会集検車による胃集検の現況

- 山口大学 放射線医学教室
○田中 陸雄, 中田 太志, 佐々井一彦, 長岡 栄, 片山 節,
三浦 公子, 副島 京子, 吉井 民子, 中西 敬

- 宇部市医師会
藤田 良樹, 末富 一臣, 根木みゆき
徳山中央病院 放射線科
福山 勝, 岡本 安定
岩国市医師会
松浦 康彦

6. 当院における胃X線検査の拾い上げ能についての検討

- 中国労災病院 内科
○北台 靖彦, 忌部 明, 山中 秀彦, 峠 誠司, 岡本 一馬,
松浦寿二郎, 丸橋 暉

7. 胃間接X線検査による示現能の検討

- 直接X線検査との比較——
香川県成人病センター
○堀江 貴浩, 岡久 稔也, 鎌村 真子, 高橋 義典, 溝渕 猛,
山ノ井 昭, 鳥巢 隆資, 坂下 修, 相良 安信, 竹内 義良

8. 受診歴別に見た発見胃癌の特徴

- 山口大学 放射線医学教室
○中木 浩司, 中田 太志, 田中 陸雄, 佐々井一彦, 長岡 栄,
片山 節, 三浦 公子, 副島京子, 中西 敬

[9:34~9:58] 一般口演 (09)9-11 座長 日高 徹

9. 大腸集検受診者に発見された胃癌について

加計町国保病院

○窪 弘之, 小土井淳則, 岸 明宏

広島大学 第一内科

隅井 浩治, 梶山 悟朗

可部保健所

丹下 宗一

10. 大腸内視鏡検査における腸管内清浄度と影響因子に関する検討

川崎医科大学附属病院 保健婦

○松森 由夏, 小見山京子, 上坂 智子, 田中 智子, 中西美恵子,

若本 純子, 森 智恵美, 池本真由美, 善勝 邦香, 福田 久美,

大森 友子

11. Sigmoidoscopy による大腸検診の検討

尾道総合病院 内科

○吉川 浩英, 松井 康功, 川口 稔, 網岡 浩, 三浦 敏夫,

隅井 雅晴, 日野 文明, 正岡 智子, 向田 邦俊, 大林 諒人,

小先 誠也

[9:58~10:22] 一般口演 (09)12-14 座長 村井知也

12. 免疫学的便潜血反応を用いた大腸集検の経験

双三中央病院 内科

○佐野 敬明, 嶋 二郎, 守屋 尚, 町野 英之, 松本 公治,

小根森 元, 末永 健二, 若本 敦雄

- 5 -

13. 戦域大腸集検3年間の成績

広島三菱病院 内科

○川本 雄二, 小山田 健, 稲葉 義郎, 岡部 知洋, 川口 幸子,

島山 昭三

14. 山口県における大腸がん検診の取り組みと精検法についての検討

山口労災病院 内科

○河村 奨, 篠山 哲郎, 有山 重美, 河野 裕, 栗屋 信仁,

稲本 善人,

長門病院 内科

永富 裕二, 天野秀雄

山口大学 第一内科

田邊 若子, 田邊 一郎, 中田 和孝, 竹本 忠良

山口県子防課, 医師会

長崎 哲男, 中尾 健生, 岡沢 寛, 藤本 茂博, 田村 泰三,

安原 高士, 中川 由子

[10:22~10:46] 一般口演 (09)15-17 座長 丸橋 曜

15. 人間ドック受診者における胆のう疾患に関する検討

中国労災病院 健康診断センター

○小川潤一郎, 升味 正光

同 内科

丸橋 曜

16. 人間ドックにおける腹部超音波検診(胆嚢ポリープ・胆石症について)

NTT広島中央健康管理所

○山本 昌弘, 田丸 隆二

- 6 -

17. 精度からみた腹部超音波による集検

山口労災病院 内科

○田辺 満彦, 河村 奨, 篠山 哲郎, 有山 重美, 河野 裕,

稲本 善人, 栗屋 信仁,

山口大学 第一内科

竹本 忠良

[10:46~11:18] 一般口演 (09)18-21 座長 福本 四郎

18. 瀬戸内海巡回診療における腹部超音波検診について

広島県済生会呉病院 内科

○藤井 澄, 山田 勝士, 園田 哲子, 川上 正仁, 小刀 武幸,

西田 寿郎, 讃岐 英子, 難波 龍雄, 角田 幸信

19. 地域集検における腹部超音波検診

川崎医科大学 地域医療学

○福岡 啓祐, 大橋 勝彦

同 保健医療学

土本 薫, 赤木 公成, 志村有佳里, 田村 敏二, 日隈 慎一,

吉岡 公平, 上坂 智子, 中西美恵子, 成木 仁, 三谷 一裕,

北 昭一

同 公衆衛生学

米田 昌道

20. 肝疾患スクリーニングとしてのprocollagen-III-peptide (pIIP)の測定意義

中国労災病院 健康診断センター

○升味 正光, 小川潤一郎

- 7 -

21. 飲酒習慣の肝および膵臓におよぼす影響についての研究

厚生連広島総合病院 内科

○石田 邦夫, 山田 博康, 高科 成良

同 健康管理課

菅原 英範

- 8 -

●11:30~12:30 特別講演

司会 梶山 梧朗

「北海道における肝臓集検の実績」

札幌医科大学 機器診断部 教授 福田 守道

●12:30~13:30 世話人会 (6F 第1会議室)

●13:30~15:30 シンポジウム

司会 徳島大学 第二内科 岸 清一郎

広島大学 第一内科 隅井 浩治

主題 消化器集検の問題点

シンポジスト

胃集検1. 高令者胃癌

香川県成人病センター 島 崇 隆 寛

相 良 安 信

岡 久 稔 也

2. 内視鏡的移動胃精検における潰瘍性病変

高知県立中央病院 消化器科 依 光 幸 夫

横 田 哲 夫

近 藤 肇 二

3. 胃集検における非上皮性腫瘍の問題点

——特に粘膜下腫瘍について——

広島大学 第一内科 徳 毛 健 治

春 間 賢

大腸集検1. 大腸癌集検の現状と問題点

河南医師会中央病院 内科 和 田 久 徳

外科 湯 浅 亮 一

2. 大腸癌集検の問題点

川崎医科大学 保健医療部 成 本 仁

超音波集検1. 超音波集検の問題点

島根医科大学 第二内科 池 田 敏

福 本 四 郎

島 田 宜 浩

2. 胆のう良性疾患の管理

(胆石および胆のうポリープを中心として)

山口労災病院 内科 篠 山 哲 郎

河 村 奨

日 程 表

Table with 2 columns: Day 1 (Feb 9) and Day 2 (Feb 10). It lists the schedule for the symposium, including opening and closing ceremonies, general lectures, and a special lecture.

コメディカルの集い
シンポジウム
「胃集検受診率の向上と複合検診」

第1日(2月9日) 14:05~17:00

司会 岡山県公衆衛生課 高木 寛治
山口労災病院 河村 奨

シンポジスト

- 1. 島根県多伎町役場町民課長 秦野 尚雄
2. 岡山県鴨方町役場保健婦 島田 美津子
3. 広島県神石町役場保健婦 大谷 智恵子
4. 山口県秋芳町役場保健婦 柿村 静子
5. 香川県山本町役場保健婦 高木 徳子
6. 高知県中央保健所春野町駐在保健婦 横山 鹿津子

一 般 口 演

第2日(2月10日) 9:00~11:00

- 一般口演(I) (9:00~9:35) 座長 河野 恒文
1. 山口県下予防保健協会集検車による胃集検の現況
徳山中央病院放射線科 山口大学放射線医学教室
2. 西城町における誕生日健診
3. 岩国市における胃検診の現状
4. 職域における胃集検の成績
5. 一畠域における胃集検を柱とした複合検診
一般口演(II) (9:35~9:49) 座長 中村 良文
6. 消化器総合集検モデル地区における癌死亡に関する検討(第2報)

- 7. 鳥取県における胃集検発見胃癌の追跡調査報告(第2報)
8. 胃集検異常所見の検討
9. 間接X線不確定所見の実態(第2報)
10. 胃癌偽陰性例減少への具体策
一般口演(III) (9:49~10:10) 座長 坂下 修
11. 胃集検にて発見された脾のsolid and cystic tumorの一例
12. 胃集検発見症例について
13. 胃癌における血清ペプシノーゲンI, IIと胃癌検診への応用の試み
14. 岡山県における大腸癌集検の概況

15. 2年逐年受診発見大腸がんの検討

山口労災病院内科 河村 奨・有山 重美・篠山 哲朗・田辺 満彦
河野 裕・竹本 忠良
山口県大腸がん検診対策委員会 水田 実・岡沢 寛・岩本 晋・遠藤 隆二
田村 泰三・森本 茂人
山口県環境保健予防課 長崎 哲男・中尾 健生

16. 大腸癌検診における事後管理について

川崎医大附属病院保健医療部 善勝 邦香・川崎 泰枝・小見山京子・上坂 智子
中西美恵子・若本 純子・森 智恵美・池本 真弓
徳丸 久美・島尾 清美・田中 智子

17. 大腸検診発見癌の受診動向

川崎医大附属病院保健医療部 森 智恵美・川崎 泰枝・小見山京子・田中 智子
中西美恵子・若本 純子・池本 真弓・善勝 邦香
徳丸 久美・島尾 清美・上坂 智子

特別講演

「がん集検の評価と今後のがん予防対策」

第2日(2月10日) 11:00~12:00

大阪がん検診センター所長 大 島 明

司会 北 昭一

- 6 -

- 7 -

胃 集 検 の 会

シンポジウム

「最近の集検による発見消化器癌の動向」

第2日(2月10日) 13:30~15:30

司会 岡山大学第一内科 友田 純

香川県成人病センター 竹内 義貞

1. 最近の地域胃集検による発見胃癌の動向

国立病院四国がんセンター 森田 稔
松山成人病センター 河野 恒文
愛媛大学医学部放射線科 浜本 研

2. 最近の集検による発見消化器癌の動向(胃癌について)

香川県成人病センター 山ノ井 昭・島嶽 隆資

3. 高知県における集検発見胃癌の動向

高知県立中央病院消化器科 依光 幸夫・横田 哲夫
同 外 科 近藤 慶二

4. 大腸集検の現状と問題点

広島大学第一内科 吉原 正治・隅井 浩治

5. 大腸集検の問題点

川崎医科大学保健医療学 成本 仁・北 昭一

6. 腹部超音波集検発見癌の現状

川崎医科大学地域医療学 福岡 啓祐
同 保健医療学 北 昭一

7. 腹部超音波検診における消化器癌の動向

山口労災病院内科 有山 重美・河村 奨

8. 地域住民を対象とした肝臓集検

島根医科大学第二内科 池田 敏・福本 四郎

- 8 -

日 程 表

第1日 2月8日(金)

14:00	開会の辞 会長 竹内 義員
14:05	コ・メディカルの集い 一般口演 (I) 1~6 座長 田中 陸雄
15:00	一般口演 (II) 7~11 座長 河村 奨
16:00	特別講演 I がん対策としての胃集検 田村 浩一 司会 北 昭一
17:00	閉会の辞 会長 竹内 義員

第2日 2月9日(土)

9:00	開会の辞 会長 竹内 義員
9:05	一般口演 1~3 座長 河野 恒文
9:30	一般口演 4~7 座長 岸 清一郎
10:05	一般口演 8~9 座長 春藤 譲治
10:25	一般口演 10~12 座長 隅井 浩治
10:50	
11:00	特別講演 II 大腸癌検診 その方法と評価 西沢 護 司会 竹内 義員
12:00	評議員会
13:00	総 会
13:30	シンポジウム 消化器検診の今日的課題 坂下 修 司会 福本 四郎
15:30	閉会の辞 会長 竹内 義員

コ・メディカルの集い

第1日 (2月8日) 14:00~16:00

- 一般口演 (I) (14:05~15:00) 座長 田中 陸雄
- 当協会における胃集検の現状と問題点について
愛媛県がん予防協会 ○柴 浩司・村上 達夫・遠藤 昌夫・河田 裕
保氣口 博・江戸 勝男
 - 香川県立がん検診センターにおける検診について
香川県立がん検診センター ○木下 正司・小原 直美・福井 勲子・小林 正信
柳原 正・牛田 正善
 - 間接X線写真読影の診断基準による精検方法とフィルム評価について
鳥取県保健事業団 ○佐藤 義賢・徳田 勝一・大久保 誠・野田 清孝
世良田 章・光嶋 洋一
鳥取県健康対策協議会 石飛 誠一・本城 一郎
 - 胃集検に於けるバリウム濃度の検討
~100W/V%と120W/V%~
高知県窪川他9保健所 ○所谷 寿美・三宮 利夫・山崎 勲・氏原 清
田村 勝子・友永 節雄・永吉 一夫・浜田 敏一
正木 敏彦・下司 勲・弘田 圭吾・森田伊都子
宮川 昌子・甲藤 広一
 - 当センター人間ドックにおける腹部超音波検査有所見率の検討
徳島県総合健診センター ○中村 滋子・西口 弘・柳川 弘・溝淵 洋子
高木 美德・春藤 譲治・四宮 秀美・原田 邦彦
 - 発見胃癌からみたX線間接像の検討
一背臥位二重造影第2位斜位像の有用性を中心にして一
島根県環境保健公社 ○加藤 盛誠・細木 裕司・福井 祝雄・松本 泰雄
- 一般口演 (II) (15:00~16:00) 座長 河村 奨
- 須佐町における消化器検診の実態と問題点
山口県須佐町保健婦 ○田村 光子
 - 地区組織と共に胃集検検診を取り組んで
香川県仲多度郡仲南町役場保健婦 ○堀田 文子

9. 胃検診の効果の検討

一普通寺市の実施結果から一
普通寺市民生部保健課保健婦 ○松前美津枝

10. 受診者数増加のために複合検診を試みて

川崎医科大学附属病院保健医療部 ○上坂 智子・鎌田 有美・阿部 裕美・島尾 清美
善勝 邦香・徳丸 久美・森 智恵美・中西美恵子
池本 真弓・川崎 泰枝・小見山京子

11. 大腸精密検査における前処置について

川崎医科大学附属病院保健医療部 ○島尾 清美・川崎 康枝・小見山京子・中西美恵子
森 智恵美・池本 真弓・善勝 邦香・徳丸 久美
阿部 裕美・鎌田 有美・上坂 智子

一 般 口 演

第2日 (2月9日) 9:00~10:50

- 一般口演 (I) (9:05~9:30) 座長 河野 恒文
- 集検間接X線フィルムにおける変形胃の実態
香川県立がん検診センター消化器科 ○手束 一博・大喜田義雄・安田 貢・石原 昭彦
山ノ井 昭・鳥巢 隆資・相良 安信
内科 鹿見島 彰・西條 義昭・宮上 盛史・高橋 義典
井上 博之・坂下 修・竹内 義員
 - 山口県予防保健協会集検車による胃集検の現況
山口大学放射線医学教室 ○野村 敏・田中 陸雄・中田 太志・佐々井一彦
三浦 公子・西川 浩子・本間 穰・丁子 卓
塚本 勝彦・箕田 俊文・市岡 雅子・松井美穂子
中西 敬
宇都市医師会 藤田 良樹・末富 一臣・根木みゆき
徳山中央病院放射線科 福山 勝・片山 節・岡本 安定
岩国市医師会 松浦 康彦
 - 胃集検併用腹部超音波検診
川崎医科大学保健医療学 ○赤木 公成・土本 薫・唐井 一成・日隈 慎一
三宅真理子・成本 仁・三谷 一裕・北 昭一
川崎医科大学地域医療学 福嶋 啓祐
川崎大附属病院保健医療部 吉岡 公平
- 一般口演 (II) (9:30~10:05) 座長 岸 清一郎
- 人間ドックにおける上腹部超音波検査成績の検討
高知検診クリニック ○井上 修志・末広 史恵・坪崎 英治・東川 静代
田岡真紀子・広田 次栄
国立高知病院内科 岸 清一郎
 - 腹部超音波集検における肝腫瘍性病変の事後管理
川崎医科大学保健医療学 ○唐井 一成・三宅真理子・日隈 慎一・赤木 公成
土本 薫・二木 芳人・成本 仁・三谷 一裕
北 昭一
川崎医科大学地域医療学 福嶋 啓祐・相模龍太郎・大橋 勝彦

6. 腹部超音波集検におけるびまん性肝疾患の現状と事後管理
 川崎医科大学保健医療学 ○土本 薫・三宅真理子・日隈 慎一・赤木 公成
 唐井 一成・二本 芳人・成本 仁・三谷 一裕
 北 昭一
 川崎医科大学地域医療学 福嶋 啓祐・相模龍太郎・大橋 勝彦
7. 平成2年時US集検発見肝癌からの教訓
 山口労災病院内科 ○河村 奨・有山 重美・稲本 善人・吉見公三郎
 田辺 満彦・久保 善嗣・篠山 哲郎・竹本 忠良
 “ 検査科 木村 武史・大館 輝男・園山 裕靖・山之内 毅
- 一般口演(Ⅲ) (10:05~10:25) 座長 春藤 謙治
8. 当センターにおける大腸癌集団検診の試み
 徳島県総合健診センター ○春藤 謙治・西口 弘・清洲 洋子・高木 美穂
 四宮 秀美・原田 邦彦
 徳島大学第二内科 日比野真吾・岡久 稔也・岡村 誠介・梶本 宜史
 矢野 充保・和田 哲・伊東 進
 徳島市民病院 辻 泰弘・松村 光博
9. fiberopticを使ったドック大腸検診の成績
 四国中央病院外科 ○原田 徹・古根川龍司・郷 正宏
- 一般口演(Ⅳ) (10:25~10:50) 座長 隅井 浩二
10. 観音寺市大腸癌検診を実施して
 公立三豊総合病院内科 ○大原 昌樹・洲崎隆一郎・広畑 衛・今井 正信
11. 注腸検査の検討
 -大腸集検スクリーニングとしての有用性について-
 高松赤十字病院放射線科 ○竹治 勲・澤田 葉子・黒岡 信幸・黒田 学
12. 高知県における大腸癌検診初年度の検討
 高知県立中央病院外科 ○長田 裕典・武田 功・笹岡 和雄・堀見 忠司
 徳岡 裕文・近藤 慶二
 “ 消化器科 高崎 元宏・上野 邦夫・横田 哲夫・依光 幸夫
 厚生年金高知リハビリテーション病院外科 西山 肇
 岡山大学医学部環境病態研究施設 原田 英雄

-7-

特 別 講 演 I
 「がん対策としての胃集検」
 第1日(2月8日) 16:00~17:00

北海道対がん協会検診センター所長 田 村 浩 一
 司会 北 昭 一

特 別 講 演 II
 「大腸癌検診-その方法と評価」
 第2日(2月9日) 11:00~12:00

東京都がん検診センター所長 西 澤 護
 司会 竹 内 義 員

-9-

シ ン ポ ジ ウ ム
 「消化器検診の今日的課題」
 第2日(2月9日) 13:30~15:30

司会 香川県立がん検診センター内科 坂 下 修
 島根医科大学第二内科 福 本 四 郎

1. 消化器集検の今日的課題
 -直接撮影導入胃集検-
 山口労災病院 ○河村 奨
 山口県予防課 中尾 建生
2. 血清ペプシノーゲンI、IIを用いた地域胃癌検診の試み
 広島大学第一内科 ○渡辺 千之・隅井 浩治
 吉原 正治
3. 地域集検からみた胃癌死亡減少の効果、愛媛県胃癌検診の今日と将来予測
 国立病院四国がんセンター ○森田 稔
 松山成人病センター 河野 恒文
 愛媛大学医学部放射線科 浜本 研
4. 間接X線不確定所見の実際(胃癌について)
 香川県立がん検診センター内科 ○高橋 義典・相良 安信
5. 間接X線写真真陰影の診断基準4、5の追跡調査
 鳥取県健康対策協議会 ○本城 一郎・入江 宏一
 植木 寿一・石飛 誠一
 秋藤 洋一・佐藤 義晃
6. 大腸検診の現状と問題点
 阿南医師会中央病院 ○和田 久徳・湯浅 亮一
 徳島大学医学部第二内科 伊東 進
7. 大腸癌死亡率及び集検受診率からみた高齢者における大腸集検の検討
 川崎医科大学保健医療部 ○成本 仁・北 昭一
8. 消化器集検における超音波検診の問題点
 川崎医科大学地域医療学 ○福 嶋 啓 祐
 川崎医科大学保健医療学 北 昭 一
9. 消化器総合検診の問題点
 島根医科大学第二内科 ○池田 敏・福本 四郎

-10-

日 程 表

第1日 2月7日(金)		第2日 2月8日(土)	
14:00	開会の辞 会長 入江 宏一	8:10	開会の辞 会長 入江 宏一
14:05	コ・メディカルの集い シンポジウム 大腸がん検診の取り組み方 司会 河村 奨 上坂 智子	8:15	一般演題 1~5 座長 石飛 誠一
16:00	特別講演 I 老人保健事業第3次計画と がん検診 講師 石塚 正敏 座長 小竹 久平	8:50	一般演題 6~10 座長 門原三志男
17:00	閉会の辞 会長 入江 宏一	9:25	一般演題 11~14 座長 相良 安信
		9:53	一般演題 15~19 座長 成木 仁
		10:28	一般演題 20~23 座長 池田 敏
		10:55	
		11:00	特別講演 II 大腸集検の現状と諸問題 講師 北條 慶一 座長 入江 宏一
		12:00	評議員会
		13:00	総 会
		13:15	シンポジウム 老健法における施設胃がん検診の役割 — 単検診との比較 — 司会 福本 四郎 中村 良文
		15:15	閉会の辞 会長 入江 宏一

コ・メディカルの集い

シンポジウム

「大腸がん検診の取り組み方」

第1日(2月7日) 14:05~16:00

司 会 山口労災病院成人病検診センター 河村 奨
川崎医科大学附属病院保健医療部 上坂 智子

1. 大腸がん検診の取組み
宇部環境保健所 ○大石 徹
2. 当市における大腸がん検診の現状について
伊予三島市保健環境課保健婦 ○宮内 涼子
3. 高知県土佐市における大腸がん検診のとりくみ
土佐市役所保健課保健主幹 ○矢野 香代
4. モデル地区における大腸癌検診の受診動向
川崎医科大学附属病院保健医療部 ○徳丸 久美・川崎 泰枝・小見山京子・中西美恵子
阿部 裕美・森 智恵美・鎌田 有美・越智 直子
黒川ひとみ・川合 貴子・上坂 智子
5. 鳥取県大腸がん予防モデル事業の実績と今後の課題
鳥取県根雨保健所 ○村本智恵子・井上 聖子・田中 久子
6. 大腸がん検診の取り組み方
— 広島県加計町での場合 —
広島県加計町保健婦 ○栗栖美知子・吉川かつ子
7. 大腸がん検診の現状
(鳥取県環境保健公社) ○鈴木 精子・高木サチ子・畑 佳枝・梶谷 澄子
門脇 春代・中西 順子・榎野 長蔵

特別講演 I

「老人保健事業第3次計画とがん検診」

第1日(2月7日) 16:00~17:00

厚生省大臣官房老人保健福祉部老人保健課課長補佐 石塚 正敏

座 長 鳥取県衛生環境部部長 小竹 久平

一般演題

第2日(2月8日) 8:15~10:55

- 一般演題 1~5 (8:15~8:50) 座長 石飛 誠一(鳥取県立中央病院内科)
1. 山口県下一般住民の予防保健協会集検車による胃集検成績
山口大学放射線医学教室 ○栗屋ひとみ・中田 太志・田中 陸雄・佐々井一彦
長岡 栄・三浦 公子・西川 浩子・金子 隆文
中西 敬
宇部市医師会 藤田 良樹・末富 一臣・根木みゆき
徳山中央病院放射線科 岡本 安定・福山 勝・片山 節
岩国医師会 松浦 康彦
 2. 広島県健康福祉センターにおける胃がん検診の成績と年次推移
広島大学第一内科 ○吉原 正治・隅井 浩治・春間 賢
豊島 仁・竹原 佳彦・田中 信治・島本 丈裕
山本 剛社・隅井 雅晴・田利 晶・梶山 悟朗
広島県健康福祉センター胃がん専門委員会 柚木 宏
 3. 防府市における胃癌の直接検診と間接検診の比較
射野法人防府消化器病センター成人病・集団検診部 ○川野 豊一・長崎 進・松崎 圭祐・三浦 修
戸田 智博・南園 義一
 4. 鳥取県東部地区における胃集検の現況と問題点
鳥取市立病院内科 ○長谷川晴己・松下 公紀・笠原 明宣
 5. 間接X線不確定所見の実態(3)
香川県立がん検診センター内科 ○筒井 朱美・鹿兒島 彰・西條 義昭・宮上 盛史
高橋 義典・井上 博之・坂下 修・竹内 義員
同 消化器科 大喜田義雄・川口 潔・石原 昭彦・山ノ井 昭
鳥巢 隆賢・相良 安信
同 外科 伊達 学・武部 晃司
- 一般演題 6~10 (8:50~9:25) 座長 門原三志男(鳥取大学医学部第二内科)

6. 集検発見胃癌の臨床的検討

一集検発見群と外来発見群の比較一

鳥取大学第二内科 ○門原三志男・吉村 禎二・松本 浩孝・吉川 誠之
浜本 哲郎・川崎 寛中

7. 前年度集検受診歴を有する進行胃癌の検討

鳥取県立中央病院内科 ○吉岡 輝彦・本城 一郎・秋藤 洋一・石飛 誠一
植木 寿一
鳥取県健康対策協議会 米本 哲人・中村 良文・入江 宏一

8. 胃集検後の精検にて胃癌と診断された消息不明例について

香川労災病院内科 ○石田 誠・豊井 圭一・稲田 俊雄・影山 浩

9. 体上部病変に対する間接フィルムの半臥位二重造影第二斜位像と背臥位二重造影第二斜位像の比較検討

山口大学放射線医学教室 ○中田 太志・田中 陸雄・佐々井一彦・長岡 栄
三浦 公子・西川 浩子・金子 隆文・西川 英一
中西 敬
湯田温泉病院 横山 敬
下関市医師会病院放射線科 妹尾 安時・石元 律枝・和田由里子

10. 胃集検発見早期胃癌の内視鏡的治療

鳥根医科大学第二内科 ○足立 経一・福本 四郎・有馬 範行・岸田 慶子
池田 敏

一般演題11~14 (9:25~9:53) 座長 相良 安信 (香川県立がん検診センター)

11. 当センターにおける大腸癌検診の現状

徳島県総合健診センター ○春藤 謙治・西口 弘・溝淵 洋子・三宅 真紀
棚上 彰仁・藤野 和也・佐々木春夫・原田 邦彦

12. 高知県における大腸癌検診の検討

高知県立中央病院外科 ○長田 裕典・武田 功・笹岡 和雄・堀見 忠司
徳岡 裕文・近藤 慶二

高知県立中央病院消化器科
本町クリニック
厚生年金高知リハビリテーション病院
高知外科胃腸病院
岡山大学医学部臨床検査医学

高崎 元宏・依光 幸夫
下保登喜夫
西山 登
高橋 晃
原田 英雄

13. 大腸癌危険性例の検討

山口労災病院内科 ○河村 奨・稲本 善人・有山 重美・相部 剛
田辺 満彦・篠山 哲郎・竹本 忠良
山口県医師会 岡沢 寛・水田 実・森本 茂人・田村 泰三
浜田 克裕・為近 義夫・藤本 茂博・中田 太志
山口県予防課 中島 正治・中尾 建生

14. 大腸ポリープの管理状況とその問題点

川崎医科大学附属病院保健医療部 ○鎌田 有美・川崎 泰枝・小見山京子・中西美恵子
阿部 裕美・森 智恵美・徳丸 久美・越智 直子
黒川ひとみ・川合 貴子・上坂 智子

一般演題15~19 (9:53~10:28)

座長 成本 仁 (川崎医科大学保健医療学)

15. 人間ドック腹部超音波検査における脂肪肝の検討

徳島県総合健診センター検査室 ○岡山 由美・松元 貴子・中村 滋子・杉本 明美
佐藤真由美・柳川 弘

16. 地域における腹部超音波集検のシステム化に関する検討

川崎医科大学地域医学 ○福岡 啓祐・大橋 勝彦
同 保健医療学 土本 薫・赤木 公成・日限 慎一・三宅真理子
唐井 一成・武田 直人・松田 誠治・成本 仁
三谷 一裕・北 昭一
同 公衆衛生学(II) 木村 恵

17. 検診で発見された腹部 Incidentalomaの4例

山口労災病院内科 ○有山 重美・河村 奨・田辺 満彦・稲本 善人
篠山 哲郎・相部 剛・峯信 一郎・竹本 忠良

18. 超音波検診で発見された脾腫瘍について

川崎医科大学保健医療学 ○唐井 一成・土本 薫・赤木 公成・日限 慎一
三宅真理子・武田 直人・松田 誠治・成本 仁
三谷 一裕・北 昭一
同 地域医学 福岡 啓祐
同 公衆衛生学(II) 木村 恵

19. 早期脾腫瘍検出のProspective Study

岡山大学医学部臨床検査医学講座 ○松本 秀次・越智 浩二・三宅 啓文・妹尾 敏伸
田中淳太郎・原田 英雄

一般演題20~23 (10:28~10:55) 座長 池田 敏 (鳥根医科大学第二内科)

20. 超音波集団検診で発見された出血性腎嚢胞の1例

川崎医科大学保健医療学 ○武田 直人・松田 誠治・唐井 一成・赤木 公成
日限 慎一・土本 薫・成本 仁・北 昭一
同 公衆衛生学(II) 木村 恵
同 地域医学 福岡 啓祐

21. 入院ドックにおける腹部超音波検査の成績

松山成人病センター ○小川 泰史・河野 恒文

22. 胆嚢ポリープ(有茎隆起性病変)の事後管理について

川崎医科大学附属病院保健医療学 ○松田 誠治・武田 直人・唐井 一成・赤木 公成
三宅真理子・日限 慎一・土本 薫・成本 仁
三谷 一裕・北 昭一
同 公衆衛生学(II) 木村 恵
同 地域医学 福岡 啓祐

23. 地域住民検診例におけるHCV抗体と肝機能検査の関係

鳥根医科大学第二内科 ○池田 敏・有馬 範行・足立 経一・岸田 慶子
福本 四郎

特別講演 II

「大腸集検の現状と諸問題」

第2日(2月8日)11:00~12:00

国立がんセンター内視鏡部消化器科医長 北 條 慶 一

座長 鳥取県健康対策協議会会長 入江 宏 一

シンポジウム
「老健法における施設胃がん検診の役割」
－車検診との比較－

第2日（2月8日）13：15～15：15

司 会 島根医科大学第二内科 福 本 四 郎
鳥取県岩美病院 中 村 良 文

1. 島根県における胃集団検診の現状
島根県成人病予防センター ○中村 洋三
島根医科大学第二内科 福本 四郎
2. 老健法における施設胃がん検診の役割
－岡山県K町の車検診の成績より－
川崎医科大学保健医療学 ○赤木 公成・北 昭一
3. 老健法による施設検診の実態
香川県立がん検診センター ○相良 安信・西條 義昭
4. 鳥取市における車検診と施設検診の比較
鳥取県健康対策協議会 ○秋藤 洋一・米本 哲人
入江 宏一
鳥取市保健センター 山中八寿子
5. 広島市における胃がん検診成績
広島県対協健康管理センター ○小川潤一郎
6. 施設胃癌検診の役割－車検診との比較－
松山赤十字病院胃腸センター ○洲上 忠彦
7. 医療機関委託直接撮影胃検診
－間接撮影との比較－
山口労災病院内科 ○河村 奨

－ 13 －

山口県医師会
山口県環境保健部

岡沢 寛
中島 正治

－ 14 －

日 程 表

第1日 2月12日(金)
(グリーンホール)

14:00	開会の辞 会長 近藤 慶二
14:05	コ・メディカルの集い シンポジウム 消化器集団検診の現場からの声 司会 依光 幸夫 谷 聡子
16:00	特別講演Ⅰ 老人保健法に基づくがん検診について 講師 六本木 義光 座長 岸 清一郎
17:00	閉会の辞 会長 近藤 慶二

第2日 2月13日(土)
(グリーンホール)

8:55	開会の辞 会長 近藤 慶二
9:00	一般演題 胃1 1~3 座長 鳥巢 隆資
9:19	一般演題 胃2 4~7 座長 森田 稔
9:44	一般演題 大腸 8~11 座長 吉原 正治
10:09	一般演題 超音波1 12~15 座長 旭田 敏
10:34	一般演題 超音波2 16~19 座長 河村 英
10:58	
11:00	特別講演Ⅱ 大腸癌集検について 講師 久道 茂 座長 北 昭一
12:00	評議員会(三翠園ホテル)
13:10	総 会
13:30	シンポジウム 消化器集検における施設検診の効果 司会 竹内 義員 河野 恒文
15:20	閉会の辞 会長 近藤 慶二

コ・メディカルの集い
シンポジウム

「消化器集団検診の現場からの声」

第1日(2月12日) 14:05~16:00

司会 高知県立中央病院消化器科 依光 幸夫
高知県保健環境部医務課 谷 聡子

1. 胃がん検診における要精検者追跡調査
香川県立がん検診センター ○五嶋五十鈴
2. 高知県の胃がん検診の現状と問題点について
高知県須崎保健所 ○弘田 圭吾
3. 寄島町における大腸がん検診のとりくみ
岡山県寄島町役場保健婦 ○長安つた子・伊藤三保子
4. 職域における大腸がん検診の取組み
島根県総務部職員課 ○森本 幸子
5. 山口県大腸がんモデル検診について
山口県環境保健部健康増進課 ○中尾 健生
6. 大腸癌検診精検受診者の背景および精密検査の受容度を調査して
川崎医科大学附属病院保健医療部 ○上坂 智子

特別講演Ⅰ

「老人保健法に基づくがん検診について」

第1日(2月12日) 16:00~17:00

厚生省老人保健福祉局老人保健課長補佐 六本木 義光
座長 国立高知病院院長 岸 清一郎

一般演題

第2日(2月13日) 9:00~10:58

胃1 演題1~3(9:00~9:18)

座長 鳥巢 隆資(香川県立がん検診センター)

1. 検診におけるスクリーニング検査としてのペプシノーゲンⅠ、Ⅱの検討
国立高知病院内科 ○林 亨・植村 隆信・手塚 一博
猪井 順也・井上 修志・岸 清一郎
グリーンハウス 木村 文夫・坂本 康紀
2. 胃集検の場における圧迫撮影の経験
山口大学医学部 ○岸本 佳子・中田 太志・田中 陸雄
放射線医学教室 佐々井一彦・長岡 栄・金子 隆文
西川 英一・有田 剛・吉井 民子
河村 光俊・山本千恵子・中西 敬
下関市医師会病院放射線部 妹尾 安時・石元 律枝・和田由理子
3. 山口県予防保険協会集検車による胃集検の現況
山口大学医学部 ○戸次 純一・中田 太志・田中 陸雄
放射線医学教室 佐々井一彦・長岡 栄・三浦 公子
金子 隆文・西川 英一・有田 剛
河村 光俊・中村 文美・中西 敬
徳山中央病院放射線科 岡本 安定・片山 節・本城 和光
山口県医師会 松浦 康彦・藤田 良樹・横山 敬
末富 一臣・福山 勝・根木みゆき

胃2 演題4~7(9:19~9:48)

- 座長 森田 稔(国立病院四国がんセンター内科)
4. 逐年受診に於ける進行癌所見の画像の比較検討
財団法人愛媛県がん予防協会 ○村上 達夫・江戸 勝男・遠藤 昌夫
柴 浩司・河田 裕・保気口 博
濱田 覚弘

5. 集検発見胃癌と外来発見胃癌の比較検討
吉中胃腸科医院 ○吉中 正人・益本 宗

6. 消化器総合集検実施地区の胃癌死亡の状況
島根医科大学第2内科 ○池田 敏・有馬 範行・足立 経一
福本 四郎

7. 高齢者集検発見胃癌の検討
香川県立がん検診センター内科 ○岡本 博司・筒井 朱美・川口 潔
久保謙一郎・鹿兒島 彰・西條 義昭
石原 昭彦・高橋 義典・山ノ井 昭
井上 博之・坂下 修・相良 安信
鳥巢 隆資・竹内 教員
同 外科 伊達 学・武部 晃司

大腸 演題8~11(9:44~10:08)

- 座長 吉原 正治(広島大学第一内科)
8. 当協会における大腸検診(便潜血)の現状 第一報
財団法人愛媛県がん予防協会 ○森川 東・安井 利裕・沖 昭一
二宮みどり・西岡 敬子・中田 美生
高岡 初男・佐伯 健二・深田 千尋

9. 地域集検発見大腸癌の臨床的特徴

- 広島大学第一内科 ○山本 剛莊・吉原 正治・隅井 浩治
広島大学保健管理センター 春間 賢・田中 信治・山中 秀彦
赤木 盛久・井上 和彦・島本 文裕
岡本 志朗・隅井 雅晴・田利 晶
梶山 悟朗・重信 卓三

10. 受診歴からみた集検発見大腸癌

- 一 山口県大腸癌検診5年間の成績(2) 一
山口労災病院消化器内科 ○河村 奨・福本 善人・有山 重美
相部 剛・田辺 満彦・篠山 哲郎
竹本 忠良

11. 大腸がん検診・要精検者の大腸腫瘍と血清脂質に関する検討

- 徳島県総合健診センター ○石井 敬博・藤野 和也・河野 律子
高橋 雅子・三宅 真紀・宮上 盛史
佐々木春夫・原田 邦彦

超音波1 演題12~15(10:09~10:33)

- 座長 池田 敏(島根医科大学第二内科)
12. 入院ドックの超音波検査を契機に発見された非機能性脾島腫瘍の一例
川崎医科大学保健医療学 ○田辺 亘・矢野 景子・松田 誠治
武田 直人・唐井 一成・三宅真理子
日隈 慎一・赤木 公成・成本 仁
北 昭一
同 公衆衛生学(Ⅱ) 木村 恵

13. 腹部超音波検査にて発見された腎細胞癌および副腎腫瘍の検討
国立高知病院内科 ○岸 清一郎・林 亨・手塚 一博
猪井 順也・井上 修志
高知検診クリニック 坪崎 英治

14. 超音波集団検診にて発見された肝左葉外側欠損症の1例
川崎医科大学地域医療学 ○大元 謙治・福嶋 啓祐・藤田 涉
富山 毅・大橋 勝彦
同 保健医療学 唐井 一成・赤木 公成・武田 直人
日隈 慎一・土本 薫・三宅真理子
松田 誠治・田辺 亘・矢野 景子
江幡 淳・成本 仁・北 昭一
同 公衆衛生学Ⅰ 木村 恵

15. 腹部超音波検査にて発見された胆嚢疾患(特に胆嚢結石・胆嚢ポリープについて)の現況
社会保険広島市民病院 ○長島不二夫・杉原 徹・森近 豊
健康管理センター 赤木 笑入

超音波2 演題16~19(10:34~10:58)

- 座長 河村 奨(山口労災病院内科)
16. 人間ドックにおける肝機能異常の検討
済生会呉総合病院内科 ○改永 敏之・國田 哲子・川本 雄二
立田 繁比・古津賀勝利・山田 勝士

17. 当院における超音波検診の現状
特に逐年検診者の肝SOL(嚢胞を除く)について
香川労災病院 ○石田 誠・稲田 俊雄・壺井 圭一

- 影山 浩
18. 地域住民を対象とした肝癌high risk group 検診
山口労災病院内科 ○河村 奨・有山 重美・福本 善人
相部 剛・田辺 満彦・篠山 哲郎
本多 直美・松村 康博・竹本 忠良

19. 腹部超音波集団検診5年間のまとめ

- 川崎医科大学地域医療学 ○福嶋 啓祐・大元 謙治・大橋 勝彦
同 保健医療学 赤木 公成・日隈 慎一・三宅真理子
唐井 一成・武田 直人・松田 誠治
矢野 景子・田辺 亘・江幡 淳
成本 仁・北 昭一
同 公衆衛生学Ⅰ 木村 恵
草加病院 土本 薫

特別講演Ⅱ
「大腸癌集検について」

第2日(2月13日) 11:00~12:00

東北大学医学部公衆衛生学教授 久道 茂
座長 川崎医科大学保健医学教授 北 昭一

- 12 -

シンポジウム

「消化器集検における施設検診の効果」

第2日(2月13日) 13:30~15:20

司会 香川県立がん検診センター所長 竹内 義典
松山成人病センター 河野 恒文

1. 土佐山村における施設検診

土佐山村僻地診療所 ○野村 正孝
本山町立横北中央病院内科 溝渕 和久

2. 防府市における胃癌直接検診と間接検診による発見胃癌の検討

財団法人防府消化器病セン ○松崎 圭祐・長崎 進・川野 豊一
ター成人病・集団検診部 三浦 修・戸田 智博・南園 義一

3. 老健法による施設検診の実態

香川県立がん検診センター内科 ○西條 義昭・岡本 博司・山ノ井 昭

4. 当院人間ドックにおける大腸内視鏡検査の成績に関する検当

ー 施設検診の立場から ー

川崎医科大学保健医療部 ○松田 誠治・田辺 亘・矢野 景子
武田 直人・唐井 一成・三宅真理子
日隈 慎一・赤木 公成・成木 仁
北 昭一

5. 高知県における大腸集団検診モデル事業の効果

ー 外来発見大腸癌との比較検討 ー

高知県立中央病院外科 ○徳岡 裕文・長田 裕典
同 消化器科 依光 幸夫
横田胃腸科内科 横田 哲夫

- 18 -

6. 腹部超音波による消化器集検

山口労災病院内科 ○有山 重美・河村 葵

- 14 -

日 程 表

第1日 2月18日(金)

第2日 2月19日(土)

<p>14:00 開会の辞</p> <p>コ・メディカルの集い シンポジウム 『胃集検の新しい展開』 司会 成本 仁 中田 太志</p> <p>16:00 特別講演Ⅰ 『癌の告知』 講師 R. Plott 座長 竹内 義員</p> <p>17:00</p>	<p>8:30 開会の辞</p> <p>集検学会・シンポジウム 『大腸集検における 精検機関の問題点』 司会 隅井 浩治 田中 陸雄</p> <p>10:30 特別講演Ⅱ 『肝癌早期診断の 戦略論』 講師 沖田 極 座長 北 昭一</p> <p>11:30 評議員会</p> <p>12:30 総 会</p> <p>13:00 座長 稲本 善人 一般課題 座長 鳥巢 隆資 座長 福嶋 啓祐</p> <p>14:20 閉会の辞</p> <p>【山陰線 米子行き】 湯田温泉発 特急おき4号 11:59 特急おき6号 15:00</p> <p>【新幹線 岡山行き】 小郡発 12:44 14:57 12:57 15:14 14:14 15:29 14:44 16:05</p>
--	---

コ・メディカルの集い
シンポジウム

第1日(2月18日) 14:00 ~ 16:00

『胃集検の新しい展開』

司会 川崎医科大学保健医療学教室 成本 仁
山口大学放射線医学教室 中田 太志

- 健康診査実態把握調査結果について
鳥取県衛生環境部健康対策課 中西 紀夫、野田 広、
安治 康子、山本 伸一
- 精検受診率100%をめざして一事後管理を含めた胃集検一
川崎医科大学保健医療学教室 井上 雅子、上坂 智子
- 追加撮影の効果一流し観察と圧迫法一
山口大学放射線医学教室 田中 陸雄、中田 太志
- 上部消化管集団検診へのI,I/TV-DRの導入
広島原爆障害対策協議会
健康管理センター 堀之内喜子、都築 美樹、
高山 謹二、伊藤千賀子
- 血清ペプシノーゲンⅠ、Ⅱの胃検診への応用について
国立高知病院 内科 林 亨、井上 修志、
岸 清一郎
グリーンハウス 木村 文夫
- 内視鏡を利用した集検
山口労災病院 内科 田辺 満彦、河村 奨

特 別 講 演 Ⅰ

第1日(2月18日) 16:00 ~ 17:00

『癌の告知』

講 師 サビエル記念聖堂神父 Rudolf Plott
山口大学教養部外国人教師

座 長 香川県立がん検診センター所長 竹内 義員

シ ン ポ ジ ウ ム

第2日(2月19日) 8:30 ~ 10:30

『大腸集検における
精検機関の問題点』

司会 広島大学第一内科 隅井 浩治
山口大学放射線医学教室 田中 陸雄

- 精検方法の現状
山口労災病院 内科 稲本 善人、河村 奨
- 有所見率の問題点
鳥取県健康対策協議会 本城 一郎、米本 哲人、
入江 宏一
- 受診率の問題点
徳島県総合検診センター 石井 敏博、原田 邦彦
- 精度管理上の問題点
広島大学第一内科 吉原 正治、隅井 浩治
- 精検施設の問題点
香川県立がん検診センター 石原 昭彦、相良 安信
- 診療所における大腸内視鏡検査の問題点
松山市 浦岡胃腸クリニック 浦岡 正義

特別講演Ⅱ

第2日(2月19日) 10:30~11:30

『肝癌早期診断の戦略論』

講師 山口大学医学部第一内科教授 沖田 極
座長 川崎医科大学保健医療学教室教授 北 昭一

一般演題

第2日(2月19日) 13:00~14:17

- I. 大腸 13:00~13:21 座長 種本 善人
1. 大腸腫瘍の分布に関する検討
徳島県総合検診センター 溝淵 洋子、石井 敏博、松山まどか、高橋 雅子、福田 直子、宮上 盛史、佐々木春夫、原田 邦彦
2. 藤原町における大腸癌検診5年間の検討一
国保藤原診療所 平野 淳
高知県立中央病院消化器科 依光 幸夫、高橋 元宏
外科 徳岡 裕文、武田 功、長田 裕典
3. 大腸がん検診、従来(1日)法と老健(2日)法の比較検討
徳島県総合検診センター 石井 敏博、松山まどか、高橋 雅子、溝淵 洋子、福田 直子、宮上 盛史、佐々木春夫、原田 邦彦
II. 胃 13:21~13:56 座長 鳥巢 隆資
4. 鳥取県における胃集検発見胃癌の追跡調査報告(第3報)
鳥取県健康対策協議会 尾崎 真人、本城 一郎、秋藤 洋一、石飛 誠一、植木 寿一、藤原 義夫、中村 良文、米本 哲人、入江 宏一
5. 受診歴と発見胃癌
香川県立がん検診センター内科 久保謙一郎、美馬 秀俊、岡本 博司、益田 國光、川口 潔、鹿見島 彰、石原 昭彦、高橋 義典、山ノ井 昭、井上 博之、鳥巢 隆資、相良 安信、坂下 修、竹内 義貞、# 外科 伊達 学、武部 晃司
6. 市個別胃検診にて発見された十二指腸カルチノイドの1例
山陰労災病院 内科 謝花 典子、加藤 浩明、松永 典子、田中 弘、中岡 明久、野坂 康雄、堀本 幸広、古坂 治彦、三浦 邦彦

- 7. 山口県予防保健協会集検車による胃集検の現況
山口大学放射線医学教室 小笠原伸彦、中田 太志、田中 隆雄、佐々井一彦、長岡 栄、金子 隆文、西川 英一、有田 剛、原 昭彦、河村 光俊、岡崎 肇、中西 敬、徳山中央病院放射線科 岡本 安定、片山 節、本城 和光、山口県医師会 松浦 康彦、藤田 良樹、横山 敬、末富 一臣、福山 勝、根木みゆき
8. 当院における胃集検11年間の成績
一地域集検および隣域検診の成績から一
川崎医科大学保健医療学 松田 敏治、唐井 一成、武田 直人、木村 恵、三宅真理子、日隈 慎一、赤木 公成、井手口清治、成本 仁、北 昭一、草加病院 土本 薫
II. 肝、胆、膵 13:56~14:17 座長 福嶋 啓祐
9. 腹部超音波集検の精度管理について
川崎医科大学地域医療学 福嶋 啓祐、山本 亮輔、大橋 勝彦、# 保健医療学 赤木 公成、日隈 慎一、三宅真理子、武田 直人、井手口清治、唐井 一成、木村 恵、松田 誠治、成本 仁、北 昭一、# 内科消化器I部門 大元 謙治、草加病院 土本 薫
10. 効率良い腹部超音波集検の実施法について
川崎医科大学保健医療学 唐井 一成、松田 誠治、木村 恵、日隈 慎一、武田 直人、三宅真理子、赤木 公成、井手口清治、成本 仁、北 昭一、# 地域医療学 山本 亮輔、福嶋 啓祐、大橋 勝彦
11. 腹部超音波集検発見肝癌8例の検討
川崎医科大学保健医療学 井手口清治、唐井 一成、木村 恵、松田 誠治、武田 直人、赤木 公成、日隈 慎一、成本 仁、北 昭一、# 地域医療学 福嶋 啓祐

学会開催の思い出

松山赤十字病院名誉院長 瀧上忠彦

学会事務局より50年の記念誌を発行するので何か書けとの依頼あり。学会で会長をしたとの覚えはあったのですがどのような内容であったのか全く記憶にありませんでした。手元に資料はなく学会事務局よりそのプログラムのコピーを送っていただきました。第25回で日付は平成7年2月で25年前でした。内容を見て懐かしさがこみ上げてきました。特別講演に多田正大先生、北川晋二先生、西澤護先生お招きし、それぞれの演題は「大腸がん検診の現況と課題」、「胃集検の現況と課題」、「消化器検診の過去、現在、未来」でした。シンポジウムは「総合（多項目）消化器がん検診の有り方」で司会は河村奨先生、池田敏先生にお願いしていました。これらは今も変わらぬテーマであり、この25年間でどれだけ進歩したのでしょうか。その議論は現役の先生方にお任せします。私が思う問題点は受診率の低さにあると思います。今や高齢化が進み2人に1人ががんに罹病し3人に1人ががんで死亡する時代となりました。画像診断も精密度を増していますが、血液1滴、尿、毛髪でがんを診断する研究も進んでいます。誰でもが気楽に受けられる検診法の確立、普及が待たれます。

瀧上忠彦先生は、この50周年記念誌のご玉稿を賜った後にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。なお、校正は蔵原晃一先生にお願いいたしました。

日 程 表

第1日 2月17日(金)

15:00	開会の辞
	特別講演Ⅰ 「大腸がん検診の現況と課題」 講師 多田 正大 座長 瀧上 忠彦
16:00	特別講演Ⅱ 「胃集検の現況と課題」 講師 北川 晋二 座長 竹内 義員
17:00	幹事会
18:00	

展示コーナー	
テーマ「大腸がん検診のすべて」	
日時：2月17日14:00 ～2月18日16:00	
場所：2階第1研修室	

第2日 2月18日(土)

9:00	開会の辞
	一般演題 座長 蔵原 一郎 座長 中田 太志 座長 森田 稔 座長 村田 繁利 座長 依光 幸夫 座長 坂下 修
11:41	評議員会
12:40	総会
13:00	特別講演Ⅲ 「消化器集検の過去・現在・未来」 講師 西澤 護 座長 北 昭一
14:00	シンポジウム 「総合(多項目)消化器がん検診の有り方」 司会 河村 奨 池田 敏
15:15	閉会の辞

特 別 講 演

1. 特別講演Ⅰ 第1日(2月17日) 15:00~18:00

「大腸がん検診の現況と課題」

講 師 京都第一赤十字病院消化器科部長 多田 正大
座 長 松山赤十字病院第1消化器科部長 瀧上 忠彦

2. 特別講演Ⅱ 第1日(2月17日) 16:00~17:00

「胃集検の現況と課題」

講 師 福岡大学放射線科講師 北川 晋二
座 長 香川県立がん検診センター所長 竹内 義員

3. 特別講演Ⅲ 第2日(2月18日) 13:00~14:00

「消化器集検の過去・現在・未来」

講 師 東京都がん検診センター所長 西澤 護
座 長 川崎医科大学保健医療学教授 北 昭一

シ ン ポ ジ ウ ム

第2日(2月18日) 14:00~15:15

「総合(多項目)消化器がん検診の有り方」

司会 山口労災病院副院長 河村 奨
岡山大学公衆衛生学助教授 池田 敏

1. 当センターにおける総合消化器がん検診の現況と問題点

香川県立がん検診センター消化器科 ○山ノ井 昭
鳥 巢 隆 資

2. 総合(多項目)消化器がん検診の有り方

川崎医科大学保健医療学 ○唐 井 一 成
北 昭 一

3. 消化器総合検診の検討

山口労災病院消化器内科 ○有 山 重 美
河 村 奨

4. 総合消化器がん検診の在り方

——島根県A町における多項目検診から——
島根医科大学第2内科 ○有 馬 範 行
岡山大学公衆衛生学 池 田 敏

一 般 演 題

1. 胃1 9:00~9:28 座長 蔵原 一郎

1. 胃集検における高濃度バリウム(120w/v% F社製)の検討

財団法人愛媛県がん予防協会 ○保気口 博、江戸 勝男、村上 達夫、
遠藤 昌夫、柴 浩司、河田 裕、
濱田 覚弘、河野 恒文

2. 間接X線における追加撮影の有用性

徳島県総合健診センター ○宮上 盛史、北田 浩三、松山まどか、
高橋 雅子、石井 敏博、福田 直子、
佐々木春夫、相良 安信
徳島大学医学部第二内科 本田 浩仁、清水 一郎、伊東 進

3. 胃癌検診追跡調査について

J A 愛媛厚生連健診センター ○三宅 隆、遠山 景子、佐藤 哲也、
木村 浩之、玉井 正保、堀江民三良、
西尾 秀博、山下 良雄、新山 博彬、
飯尾 篤
蔵原放射線科 蔵原 一郎

4. 総合健(検)診における胃集検受診状況と受診勧奨の問題点

川崎医科大学保健医療部 ○小田草香織、案納 智佐、越智 直子、
難波 恭子、小田 裕美、三宅美紀子、
中西美恵子、上坂 智子

II. 胃 2 9:28~9:56

座長 中田 太志

5. M町における胃がん検診の実態

山口労災病院消化器内科 ○河村 奨、稲本 善人、有山 重美、
相部 剛、田辺 満彦、篠山 哲郎

長門総合病院内科 永富 裕二

山口県医師会 岡沢 寛、中村 克衛

6. 予防保健協会業検車による胃集検の現況

山口大学医学部放射線医学教室 ○吉松 昭和、中田 太志、田中 陸男、
佐々井一彦、有田 剛、原 昭彦、
河村 光俊、箕田 俊文、松永 尚文

下関市立中央病院放射線科 長岡 栄、西川 英一

済生会下関総合病院放射線科 金子 隆文、中西 敬

山口県医師会 岡本 安定、松浦 康彦、藤田 良樹、
横山 敬、末富 一臣、福山 勝、
根本みゆき、片山 節

7. 米子市における施設胃癌検診の現状

山陰労災病院内科 ○謝花 典子、川上 万里、加藤 浩明、
西向 栄治、徳本 明秀、中岡 明久、
岸本 幸広、古城 治彦、三浦 邦彦

クリ内科 栗原 達郎

8. 検診に対する住民の意識調査結果について

広島県地域保健対策協議会住民がん検診及び基本健康診査専門委員会

広島大学第一内科 ○吉原 正治、隅井 浩治、春間 賢、
梶山 梧郎

広島県医師会 桑原 正彦

安佐市民病院内科 日高 徹

加計町立病院 岸 明弘

- 6 -

III. 食道・胃 3 9:56~10:24

座長 森田 稔

9. 高危険度食道がん検診

——アルコール依存症を対象として——

山口労災病院消化器内科 ○河村 奨、有山 重美、稲本 善人、
相部 剛、田辺 満彦、篠山 哲郎

10. 残胃に対する胃集検の現状

山口大学医学部放射線医学教室 ○中田 太志、田中 陸男、佐々井一彦、
有田 剛、原 昭彦、河村 光俊、
箕田 俊文、安井 正泰、松永 尚文

徳山医師会病院放射線部 木谷猪佐夫、三浦 優、森田 明子、
井本 博和

11. 職域胃検診におけるX線・血清ペプシノゲン併用の試み

——X線像における慢性胃炎所見を重視して——

高知県立中央病院消化器科 ○依光 幸夫、高松 正宏、高崎 元宏、
菅野 尚

高知県総合保健協会 近藤 慶二、横田 哲夫

高知県立中央病院外科 徳岡 裕文、西岡 豊、長田 裕典、
武田 功

同 放射線科 森田 莊二郎

12. 精検施設よりみた胃集検発見胃癌の特徴

松山赤十字病院消化器科 ○佐藤 茂、淵上 忠彦、平川 雅彦、
堺 勇二、平川 克哉、井廻 宏、
飯塚 佳彦、天野 角哉、田畑 寿彦、
佐藤 正代、永江 隆

- 7 -

IV. 超音波集検 10:24~10:45

座長 村田 繁利

13. 愛媛厚生連における超音波集検発見癌の現況

J A 愛媛厚生連検診センター ○佐藤 哲也、飯尾 篤

松山赤十字病院放射線科 村田 繁利、白石 直孝

愛媛大学放射線科 濱本 研

14. 超音波集検発見肝癌の特徴

福岡医院 ○福岡 啓祐

川崎医科大学保健医療学 唐井 一成、松田 誠治、日隈 慎一、
赤木 公成、武田 直人、成本 仁、
北 昭一

川崎医科大学地域医療学 山本 亮輔、大橋 勝彦

川崎医科大学消化器(I)内科 井手口清治、大元 謙治、山本晋一郎

15. 地域集団検診における肝臓集団検診システム化についての検討：第1報

川崎医科大学保健医療学 ○唐井 一成、松田 誠治、日隈 慎一、
赤木 公成、武田 直人、成本 仁、
北 昭一

川崎医科大学消化器(I)内科 井手口清治

福岡医院 福岡 啓祐

- 8 -

V. 大腸 1 10:45~11:13

座長 依光 幸夫

16. 大腸癌検診が契機となって内視鏡的に確認した蠕虫症の1例

勝山病院 ○運岡 英明、前田 忠士、竹内 義郎

岡山大学中央検査部 越智 浩二

17. 大腸がん検診における要精検者追跡調査

香川県立がん検診センター ○五嶋五十鈴

18. S職域でのOC-ヘモキャッチの使用経験

山口労災病院消化器内科 ○河村 奨、稲本 善人、有山 重美、
相部 剛、田辺 満彦、篠山 哲郎

山口県医師会 富士 匡、藤本 茂博

19. 精検施設からみた便潜血陽性者の検討

松山赤十字病院消化器科 ○天野 角哉、淵上 忠彦、平川 雅彦、
堺 勇二、平川 克哉、井廻 宏、
飯塚 佳彦、佐藤 茂、田畑 寿彦、
佐藤 正代、永江 隆

- 9 -

VI. 大腸2 11:13~11:41

座長 坂下 修

20. 観音寺市大腸癌検診を実施して

三豊総合病院内科 ○南木 伸基、大原 昌樹、池田 宣聖、
洲脇輝一郎
観音寺市三豊郡医師会立検診センター 外園 正彰、今川 省

21. 鳥取県における集検発見大腸癌の追跡調査

鳥取県健康対策協議会 ○本城 一郎、石飛 誠一、秋藤 洋一、
加藤 一吉、米本 哲人、入江 宏一

22. 大腸癌検診の有用性

香川県立がん検診センター消化器科 ○美馬 秀俊、堀北 実、林 亨、
鎌村 真子、石原 昭彦、山ノ井 昭、
鳥巢 隆資
内科 加藤 寛正、阿達 由佳、益田 園光、
鹿児島 彰、高橋 義典、井上 博之、
坂下 修、竹内 義員

23. 大腸がん検診による発見大腸がんの性状について

——検診発見がんと外来発見がんの比較——

川崎医科大学保健医療学 ○日隈 慎一、松田 誠治、三宅真理子、
武田 直人、赤木 公成、唐井 一成、
成本 仁、北 昭一

日 程 表

第1日 2月2日(金)

第2日 2月3日(土)

8:50	開会の辞 会長 佐藤 方則	8:50	開会の辞 会長 佐藤 方則
9:00	シンポジウムⅡ 「胃がん施設検診の現状と問題点」 司会 鳥巢 隆資 石飛 誠一	9:00	シンポジウムⅡ 「胃がん施設検診の現状と問題点」 司会 鳥巢 隆資 石飛 誠一
10:50		10:50	
11:00	特別講演Ⅱ 「血清ペプシノゲンの胃がんスクリーニングとしての評価」 講師 三木 一正 司会 佐藤 方則	11:00	特別講演Ⅱ 「血清ペプシノゲンの胃がんスクリーニングとしての評価」 講師 三木 一正 司会 佐藤 方則
12:00	評議員会(401)	12:00	評議員会(401)
12:40	総 会	12:40	総 会
13:00	一般演題 座長 三浦 邦彦 座長 坂下 修 座長 吉原 正治 座長 有馬 範行	13:00	一般演題 座長 三浦 邦彦 座長 坂下 修 座長 吉原 正治 座長 有馬 範行
14:00	開会の辞 会長 佐藤 方則 シンポジウムⅠ 「大腸癌検診精検受診率向上のために」 司会 佐々木宏之 徳若 光代	14:52	閉会の辞 会長 佐藤 方則
15:30			
15:40	特別講演Ⅰ 「保健事業第3次計画中間見直しについて」 ～胃がん検診における集団検診と施設検診について～ 講師 大久保栄一 司会 関 龍太郎	14:52	閉会の辞 会長 佐藤 方則
16:40	閉会の辞 会長 佐藤 方則		

コ・メディカルの集い
シンポジウムⅠ

第1日(2月2日) 14:00~15:30

『大腸癌検診精検受診率向上のために』

司会 鳥根県広瀬町立広瀬病院 佐々木宏之
鳥根県松江健康福祉センター 徳若 光代

1. 徳地町における大腸がん検診への取り組みについて
山口県徳地町保健センター ○中島美智枝
2. 大腸ガン検診精密検査受診率向上のために
鳥取県大栄町保健婦 ○山口由美子
3. 一地区での大腸がん検診の取り組みから
鳥根県大田市役所保健婦 ○田中 千恵
4. 大腸がん検診精検受診率向上のために
—精検機関との密接な連携—
香川県環境保健部健康増進課 ○岡岡 清美
5. 大腸がん精密検診未受診理由の実態
—未受診者および保健婦アンケート調査から—
鳥根県健康福祉部健康対策課 ○浪花 恵子、狩野 益盛
鳥根県環境保健公社 池田 勉

特別講演Ⅰ

第1日(2月2日) 15:40~16:40

「保健事業第3次計画中間見直しについて」
～胃がん検診における集団検診と施設検診について～

講 師 厚生省老人保健福祉局 老人保健課課長補佐 大久保栄一
司 会 鳥根県健康福祉部参事 関 龍太郎

シンポジウムⅡ

第2日(2月3日) 9:00~10:40

『胃癌施設検診の現状と問題点』

司 会 香川県立がん検診センター 鳥巢 隆資
鳥取県立中央病院総合検診センター 石飛 誠一

1. 当院における胃癌施設検診の現状と問題点
松江市立病院第1内科 ○吉村 慎二、山田 稔、佐藤 方則
2. 鳥取県における胃癌施設検診の現状と問題点
鳥取県健康対策協議会 ○秋藤 洋一、石飛 誠一、米本 哲人、
入江 宏一
3. 個別胃癌検診の現状と今日的課題
山口労災病院 ○河村 奨
山口県医師会常任理事 岡沢 寛
4. 高知県総合保健協会における施設検診の現状と問題点
高知県立中央病院外科 ○長田 裕典
" 消化器科 依光 幸夫
高知県総合保健協会 近藤 慶二
5. 胃癌施設検診の現状と問題点
香川県立がん検診センター消化器科 ○山ノ井 昭、大黒 隆司
6. 胃癌施設検診の現状と問題点
徳島県総合健診センター ○宮上 盛史、相良 安信
7. 米子市における胃癌施設検診の現状と問題点
山陰労災病院内科 ○謝花 典子、古城 治彦、三浦 邦彦

特別講演 II

第2日(2月3日) 10:50~12:00

『血清ペプシノゲンの胃がんスクリーニングとしての評価』

講師 東京大学第1内科講師 三木 一正
司会 松江市立病院院長 佐藤 方則

一般演題

第2日(2月3日) 13:00~14:52

- I. 胃1 13:00~13:35 座長 山陰労災病院内科 三浦 邦彦
1. 検診に対する住民の意識調査結果
- 第2報: 検診未受診者に関する解析-
広島県地域保健対策協議会住民がん検診及び基本健康調査専門委員会
広島大学第1内科
○吉原 正治
隅井 浩治、春間 賢、梶山 裕明、
桑原 正彦
広島県医師会
安佐市民病院内科 日高 徹
加計町立病院 岸 明弘
2. 島根県における胃癌集団検診の精密検査の現状と問題点
- 特別精検を中心に-
島根医科大学第2内科
○平川 和也、天野 和寿、石原 俊治、
有馬 範行、足立 経一、福本 四郎
3. 山口県予防保健協会集検車による胃集検の現状
山口大学医学部放射線医学教室
○両田 宗正、田中 陸雄、安田 浩章、
粟屋美佐子、原 晶子、岸本 佳子、
有田 剛、原 昭彦、河村 光俊、
佐々井一彦、松永 尚文
国立山口病院放射線科 中田 太志
下関市立中央病院放射線科 長岡 崇
済生会下関総合病院放射線科 中西 敬、金子 隆文
山口県医師会 松浦 康彦、藤田 良樹、木富 一臣、
福山 勝
4. 巡回診療船による胃集検成績の検討
高松簡易保険診療所内科
○井上 徹、井上 智子
高松市民病院放射線科 坂東 義教
5. 「岡山県k町の胃集検に関する評価の検討」
川崎医科大学付属病院
○上坂 智子、吉岡 公平、北 昭一

- II. 胃2 13:35~14:03 座長 香川県がん検診センター 坂下 修
6. 胃集検で発見されたスキルス症例の検討- 偽陰性例を中心に-
山口大学医学部放射線医学教室
○田中 陸雄、岡田 宗正、安田 浩章、
粟屋美佐子、原 晶子、岸本 佳子、
有田 剛、原 昭彦、河村 光俊、
佐々井一彦、松永 尚文
中田 太志
国立山口病院放射線科
7. 胃集検における偽陰性進行胃癌の検討
香川県立がん検診センター内科
○大黒 隆司、中本 次郎、加藤 寛正、
堀北 実、鎌村 真子、手束 一博、
鹿見島 彰、井上 博之、坂下 修、
竹内 義貞
香川県立がん検診センター消化器科 益田 園光、林 亨、石原 昭彦、
山ノ井 昭、鳥巢 隆資
8. 胃集団検診にて発見された壁外発育型胃癌の一例
香川労災病院内科
○吉永 浩明、石田 誠
9. 早期胃癌内視鏡的治療例の発見契機についての検討
島根医科大学第2内科
○足立 経一、平川 和也、有馬 範行、
石原 俊治、天野 和寿、福本 四郎
III. 胃、腹部US 14:03~14:31 座長 広島大学保健管理センター 吉原 正治
10. 高齢化社会に向けた腹部超音波集検の進め方
福岡病院
○福岡 啓祐
川崎医科大学消化器内科 井手口 治
" 保健医療学 大元 謙治、唐井 一成、
" 地域医療学 赤木 公成、武田 直人、日隈 横一、
松田 誠治、沼本 泰行、森 ゆう子、
北 昭一、山本 亮輔、大橋 勝彦
11. 「腹郡超音波集検の検討」
山口労災病院消化器内科
○有山 重美、篠山 哲郎、田辺 満彦、
堀部 剛、福本 善人、河村 奨

- 12. ペプシノゲン法にて発見された未分化型胃癌の検討
広島大学第一内科
○清平 国主、隅井 浩治、春間 賢、
河口 弘行、鎌田 智有、三原 充弘、
後藤 豊子、田中 信治、梶山 裕明、
広島大学保健管理センター 吉原 正治、重信 卓三
加計町国保病院 岸明 宏
13. 人間ドックにおける内視鏡検査と血清ペプシノゲン
松江赤十字病院内科
○井上 和彦、三好 栄司、青木 信也、
板倉 滋、坂之上史、香川 幸司、
板垣 哲朗、枘田 一男、三原 修、
広島大学第1内科 吉原 正治、春間 賢、隅井 浩治、
梶山裕明
IV. 大腸 14:31~14:52 座長 島根医科大学第2内科 有馬 範行
14. 「大腸癌検診の評価」
川崎医科大学保健医療学教室
○北 昭一、日隈 慎一
15. 鳥取県における集検発見大腸癌の追跡調査(第二報)
鳥取県健康対策協議会
○佐々木祐一郎、石飛 誠一、秋藤 洋一、
本城 一郎、尾崎 真人、西村 祐子、
加藤 一吉、安陪 取、金藤 英二、
栗原 達郎、岡本 公男、米本 一郎、
入江 宏一
16. 病診連携による平田市住民大腸癌検診
平田市立病院内科
○零 稔弘、高野 聡、守谷 誠、
数森 秀章、竹中 龍太、高石 篤志、
岩部 明宏、植木 亨、内田 靖、
中西 曹剛、手銭 高志、山本 峻、
" 外科 大塚 昭雄
" 病理検診室 安井 史枝、西尾 正樹
出雲市医師会平田市ブロック 牧野 昭雄

日 程 表

第1日 2月7日(金)

14:00	開会の辞	会長 伊東 進
14:10	シンポジウム I 「30%検診をめざして —受診率向上のための工夫—」 基調講演 「受診率拡大を目指した広報活動」	講師 竹内義員 司会 北 昭一
14:50	シンポジスト発表	司会 隅井浩治 上田順啓
17:00	閉会の辞	会長 伊東 進

第2日 2月8日(土)

8:50	開会の辞	会長 伊東 進
9:00	シンポジウム II 「胃集団検診の現状と将来」 基調講演「集団検診における医療経済学」	講師 久繁哲徳 司会 岸清一郎
9:20	シンポジスト発表	司会 河村 奨 相良安信
10:50	休憩	
11:00	特別講演「便潜血検査と大腸癌集検」	講師 多田正大 司会 伊東 進
12:00	評議委員会	
12:40	総会	
13:00	一般演題	座長 鳥巢隆資 石井敏博 有山重美
14:30	閉会の辞	会長 伊東 進

-3-

シンポジウム I

第1日（2月7日）14：10～17：00

「30%検診をめざして
—受診率向上のための工夫—」

基調講演「受診率拡大を目指した広報活動」

講師 香川県立がん検診センター所長 竹内義員

司会 川崎医科大学保健医学科教授 北 昭一

シンポジスト講演

司会 広島大学第一内科助教授 隅井浩治

徳島県総合健診センター 上田順啓

1. 瑞穂町における胃集団検診のとりくみ
島根県瑞穂町役場健康福祉課 ○大矢輝美
2. 八東町における胃集団検診の取り組み
鳥取県八東町役場ふれあい課 ○横山栄子
3. 三和町における胃集団検診
広島県三和町保健福祉課 ○大久保ふじ子
4. 高知県幡原町における受診率向上への取り組み
—健康文化の里づくりをめざして—
高知県幡原町保健福祉支援センター ○大崎光雄
5. 上那賀町における胃集検の取り組みと今後の課題について
徳島県上那賀町役場町民課 ○下内照代
6. 30%検診をめざして —受診率向上のための工夫—
愛媛県川内町健康センター ○永野洋子
7. 胃集検の対象者のとらえ方について
山口県三隅町役場環境保健課 ○宮崎節子
8. 高松市における胃集団検診の取り組み
香川県高松市保健センター ○矢敷信子

-4-

シンポジウム II

第2日（2月8日）9：00～10：50

「胃集団検診の現状と将来」

基調講演「集団検診における医療経済学」

講師 徳島大学衛生学教授 久繁哲徳

司会 国立高知病院院長 岸清一郎

シンポジスト講演

司会 山口労災病院副院長 河村 奨

徳島県総合健診センター所長 相良安信

1. 前年度受診歴を有する集検発見進行胃癌の検討
—鳥取県7年間の集計から—
鳥取県健康対策協議会 ○石飛誠一、入江宏一、秋藤洋一
2. 胃集検の現状と将来
徳島県総合健診センター ○宮上盛史、相良安信
3. 高知県における胃集団健診の現状と将来
高知県立中央病院外科 ○長田裕典
同消化器科 依光幸夫
高知県総合保健協会 近藤慶二
4. 胃癌スクリーニング法の検討
—P/G法の有用性について—
香川県立がん検診センター ○堀北 実、山ノ井昭、鳥巢隆資
5. 地域胃集検におけるペプシノゲン法
広島大学第一内科 ○吉原正治、隅井浩治

-5-

特 別 講 演

第2日（2月8日）11：00～11：50

「便潜血検査と大腸癌集検」

講師 京都がん協会副所長 多田正大

司会 徳島大学第二内科教授 伊東 進

-6-

一 般 演 題

第 2 日 (2 月 8 日) 13 : 00 ~ 14 : 24

- I 胃 13 : 00 ~ 13 : 35 座長 香川県立がん検診センター 鳥巢隆資
- 山口県予防保健協会集検車による胃集検の現況
山口大学医学部放射線科 ○河上康彦、佐々井一彦、古川又一、田村 克
岸本佳子、原 昭彦、有田 剛、松永尚文
国立山口病院 中田太志
町立大和総合病院 田中隆雄
藤田放射線科 藤田良樹
済生会下関総合病院 中西 敬
 - 当協会10年間の集検発見胃がんの実態
財団法人愛媛県がん予防協会 ○保気口博、江戸勝男、村上達夫、遠藤昌夫
柴 浩司、河田 裕、濱田覚弘
 - 施設検診における稜路
香川県立がん検診センター内科 ○中本次郎、藤本小百合、松岡雅子、益田園光
堀北 実、手塚一博、林 亨、大黒隆司
石原昭彦、鹿見島彰、山ノ井昭、井上博之
鳥巢隆資、坂下 修、竹内義真
 - 米子市における胃癌施設検診の現況と問題点 ~第4報~
山陰労災病院内科 ○謝花典子、至極あずさ、佐々木裕一郎
西向栄治、徳本明秀、中岡明久、岸本幸広
古城治彦、三浦邦彦
 - 胃癌発見に関連した間接フィルムの所見
山口大学医学部放射線科 ○河村武郎、佐々井一彦、有田 剛、原 昭彦
江本拓也、安井正泰、松永尚文
藤田放射線科 藤田良樹
国立山口病院 中田太志
町立大和総合病院 田中隆雄
末富放射線科 末富一臣

-7-

- II 胃・大腸 13 : 35 ~ 14 : 03 座長 徳島総合健診センター 石井敏博
- 胃X線間接撮影法(背臥位二重造影第二斜位法)について
徳島県総合健診センター ○赤岩寛志、岡本哲也、近藤博之、木ノ桐雅博
美馬佳久、尾崎寛幸、矢野隆生、播磨 孝
大内孝雄、山口哲央、矢武道夫、相良安信
徳島大学第二内科 伊東 進
 - 間接X線における追加撮影の有用性-技師の立場から
徳島県総合健診センター ○美馬佳久、岡本哲也、近藤博之、木ノ桐雅博
尾崎寛幸、赤岩寛志、矢野隆生、播磨 孝
大内孝雄、山口哲央、矢武道夫、相良安信
徳島大学第二内科 伊東 進
 - 検診発見大腸癌の検討、特に過去の集検便潜血反応について
香川労災病院内科 ○石田 誠、吉永浩明
 - 広島県の大腸癌検診の現況
広島大学第一内科 ○吉原正治、隅井浩治、春間 賢、谷本達郎
田中信治、平賀裕子、國弘真己、小池則道
谷 洋、北台靖彦、清平国主、木村敏久
梶山権郎
広島大学保健管理センター 重信卓三

-8-

- III 腹部 US 14 : 03 ~ 14 : 24 座長 山口労災病院 有山重美
- 超音波集検発見肝腫瘍についての検討
川崎医科大学内科消化器 I 部門 ○井手口清治
保健医療学 野上理香、沼本泰行、松田誠治、武田直人
日隅慎一、赤木公成、唐井一成、北 昭一
福島啓祐
福島医院
 - Y町における超音波集検5年間の成績
福島医院 ○福島啓祐
川崎医科大学内科消化器 I 部門 井手口清治
保健医療学 唐井一成、赤木公成、日隅慎一、武田直人
沼本泰行、野上理香、北 昭一
 - 肝癌検診の問題点と対策
山口労災病院消化器内科 ○有山重美、河村 奨、篠山哲朗、田辺満彦
相部 剛、稲本善人

-9-

第28回日本消化器集団検診学会中国四国地方会を開催して

広島大学保健管理センター 吉原正治

第28回日本消化器集団検診学会中国四国地方会は、平成10年2月6日（金）と2月7日（土）に、広島国際会議場を会場として開催しました。この2日間のうち、2月6日（金）は1400から1700を胃集検の会として、行政・保健担当者を演者としての企画を、平成10年2月7日（土）は900から1545で、医師、技師らによる企画として開催しました。この地方会は、広島県成人病従事者指導講習会の胃がん検診従事者講習会及び大腸がん検診従事者講習会として、広島県から位置づけてもらう形で開催し、各県からの行政担当者にも声をかけていただき、会長としても大変ありがたく思いました。

第1日目は、中四国の9県からの行政・保健担当者を演者とする企画として、シンポジウムI「精検受診率向上のために」を行いました。基調講演は河村奨先生にお願いし、特別発言を北昭一先生から頂戴しました。演者は9県から発表をいただきました。後日、座長の河村奨先生が、このシンポジウムの内容を論文にまとめてくださり、「精検受診率向上の方策」として、学会雑誌である消化器集団検診 36巻6号 Page629-639 (1998.11)に掲載されました。自分が会長として企画させていただいたとはいえ、内容は完全に河村先生が形作られたもので、論文にさせていただき、しかも河村先生との連名で雑誌に掲載いただいたことが、とても光栄で嬉しかったことを思い出します。

2日目には深尾彰教授（当時山形大学教授）に特別講演として「転機をむかえたがん集団検診」をお話しいただきました。がん検診の有効性を評価していくことの重要性を鑑み、講演をお願いしました。

近々のこととして、平成10年2月1日の新聞には、がん検診経費の一般財源化が報道され、市町村のがん検診には国の費用負担がなくなり、有料化、廃止の恐れも心配された時期でしたが、有益なご講演を頂戴しました。

会長講演は私のライフワークでもある「胃癌の発生からみた高危険群の絞り込み－*Helicobacter pylori*感染、胃炎、胃癌－」というタイトルで講演させていただきました。同時に、シンポジウムにも「胃癌とペプシノゲン」と、よくばって組み合わせ、6題の発表をいただきました。シンポジウムの司会は、坂下修先生（当時香川県立がん検診センター）と井上和彦先生（現支部長）で、特別発言を竹内義員先生（当時香川県立がん検診センター）に頂戴しました。一般演題は、胃、大腸、超音波で18題の発表をしていただきました。

この学会は、私が会長を担当させていただいたはじめての学会であり、熱意を込めて企画させていただき、緊張して臨んだ（開会式での写真です）学会でした。会の運営には、広島大学第一内科（当時梶山悟朗教授）のスタッフに、準備段階から当日、そして後日の報告まで、全面的に助けていただきました。盛会に終了させていただくことができましたのも、参加いただいた先生方、支えていただいたスタッフの方々のおかげと感謝しております。検診は多くの人々の力を終結させてはじめて成り立つことではありますが、学会もまたそうでした。

末筆となりましたが、学会ならびに地方会の今後のますますの発展を祈念しまして、開催の記録とお礼とさせていただきます。



日程表

第1日 2月6日(金)

14:00	開会	会長	吉原正治
14:05	シンポジウムI 「精密検査受診率の向上のために」 基調講演	講師	河村 奨 司会 谷口 隆
	シンポジスト発表	司会	河村 奨 片島 絃一 特別発言 北 昭一
16:55	閉会	会長	吉原正治

第2日 2月7日(土)

9:00	開会	会長	吉原正治
9:05	シンポジウムII 「胃癌とペプシノゲン」	司会	坂下 修 井上和彦 特別発言 竹内義員
11:10	会長講演 「胃癌の発生からみた高危険群の絞り込み —Helicobacter pylori 感染、胃炎、胃癌—」	会長	吉原正治 司会 北 昭一
11:30	一般演題(胃)	座長	三浦邦彦
12:20	評議員会		
12:40	総会		
13:00	特別講演 「転機をむかえたがん集団検診」	講師	深尾 彰 司会 梶山 裕 朗
14:00	一般演題(大腸)	座長	石飛 誠一
14:40	一般演題(超音波-1)	座長	池田 敬
15:04	一般演題(超音波-2)	座長	有山 重美
15:40	閉会	会長	吉原正治

シンポジウムI

第1日目(2月6日) 14:05~16:55

「精密検査受診率の向上のために」

基調講演

講師 山口労災病院副院長・健診センター所長 河村 奨
司会 広島県福祉保健部長 谷口 隆

シンポジスト発表

司会 山口労災病院副院長・健診センター所長 河村 奨
広島県健康福祉センター健康管理部・放射線課課長 片島 絃一

1. 国府町における胃集検精検受診の現状と向上のための工夫
鳥取県国府町役場 健康対策課 ○石田町子
2. 大腸がん精密検査受診率向上のために何が大切か
島根県仁多町役場 ○末森利江子
3. 胃集検の精検受診率向上にかかわる要因についての検討
岡山県健康づくり財団 ○上坂智子
川崎医科大学保健医療学 北 昭一
4. 大野町における精検受診率向上のための今後の対策
広島県大野町保健婦 ○森本由美子
5. むつみ村における胃精検受診の取り組みについて
山口県むつみ村役場健康福祉課 ○秋本浩子
6. 相生町における胃集検の精検受診の現状と向上対策について
徳島県那賀郡相生町・町民課保健婦 ○殿谷加代子
7. 三野町における精検受診の現状と向上への取り組み
香川県三豊郡三野町・健康福祉課保健婦(副主幹) ○秋山益枝
8. 今治市における胃・大腸集団検診の現状報告
今治市保健センター保健婦 ○国木田人美
9. 中土佐町における精検受診の現状と今後の課題
高知県中土佐町役場福祉保健課 ○浜田和子

特別発言

日本消化器集団検診学会中国四国支部長・
川崎医科大学保健医療学教授 北 昭一

シンポジウムII

第2日目(2月7日) 9:05~11:10

「胃癌とペプシノゲン」

- 司会 香川県立がん検診センター 副所長 坂下 修
松江赤十字病院第3内科 副部長 井上和彦
1. 胃癌スクリーニングにおける血清ペプシノゲン法の有用性
—人間ドックにおける内視鏡検査との比較より—
松江赤十字病院 内科 ○藤村二郎, 井上和彦
 2. 血清ペプシノゲン(PG)測定を併用した職域逐年胃X線検診
—対象およびPG値の循環変動法について—
高知県立中央病院 外科 ○長田裕典
高知県総合保健協会 山崎宜彦, 近藤慶二
九反田消化器 内科 依光幸夫
 3. ペプシノゲン法—血清ペプシノゲン値による胃健診—
広島大学 第一内科 ○服部信昭, 吉原正治
 4. 未分化型胃癌とペプシノゲン法
呉共済病院 消化器科 ○向井俊一, 上村直実
 5. 胃癌スクリーニング法の検討(ペプシノゲン法、HP抗体による)
香川県立がん検診センター ○堀北 実, 山ノ井 昭
鳥巢隆賢
 6. 胃内Helicobacter Pylori (Hp) 感染と血中、抗HP-IgG抗体、Pepsinogen I、II
—除菌後症例を含めて—
広島三菱病院 内科 ○岩尾年康, 佐々木教紀
川西昌弘
- 特別発言 香川県立がん検診センター所長 竹内 義 員

会長講演

第2日目(2月7日) 11:10~11:30

「胃癌の発生からみた高危険群の絞り込み

—Helicobacter pylori 感染、胃炎、胃癌—」

会長 広島大学第一内科・保健管理センター助教授 吉原正治
司会 日本消化器集団検診学会中国四国支部長・
川崎医科大学保健医療学教授 北 昭一

特別講演

第2日目(2月7日) 13:00~14:00

「転機をむかえたがん集団検診」

講師 山形大学公衆衛生学 教授 深尾 彰
司会 広島大学第一内科 教授 梶山 梧朗

一般演題

第2日目(2月7日)・午前

- I. 胃 11:30~12:18 座長 山陰労災病院内科 三浦邦彦
1 胃集検を契機にして発見された食道上皮内癌の一例
鳥取県立厚生病院 内科 ○柏木亮太, 新田辰雄, 金藤英二, 石井裕繁
澤口正彦, 轟田隆浩, 山本芳麿, 松田善典
塩 孜, 湯川喜美, 石飛誠一, 小田 大
鳥取県健康対策協議会 岡本公男, 中村良文, 入江宏一
2 山口県地域胃がん検診の精度に関する検討
山口労災病院 内科 ○河村 奨, 有山重実, 稲本善人, 田辺満彦
相部 剛, 篠山哲郎
山口県医師会 藤本茂博, 岡沢 寛
3 不確定所見による発見胃癌の検討(施設検診)
徳島県総合健診センター ○福田直子, 相良安信, 柏木節子, 宮上盛史
佐々木春夫, 石井敏博, 岸清一郎
徳島大学 第二内科 清水一郎, 伊東 進
4 胃癌施設検診の実態(香川県:平成7年度)
香川県立がん検診センター 内科 ○藤沢明彦, 青木利佳, 木村好孝, 中本次郎
安田 貢, 鹿見島彰, 井上博之, 坂下 修
消化器科 木下桂午, 堀北 実, 林 亨, 大黒隆司
山ノ井昭, 鳥巢隆資, 竹内義員
5 米子市における胃癌施設検診の現状と問題点~第5報~
山陰労災病院 内科 ○謝花典子, 田中 究, 神戸貴雅, 西向栄治
徳本明秀, 中岡明久, 岸本幸広, 古城治彦
三浦邦彦
6 人間ドック胃癌スクリーニングにおける内視鏡検査の有用性
松江赤十字病院 内科 ○桑田幸夫, 井上和彦, 三好栄司, 藤村二郎
坂之上史, 香川幸司, 板倉 滋
栢田一男, 三原 修

一般演題

第2日目(2月7日)・午後

II. 大腸 14:00~14:40 座長 鳥取県立厚生病院内科 石飛誠一

- 7 地域大腸がん検診9年間の歩み(1987~1996)
山口労災病院 内科 ○河村 奨, 稲本善人, 有山重実, 田辺満彦
相部 剛, 篠山哲郎
山口県医師会 藤本茂博, 岡沢 寛
8 地域大腸集検15年間の成績
広島大学 第一内科 ○谷本達郎, 吉原正治, 春間 賢, 田中信治
隅井浩治, 梶山梧朗
加計町国保病院 小出和伸, 岸 明宏
広島県医師会 森原正彦
9 職域大腸癌検診の現状と今後の課題
三菱三原病院 内科 ○井上寛己, 平賀裕子, 島本文裕, 田中友隆
岡本傳男, 高砂利行, 川本敏雄
10 ドックにおける大腸内視鏡検査による癌発見率の検討
広島市医療法人財団愛人会河村病院 ○田原一優, 後藤豊子, 鎌田智有, 馬庭宣隆
河村 譲
広島大学 第一内科 田中信治
11 内視鏡的切除(EMR)後検診にて発見された再発大腸癌の1例
広島大学 第一内科 ○弘田祐一, 田中信治, 春間 賢, 谷本達郎
國弘真己, 岡本英一, 河本邦彦, 北台靖彦
吉原正治, 隅井浩治, 梶山梧朗
広島大学 病院病理部 嶋本文雄
広島原対協健康管理・増進センター 前田 亮

III. 超音波-1 14:40~15:04 座長 岡山大学公衆衛生学 池田 敏

- 12 肝がん検診の問題点と対策
山口労災病院 消化器内科 ○有山重美, 河村 奨, 篠山哲郎, 田辺満彦
相部 剛, 稲本善人
13 C型肝炎多発地区における肝臓検診
岡山大学 公衆衛生学 ○池田 敏, 武田和久
14 腹部超音波検診受診者に対する肝炎ウィルスマーカー測定についての検討
川崎医科大学 保健医療学 ○井手口清治, 赤木公成, 松田誠治
北 昭一
福岡医学院 福岡啓介
IV. 超音波-2 15:04~15:36 座長 山口労災病院消化器内科 有山重美
15 腹部超音波検診の検討
山口県予防保健協会 ○河野浩二, 松浦正則, 樽林 剛, 田中剛司
宮本享一
山口労災病院 消化器内科 有山重美, 河村 奨
16 人間ドック腹部エコー検査の現況
松江赤十字病院 内科 ○三好栄司, 桑田幸夫, 藤村二郎, 井上和彦
板倉 滋, 坂之上史, 香川幸司
栢田一男, 三原 修
17 進行胃癌における体外式超音波検査の診断能に関する検討
公立三次中央病院 消化器科 ○濱田敏秀, 島 二郎, 寺面和史, 二神浩司
小根森元, 末永健二
18 進行大腸癌における体外式超音波検査の診断能に関する検討
公立三次中央病院 消化器科 ○二神浩司, 島 二郎, 寺面和史, 濱田敏秀
藤井康友, 小根森元, 末永健二

日本消化器がん検診学会 中国四国支部50周年によせて

倉敷成人病健診センター 池田 敏



私が検診に関わるようになったのは、島根医科大学（現、島根大学医学部）に赴任してからです。当時、島根医大では内科と県が協力して住民検診を実施しており、島田宜浩教授（当時）の下で、1982年から一般の検診に肝機能検査と当時まだ珍しかった腹部超音波検査を加えた検診を行い、1983年から胃がん検診、大腸がん検診と腹部超音波検診を同時に行う消化器総合集検を開始しました。検診に関しては、福本四郎助教授（当時、その後教授）が胃がん検診に長く携わっておられ、検診の進め方等についてよくご指導いただきました。

本学会には1983年に入会し、1984年第23回総会で本学会における超音波検診に関する最初のシンポジウム「肝胆疾患の早期発見」で発表しました。本学会にはいつも福本先生と一緒に参加し、多くの著明な先生方にご紹介いただきました。先生は1996年第34回秋季大会の会長として準備を進められている中、急逝されましたが、その学会で河村奨先生とワークショップ「腹部超音波集検の拡大をめぐる」の司会を担当させていただきました。振り返るとこれまでシンポ・特別企画等での発表15回、司会を12回行い、1999年2月には第29回地方会を担当させていただきました。

第29回地方会では、ちょうど各支部に部会設立が求められていた時期であり、放射線技師部会の設立をめざして、当時の北昭一支部長の御発案により「胃がん検診 —放射線技師の立場から—」というシンポジウムを企画し、各県の放射線技師の代表の方に発表していただいて、この方々をメンバーとして中国四国支部放射線技師部会が発足することになりました。また、厚生省「がん検診の有効性に関する研究班（班長：久道茂）」の報告が出されて、その内容が話題になっていた時期でもありました。そこで「がん検診の現状と問題点」というシンポジウムを企画し、胃、大腸、肝臓の消化器がん検診だけでなく、肺、乳房、子宮、前立腺の各がん検診に携わっている専門家の方々にお集まりいただき、がん検診に共通する課題、将来の展望等を話していただきました。

検診および本学会での活動の中で良き指導者に恵まれ、出会った多くの方々から刺激を受け、学び、成長できたことは、全く幸運なことであったと感謝しています。

日 程 表

第1日 2月5日(金)

開 場	
14:00	開 会
14:05	特別講演Ⅰ 「がん検診と保健婦」 北 昭一 司会 池田 敏
15:00	シンポジウムⅠ 「胃がん検診 -放射線技師の立場から-」 相良 安信, 吉岡 公平 司会 特別発言 竹内 義貞
17:00	「日本消化器集団検診学会中国四国支部 放射線技師部会設立に関して」 北 昭一
17:20	閉 会
幹事会 (17:30~ 三光荘)	

第2日 2月6日(土)

開 場	
8:55	開 会
9:00	シンポジウムⅡ 「がん検診の現状と問題点」 司会 河村 奨, 坂下 修
11:30	一般演題(胃Ⅰ) 座長 三浦 邦彦
12:10	評議員会(三光荘)
13:10	総 会
13:30	特別講演Ⅱ 「超音波集検の現状と未来」 竹原 靖明 司会 北 昭一
14:30	一般演題(胃Ⅱ) (大腸・超音波) 座長 有馬 範行 座長 井手口清治
15:40	閉 会

- 3 -

特別講演Ⅰ

2月5日(金) 14:05~15:00

「がん検診と保健婦」

川崎医科大学保健医療学 教授 北 昭一

司会: 岡山大学医学部公衆衛生学 助教授 池田 敏

- 4 -

シンポジウムⅠ

2月5日(金) 15:00~17:00

「胃がん検診 -放射線技師の立場から-」

司会: 徳島県総合健診センター 相良 安信
川崎医科大学附属病院保健医療部 吉岡 公平

- 胃集団検診におけるバリウムの比較検討
—ゾル製剤1.45W/V%と1.20W/V%—
徳島県総合健診センター ○岡本 哲也
 - 胃集検における高濃度バリウム使用の検討
徳島県保健事業団 ○大久保 誠、徳田 勝一、
野田 清孝、大久保ひとみ、
三宅 二郎
 - 高濃度低粘性バリウムを使用した間接胃集検
島根県環境保健公社 ○松本 泰雄
 - 徳島県健康づくり財団で実施している胃がんX線検査の概況と脊柱変形とフィルム示現の検討
徳島県健康づくり財団 ○中島 明久、山神 涼一
 - 高知県総合保健協会における胃がん検診
高知県総合保健協会 ○中屋 大輔、岡田 健輔、
山崎 伝、山崎 宜彦
 - 香川県における胃がん検診について
香川県立がん検診センター ○木下 正司、牛田 正善
 - 胃集団検診における放射線技師の役割
社会保険下関厚生病院 ○村上 誠一
 - 胃がん検診システムの中での放射線技師の役割
愛媛県総合保健協会 ○河田 裕
 - 集団検診における放射線技師の役割
徳島県健康福祉センター ○片島 敏一
- 特別発言: 香川県立がん検診センター 所長 竹内 義貞

- 5 -

「日本消化器集団検診学会中国四国支部
放射線技師部会設立に関して」

2月5日(金) 17:00~17:20

日本消化器集団検診学会中国四国支部長 北 昭一

- 6 -

特別講演Ⅱ

2月6日(土) 13:30~14:30

「超音波集検の現状と未来」

東京紙商健康保険組合健診センター 所長 竹原 靖明

司会：川崎医科大学保健医療学 教授 北 昭一

- 7 -

シンポジウムⅡ

2月6日(土) 9:00~11:30

「がん検診の現状と問題点」

司会： 山口労災病院 河村 奨
香川県立がん検診センター 坂下 修

1. 【胃】 胃がん検診の現状と未来
広島大学保健管理センター ○吉原 正治
2. 【大腸】 がん検診の現状と問題点 —香川県における大腸がん検診—
香川県立がん検診センター ○安田 貢、山ノ井 昭
3. 【肝】 肝がん検診の検討
山口労災病院消化器内科 ○有山 重美、河村 奨
4. 【肺】 肺がん検診の現状と問題点について
岡山県健康づくり財団厚生町クリニック ○西井 研治、守谷 欣明
5. 【乳房】 乳がん検診の現状と問題点
川崎医科大学乳腺甲状腺外科¹⁾ ○園尾 博司²⁾
岡山県成人病検診管理指導協議会乳がん部会³⁾ 岡崎 邦泰³⁾、山本 泰久³⁾
岡山県保健福祉部長寿社会対策課⁴⁾ 則安 俊昭³⁾
6. 【子宮】 子宮がん検診の現状と問題点
岡山大学医学部産婦人科 ○奥田 博之
7. 【前立腺】 前立腺がんの集団検診の現状と問題点
川崎医科大学泌尿器科 ○田中 啓幹、山本 徳則

- 8 -

一般演題

2月6日(土)

胃 I (11:30~12:02) 座長 山陰労災病院 三浦 邦彦

1. 当院施設内胃検診の現状 —人間ドックと日帰り検診の成績—
公立学校共済組合四国中央病院内科 ○井上 徹、福田 保、田中 洋一、
辻上 幸司、篠原 明宏、奥本 哲生、
宮崎 修一、山崎 禰一
同 放射線科 川井 康裕、峯瀬真理子
2. 米子市における胃腸施設検診の現状と問題点 ~第6報~
山陰労災病院内科 ○藤花 典子、向山 智之、河口剛一郎、
西向 栄治、徳本 明秀、中岡 明久、
岸本 幸広、古城 治彦、三浦 邦彦
3. 人間ドック胃X線検査要精検者の受診歴とX線所見
—精密検査受診率向上のために—
徳島県総合健診センター ○鎌村 真子、田岡 良章、柏木 節子、
石井 敏博、宮上 盛史、福田 直子、
佐々木春夫、相良 安信、岸 清一郎
4. ヘプシノゲン法陽性者の性別・萎縮程度別有病率
広島大学第一内科¹⁾、広島大学保健管理センター²⁾、広島大学光学医療診療部³⁾
○服部 信昭¹⁾、吉原 正治²⁾、隅井 浩治¹⁾、
春間 賢、三原 充弘、城戸聡一郎、
濱田 博重、真部 紀明、三好 栄司、
北台 靖彦、田中 信治³⁾、梶山 裕朗³⁾

胃 II (14:30~15:02) 座長 鳥根県環境保健公社 有馬 範行

5. 胃集検で発見された胃粘膜下腫瘍
愛媛県総合保健協会 ○河野 恒文、江戸 勝男、村上 達夫、
保気口 博、大西 弘高、遠藤 昌夫、
浜田 覚弘、柴 浩史、藤田 敦夫、
河田 裕

- 9 -

6. 当院人間ドックにおける最近1年間の胃検診の成績
鳥取赤十字病院健診センター ○杉山 祥洋、吉田 敦子、近藤 治美

7. 胃集検にて発見されたEMR症例の検討
香川県立がん検診センター内科¹⁾、消化器科²⁾
○高田 淳子、楓 雅子、福家 浩三、
青木 利佳、木村 好孝、中本 次郎、
藤沢 明彦、鹿兒島 彰、井上 博之、
坂下 修、竹内 義員¹⁾、安田 貢、
大黒 隆司、山ノ井 昭、鳥巢 隆資²⁾

8. 胃癌、大腸癌の発見契機についての検討
鳥根医科大学第二内科 ○足立 経一、勝部 知子、天野 和寿、
石原 俊治、渡辺 誠、木下 芳一

大腸・超音波 (15:02~15:34) 座長 川崎医科大学 井手口清治

9. 鳥取県大腸癌検診六年間の歩み
鳥取県健康対策協議会 ○井戸辺容子、石飛 誠一、金藤 英二、
岡本 公男、米本 哲人、貝原 信明、
安達 秀雄、入江 宏一
10. 大腸がん検診10年間の成績
鳥根県環境保健公社 ○有馬 範行、佐藤 方則
広瀬町立広瀬病院 佐々木宏之
11. 腹部超音波検診にて発見された肝原発神経内分泌癌の1例
川崎医科大学保健医療学 ○井手口清治、松田 誠治、北 昭一
福島医院 福島 啓祐
12. 腹部超音波検査を契機に発見された尿管ポリープの一例
川崎医科大学保健医療学¹⁾、武田医院²⁾ ○武田 直人¹⁾、松田 誠治、井手口清治、
北 昭一¹⁾
Little Company of Mary Hospital³⁾ Martin P. Levinson³⁾、Fred Y. Sakurai³⁾

- 10 -

日 程 表

第1日 2月4日(金)

	開 場
14:15	開 会
14:30	シンポジウムⅠ 「胃がん検診におけるX線撮影法の問題点と工夫」 司会 相良 安信, 木下 正司
16:00	特別講演Ⅰ 「胃がん検診におけるペプチノーゲン法の有効利用」 吉原 正治 司会 坂下 修
17:00	閉 会
	幹事会 (18:00～ リーガホテルゼスト高松)

第2日 2月5日(土)

	開 場
9:00	開 会
9:10	シンポジウムⅡ 「消化器がん検診の現状と将来」 司会 池田 敏, 烏巢 隆資
10:45	一般演題(胃Ⅰ) 座長 三浦 邦彦 一般演題(胃Ⅱ) 座長 依光 幸夫 一般演題(大腸・その他) 座長 山ノ井 昭
12:00	評議員会(第2中会議室7階)
12:40	総 会
13:00	特別講演Ⅱ 「21世紀に向けた大腸がん検診」 多田 正大 司会 竹内 義員
14:00	閉 会

-4-

シンポジウムⅠ

2月4日(金) 14:30～16:00

「胃がん検診におけるX線撮影法の問題点と工夫」

司会： 徳島県総合健診センター 相良 安信
香川県立がん検診センター 木下 正司

1. 前壁二重造影の描出能向上について
徳島県総合健診センター ○赤岩寛志, 岡本哲也, 近藤博之,
木ノ柵雅博, 美馬佳久, 尾崎寛幸,
矢野隆生, 播磨 孝, 大内孝雄,
山口哲夫, 矢武道夫, 相良安信
2. 枕を用いた胃体部前壁撮影の有効性
たけのこ会 ○九元 譲, 馬場隆志, 小西光男,
星田洋征, 寺嶋 宏, 永安良徳,
木村美樹, 船山麻弓, 大角博久,
田淵真弘, 片山 剛, 前川 進
3. 胃集検における高濃度バリウム使用の検討(第2報)
財団法人鳥取県保健事業団 ○三宅二郎, 徳田勝一, 大久保誠,
野田清孝
4. スキルス癌における高濃度低粘性バリウムの有効性
びんご会 (福山市医師会総合健診センター) ○星田洋征, 星加英子, 蔵本典子,
藤本加奈子, 九元 譲, 前川 進
5. 高知県総合保健協会における胃がん検診状況と撮影法の問題点と工夫
高知県総合保健協会 ○中屋大輔, 森田 斉, 渡邊道孝,
山崎宜彦
6. 胃がん検診におけるX線撮影法の問題点と工夫点
島根県環境保健公社 ○渡部 充

-5-

7. 高濃度バリウムの有用性について
滝宮総合病院放射線科

○宮本博樹, 桑原秀雄, 松野慎介

-6-

特別講演Ⅰ

2月4日(金) 16:00～17:00

「胃がん検診におけるペプチノーゲン法の有効利用」

広島大学保健管理センター 教授 吉原 正治

司会：香川県立がん検診センター 所長 坂下 修

-7-

シンポジウム II

2月5日(土) 9:10~10:40

「 消化器がん検診の現状と将来 」

司会： 岡山大学医学部保健学科 池田 敏
香川県立がん検診センター 鳥巢 隆資

1. 胃がん検診の現状と将来
香川県立がん検診センター ○高橋義典, 高田淳子, 安田 貢
2. 胃検(健)診の現状と将来
松江赤十字病院第3内科 ○井上和彦
広島大学保健管理センター 吉原正治
3. 消化器がん検診の現状と将来—大腸がん—
高知県立中央病院外科 ○長田裕典
九反田消化器内科 依光幸夫
高知県総合保健協会 山崎寛彦, 近藤慶二
4. 当センターにおける大腸癌検診の現状と将来
徳島県総合健診センター ○福田直子, 相良安信
5. 鳥取県肝臓がん検診の現状と展望
鳥取赤十字病院内科 ○松田裕之
〔鳥取県健康対策協議会〕 植木壽一, 川崎寛中,
〔肝臓がん対策専門委員会〕 入江安一
6. 腹部超音波検診ならびに肝臓検診の現状と将来
川崎医科大学健康管理学教室 ○井手口清治
岡山済生会総合病院 北 昭一
7. 肝・胆・膵臓検診の検討
山口労災病院消化器科 ○有山重美
山口県対がん協会 河村 奨

-8-

特別講演 II

2月5日(土) 13:00~14:00

「 21世紀に向けた大腸がん検診 」

京都がん協会 副所長 多田 正大
司会： 香川県立がん検診センター 名誉所長 竹内 義員

-9-

一般演題

2月5日(土)

胃 I (10:45~11:10) 座長 山陰労災病院 三浦 邦彦

1. 米子市における胃癌施設検診の現状と問題点~第7報~
山陰労災病院内科 ○謝花典子, 植木 賢, 三村憲一,
西向栄治, 徳本明秀, 中岡明久,
岸本幸広, 古城治彦, 三浦邦彦
2. 当協会の平成9年度における胃癌集団検診の成績
(財)愛媛県総合保健協会 ○石水敦史, 河野恒文, 高橋 博,
江戸勝男, 村上達夫, 保氣口博,
遠藤昌夫, 濱田覺弘, 柴 浩司,
河田 裕
3. 巡回胃癌検診(間接X線検査)における要精検者の受診歴とX線所見
徳島県総合健診センター ○鎌村真子, 田岡良章, 柏木節子,
三好宏和, 石井敏博, 福田直子,
佐々木春夫, 相良安信, 岸清一郎,
徳島大学第2内科 伊東 進

-10-

一般演題

2月5日(土)

胃 II (11:10~11:40) 座長 九反田消化器内科 依光幸夫

1. 高濃度バリウム使用における間接読影判定に及ぼす影響
(財)愛媛県総合保健協会 ○柴 浩司, 河野恒文, 高橋 博,
江戸勝男, 村上達夫, 保氣口博,
遠藤昌夫, 濱田覺弘, 河田 裕,
石水敦史
2. 集団検診における高濃度バリウムを使用して(アンケート報告)
滝宮総合病院放射線科 ○大森義則, 宮本博樹, 桑原秀雄,
松野慎介
3. ドック検診にて発見された上部消化管癌の検討(内視鏡とX線所見との対比)
鳥取赤十字病院内科 ○杉山将洋, 大村 宏, 田中久雄,
山本寛子, 松田裕之
4. 胃がん検診におけるペプシノーゲンHP抗体測定の有効性
香川県立がん検診センター ○高田淳子, 梶 雅子, 福家浩三,
青木利佳, 板東玄太郎, 近藤 幸,
中本次郎, 安田 貢, 鹿見島彰,
高橋義典, 井上博之, 山ノ井昭,
鳥巢隆資, 坂下 修, 竹内義員

-11-

一般演題

2月5日(土)

大腸・その他(11:40~12:00) 座長 香川県立がん検診センター 山ノ井昭

1. 人間ドックにおける大腸内視鏡検査の導入
松江赤十字病院第3内科 ○小瀬和洋, 井上和彦, 高岡洋一,
真田泰興, 藤村二郎, 板倉 滋,
三原 修
2. 当施設における大腸癌検診精密検査法についての検討
(注腸X線検査と全大腸内視鏡検査との比較)
高知赤十字病院健康管理センター ○大黒隆司
3. 逐年検診の人間ドックにおける肝腫瘍についての検討
国立高知病院内科 ○遠藤純子, 井上修志, 佐藤康紀,
新居直人, 植村信隆, 岸清一郎,
高知検診クリニック 溝淵洋子, 中内 優, 末広史恵,
坪崎英治

日 程

第1日 3月2日(金)

開 場	
14:00	開 会 学会長 三浦邦彦
14:05	シンポジウムⅠ 「21世紀の消化器がん検診における保健婦の役割」 司会 石飛誠一 佐々木宏之
15:35	指定演題「胃間接撮影法の工夫」 座長 有馬龍行
16:00	特別講演Ⅰ 「新しい胃X線撮影法の試みと実際」 馬場保昌 司会 岡本公男
17:00	閉 会
幹事会 (18:00～ ホテルニューオータニ鳥取 鳳凰の間)	

第2日 3月3日(土)

開 場	
9:00	検 抄 鳥取県健康対策協議会会長 長田昭夫
9:05	一般演題(胃Ⅰ) 座長 星田洋征 一般演題(胃Ⅱ) 座長 依光幸夫
10:05	シンポジウムⅡ 「消化器がん検診における偽陰性例の現状と対策」 司会 有山重美 秋藤洋一
11:35	会長講演 「米子市における胃がん施設検診の現状と問題点」 三浦邦彦 司会 北 昭一
12:00	評議員会(3F研修室)
12:40	総 会
13:00	特別講演Ⅱ 「大腸がん検診体制の問題点 —採便方法と精検受診率向上策を中心に—」 有末太郎 司会 川崎寛中
14:00	一般演題(胃・大腸) 座長 井上和彦 一般演題(症例Ⅰ) 座長 古城治彦 一般演題(症例Ⅱ) 座長 松田裕之
15:25	閉 会

-3-

特別講演Ⅰ

3月2日(金) 16:00~17:00

「新しい胃X線撮影法の試みと実際」

癌研究会附属病院総合健診センター所長 馬場 保昌

司会:鳥取県健康対策協議会理事 岡本 公男

-4-

特別講演Ⅱ

3月3日(土) 13:00~14:00

「大腸がん検診体制の問題点
—採便方法と精検受診率向上策を中心に—」

財パブリックヘルスリサーチセンター学術担当部長

北海道支部札幌商工診療所副院長 有末 太郎

司会:鳥取大学医学部第2内科教授 川崎 寛中

-5-

会 長 講 演

3月3日(土) 11:35~11:55

「米子市における胃がん施設検診の現状と問題点」

山陰労災病院内科部長 三浦 邦彦

司会:日本消化器集団検診学会中国四国支部長 北 昭一

-6-

シンポジウム I

3月2日(金) 14:05~15:35

「21世紀の消化器がん検診における保健婦の役割」

司会：鳥取県立厚生病院内科部長 石飛 誠一
鳥根県広瀬病院院長 佐々木宏之

1. 各種健康診査を身近なものに
愛媛県重信町役場福祉課保健婦 ○矢野 映子
 2. 住民と共に歩む検診活動
岡山県奈義町役場保健福祉課主任保健婦 ○植月 尚子
 3. 総合施設化と保健事業一健(検)診事業への取り組みを通じて一考察一
香川県塩江町役場保健福祉総合施設保健婦長 ○下所 明子
 4. 胃がん検診受診率向上と胃がんの早期発見のために
鳥根県大東町役場健康福祉課保健予防係長 ○曾田 富代
 5. 物部村における胃集団検診への取り組み
高知県物部村役場保健福祉課保健係長 ○宗石こずみ
 6. 福部村における肝臓がん検診の取り組み
鳥取県福部村役場福祉課保健婦 ○若林 理栄
- 特別発言： 香川県立がん検診センター名誉所長 竹内 義貞

-7-

シンポジウム II

3月3日(土) 10:05~11:35

「消化器がん検診における偽陰性例の現状と対策」

司会：山口労災病院消化器内科部長 有山 重美
鳥取県立中央病院内科部長 秋藤 洋一

1. 胃集検における偽陰性率の推計
東北労災病院消化器科 ○阿部 慎哉
宮城県対がん協会がん検診センター 渋谷 大助
2. 鳥根県における間接胃集検における偽陰性進行がん例の実態について
鳥根県環境保健公社総合健診センター ○有馬 範行
松江医療福祉専門学校 佐藤 方則
3. 血清ヘプシノゲン法の偽陰性例とその対策
松江赤十字病院第3内科 ○井上 和彦、三原 修
4. 鳥取県における大腸癌検診偽陰性例の検討
鳥取県健康対策協議会 ○佐藤 徹、石飛 誠一、
岡本 公男
5. 鳥取県全域を対象とした肝臓がん検診の実態
一腹部超音波検診における高い偽陰性率をめぐって一
山陰労災病院内科 ○岸本 幸廣
鳥取赤十字病院内科 松田 裕之
日野病院内科 堀江 裕
鳥取県医師会 長田 昭夫
鳥取大学医学部第2内科 川崎 寛中
(鳥取県健康対策協議会肝臓がん対策専門委員会)
6. 超音波検診における偽陰性癌の現状と対策
川崎医科大学健康管理学 ○井手口清治、大橋 勝彦
岡山済生会総合病院健診センター 北 昭一
7. 腹部超音波集検における偽陰性例の検討
山口県予防保健協会 ○河野 昌幸、松浦 正則
山口労災病院消化器内科 有山 重美
山口県対がん協会 河村 奨

-8-

指定演題

3月2日(金) 15:35~15:55

「胃間接撮影法の工夫」

座長：鳥根県環境保健公社総合健診センター所長 有馬 範行

1. 高濃度低粘性バリウムを用いた間接X線胃集検
鳥根県環境保健公社 ○渡部 充、青山 浩文、
松本 泰雄、加藤 盛蔵、
大國 文夫、内田 量弘、
平井 美光、今岡 伸治
鳥根県環境保健公社総合健診センター 有馬 範行、細木 裕司
2. 集団検診で使用するゾル製剤バリウムの限界
附鳥取県保健事業団 ○野田 清孝、徳田 勝一、
大久保 誠、三宅 二郎

-9-

一般演題

3月3日(土)

胃I(9:05~9:33) 座長 福山市医師会総合健診センター 星田 洋征

1. 高濃度低粘性バリウムに適するフィルムについて
一第一報バリウムコントラストとフィルムコントラスト一
たけのこ会(消化管撮影研究会)
朝淳風会倉敷第一病院 ○大角 博久
医療法人社団同仁会金光病院 田淵 真弘
医療法人水清会水島第一病院 寺嶋 広
医療法人三友会いしま病院 馬場 隆志
真備中央病院 丸元 譲
枝川内科胃腸科 前川 進
2. 高濃度低粘性バリウムに適するフィルムについて
一第二報バリウムコントラストとラチチュード一
たけのこ会(消化管撮影研究会)
医療法人水清会水島第一病院 ○寺嶋 広
朝淳風会倉敷第一病院 大角 博久
医療法人社団同仁会金光病院 田淵 真弘
医療法人三友会いしま病院 馬場 隆志
真備中央病院 丸元 譲
枝川内科胃腸科 前川 進
3. 瀑状胃・牛角胃における前壁撮影の精度向上について
びんご会(日本鋼管福山病院) ○石川 祐三、摺河万裕美、三谷 圭司、
高田 義明、平田 慎子、星田 洋征、
丸元 譲、前川 進
4. 「午前」と「午後」の胃部間接写真への視覚的評価による精度の検討
瀬戸健診クリニック放射線科 ○篠原 裕弥、天羽 努

-10-

胃Ⅱ（9：33～10：01） 座長 九反田消化器内科 依光 幸夫

- 5. 間接胃X線検診車の保守管理—予防保全の現状と課題—
医療法人養寿会岡山中央放射線診療所 ○近藤 英夫
- 6. 直接X線による高濃度低粘性バリウムを用いた胃集検
島根県環境保健公社 ○内田 量弘、青山 浩文、松本 泰雄、
加藤 盛蔵、大國 文夫、平井 美光、
今岡 伸治、渡部 充
島根県環境保健公社総合健診センター 有馬 範行、細木 裕司
- 7. 平成11年度集検発見進行胃癌の実態
勸業媛県総合保健協会 ○保氣口 博、高橋 博、江戸 勝男、
村上 達夫、河野 恒文
- 8. 胃集検における精検結果の検討
香川県立がん検診センター消化器科 ○福家 浩三、山ノ井 昭、青木 利佳、
高田 淳子、板東玄太郎、安田 貢、
林 亨、高橋 義典、鳥巢 隆寛、
坂下 修、竹内 義良

胃、大腸（14：00～14：35） 座長 松江赤十字病院 井上 和彦

- 9. 武田医院における胃癌検診：2000年度の成績から
鳥取県溝口町 武田医院 ○武田 直人
岡山済生会総合病院健診センター 北 昭一
- 10. 米子市の胃癌施設検診における偽陰性例の検討—逐年検診発見進行胃癌の実態—
山陰労災病院内科 ○謝花 典子、中村 由貴、神戸 貴雅、
西向 栄治、徳本 明秀、中岡 明久、
岸本 幸廣、古城 治彦、三浦 邦彦
- 11. 大腸癌検診偽陰性例に関する検討
鳥取赤十字病院内科 ○田中 久雄、森田 親二、嵯峨山 敦、
山本 寛子、松田 裕之、杉山 将洋
- 12. 内視鏡検査からみた大腸癌検診の有用性
山陰労災病院内科 ○古城 治彦、中村 由貴、神戸 貴雅、
西向 栄治、徳本 明秀、中岡 明久、
謝花 典子、岸本 幸廣、三浦 邦彦
- 13. 胃癌、大腸癌の自己評価表作成の試み
島根医科大学第二内科 ○足立 経一、勝部 知子、木下 芳一

症例Ⅰ（14：35～15：03） 座長 山陰労災病院 古城 治彦

- 14. 胃集検チェック後1年の経過で手術不能となった胃癌の1例
鳥取県立厚生病院内科 ○川上 万里、石飛 誠一、金藤 英二、
松田 善典、佐藤 徹
- 15. 胃癌検診精密検査未受診のまま発見されたAFP産生進行胃癌の1例
鳥取県立中央病院内科 ○三浦 将彦、小谷 和彦、清水 展宣、
古川 丈文、岡田 克夫、秋藤 洋一
- 16. 人間ドックで発見された胃MALTリンパ腫の4例
松江赤十字病院第3内科 ○井上 和彦、山科敬太郎、小瀬 和洋、
真田 泰典、花ノ木陸己、三原 修
- 17. 検診にて発見された十二指腸腺腫の1例
松江市立病院第1内科 ○前田 佳子、山田 登、奥村 剛清、
三浦 裕和、小林 淳子、河野 通盛、
吉村 慎二
島根県環境保健公社健診センター 有馬 範行

症例Ⅱ（15：03～15：25） 座長 鳥取赤十字病院 松田 裕之

- 18. 検診を契機に発見された無症候性潰瘍性大腸炎の1例
米子市 博愛病院内科 ○三浦 直也、濱本 哲郎、大久保美智子、
越智 寛、堀 立明、鶴原 一郎
- 19. 外科的治療を選択した集団検診発見大腸腫瘍内癌の1例
倉吉市 野島病院消化器科 ○佐々木祐一郎、山本 敏雄、満田 朱理、
木島 寿久、金子 徹也
- 20. 人間ドックを受けた進行肝細胞癌（HCC）の3例
山陰労災病院内科 ○西向 栄治、中村 由貴、神戸 貴雅、
徳本 明秀、中岡 明久、謝花 典子、
岸本 幸廣、古城 治彦、三浦 邦彦

日程

第1日 2月22日 (金)

13:00	受付
14:00	開会の挨拶 学会長 長田 裕典
14:15	特別講演 I 「胃 X 線二重造影の胎動・発展と今後」 講師 市川平三郎 司会 近藤 慶二
15:45	指定演題 「胃 X 線検診の現状と展望～高濃度バリウムと撮影手技～」 座長 岩元 繁幸
16:10	一般演題 I 座長 山崎 宜彦
17:00	閉会
	幹事会 (18:00～ 旭ロイヤルホテル)

第2日 2月23日 (土)

8:50	開会
9:00	シンポジウム 「21世紀の胃がん検診－施設の現状と展望」 司会 吉原 正治、坂下 修
10:20	一般演題 II 座長 井手口清治 一般演題 III 座長 高松 正宏 一般演題 IV 座長 横田 哲夫
12:00	評議員会 (末廣 3F)
13:00	総会
13:30	特別講演 II 「超音波検診と肝臓がん検診」 講師 河村 奨 司会 井上 修志
15:00	閉会の辞

特別講演 I

2月22日 (金) 14:15～15:45

「胃 X 線二重造影の胎動・発展と今後」

講師: 国立がんセンター名誉院長
(財) 早期胃癌検診協会名誉院長 市川平三郎

司会: (財) 高知県総合保健協会
中央健診センター長 近藤 慶二

指定演題

2月22日 (金) 15:45～16:10

「胃 X 線検診の現状と展望
～高濃度バリウムと撮影手技～」

座長: (財) 香川県予防医学協会 岩元 繁幸

- 高知県総合保健協会における胃 X 線検診の現状と展望
～高濃度バリウムと撮影手技～
(財) 高知県総合保健協会 ○尾崎 弘典、中屋 大輔
岡田 健輔、森田 斉
渡邊 直孝、西村 忠哲
山崎 宜彦
- 高濃度低粘性バリウムを用いた間接胃集検
(財) 広島県健康福祉センター ○松岡 洋矢、片島 紘一
面田 範幸、今村 郁夫
原川 貴之、中垣 健治
松越真由美、田中由美子
曾我部耕路、奥田 武秀
- 二重造影撮影法の画質向上のために
(財) 鳥取県保健事業団 ○大久保 誠、佐藤 義晃
三宅 二郎、藤田 俊介

一般演題 I

2月22日 (金) 16:10～17:00

座長: (財) 高知県総合保健協会 山崎 宜彦

- 水分量が与えるバリウム濃度への影響 --第1報 発泡剤の飲用方法--
たけのこ会 (岡山県)
(医) 水清会 水島第一病院 ○寺嶋 広
(財) 淳風会 健康管理センター 大角 博久
真備中央病院 丸元 譲
枝川内科胃腸科 前川 進
- 水分量が与えるバリウム濃度への影響 --第2報 追加発泡剤の飲用方法--
たけのこ会 (岡山県)
(財) 淳風会 健康管理センター ○大角 博久
(医) 水清会 水島第一病院 寺嶋 広
真備中央病院 丸元 譲
枝川内科胃腸科 前川 進
- 胃集検間接撮影における逐年検診進行胃癌の検討
(財) 愛媛県総合保健協会 放射線課 ○濱田 寛弘、江戸 勝男
村上 達夫、保氣口 博
遠藤 昌夫、柴 浩司
河田 裕、石水 敦史
河野 恒文
- 集検で見えられた進行胃がんの検討 --技師の立場から--第2報--
(財) 徳島県総合健診センター ○赤岩 寛志、岡本 哲也
近藤 博之、山口 哲央
相良 安信

5. 胃検診における撮影技師を加えたTチェック

(財)高知県総合保健協会 ○森田 齊、中屋 大輔
岡田 健輔、西村 忠哲
渡邊 直孝、尾崎 弘典
山崎 宜彦

-7-

シンポジウム

2月23日(土) 9:00~10:20

司会: 広島大学 保健管理センター 吉原 正治
香川県立がん検診センター 坂下 修

1. 山口県における個別胃がん検診の現状と問題点

山口県対がん協会
かわむら内科 ○河村 奨
山陽中央病院 内科 有山 重美

2. 米子市における胃癌施設検診の現状と問題点~第8報~

山陰労災病院 内科 ○謝花 典子、村脇 義之
神戸 貴雅、西向 栄治
徳本 明秀、中岡 明久
岸本 幸広、古城 治彦
三浦 邦彦

3. 胃癌検診の近未来像 一効率と精度向上をめざして一

松江赤十字病院 第3内科 ○井上 和彦、花ノ木睦巳

4. 胃がん検診 施設の現状と展望

香川県立がん検診センター 内科 ○山ノ井 昭

5. これからの胃癌検診 一現状と展望一

広島大学 第一内科 ○金 宜真
保健管理センター 吉原 正治、伊藤 公訓
広島大学 光学医療診療部 田中 信治

-8-

6. 当センターにおける施設胃癌検診の現状 一精検受診率の検討一

(財)徳島県総合健診センター ○鎌村 真子、相良 安信
新居 直人、久保謙一郎
三好 宏和、佐々木春夫
岸 清一郎
徳島大学医学部 第二内科 伊東 進

-9-

一般演題 II

2月23日(土) 10:20~12:00

座長: 川崎医科大学 健康管理学 井手口清治

1. 腹部超音波検診発見病変の経年的変化の検討

(財)山口県予防保健協会 ○田中 剛司、河野 昌幸
松浦 正則、樽林 剛
中村 和代、稲富 幸一
宮本 享一
山陽中央総合病院 内科 有山 重美
山口県対がん協会 河村 奨

2. 鳥取県肝臓検診の現状

鳥取県健康対策協議会肝臓がん対策専門委員会
鳥取赤十字病院 内科 ○松田 裕之
日野病院 内科 堀江 裕
山陰労災病院 内科 川崎 寛中

3. 地域超音波検診にて発見された肝アニサキス症と診断された1例

川崎医科大学 健康管理学 ○井手口清治、大橋 勝彦
福岡医院 福岡 啓祐
岡山済生会総合病院 北 昭一

-10-

一般演題Ⅲ

2月23日(土) 10:20 ~ 12:00

座長: 高知県立中央病院 高松 正宏

4. 便潜血検査とS状結腸鏡検査(SCS)を併用した
大腸がん検診についての検討
高知赤十字病院 健康管理センター ○大黒 隆司、近藤 憲保
同 内科 河野 奈緒、板東 輝実
岡本 博司、岩村 伸一
5. 当院および関連施設での便潜血反応陽性例における検討
高知医科大学 第一内科 ○東谷 芳史、山田 高義
大西 知子、田所 剛久
大川内孝治、横山 雄一
田村 智、大西 三郎
幡多けんみん病院 消化器科 上田 弘、宮本 敬子
こうちクリニック胃腸科・内科 矢野 哲也
6. 鳥取県大腸癌検診8年間の成績と今後の問題点
鳥取県健康対策協議会
鳥取県立厚生病院 内科 ○佐藤 徹、石飛 誠一
鳥取県医師会 岡本 公男
鳥取大学医学部 第一外科 貝原 信明
7. 当センターにおける大腸癌検診による発見大腸ポリープの現況
(財)徳島県総合健診センター ○新居 直人、相良 安信
久保謙一郎、三好 宏和
鎌村 真子、岸 清一郎

- 11 -

一般演題Ⅳ

2月23日(土) 10:20 ~ 12:00

座長: 横田胃腸科内科 横田 哲夫

8. 防府市の直接撮影による胃検診の推移と
逐年受診者から発見された進行症例
(財)防府消化器病センター ○松崎 圭祐、三浦 修
川野 豊一、戸田 智博
南園 義一、長崎 進
9. 高齢者胃集検の現状と発見癌の検討
香川県立がん検診センター 内科 ○坂東玄太郎、青木 利佳
安田 貫、林 亨
井上 博之、鳥巢 隆資
竹内 義典、山ノ井 昭
同 消化器科 高橋 義典、山ノ井 昭
坂下 修
10. 人間ドックにおける胃内視鏡検査の有用性
高知県厚生連総合農村健康管理センター ○岸野 達志

- 12 -

日程

第1日目 2月7日(金) 3階音楽ホール

13:00	受付
14:20	開会の挨拶 学会長 三浦 修
14:30	シンポジウム 「発見胃癌から見た車検診と施設検診の現状と問題点」 司会 三浦 邦彦 村上 誠一
17:00	閉会
18:00	幹事会 (18:00~ シャンピアホテル防府)

第2日目 2月8日(土) 3階音楽ホール

8:55	開会
9:00	一般演題 I 座長 松崎 圭祐
9:45	一般演題 II 座長 清水 建策
10:30	特別講演 I 「超音波集検から得た胆嚢病態」 講師 小野 良樹 司会 河村 奨
12:00	評議員会 (松月3階)
13:00	総会
13:30	特別講演 II 「大腸癌外科治療の最前線」 講師 亀岡 信悟 司会 三浦 修
14:30	閉会の辞

第2日目 2月8日(土) 2階リハーサル室

9:00	教育講演 「腹部超音波スクリーニングのポイント」 1) 肝臓所見の撮り方・読み方 講師 井手口 清治 2) 超音波集検の事後管理 講師 有山 重美 司会 福嶋 啓祐
10:00	検診胃X線写真の提示と講評 - 撮影法と症例の検討 - 司会 藤 照正 特別発言 山ノ井 昭 相良 安信 河村 奨
12:00	ランチョンセミナー 「フルデジタルカラー超音波装置の基礎と応用」 講師 清水 裕治

3

シンポジウム

第1日目 2月7日(金) 14:30~17:00

会場: 3階音楽ホール

司会: 山陰労災病院 内科 三浦 邦彦
山口県放射線技師会幹事 村上 誠一

- 地域がん検診の現状と問題点
- 平成12年度の成績から -
かわむら内科 ○河村 奨
- 発見胃癌から見た施設検診と車検診の現状と問題点
(財)高知県総合保健協会 ○西村 忠哲、中屋 大輔
森田 斉、渡辺 直孝
尾崎 弘典、山田 陽子
岡田 健輔、三嶋 泰
桑尾 和、宮崎 由佳
杉本 洋輔、畑山 隆
山崎 直彦
- 当施設近年の胃がん検診の現状と問題点
(財)愛媛県総合保健協会 ○柴 浩司
- 鳥取県における車検診と施設検診
(財)鳥取県保健事業団 ○中村 良文、大久保 誠
三宅 二郎
- 米子市における発見胃癌から見た車検診と施設検診の現状と問題点
山陰労災病院 内科 ○謝花 典子、岸本 幸広
古城 治彦、三浦 邦彦
- 車検診と施設検診の比較
香川県立がん検診センター 内科 ○山ノ井 昭

4

7. 当センターにおける巡回検診(車検診)と施設検診の現状
(財)徳島県総合健診センター 内科 ○鎌村 真子、相良 安信
新居 直人、久保謙一郎
三好 宏和、佐々木春夫
岸 清一郎
徳島大学 臓器病態治療医学 伊東 進

徳島大学 臓器病態治療医学

5

一般演題 I

第2日目 2月8日(土) 9:00~9:42

会場: 3階音楽ホール

座長: (財)防府消化器病センター
防府胃腸病院 松崎 圭祐

- 低コントラストフィルム使用による障害陰影低減について
- 写真コントラストと被写体及びフィルムコントラスト -
たけのこ会 (消化管画像研究会)
特定医療法人 鴻仁会 岡山中央病院 ○船山 麻弓、葛尾有多子
真備中央病院 丸元 譲
医療法人水清会 水島第一病院 寺嶋 広
枝川内科胃腸科 前川 進
- 右側臥位方向から360度ローリングにおける
バリウム付着の均一性について
山口大学 放射線科 ○清水 建策、河上 康彦
中島 好晃、松永 尚文
下関済生会病院 中西 敬
国立山陽病院 中田 太志
町立大和病院 田中 陸雄
佐々井放射線科 佐々井一彦
徳山中央病院 片山 節
都志見病院 有田 剛
- 高濃度バリウム導入後の間接胃集検結果の考察
(財)広島県健康福祉センター ○松岡 洋矢、中垣 健治
面田 範幸、今村 郁夫
原川 貴之、曾我部耕路
奥田 武勇、田中由美子

6

4. 胃X線検査の精度向上の為に
(財)淳風会 健康管理センター ○大角 博久、安倉 真司
大西 健夫、玄馬 勝弘
藤田 浩治、松尾 浩二
小林 行治
枝川内科胃腸科 前川 進
5. 発見胃癌からみた胃検診T（トリプル）チェックの検討
(医)防治会いずみの病院 外科 ○長田 裕典
(財)高知県総合保健協会 森田 齊、中屋 大輔
渡邊 直孝、尾崎 弘典
西村 忠哲、山田 陽子
山崎 宣彦
同 検診センター 近藤 慶二
6. 胃がん検診：高齢者撮影における留意点
(財)愛媛県総合保健協会 放射線課 ○河田 裕、江戸 勝夫
遠藤 収、村上 達夫
末光 忠利、保気口 博
濱田 寛弘、柴 浩司
石水 敦史、大西 弘高

7

一般演題 II

第2日目 2月8日(土) 9:45～10:27

会場：3階音楽ホール

座長：山口大学医学部 放射線科 清水 建策

7. X線撮影が有効であった表層拡大型胃癌の1例
わかとり会(鳥取)
鳥取生協病院 ○小西 哲生、秋吉 正史
中国労働衛生協会 谷繁 達士、奥田 正義
鳥取赤十字病院 佐藤 潔
社会保険とっとり 水鴨 建文
鳥取県保険事業団 大久保 誠
枝川内科胃腸科 前川 進
8. 胃X線検査における頭低位時の自律神経活動の変動
一心拍変動解析による検討一
香川県立がん検診センター 内科 ○林 亨、仁木美也子
板東玄太郎、安田 貢
鹿児島 彰、井上 博之
高橋 義典、山ノ井 昭
鳥巢 隆資、坂下 修
竹内 義員
齋藤 憲
徳島大学医学部 保健学科 野村 昌弘、伊東 進
徳島大学医学部 第2内科
- 同 消化器科

8

9. 地域胃がん検診としてのペプシノゲン法の成績について
広島大学・保健管理センター ○日山 亨、吉原 正治
広島大学大学院・分子病態制御内科学 江木 康夫、黒田 剛
金 宣真、益田 浩
佐々木敦紀、甲斐 広久
吉田 成人、北台 靖彦
隅井 雅晴、茶山 一彰
広島大学・光学医療診療部 伊藤 公訓、田中 信治
10. 鳥取県肝癌検診 - 平成13年度診断例 -
鳥取県健康対策協議会肝臓がん対策専門委員会
鳥取赤十字病院 内科 ○松田 裕之
鳥取大学医学部機能病態 内科 村脇 義和
山陰労災病院 内科 川崎 寛中
11. 腹部超音波検診の成績集計についての検討
(財)山口県予防保健協会 ○博林 剛、河野 昌幸
松浦 正則、田中 剛司
藤本 和代、宮本 享一
山陽中央総合病院 内科 有山 重美
山口県対がん協会 河村 奨
12. 当センター人間ドックにおける腹部超音波検査
(財)防府消化器病センター ○石元 嘉告、松崎 圭祐
防府胃腸病院 川野 豊一、三浦 修

9

特別講演 I

第2日目 2月8日(土) 10:30～11:30

会場：3階音楽ホール

「超音波集検から得た胆嚢病態」

講師：日本大学医学部 総合健診センター 所長 小野 良樹

司会：かわむら内科 河村 奨

10

特別講演 II

第2日目 2月8日(土) 13:30~14:30

会場: 3階音楽ホール

「大腸癌外科治療の最前線」

講師: 東京女子医科大学第2外科 教授 亀岡 信悟

司会: (財) 防府消化器病センター
防府胃腸病院 三浦 修

11

教育講演

第2日目 2月8日(土) 9:00~10:00

会場: 2階リハーサル室

「腹部超音波スクリーニングのポイント」

1) 肝臓所見の撮り方・読み方

講師: 川崎医科大学健康管理学 助教授 井手口清治

2) 超音波集検の事後管理

講師: 山陽中央総合病院 副院長 有山 重美

司会: 福嶋医院 理事長

福嶋 啓祐

12

検診胃X線写真の提示と講評 — 撮影法と症例の検討 —

第2日目 2月8日(土) 10:00~11:50

会場: 2階リハーサル室

(財)鳥取県保健事業団	(間接撮影)	大久保 誠
(財)島根県環境保健公社	(間接撮影)	平井 美光
(財)山口県予防保健協会	(間接撮影)	古川 愛
(財)広島県健康福祉センター	(間接撮影)	松岡 洋矢
(財)岡山県健康づくり財団	(間接撮影)	山神 涼一
(財)徳島県総合健診センター	(間接撮影)	播磨 孝
(財)高知県総合保健協会	(間接撮影)	渡邊 直孝
(財)愛媛県総合保健協会	(間接撮影)	河田 裕
香川県立がん検診センター	(間接撮影)	濱田 裕
(財)防府消化器病センター	(直接撮影)	相川 義治

特別発言: 香川県立がん検診センター 山ノ井 昭
徳島県総合健診センター 相良 安信
かわむら内科 河村 奨

司会: (財)倉敷成人病センター 藤 照正
(財)防府消化器病センター 安成 弘次

13

日 程 表

2月6日(金)

	第1会場(3階メインホール)	第2会場(2階第1研修室)
14:00	受付	
14:50	開会の挨拶 学会長 小林 広幸	
15:00	シンポジウム I 「大腸がん検診精検受診率向上のための工夫」 司会 古城 治彦 潮田 珠身	胃集検の会(症例検討) 司会 三浦 邦彦 濱田 寛弘
16:30	特別講演 I 「大腸癌検診の現状と課題」 講師 下田 悠一郎 司会 小林 広幸	
17:30	閉会	
18:00	幹事会(会場:1階理事室)	

2月7日(土)

	第1会場(3階メインホール)	第2会場(2階第1研修室)
8:00	受付	
8:55	開会	
9:00	教育講演 「超音波画像の意味するもの」 講師 竹原 靖明 司会 河村 奨	
10:00	シンポジウム II 「胃集検における新撮影法の現状と問題点」 司会 鳥巢 陸資 保氣口 博	
12:00	評議員会(会場:1階理事室)	
13:00	総会	
13:20	特別講演 II 「胃癌検診の現状と課題」 講師 馬場 保昌 司会 淵上 忠彦	
14:20	一般演題 I (胃・超音波) 座長 相良 安信 一般演題 III (胃) 座長 蔵原 一郎	一般演題 II (胃) 座長 木下 正司 一般演題 IV (大腸) 座長 山ノ井 昭
15:25	閉会の挨拶 学会長 小林 広幸	

- 3 -

シンポジウム I

第1日(2月6日) 15:00 ~ 16:30

会場: 第1会場(3階メインホール)

「大腸がん検診精検受診率向上のための工夫」

司会: 山陰労災病院 消化器内科 古城 治彦

JA愛媛県厚生連健診センター 潮田 珠身

- 大腸がん検診精検受診率向上のための工夫
かわむら内科 ○河村 奨
山陽中央病院 有山 重美
- 米子市大腸がん検診実施の報告
米子市福祉保健総合センター 健康対策課 ○宮永 みどり、
吉田 古都枝
- 安来市健康推進会議と大腸がん検診精密検査受診率向上に関する一考察
島根県安来市役所健康長寿課 ○竹内 妙子
- 大腸がん検診精検受診率向上のための工夫についての考察
(財)徳島県総合健診センター ○黒田 裕子、篠原 啓二
- 三野町における大腸がん検診精検受診率向上への取り組み
香川県三野町保健センター ○秋山 益枝

- 4 -

シンポジウム II

第2日(2月7日) 10:00 ~ 12:00

会場: 第1会場(3階メインホール)

「胃集検における新撮影法の現状と問題点」

司会: 香川県立がん検診センター 鳥巢 陸資

愛媛県総合保健協会 保氣口 博

1. 住民検診における新撮影法の問題点 - アンケート調査から -

山口大学放射線科	○清水 健策、松永 尚文、 河上 康彦、国広 佳枝
かわむらクリニック	河村 奨
(財)山口県予防保健協会	田中 信之
国立山陽病院	中田 大志
徳山中央病院	片山 節
町立大和病院	田中 陸雄
ささい放射線科	佐々井 一彦
下関済生会病院	中西 敬

2. 質的向上を目指した胃部X線間接撮影法の見直し

瀬戸健診クリニック放射線科	○篠原 裕弥
---------------	--------

3. 胃集検における新撮影法の現状と問題点

島根県環境保健公社	○栗原 康平、新松 達也 佐々木 孝志、丸 修 大輝 正
島根県胃がん集団検診読影委員会	平川 和也、有馬 範行 三浦 邦彦、佐藤 方則

- 5 -

4. 集検主体施設の立場からみた新撮影法の現状と問題点

(財)広島県健康福祉センター	○中垣 健治、今村 郁夫 奥田 武秀、松岡 洋矢 原川 貴之、高橋 陽子 曾我部 耕路、田中 由美子
----------------	---

5. 当協会車検診における新撮影法の現状と問題点

(財)愛媛県総合保健協会	○柴 浩司、江戸 勝男 村上 達夫、濱田 寛弘 遠藤 昌夫、石水 敦史 大野 智博、宮野 浩
--------------	---

6. 胃間接撮影法の検討 - 二重造影法への移行 -

JA愛媛県厚生連健診センター	○山内 喜志男、島津 成章 梶原 篤、木村 浩之 三宅 隆、堀江 民三良 山下 良輝、田中 伸司
----------------	---

- 6 -

一般演題

2月7日(土)

- I. 胃・超音波 第1会場(3階メインホール) 14:20 ~ 14:48
座長: 徳島県総合健診センター 相良 安信

1. 腺腫の形態を伴った胃癌の一例

わかとり会(消化管画像研究会・鳥取)

鳥取生協病院 ○秋吉 正史、小西 哲生
中国労働衛生協会 谷繁 達士、奥田 正義
鳥取赤十字病院 佐藤 深
社会保健鳥取 水嶋 健文
鳥取県保険事業団 大久保 誠
枝川内科胃腸科 前川 進

2. 米子市における胃癌施設検診の現状と問題点 - 第9報 -

山陰労災病院 内科 ○謝花 典子、杉原 善明、神戸 貴雅、
西向 栄治、徳本 明秀、中岡 明久
岸本 幸広、古城 治彦、三浦 邦彦

3. 人間ドック超音波検査胆嚢病変有所見者に対する検討

川崎医科大学健康管理学 ○井手口 清治
福岡病院 福岡 啓祐

4. 山口県における腹部超音波集検の現状

(財)山口県予防保健協会 ○河野 昌幸、松浦 正則、樽林 剛
田中 剛司、藤本 和代、河野 浩二
山陽中央総合病院 内科 有山 重美
かわむら内科 河村 奨

- 7 -

一般演題

2月7日(土)

- II. 胃 第2会場(2階第1研修室) 14:20 ~ 14:48
座長: 香川県立津田病院 木下 正司

5. 類似表層型拡大胃癌の一例

たけのこ会(岡山県) ○玄馬 勝弘、小林 行治、田辺 岩夫
大角 博久、丸元 謙、馬場 隆志
枝川胃腸科内科 前川 進

6. 胃集検で見えられた早期胃がんについて

徳島県総合健診センター ○播磨 孝、近藤 安、岡本 哲也
赤岩 寛志
枝川胃腸科内科 前川 進

7. 認定技師読影の精度についての検討 - 第2報 -

(財)高知県総合保健協会 ○尾崎 弘典、中屋 大輔、森田 斉
渡邊 直孝、西村 忠哲、山田 陽子
山崎 宜彦
同 中央健診センター 金子 昭、近藤 慶二
(医)防治会いずみの病院 外科 長田 裕典

8. 当協会における最近の胃癌検診状況

(財)愛媛県総合保健協会 放射線課 ○宮野 浩、河野 恒文、江戸 勝男
村上 達夫、濱田 覺弘、遠藤 昌夫
柴 浩司、石水 敦史、大野 智博

- 8 -

一般演題

2月7日(土)

- III. 胃 第1会場(3階メインホール) 14:49 ~ 15:24
座長: 藤原放射線科 藤原 一郎

9. 検診間接胃X線において発見された食道胃接合部原発悪性黒色腫の1例

香川県立がん検診センター 内科 ○北村 晋志、板東 玄太郎、安田 賢
仁木 美也子、林 亨、村田 昌彦、
井上 博之、鹿兒島 彰、山ノ井 昭
鳥巢 隆資

10. 検診を契機に発見された gastric cancer with lymphoid stroma の1例

松山市民病院 消化器科 ○古田 聡、水上 祐治、村上 信三、
高取 優二、明坂 和幸、湯山 晋
小堀 陽一郎、古川 淳、浦岡 佳子
山本 和寿

11. 検診における胃上部前壁がんの検討

香川県立がん検診センター 内科 ○林 亨、北村 晋志、仁木 美也子、
板東 玄太郎、村田 昌彦、安田 賢
鹿兒島 彰、井上 博之
同 消化器科 山ノ井 昭、鳥巢 隆資、竹内 義員

12. 前壁に存在した胃がんについての検討

J A 愛媛県厚生連健診センター ○梶原 篤、田中 宏美、大岡 純子
島津 成章、山内 喜志男、越智 恵
平田 利香、木村 浩之、三宅 隆
堀江 民三良、山下 良雄、田中 伸司

13. 検診における新たな試み

松山市民病院 ○松田 洋美、鈴木 えみ、松本 悟
藤原 正志

- 9 -

一般演題

2月7日(土)

- IV. 大腸 第2会場(2階第1研修室) 14:49 ~ 15:17
座長: 香川県立がん検診センター 山ノ井 昭

14. 検診発見された大腸粘膜下腫瘍の検討

国立病院四国がんセンター 内科 ○壺内 栄治、平崎 照士、那須 淳一郎
仁科 智裕、筑木 隆雄、谷水 正人、
兵頭 一之介

15. 進行大腸癌における便潜血反応の実態の検討

愛媛大学医学部 第三内科 ○鳥巢 真幹、檜垣 直幸、竹下 英次
芝田 直純、横田 智行、村上 英広
松井 秀隆、堀池 典生、恩地 森一
同附属病院 光学医療診療部 池田 宜央、道堯 浩二郎

16. 当院における大腸癌精検受診者の検討

松山赤十字病院 消化器科 ○別府 孝浩、小林 広幸、堺 勇二
小田 秀也、大田 恭弘、藤原 晃一
富岡 禎隆、谷口 雅彦、前島 裕司

17. 便潜血検査により発見された大腸癌の検討

国立病院四国がんセンター 内科 ○仁科 智裕、筑木 隆雄、那須 淳一郎
平崎 照士、舛本 俊一、谷水 正人
兵頭 一之介

- 10 -

特別講演 I

第1日 2月6日(金) 16:30 ~ 17:30

会場: 第1会場 (3階メインホール)

「大腸癌検診の現状と課題」

講師: 佐賀県立好生館放射線科 部長 下田 悠一郎

司会: 松山赤十字病院消化器科 部長 小林 広幸

-11-

特別講演 II

第2日 2月7日(土) 13:20 ~ 14:20

会場: 第1会場 (3階メインホール)

「胃癌検診の現状と課題」

講師: 早期胃癌検診協会 所長 馬場 保昌

司会: 松山赤十字病院 院長 瀧上 忠彦

-12-

教育講演

第1日 2月7日(土) 9:00 ~ 10:00

会場: 第1会場 (3階メインホール)

「超音波画像の意味するもの」

講師: 新横浜病院横浜総合検診センター 所長 竹原 靖明

司会: かわむら内科 院長 河村 奨

-13-

検診胃X線フィルム(間接撮影)の提示と講評

— 撮影法と症例の検討 —

第1日目 2月6日(金) 15:00 ~ 16:30

会場: 第2会場 (2階第1研修室)

J A 愛媛県厚生連健診センター	(間接撮影)	木村 浩之
(財) 福山市医師会総合健診センター	(間接撮影)	星田 洋征
(財) 徳島県総合健診センター	(間接撮影)	岡本 哲也
(財) 高知県総合保健協会	(間接撮影)	渡邊 直孝
(財) 淳風会健康管理センター	(間接撮影)	安倉 真司
(財) 島根県環境保健公社 出雲出張所	(間接撮影)	渡部 充
中国労働衛生協会鳥取健診センター	(間接撮影)	谷繁 達士

司会: 山陰労災病院 消化器内科 三浦 邦彦

(財) 愛媛県総合保健協会 濱田 覺弘

-14-

日 程 表

2月4日 (金)

5階 第3会場 (小ホール)		4階 第2会場
13:00	受付	
13:55	開会の挨拶 学会長 相良 安信	
14:00	シンポジウム (2) 「高齢者の集団検診」 司会 山ノ井 昭 本田 浩仁	症例検討会 (胃集検の会) 司会 播磨 孝 特別発言 清水 建策 診療放射線技師部会総会
15:30	ワークショップ 「超音波スクリーニングの現状 —技師の立場から—」 司会 井手口清治 大田 則彦 特別発言 河村 奨	
17:00	閉会	
17:30	幹事会	

2月5日 (土)

4階 第1会場		4階 第2会場
8:50	受付	
9:20	シンポジウム (1) 「高濃度低粘性バリウム使用による 新撮影法のメリット・デメリット」 司会 井上 和彦 岩元 繁幸	
10:50	特別講演 I 「高濃度低粘性バリウムの使用による 新撮影法」 講師 今村 清子 司会 河村 奨	
11:50		評議員会
13:00	総会	
13:30	特別講演 II 「大腸がん検診におけるビットフォール —スクリーニングから精検まで—」 講師 松田 一夫 司会 吉原 正治	
14:30	一般演題 座長 安田 貢	
15:05	一般演題 座長 謝花 典子	
15:33	学会長 相良 安信	

3

シンポジウム (2)

第1日 (2月4日) 14:00~15:30

会場: 第3会場 (5階 小ホール)

「高齢者の集団検診」

司会: 香川県立がん検診センター
徳島大学医学部臓器病態治療医学

山ノ井 昭
本田 浩仁

- 当センターにおける高齢者胃がん検診の現状
(財) 徳島県総合健診センター
○ 鎌村 真子・相良 安信
新居 直人・市原 寿江
久保謙一郎・三好 宏和
佐々木春夫・岸 清一郎
伊東 進
徳島大学臓器病態治療医学
- 高齢者胃がんの集団検診の現状
香川県立がん検診センター 消化器科
○ 安田 貢・山ノ井 昭
鳥巢 隆資
- 米子市の胃がん検診の現状と問題点 ~高齢者胃がん検診の検討~
山陰労災病院内科
(財) 保健事業団西部本部
○ 謝花 典子・岸本 幸広
古城 治彦
三浦 邦彦
- 高齢者の胃部集団検診での手技の工夫
(財) 福山市医師会総合健診センター
○ 小田原峰人・星田 洋征
星加 英子・吉岡 典子
辻 めぐみ・谷川 晃子
- 高齢者の胃がん検診: 胃がんハイリスク背景粘膜からみた検診間隔について
広島大学保健管理センター
国立国際医療センター 内視鏡部
○ 日山 亨・吉原 正治
上村 直実
- 精検施設からみた便潜血による大腸癌集団検診 —高齢者を中心に—
松江赤十字病院内科
○ 井上 和彦・谷 充理
- 平成14年度 大腸がん検診の現状と課題
山口県成人病検診管理指導協議会大腸がん部会
山口県消化器がん検診研究会
○ 河村 奨・三浦 修
田村 泰三・児玉 隆浩
中島 洋・丹黒 章
野島 真治

4

ワークショップ

第1日 (2月4日) 15:30~17:00

会場: 第3会場 (5階 小ホール)

司会: 川崎大学健康管理学
医誠会 都志見病院

井手口清治
大田 則彦

- 人間ドックにおける腹部超音波検査成績
(財) 鳥根県環境保健公社
○ 高木 繁・勝部真理子
高橋 和子・戸田 隆士
田中 志乃・有馬 範行
- 人間ドックにおける超音波検査成績についての検討
(財) 徳島県総合健診センター
○ 岡山 由美・湊 真由美
小出 逸子・遠藤 明美
蟹谷 和見・相良 安信
- 当センターにおける腹部超音波検査のスクリーニングについて
香川県立がん検診センター 放射線科
○ 濱田 裕・王尾 淳
小路 伸二・福井 勸子
杉本 忠義
- 腹部超音波スクリーニングの現状と問題点
川崎医科大学付属病院健康診断センター
○ 平井 紀之・井手口清治
- 山口県における腹部超音波スクリーニングの現状
(財) 山口県予防保健協会
○ 松浦 正則・河野 昌幸
博林 剛・田中 剛司
藤本 和代・河野 浩二
山陽中央総合病院 内科 有山 重美
日本対がん協会 山口県支部 かわむら内科 河村 奨
- 人間ドック腹部超音波検査における走査法・注意点・留意点
鳥取県立厚生病院中央検査室
鳥取県中部医師会立三朝温泉病院内科
○ 五百川尚宏
石飛 誠一

特別発言

かわむら内科

河村 奨

5

症例検討会 (胃集検の会)

第1日 (2月4日) 14:00~15:00

会場: 第2会場 (4階)

司会: 徳島県総合健診センター 播磨 孝

- 愛媛県厚生農業協同組合連合会 木村 浩之
- (財) 広島県健康福祉センター 曾我部 耕路
- (財) 徳島県総合健診センター 近藤 安
- (財) 山口県予防保健協会 磯部 雅史
- (財) 高知県総合保健協会 森田 斉
- (財) 鳥取県保健事業団 大久保 誠
- 日立記念病院 谷野 節男

特別発言

山口大学医学部構造制御病態学講座
放射線医学講座

清水 建策

6

シンポジウム(1)

第2日(2月5日) 9:20~10:50

会場:第1会場(4階 大会議室)

司会:松江赤十字病院 内科
香川県予防医学協会

井上 和彦
岩元 繁幸

- バリウム誤嚥の傾向と対策
(財)山口県予防保健協会 ○ 磯部 雅史・田中 信之・岩下 勝男
中野 定基・廣澤 洋子・村藤 康子
磯部 愛・藤村 剛史・中原 賢吾
加藤 竜生
村上 誠一
清水 建策
社会保険 下関厚生病院
山口大学 放射線科
- 新撮影法の利点と欠点
—消泡剤入りバリウムによる発泡剤の飲用について—
(財)徳島県総合健診センター ○ 赤岩 寛志・近藤 安・岡本 哲也
近藤 博之・木ノ桐雅博・美馬 佳久
尾崎 寛幸・播磨 孝・矢野 隆生
山口 哲央・矢武 道夫・相良 安信
- 高濃度低粘性バリウム使用による新撮影法のメリット・デメリット
(財)高知県総合保健協会 ○ 西村 忠哲・中屋 大輔・森田 斉
渡辺 直孝・尾崎 弘典・山田 陽子
山崎 宣彦
- 高濃度低粘性バリウム使用による新撮影法のメリット・デメリット
(財)広島県健康福祉センター ○ 松岡 洋矢・今村 郁夫・原川 貴之
中垣 健治・田中由美子・曾我部耕路
奥田 武秀・高橋 陽子
- 高濃度低粘性バリウム使用による新撮影法のメリット・デメリット
日立記念病院 ○ 谷野 節男
- 高濃度低粘性バリウム使用による新撮影法のメリット・デメリット
(財)淳風会健康管理センター ○ 安倉 真司・大角 博久・大西 健夫
玄馬 勝弘・松尾 浩二・小林 行治
前川 進
枝川内科胃腸科
- 高濃度低粘性バリウムによる二重造影の有効性
わかとり会(消化管画像研究会・鳥取)
鳥取生協病院 ○ 森 美映子・小西 哲生・秋吉 正史
砂川 和美
中国労働衛生協会 谷繁 達士・奥田 正義
鳥取赤十字病院 佐藤 潔
社会保険とっとり健康管理センター 水嶋 建文
(財)鳥取県保健事業団 大久保 誠・藤田 俊介
枝川内科胃腸科 前川 進

一般演題

第2日(2月5日) 14:30~15:05

会場:第1会場(4階 大会議室)

座長:香川県立がん検診センター 安田 貢

- 一モデル地域胃がん検診38年の歩み
かわむら内科 ○ 河村 奨
- 平成14年度山口県胃がん検診の現状 ~集検、個別検診の比較検討
山口県成人病検診管理指導協議会 胃がん部会 ○ 河村 奨・三浦 修
松永 尚文・清水 建策
柳井 秀雄・村上 誠一
児玉 隆浩
山口県消化器がん検診研究会 中村 克衛・岡澤 寛
岡崎 幸紀・藤本 茂博
松浦 宏・為近 義夫
藤田 良樹・中田 太志
- 胃前壁がんの示現能の年次検討
香川県立がん検診センター 内科, 消化器科 ○ 北村 晋志・林 亨
仁木美也子・板東玄太郎
安田 貢・鹿兒島 彰
井上 博之・村田 昌彦
山ノ井 昭・鳥巢 隆資
竹内 義貞
- 細径胃内視鏡検査における呼吸循環動態の検討
香川県立がん検診センター ○ 仁木美也子・安田 貢
林 亨
徳島大学医学部臓器病態治療医学 野村 昌弘・伊東 進
- 当協会における過去3年間の腹部超音波検診の現状と今後の問題点
(財)愛媛県総合保健協会 健診部 ○ 宇都宮 大・小川 泰史
濱田 曼弘・佐伯 健二
深田 千尋・松木 智美

一般演題

第2日(2月5日) 15:05~15:33

会場:第1会場(4階 大会議室)

座長:山陰労災病院内科 謝花 典子

- 住民検診における新撮影法の有用性と問題点
山口大学放射線科 ○ 田辺 昌寛・清水 建策
国広 佳枝・松永 尚文
(財)山口県対がん協会 河村 奨
(財)山口県予防保健協会 田中 信之
- 高濃度低粘性バリウム使用による新撮影法のメリット・デメリット
「デメリットを改善するための試み」
(財)鳥取県保健事業団 ○ 大久保 誠・藤田 俊介
三宅 二郎
- 当施設の住民検診における間接撮影法
医療法人養寿会 岡山中央放射線診療所 ○ 貞利 英之
- 胃間接撮影における透視観察の重要性について
(財)徳島県総合健診センター ○ 岡本 哲也・赤岩 寛志
播磨 孝・相良 安信

特別講演 I

第2日 2月5日(土) 10:50~11:50

会場 第1会場(4階 大会議室)

「高濃度低粘性バリウムの使用による新撮影法」

講師:横浜市立市民病院・がん検診センター所長 今村 清子
司会:かわむら内科 河村 奨

特別講演Ⅱ

第2日 2月5日(土) 13:30~14:30
会場 第1会場(4階 大会議室)

「大腸がん検診におけるピットフォール
—スクリーニングから精検まで—」

講師：福井県健康管理協会 県民健康センター所長 松田 一夫
司会：広島大学保健管理センター 教授 吉原 正治

11

市民公開講座

講師

13:00~

早くみつけて 早く治そう がん検診

相良 安信 先生
(徳島県総合健診センター)

14:00~

— いきいき生きる その為に —

早川 一光 先生
(総合人間研究所)

司会

伊東 進 先生
(徳島大学医学部臓器病態治療医学)

日時：平成17年2月4日(金) 午後1時~4時
場所：徳島県郷土文化会館 参加費無料

主催：第35回日本消化器集団検診学会中国四国地方会

12

会長を受けてしまって

鳥根県環境保健公社 佐々木 宏 之

自分が会長を受けるとは思ってもいませんでした。学会には参加していましたが活動は無に等しく、ただ佐藤先生（第26回会長）、三浦先生（第31回会長）に勧められ受けることにしました。当時は町立広瀬病院（現安来市立病院）に、全国国民健康保険診療施設協議会の理念である地域包括医療に共鳴して30年近く勤めていましたが、市町村合併に絡んで進退も決まらず途惑っていました。丁度その折、伊東進先生（徳島大学）から、開催順を替わって貰えないかと相談を受け、逆にお願ひしたい位でしたので了解しました。結局平成16年9月に退職、現在の公社にお世話になることになり、落ち着いて取り組むことが出来ました。その頃は学会としても保健師などの参加を勧めており、鳥根県がん検診等従事者講習会も兼ねさせて頂きました。そして肝炎検診について、赴任間もなかった茶山一彰先生（広島大学）に、小生全く面識がなかったので、村脇義和先生（鳥取大学）からお願いして頂き、特別講演を引き受けて頂きました。また公社の胃がん検診読影委員会では年2回、前年検診陰性進行胃がんについて検討を重ねており、そのまとめを会長講演とさせて頂きました。

病院を離れてからの開催でしたので、寄付集めに公社職員と大雪の中を廻ったこと、一ヶ月位前に突発性難聴を患ったこと、色々ありましたが何とか責を果たせたことでほっとしたことを思い出します。今更ながらにお世話になった関係者の皆さんにお礼を申し上げ思い出したいと思います。

日 程 表

2月17日 (金)

第1会場 (国際会議場)		第2会場 (501会議室)	
13:00	受付		
13:30		診療放射線技師部会幹事会	
13:55	開会挨拶 学会長 佐々木 宏之		
14:00	シンポジウム (1) 「HCV検診の現状と問題点から求められる課題」 司会 池田 敏 岸本 幸廣	症例検討会 (胃癌検の会) 司会 有馬 範行 アドバイザー 山ノ井 昭 三浦 邦彦 診療放射線技師部会総会	
15:45	教育講演 (2) 「超音波による膵・胆道疾患のスクリーニング」—超音波解剖— 講師 香川 幸司 司会 足立 経一		
16:30	特別講演 「肝炎・肝がんの治療の現状と肝炎検診に期待するもの」 講師 茶山 一彰 司会 河村 奨		
17:30	閉会		
17:40		幹事会	

2月18日 (土)

第1会場 (国際会議場)		第2会場 (401会議室)	
8:00	受付		
8:55	開会挨拶 学会長 佐々木 宏之		
9:00	教育講演 (1) 「胃がん・大腸がんの遺伝子診断」 ～がん検診応用への可能性～ 講師 井藤 久雄 司会 伊東 進		
10:00	シンポジウム (2) 「内視鏡検診の現状から標準化への課題」 司会 有馬 範行 本田 浩仁		
11:50	ランチョンセミナー 「胃X線新標準撮影法」 —撮影のポイントとコツ— 講師 木村 俊雄 司会 村上 誠一	評議員会	
12:50	総会		
13:20	会員講演 「島根県における胃がん検診とその読影の現状と課題」 学会長 佐々木 宏之 司会 伊東 進		
13:40	一般演題 胃 I 座長 石飛 誠一 胃 II 座長 隅井 浩治	一般演題 胃 III・超音波 座長 井上 和彦 大腸 座長 山田 稔	
14:50	閉会の挨拶 学会長 佐々木 宏之		

3

特別講演

第1日 2月17日 16:30~17:30
会場 第1会場 (国際会議場)

「肝炎・肝がんの治療の現状と肝炎検診に期待するもの」

講師：広島大学大学院医歯薬学総合研究科分子病態制御内科学
教授 茶山 一彰
司会：かわむら内科 院長 河村 奨

増加の一途をたどっていた肝がんによる死亡もようやく減少の兆しが見えかけてきた。これはC型肝炎ウイルス感染に対するリパズイン+インターフェロン、B型肝炎ウイルスに対するラムブジンといった新しい効果的な治療が導入されてきたことによる。また、ラジオ波焼灼といった新しい肝がん治療の導入により、肝がんを発症しても根治することができるようになったからである。しかし、依然として巨大な肝がん、末期的な状況で紹介されてくる症例も後を絶たない。これは、慢性肝炎、肝硬変が全く症状のない疾患であり、血液検査でウイルスの感染を診断しない限り罹患がわからないためである。一度検診でHCV抗体、HBs抗原を測定するだけで、ほとんどの症例は慢性肝疾患の有無が診断できる。今回の講演では肝疾患治療の最新の情報と、検診による早期発見の重要性について解説する予定である。

4

教育講演 (1)

第2日 2月18日 9:00~10:00
会場：第1会場 (国際会議場)

「胃がん・大腸がんの遺伝子診断」
～がん検診応用への可能性～

講師：鳥取大学医学部 医学部長 井藤 久雄
(基盤病態医学講座器管病理学分野教授)

司会：徳島大学医学部臓器病態治療医学 教授 伊東 進

2005年10月、人種差や個人差を考慮したヒト遺伝子DNAの塩基配列が発表された。実質的なゲノム・プロジェクトの終了である。ヒト遺伝子数は約25,000と予想外に少なく、一塩基多形や遺伝子の構造的変異などの個体差が大きいことが示された。

がんは遺伝子異常が蓄積する慢性的な病態である。消化器がんでは多種多様な遺伝子変異が示されている。最近では遺伝子発現の異常が注目されており、これをepigenetic alteration (後成的異常) という。

がんの多段階進展における遺伝子異常が最初に示されたのは大腸がんである。APC遺伝子変異が生じ、大きな腺腫ではK-ras点変異が加味され、がん抑制遺伝子であるp53遺伝子変異して上皮内癌へ、DCC遺伝子変異して進行癌となる。

胃がんは高分化腺がんと低分化腺がんに2分され、大腸がんではadenoma-carcinoma sequenceとde novoがんの2経路が知られている。これらに共通した変異と特異な変異があり、それについて概説する。加えて、大腸がんでは遺伝する家族性大腸腺腫症と遺伝性非ポリポーシス大腸がんがあり、その病態を提示する。

消化器がんの遺伝子診断はがんの発症前診断 (予知)、がんの存在診断 (早期発見)、がんの生物学的特性の解析 (悪性度診断) であるが、多くは手術材料により検索されている。

最近の報告についてみると、9万人の便潜血反応検査を行った群では死亡率が対照群に比較して84%に低下した (フランス)。遺伝子変異を標的としたものでは、便中のCOX-2 mRNAをRT-PCRで検討したところ感度90%、特異度100%で大腸がんの診断が可能であった。また、便中SFRP2遺伝子のメチル化を測定し、感度90%、特異度77%で診断が可能であった。

がん検診への応用はコスト面のハードルが高く、未だに検討段階である。

5

教育講演 (2)

第1日 2月17日 15:45~16:30
会場 第1会場 (国際会議場)

「超音波による膵・胆道疾患のスクリーニング」
—超音波解剖—

講師：松江赤十字病院第3内科部長 (兼 超音波検査室長)
香川 幸司

司会：島根大学医学部消化器・肝臓内科 助教授 足立 経一

肝・胆・膵の超音波による描出は、患者の体型、年齢、上腹部手術に既往の有無、便秘の有無、使用機種、検者の技量などに左右されることが多いが、ターゲットとする臓器およびその周囲の脈管の走行が超音波画像上どの様に描出されるかを理解し、検査をすすめることが重要である。

胆嚢の描出のコツ

胆嚢は肝下面に位置し、その描出は容易であるが委縮胆嚢や右外側へ移動し右腎の前面に位置する症例があり、同定が困難な場合も存在する。右肋骨弓下走査で右門脈枝の腹側の右肝より右外側に走行する強いエコー帯は Calot の三角から探触子を立てると胆嚢が描出される。この走査により胆嚢摘出後の状態であることも確認可能である。胆嚢が描出されたら胆嚢頸部、胆嚢底部は病変を見落とすので2方向の走査で十分 Tiltting する必要がある。

総胆管描出のコツ

総胆管描出のコツは門脈本幹を確実に把握することである。吸気で呼吸停止し、右季肋部を右下斜走査すると最初に目に付く管腔構造が門脈本幹である。門脈本幹を描出した後、探触子を微妙にtiltingすると、上中部胆管が門脈の腹側 (前面) に細い管腔構造として描出される (門脈、胆管と併走する固有肝動脈を上胆管と誤認することがあるが、横走査すると胆管は門脈右前面に、固有肝動脈は左前面に描出され、いわゆる、Mickey mouse signとして確認される)。胆管は直線的ではなく、逆くの字

6

に走行していることを認識しておく必要がある。下部では胆管は門脈とcrossして背側に向きをかえ、膵頭部背面を走行し、乳頭部で十二指腸に開口する。したがって、下部胆管は門脈と併走しておらず門脈と同時に描出されることはない。従って、下部胆管の描出には探触子を右外側に移動し縦走査に近付けることが重要で、胆管はI V Cの前面に描出される。逆に横走査でI V C前面の膵頭部隣内胆管を短軸に描出し、そこから縦走査(右回転)することにより下部胆管を長軸に描出することも可能である。

膵描出のコツ

膵の形状は十人十色であり個人差が大きい。膵は一般的には第一腰椎の腹側を右下左上に走行し、イメージはS字状の形態をとっていると理解しておくといふ。基本は横走査であり、呼吸性移動を利用して微調整する。描出不十分の場合は正中縦走査で膵体部の位置を確かめてから横走査に移ることもある。膵臓の同定には4つの指標がある。①脾門部→膵尾部 ②脾静脈前面→膵体部 ③上腸間脈静脈の背側→膵鉤部 ④左腎静脈が流入するレベルの上下大静脈の前方→膵頭部である。膵体部はやや右下がりの横断像で観察する。膵頭部はこれよりも少し縦断像に近い向きとなる。膵体部から膵尾部も少し縦断に近い向きとなる。時にはまったくの反時計回転の縦断走査で膵体部から胃の裏側をのぞき込むようにすると膵尾部が良好に描出されることもある(膵体部をacoustic windowとして膵尾部を見る)。膵尾部は通常脾門部で終わるので、左肋間走査での膵臓の観察時に、必ず脾門部領域にくる膵尾部を観察しておく。正常の大きさではこの部は必ずしも観察できるとは限らないが、腫瘍性病変のある症例ではこの走査のみで診断できることもあり、必ず施行しておく必要がある。

以上の指標を参考にすると、やせた被検者、太った被検者、消化管ガスの多い患者、手術既往のある患者では描出が不十分なことが多く、圧迫の強さ、体位変換(座位)、画面の拡大などの工夫が必要である。

ランチョンセミナー

第2日 2月18日 12:00~12:50
会場:第1会場(国際会議場)

「胃X線新標準撮影法」～撮影のポイントとコツ～

講師:財団法人 早期胃癌検診協会 画像研究室 技師長 木村 俊雄
司会:社会保険 下関厚生病院(放射線技師部会長) 村上 誠一

現在、胃X線検査の受診者数はここ10年来年々減少傾向を示し、特に病院など臨床の現場においては、この傾向が益々顕著となってきております。そしてこれに替わり主流を成して来ているのが内視鏡検査であります。こうした背景には、内視鏡検査のめざましい発展もさることながら、X線検査の内視鏡検査に比べての、その検査の難しさ、装置価格の高額、設置スペースの大きさ、そしてX線写真の質的問題や読影医の減少などが原因のひとつとして上げられます。

一方、集団を対象とした検診ではどうかというと、これは検査の効率が大きく求められることから、ある一定の精度を保持しながらも、その検査の受け易さ、検診単価の安さ、処理能力の多さ等が不可欠な条件となってまいります。つまりこうした条件を満足しうるX線検査が依然としてその主流をなしております。特に間接撮影はその効率を大いに発揮していることは周知の通りで、年間400万人とも500万人ともいわれる胃受診者数の7割強が、この間接撮影によって検査されていることから明らかにあります(平成12年全国実態調査、日本消化器画像診断情報研究会)。

つまり受診者にとってX線検査による胃がん検診は決して特殊な検診ではなく、むしろ一般の検診の延長線上にある検査という感覚で、それほど大きな苦痛もなく受けやすい検査といったイメージが強いようであります。この事が年間受診者数の多さとなって現れると同時に、胃がん検診に対する期待の現れとしても捉えることが出来るのではないかと考えます。

それではこのX線による胃がん検診、こうした期待に十分に答えられるような精度をもっているのでしょうか。これはまだまだ多くの問題を抱えているのが現状であると考えます。つまり施設間、撮影者間に未だ大きな技術の較差がみられ、これが写真の良し悪しの差として、しいては病変の拾い上げの差として現れてきております。これは1998年、厚生省の胃がん検診における有効性評価に関する研究会からの報告「胃がん検

診の偽陰性は10%~40%」でも明らかにされております。このように撮影者の技術較差が、胃がん発見率に大きな影響を及ぼす原因のひとつになってきているのです。

この報告の翌年1999年、日本消化器検診学会はこうした現状を改善すべく、学会内に胃X線撮影標準化委員会を設置し、より情報量の多い精度の高い撮影法についての検討を開始しました。そして3年間の検討の末、平成14年5月に新撮影法(間接、直接)の最終答申案が委員会から報告されました。

そのひとつ、新標準間接撮影法についての特徴を以下に示します。

- * 二重造影法を主体とした8枚体位を基本とする
 - * 造影剤は濃度180W/V%~200W/V%の粉末バリウム120ml~150mlを使用する
 - * 発泡剤は5g前後を水などで服用後、造影剤を全量飲む
 - * 造影剤付着のための体位変換は右回り回転法で、水平時3回転を実施、さらに撮影体位毎に回転法または交互変換を加える
 - * 食道の透視観察は出来る限り行い、特に55才以上は注意深い観察が必要である。
 - * 前壁撮影は圧迫ふとんを使用することを原則とする
- 以上が主な特徴です。

つまり従来法と比較すると高濃度造影剤の使用を薦めていること、造影剤付着のための体位変換を具体的に示し実施を薦めていること、前壁二重造影を充実したこと、食道の観察を薦めていることなどが主に上げられます。

現在、胃がん検診の受診者は上記したように年間400万人とも500万人ともいわれ、そのうちの70%強が間接撮影で実施されています。したがって間接撮影の精度向上がX線による胃がん検診の信頼性の向上につながります。そしてこれに大きく関与してくるのが放射線技師の撮影技術力です。今この技術力のさらなる向上が求められています。

そこで今回は、上部消化管の撮影技術、特に二重造影法(後壁二重造影法と前壁二重造影法)の撮影のポイントとコツについて、それぞれ述べさせていただきます。

シンポジウム(1)

第1日(2月17日) 14:00~15:45
会場:第1会場(国際会議場)

「HCV検診の現状と問題点から求められる課題」

司会:岡山大学医学部保健学病態検査学 教授 池田 敏
山陰労災病院第二消化器 内科部長 岸本 幸廣

1. 鳥根県におけるC型肝炎検診の実施状況と課題
鳥根県健康福祉部健康推進課 ○ 天野 和子・竹内 俊介
永江 尚美・勝原 優一
2. HCV検診の現状と問題点から求められる課題
浜田市三隅支所福祉課保健衛生係(三隅保健センター)
○ 樋口登志子
浜田市三隅支所福祉課 田中 秀雄
3. 政府管掌での肝炎ウイルス検診の現状-基本健診との比較-
鳥根県環境保健公社 ○ 田中 志乃・八木 順子
有馬 範行・佐々木宏之
4. 広島県および呉市での肝炎ウイルス検診について
呉市医師会病院 ○ 中西 敏夫
呉市保健所 香川 治子
5. 鳥根県肝臓検診の現状と展望
鳥根赤十字病院内科 ○ 松田 裕之
山陰労災病院内科 岸本 幸廣・川崎 寛中
鳥根大学医学部機能病態内科学 村脇 義和

シンポジウム(2)
第2日(2月18日) 10:00~11:50
会場:第1会場(国際会議場)

「内視鏡検診の現状から標準化への課題」
司会:鳥根県環境保健公社総合健診センター 所長 有馬 範行
徳島大学医学部臓器病態治療医学 講師 本田 浩仁

- 鳥取県における胃内視鏡検診の実態と今後の課題
鳥取県健康対策協議会 ○ 秋藤 洋一・三浦 邦彦
岡本 公男・長田 昭夫
 - 米子市の胃がん検診の現状と問題点 ~胃内視鏡検診の検討~
山陰労災病院内科 ○ 謝花 典子・岸本 幸廣
古城 治彦
鳥取県保健事業団西部本部 三浦 邦彦
 - 内視鏡検診の現状と標準化の課題
徳島県総合健診センター ○ 相良 安信・新居 直人
市原 寿江・久保謙一郎
三好 宏和・鎌村 真子
徳島大学医学部臓器病態治療医学 佐々木春夫・岸 清一郎
本田 浩仁・伊東 進
 - 胃癌内視鏡検診標準化へ向けて
松江赤十字病院内科 ○ 井上 和彦・花ノ木睦巳
 - 当センター人間ドックにおける上部消化管検査の現状と被検者の受容性に関する検討~経鼻内視鏡検査を中心に~
鳥根県環境保健公社総合健診センター ○ 八木 順子・有馬 範行
田中 志乃・佐々木宏之
 - 内視鏡検診の標準化 ~管理検診からの検討~
かわむら内科 ○ 河村 奨
山口労災病院 田辺 満彦
 - 広島県における上部消化管内視鏡検診の現状と標準化へ向けての一試案
広島大学保健管理センター ○ 日山 亨・吉原 正治
同病院光学医療診療部 田中 信治
- 特別発言:徳島大学医学部臓器病態治療医学 教授 伊東 進

12

一般演題
第2日(2月18日) 13:40~14:50
会場:第1会場(国際会議場)

「胃I」
座長:鳥取県中部医師会立三朝温泉病院第二内科 診療部長
石飛 誠一

- 山口県地域胃がん検診の現状~平成15年度~
かわむら内科 河村 奨
- 境港市における胃癌施設検診の現状と問題点
境港医師協会 松野 光孝
- 旧広瀬町節目健診における胃がん検診の実態
安来市医師会病院 佐々木修一
- 高知県住民間接X線検診における発見胃癌からみた異所部位指摘癌の検討
高知県健康診査管理指導協議会胃がん大腸がん部会、防治会いずみの病院外科 長田 祐典

「胃II」
座長:済生会広島病院 副院長 隅井 浩治

- 新撮影法による平成16年度胃がん検診から
香川県総合健診協会 小林 大輔
- 胃集検フィルム・プレリーディングについて
鳥根県環境保健公社 渡部 充
- 胃X線検診で発見された鳥肌胃炎合併胃がんの1例
香川県立がん検診センター 北村 晋志
- 進展範囲に苦慮した検診発見胃癌の1例
山口大学放射線科 清水 建策

13

一般演題
第2日(2月18日) 13:40~14:40
会場:401会議室

「胃III・超音波」
座長:松江赤十字病院 第3内科 副部長 井上 和彦

- 健診受診者における胃食道逆流症(GERD)の頻度についての検討
鳥根県環境保健公社総合健診センター 三木 雅治
- ドック内視鏡検査にて発見された十二指腸下行脚病変の2例
松江市立病院消化器内科 三浦 将彦
- 山口県における腹部超音波スクリーニングの現状
山口県予防保健協会 藤本 和代
- 半座位と飲水による膵臓描出法の検討
鳥根県環境保健公社 持田真理子

「大腸」
座長:松江市立病院 副診療局長 山田 稔

- 山口県地域大腸がん検診の現況 ~平成15年度~
かわむら内科 河村 奨
- 旧広瀬町節目健診における大腸がん検診の実態
安来市立病院 渡部 博昭
- 平成16年度注腸検査の病変描出について
鳥根県奥出雲病院 放射線科 山田 勝志

14

症例検討会(胃集検の会)

第1日 2月17日 14:00~15:25
会場 501会議室

司 会:鳥根県環境保健公社総合健診センター 所長 有馬 範行
アドバイザー:香川県立がん検診センター 内科主任部長 山ノ井 昭
財団法人 鳥取県保健事業団西部本部 参与 三浦 邦彦

症例提示

- 症例(1) 財 愛媛県総合保健協会 柴 浩 司
症例(2) 広島県健康福祉センター 中 垣 健 治
症例(3) 徳島県総合健診センター 近 藤 博 之

症例誌影

- 症例(1) 岡山県健康づくり財団 津山支所 田 中 壮太郎
松江日赤病院 中 澤 秀 敏
症例(2) 香川県済生会病院 立 本 秀 樹
鳥取生協病院 小 西 哲 生
症例(3) 鳥根県環境保健公社 内 田 量 弘
とっとり健康管理センター 水 嶋 健 文

15

第37回日本消化器集団検診学会中国四国地方会を開催して

広島県済生会 隅 井 浩 治

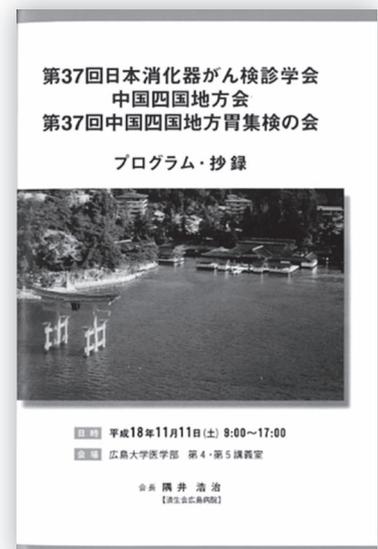
第37回日本消化器集団検診学会中国四国地方会を平成18年11月11日（土曜日）に広島大学医学部内で開催しました。この会の開催の思い出を書かせていただくにあたり、手元にある当時の記録がプログラムのみの状態で、記憶を辿りますため、いくらか不正確なところがありましたら、何分ご容赦ください。なお、本文中の先生方の所属名・肩書は当時のままで書かせていただいている方もあります。

この会の開催にあたっては、いくらかの工夫を試みてみました。それまでの会と違う点として、開催日程が、11月の土曜日1日であることです。本地方会は1月か2月に開催されることが慣例でした。その季節は検診が少ないシーズンで参加しやすいということではありますが、何分雪の心配もあるシーズンであるということで、思い切って11月という、ほかの消化器病関係の学会の終了した頃で開催をしました。

また、地方会は第9回以降は2日間の開催で、金曜日の午後から始まり土曜日に終了する2日開催が慣例でしたが、土曜日の朝から開始し、1日のみにしてみました。金曜日の午後の企画が1会場でできるならば、それを土曜日にもっていくことは可能と考え、参加者にも土曜日1日が参加しやすいのではと判断しての設定です。その後、本地方会も土曜日の朝に開会するようになっていったと思います。それらの企画の点に加え、抄録集の表紙にカラー写真を採用しました。

この企画の中での課題は、本会の前回の回が平成18年2月であり、本会との間が9か月と短いことと、1日の中に必要な企画が組めるかということでした。開催期間が近いため、応募が少ないことも心配しましたが、みなさまのご協力のおかげで、幸いに一般演題も20題いただくことができ、感謝しています。

また、会期1日の中に多くの企画を取り入れられました。特別講演は今村清子先生（当時、横浜市立市民病院がん検診センター所長）による「X線造影による胃がん検診の今後の展開」です。教育講演は、斎藤博先生（当時、国立がんセンター・部長）の「消化器がん検診ガイドラインと精度管理」、茶山一彰教授（広島大学消化器・代謝内科）の「慢性肝炎の診断と最新の治療」、畠二郎教授（川崎医科大学検査診断学）の「腹部超音波検診-何を、どのように診るか-」です。畠教授の講演に引き続き、ワークショップ「超音波検診で診断に苦慮した症例の検討」を、司会池田敏先生、特別発言河村奨先生で行いました。シンポジウムに「消化器内視鏡検診の課題と対応」として、司会を井上和彦先生、本田浩仁先生、特別発言に伊東進教授をお願いしました。胃集検の会・症例検討会は進行・松岡洋矢先生（広島県健康福祉センター）、司会・山ノ井昭先生（香川県立がん検診センター）、アドバイザーに日高徹先生（当時、安佐市民病院院長）、長田裕典先生（いずみの病院）で行いました。会場は広島大学医学部講義室をお借りし、開催の講師控え室には、当時の内視鏡診療科の医局をお借りするなど、広島大学消化器・代謝内科、内視鏡診療科のご協力もいただきました。事務局は済生会の職員一同での開催で、当日は広大の医局にお手伝いしていただきながら病院の職員で運営させていただきました。職員は不慣れなため会員の先生方にご迷惑おかけしたと思いますが、講師、司会、参加の先生方のご尽力もいただきながら、なんとか無事に、盛會に終了できましたこと、大変感謝しています。最後になりましたが、この地方会の50周年に敬意を表し、益々のご発展を祈念いたします。



日 程 表

11月10日 (金)

時間	ホテルグランヴィア広島 3階「飛鳥の間」
18:00	幹事会

11月11日 (土)

時間	広島大学医学部 第1会場(第5講義室)	時間	広島大学医学部 第2会場(第4講義室)
8:00	受付		
9:00	開会		
9:10	教育講演3 「腹部超音波検診～何を、どのように診るか～」 講師 嶋 二郎 司会 池田 敏	9:10	一般演題 (I～IV)
10:00	ワークショップ(指定) 「超音波検診で診断に苦慮した症例の検討」 司会 池田 敏 アドバイザー 嶋 二郎 特別発表 河村 奨		
11:00	教育講演2 「慢性肝炎の診断と最新の治療」 講師 茶山 一彰 司会 伊東 進		
12:00	教育講演1(ランチョン) 「消化器がん検診ガイドラインと精度管理」 講師 斎藤 博 司会 吉原 正治	12:00	評議員会
13:00		13:00	総会
13:20	特別講演 「X線造影による胃がん検診の今後の展開」 講師 今村 清子 司会 隅井 浩治		
14:20	シンポジウム(公募) 「消化器内視鏡検診の課題と対応」 司会 井上 和彦 本田 浩仁 特別発表 伊東 進	14:30～ 16:10	胃集検の会・症例検討会 進行 松岡 洋矢 司会 山ノ井 昭 アドバイザー 日高 徹 長田 裕典
16:00～ 16:57	一般演題 (V～VI)	16:10～16:30	診療放射線技師部会総会
17:00	閉会		

特別講演

「X線造影による胃がん検診の今後の展開」

講師：横浜市立市民病院がん検診センター 所長 今村 清子
司会：第37回日本消化器がん検診学会中国四国地方会・中国四国地方胃集検の会会長
済生会広島病院 院長 隅井 浩治

時間：13:20～14:20 会場：第1会場(第5講義室)

MEMO

教育講演 2

「慢性肝炎の診断と最新の治療」

講師：広島大学大学院分子病態制御内科学 教授 茶山 一彰
司会：日本消化器がん検診学会中国四国地方会支部長
徳島大学大学院 臓器病態治療医学 教授 伊東 進

時間：11:00～12:00 会場：第1会場(第5講義室)

MEMO

教育講演 1(ランチョン)

「消化器がん検診ガイドラインと精度管理」

講師：国立がんセンター・がん予防研究検診センター
検診技術開発部長 斎藤 博
司会：広島大学保健管理センター 教授 吉原 正治

時間：12:00～13:00 会場：第1会場(第5講義室)

MEMO

【一般演題Ⅰ】

座長：鳥取県保健事業団 西部本部 三浦 邦彦
 時間：9:10～9:31 会場：第2会場(第4講義室)

1. 米子市における胃がん施設検診の現状と問題点 ～第10報～
山陰労災病院 内科 謝花 典子
2. 高齢者における、胃X線検査(新・標準撮影法)の苦痛の度合いアンケート調査
広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター 放射線科 品川 祐樹
3. 山口県平成16年度地域胃がん検診の現況
かわむら内科 河村 奨

【一般演題Ⅱ】

座長：川崎医科大学 保健管理学 鎌田 智有
 時間：9:32～9:53 会場：第2会場(第4講義室)

4. 胃X線検査における*Helicobacter pylori*(HP)感染診断
香川県立がん検診センター 消化器科 安田 貢
5. 早期胃癌内視鏡治療患者における血清胃炎マーカーの特徴
広島大学大学院分子病態制御内科学 高村 明美
6. 当院における血清ペプシノゲンⅠ、Ⅱ値の検討
独立行政法人国立病院機構高知病院 消化器科 矢野 弘美

- 12 -

【一般演題Ⅲ】

座長：松江市立病院 山田 稔
 時間：9:54～10:15 会場：第2会場(第4講義室)

7. 検診で発見された、多発肝転移・腹膜播種・リンパ節転移を伴うスキルス胃癌の一例
国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 総合診療科 永徳 千穂
8. 当院の健診で見つかった上部消化管悪性疾患の4例
済生会広島病院 内科 高橋 亮史
9. 上行結腸癌を合併した blue rubber bleb nevus syndrome の1例
山口大学 放射線科 清水 建策

【一般演題Ⅳ】

座長：松山赤十字病院 胃腸センター 小林 広幸
 時間：10:16～10:37 会場：第2会場(第4講義室)

10. 大腸ポリープ内視鏡摘除後の効果的サーベイランス間隔の検討
広島赤十字・原爆病院 第7内科 谷 洋
11. 大腸ポリープの適切な follow up 期間の検討
広島市立安佐市民病院 内科・内視鏡科 木村 茂
12. Semi-clean colon 後における大腸異時性多発病変の検討
広島大学病院 光学医療診療部 岡 志郎

- 13 -

【一般演題Ⅴ】

座長：香川県立がん検診センター 安田 貢
 時間：16:00～16:21 会場：第1会場(第5講義室)

13. 平成16年度山口県大腸がん検診の現況
かわむら内科 河村 奨
14. 香川県における大腸がん検診の現状
香川県立がん検診センター 林 亨
15. 当センターにおける被爆者大腸がん検診の成績
広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター 佐々木 敦紀

【一般演題Ⅵ】

座長：済生会広島病院 讃岐 英子
 時間：16:22～16:57 会場：第1会場(第5講義室)

16. 「済生丸」による瀬戸内海島嶼部巡回診療・検診における消化器がん検診について～広島県済生会の場合～
済生会広島病院 放射線室 林 詠子
17. 人間ドックにおける遠隔画像診断システムの使用経験
財団法人広島県環境保健協会 健康クリニック 青木陽一郎
18. 腹部超音波検査逐年受診一職域の結果報告 ～胃外発育型胃GISTの症例～
財団法人 山口県予防保健協会 健診課 臨床班 田中 剛司
19. 済生会広島病院健康管理センターにおける腹部超音波スクリーニングの現状と問題点 ～技師の立場から～
済生会広島病院 臨床検査室 金本 知子
20. PET・検診センターオープン1年間の経験 ～消化器がんを中心として～
中電病院 PET・検診センター 堂上 慎也

- 14 -

第38回日本消化器がん検診学会中国四国地方会

(川崎医科大学 食道・胃腸内科) 現 淳風会医療セクター副セクター長、
川崎医科大学・川崎医療福祉大学 特任教授 春 間 賢

早いもので、日本消化器がん検診学会中四国地方会も50回となりました。古いものですので、いろいろな検索を行っても正確に調べることが現在できておりませんが、私が初めて主題なるもので発表したのが第10回日本消化器がん検診学会中四国地方会であったと思います。私の計算が正しければ、昭和55年(1980年)に師匠の三好秋馬先生が会長をされ、逐年発見された胃癌の検討についての発表で、私が腫瘍の増殖について興味をもつ切っ掛けになりました。卒後5年目、胃癌の診断に従事して3年目であり、大変緊張したことをよく覚えております。その後、藤森明良先生が会長を務められました第43回中国・四国地方会(昭和61年2月23日)において、教育講演として、「食道癌一早期診断とその問題点について」講演させて頂きました。その中で、食道癌の発育速度について検討した自身の成績を報告させて頂き、消化器がんの増殖についての研究は依然として私の中で続いております。

さて、私が学会長を務めさせて頂きましたのは平成20年(2008年)2月23日(土)、24日(日)で、会場は岡山県倉敷市にあります川崎医療福祉大学でした(写真1, 2)。参加者は223名で、予定していた人数より多く、ランチョンセミナーの弁当が足らなくなり、近くにありますがキムラヤのパン工場にパンを買いに走ったことをよく覚えております。特別講演は早期胃癌検診協会中央診療所の馬場保昌先生に「新・胃X線撮影法の実際一発見例を中心に」、教育講演は日本赤十字社熊本健康管理センターの三原修一先生に「超音波に魅せられて! -超音波検診に欠けた25年-」、松江赤十字病院の井上和彦先生に「ヘリコバクター・ピロリ検査を用いた胃検診-除菌による1.5次予防の期待も含めて」の二つでした。シンポジウムは広島大学保健管理センターの吉原正治先生、川崎医科大学食道・胃腸内科の鎌田智有先生に司会をお願いし、6名のシンポジストに発表頂きました。一般演題は25題の発表を頂きました。

医学はどんどん進歩し、社会や人の価値観は大きく変わってきていますが、この時に取り上げた課題は未だに十分に解決されておらず、第50回を機に中四国地域から、一致協力して、理想的な消化器がん検診が行われることを祈願しております。

写真1

第38回日本消化器がん検診学会 中国四国地方会 第38回中国四国地方胃集検の会	
日	時：平成20年2月23日(土) 9:00～16:30 2月24日(日) 9:00～13:00
会 場	川崎医療福祉大学 3階 3601・3602講義室 〒701-0193 倉敷市長島288 TEL: 086-402-1111
評議員会会場	川崎医療福祉大学 3階 3602講義室
総 会 場	川崎医療福祉大学 3階 3602講義室
事 務 局	川崎医科大学 食道・胃腸内科 〒701-0192 倉敷市長島577 TEL: 086-402-1111 FAX: 086-464-1195

写真2



日程表

2月23日(土)

	第1会場 (3601 講義室)	第2会場 (3602 講義室)
8:30	受付	
9:00	開会の挨拶	
9:10	一般演題1 <1~5> 座長 安田 真	一般演題4 <15~19> 座長 草加 勝康
10:00	一般演題2 <6~10> 座長 謝花 典子	一般演題5 <20~25> 座長 小林 広幸
10:50		
11:00	教育講演1 「超音波に魅せられて！ -超音波検診に賭けた25年-」 講師 三原 修一 司会 池田 敏	診療放射線技師部会幹事会
12:00	教育講演2 (ランチョンセミナー) 「ヘリコバクターピロリ検査を用いた胃検診 -除菌による1.5次予防の期待も含めて-」 講師 井上 和彦 司会 隅井 浩治	評議員会
13:00		
13:20	特別講演 「新・胃X線撮影法の実際 -発見例を中心に-」 講師 馬場 保昌 司会 洲上 忠彦	総会
14:20	シンポジウム <1~6> 「高齢者の胃癌検診の現状と問題点」 司会 吉原 正治 鎌田 智有	胃集検の会・症例検討会 進行 山神 淳一 司会 草加 勝康 アドバイザー 鳥巢 隆彦 本田 浩仁
15:50	一般演題3 <11~14> 座長 河村 爽	診療放射線技師部会総会
16:30	閉会の挨拶	

- 4 -

日程表

2月24日(日)

第38回中国四国地方胃集検の会

	第1会場 (3601 講義室)
8:30	受付
9:00	川崎医科大学食道・胃腸内科 鎌田 智有 座長 春間 賢
10:00	社会保険下関厚生病院 村上 誠一 座長 藤 照正
11:00	倉敷成人病センター 藤 照正 座長 村上 誠一
12:00	川崎医科大学病理学 秋山 隆 座長 春間 賢
13:00	

- 5 -

特別講演

「新・胃X線撮影法の実際 -発見例を中心に-」

講師：財団法人早期胃癌検診協会中央診療所 所長 馬場 保昌
司会：松山赤十字病院 院長 洲上 忠彦

時間：13:20～14:20 会場：第1会場 (3601 講義室)

MEMO

- 6 -

教育講演1

「超音波に魅せられて！ -超音波検診に賭けた25年-」

講師：日本赤十字社熊本健康管理センター 副所長 三原 修一
司会：岡山大学大学院保健学研究科 教授 池田 敏

時間：11:00～12:00 会場：第1会場 (3601 講義室)

MEMO

- 7 -

教育講演 2 (ランチョンセミナー)

共催：武田薬品工業株式会社

「ヘリコバクターピロリ検査を用いた胃検診 - 除菌による 1.5 次予防の期待も含めて -」

講師：松江赤十字病院総合診療科 部長 井上 和彦
司会：済生会広島病院 院長 隅井 浩治

時間：12:00～13:00 会場：第1会場 (3601 講義室)

MEMO

- 8 -

【シンポジウム】

「高齢者の胃癌検診の現状と問題点」

司会：広島大学保健管理センター 吉原 正治
川崎医科大学食道・胃腸内科 鎌田 智有

時間：14:20～15:50 会場：第1会場 (3601 講義室)

1. 高齢者の胃がん検診について
広島大学病院 光学医療診療部 吉田 成人
2. 高齢者胃がん検診の実態と対策 ～山口県地域検診における～
かわむら内科 河村 奨
3. 高齢者胃がん検診の現状と問題点
岡山県健康づくり財団 門内 弘英
4. 香川県における高齢者の胃癌検診の現状と問題点
香川県立がん検診センター 消化器科 青木 利佳
5. 発見経路からみた高齢者胃癌の臨床的検討
川崎医科大学附属川崎病院 肝臓消化器病センター内科 藤村 宜憲
6. 当施設における高齢者胃がんの臨床的検討
川崎医科大学 食道・胃腸内科 鎌田 智有

- 9 -

胃集検の会・症例検討会

進行：岡山県健康づくり財団 山神 涼一
司会：草加病院 草加 勝康
アドバイザー：香川県社会保険診療報酬支払基金 鳥巢 隆資
徳島大学臓器病態治療医学 本田 浩仁

時間：14:20～15:50 会場：第2会場 (3602 講義室)

症例提示

- 症例 (1) 淳風会健康管理センター 安倉 真司
症例 (2) 倉敷成人病センター 渡邊 敏充
症例 (3) 日本鋼管福山病院 石川 祐三

- 10 -

【一般演題 1】

座長：香川県立がん検診センター 消化器科 安田 貢
時間：9:10～10:00 会場：第1会場 (3601 講義室)

1. 照射野ランプを用いた前壁撮影における胃形矯正枕の挿入位置の検討
中国労働衛生協会 竹内 誠
2. 胃集団検診における前壁撮影の現状
岡山県健康づくり財団 保健部検診課 門内 弘英
3. 胃集検の精度管理向上を以て
淳風会健康管理センター 安倉 真司
4. 当協会での胃がん検診読影 (DR) の問題点と現況について
(財)愛媛県総合保健協会 大西 弘高
5. 胃 X 線間接撮影における撮影技師の読影についての検討
(財)高知県総合保健協会 渡辺 直孝

【一般演題 2】

座長：山陰労災病院 内科 謝花 典子
時間：10:00～10:50 会場：第1会場 (3601 講義室)

6. 内視鏡検査による経過観察にて発見された胃がん症例の検討
草加病院 内科 草加 勝康
7. 経鼻内視鏡にて発見された上部消化器癌症例の検討
医療法人敬和会近藤病院 外科 近藤 秀則
8. 人間ドック細径内視鏡にて発見した *Helicobacter pylori* (HP) 陰性微小胃癌の 1 例
香川県立がん検診センター 消化器科 北村 晋志
9. 当院にて経験した PG 法陰性胃癌の 2 症例
医療法人敬和会近藤病院 外科 近藤 秀則
10. 胃がん検診受診者における *Helicobacter pylori* 検査受診歴の実態調査
川崎医科大学 食道・胃腸内科 杉生 訓昭

- 11 -

【一般演題 3】

座長：かわむら内科 河村 奨
 時間：15:50～16:30 会場：第1会場（3601講義室）

11. ガイドライン改訂後の胃がん検診の検診成績と現状
 岡山県健康づくり財団 中島 明久
12. 新撮影法を用いた間接胃集検成績の検討
 香川県立がん検診センター 消化器科 安田 貢
13. 米子市における胃がん施設検診の現状と問題点 ～第11報～
 山陰労災病院 内科 謝花 典子
14. 胃集検を契機に発見された胃 Adenosquamous carcinoma の1例
 松山赤十字病院 胃腸センター 石橋 英樹

【一般演題 4】

座長：草加病院 草加 勝康
 時間：9:10～10:00 会場：第2会場（3602講義室）

15. 腹部超音波検診の成績集計についての検討
 (財) 山口県予防保健協会 樽林 剛
16. 人間ドックで発見された限局性結節性過形成性(FNH)の1例
 鳥取生協病院 消化器内科 宮崎 慎一
17. 体外式腹部超音波検査で診断されたスキルス胃癌症例の検討
 川崎医科大学 内視鏡・超音波センター 今村 祐志
18. 遺伝子多型の検索は食道癌の高危険者の選定に用い得るか？ -文献のレビューから-
 広島大学 保健管理センター 日山 亨
19. 胃がん検診受診者におけるFスケール問診票の使用経験
 川崎医科大学 食道・胃腸内科 鎌田 智有

【一般演題 5】

座長：松山赤十字病院 胃腸センター 小林 広幸
 時間：10:00～11:00 会場：第2会場（3602講義室）

20. 山口県地域大腸がん検診の現状 ～平成17年度～
 山口県成人病検診管理指導協議会 大腸がん部会 河村 奨
21. 原爆被爆者に対する大腸がん検診の成績
 広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター 佐々木敦紀
22. 当院の健康管理センターにおける大腸癌検診の現状と課題
 済生会広島病院 内科 永井 健太
23. 大腸がん検診における陽性反応の集中度 (PPV) と便潜血検査について -当院10年間の精密検査成績から-
 川崎医科大学附属川崎病院 健康管理センター 佐藤 友美
24. 年代別に見た大腸癌検診の目的と目標
 川崎医科大学 食道・胃腸内科 藤田 稜
25. 同時3重癌を呈した遺伝性非ポリポーシス大腸癌の一例
 山口大学 放射線科 佐々井秀子

シンポジウム1

『胃X線検査の撮影と読影』

司会：独立行政法人国立病院機構高知病院 井上 修志

社会保険下関厚生病院 村上 誠一

2月21日 15:30-17:00 会場 サンポート高松 第一小ホール

1. 胃X線検査における撮影と読影
～山口県地域胃がん検診における現状と対策～
山口県消化器がん検診研究会 河村 奨
2. 胃X線検査の撮影と読影
鳥取生協病院 放射線室 小西 哲生
3. 当施設における胃X線の撮影と読影について
(財)香川県予防医学協会 岩元 繁幸
4. 胃X線検査の撮影と読影
～胃がん検診における技師チェックの現状～
島根県環境保健公社 健診課 中島 香
5. 背景胃粘膜を考慮した胃X線検査の読影
香川労災病院 健康診断センター 福田 直子
6. がん危険度を考慮した胃X線検査の撮影と読影
香川県立がん検診センター 安田 貢

- 10 -

シンポジウム2

『新・撮影法における前壁撮影の工夫』

司会：香川県立がん検診センター 濱田 裕

日立記念病院 谷野 節男

2月22日 9:00-10:30 会場 サンポート高松 第一小ホール

1. 前壁撮影の工夫 (巡回職域検診)
社会保険下関厚生病院 村上 誠一
2. 前壁撮影の枕使用における撮影手法とそのポイント
～新・撮影法における前壁撮影の今後の位置づけ～
瀬戸健診クリニック 篠原 裕弥
3. 車検診における前壁撮影の工夫
財団法人鳥取県保健事業団 大久保 誠
4. 新撮影法における前壁撮影の工夫
セントラルパーククリニック 宇田 和広
5. 新撮影法における前壁撮影の工夫
日本鋼管福山病院 石川 祐三

- 11 -

症例検討会 (胃集検の会)

司会：高松平和病院 山岡 知晴

コメンテーター：前田病院 坂下 修

2月22日 10:30-11:30 会場 サンポート高松 第一小ホール

症例提示 淳風会健康管理センター 岡崎 充伸
愛媛県総合保健協会 宮野 浩

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

- 12 -

一般演題 1 (10:05～10:40)

座長：草加病院 草加 勝康

1. 新・撮影法におけるバリウム量の改善について
香川県立がん検診センター 小林 由美子
2. 前壁撮影時における介助者の役割に関する検討
(財)中国労働衛生協会 竹内 誠
3. 胃がん検診の精度管理について一方法
(財)香川県総合健診協会検診課 小林 大輔
4. 水溶性食物繊維摂取によるバリウム排泄効果の検討
町立芦屋中央病院 澤村 敏幸
5. 米子市における胃がん施設検診の現状と問題点～第12報～
山陰労災病院 内科 謝花 典子

一般演題 2 (10:40～11:10)

座長：独立行政法人国立病院機構 善通寺病院 林 亨

6. 極細径内視鏡検査の実施現況と問題点、及びその対処法
～通常径内視鏡との違いによる早期胃癌発見率もふまえて～
KKR 高松病院 消化器内視鏡センター 消化器科 尾立 磨琴
7. 胃内視鏡検診における経鼻内視鏡検査の成績と問題点
香川県立がん検診センター 青木 利佳
8. CT enteroclysisにて小腸血管奇形の描出された1例
山口大学放射線科 清水 建策
9. メタボリックシンドロームと腹部超音波検診
(財)山口県予防保健協会 河野 昌幸

- 13 -

一般演題 3 (11:10~11:45)

座長：徳島県総合健診センター 本田 浩仁

10. 山口県地域大腸がん検診の現況 ～平成18年度～
山口県成人病検診管理指導協議会 大腸がん部会 河村 奨
11. 当施設の便潜血検査による大腸がん検診について (平成15年-19年)
高知赤十字病院 健康管理センター 大黒 隆司
12. 検診にて便潜血反応陽性であった大腸癌の1例
独立行政法人国立病院機構高知病院 消化器科 香川美和子
13. 検診施設における便潜血陽性者に対する全大腸内視鏡検査の有用性。
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部消化器内科学分野
仁木美也子
14. 検診結果の報告ミスやその内容が問題となった訴訟事例の検討
広島大学保健管理センター 日山 亨

第40回日本消化器がん検診学会中国四国地方会
第40回中国・四国地方胃集検の会

日 程 表

第1日 2月5日(金)

18:00	幹事会 (ホテルニューオータニ鳥取 鳳凰の間)
19:00	懇親会 (ホテルニューオータニ鳥取 鳳凰の間)

第2日 2月6日(土)

(敬称略)

鳥取県健康会館 (1F研修センター)	
8:00	受 付
9:00	開会の挨拶 学会長 岡本公男
9:05	シンポジウムⅠ 「消化器がん検診受診率50%をめざして」 司会 石飛誠一 藤井秀樹 特別発言 河村 奨
10:45	会長講演 「鳥取県内視鏡検診の取組み」 講師 鳥取県健康対策協議会 会長 岡本公男 司会 吉原正治
11:10	特別講演 「消化器がんの予防・検診の展開」 講師 広島大学保健管理センター 教授 吉原正治 (日本消化器がん検診学会中国四国支部支部長) 司会 三浦邦彦
12:20	ランチョンセミナー (1F研修センター) 「早期大腸がん内視鏡診療の最前線」 講師 広島大学内視鏡診療科 教授 田中信治 司会 池口正英
	・評議員会(3F研修室) ・胃集検の会幹事会
13:20	総 会
13:50	教育講演 「消化管の超音波検査—正常像から異常像まで—」 講師 自治医科大学臨床検査医学講座 教授 谷口信行 司会 村脇義和
14:50	シンポジウムⅡ 「大腸がん検診における問題点—精度の高い検診をめざして—」 司会 本田浩仁 古城治彦
16:30	一般演題 (1F研修センター、4F会議室)
17:35	閉 会

第3日 2月7日(日)第40回中国四国地方胃集検の会

鳥取県健康会館	
8:00	受 付
9:00	シンポジウム「胃X線基準撮影画像の視覚的評価方法」 司会 大久保 誠 助言者 三浦邦彦
10:30	胃X線フィルム検討及び症例検討会 司会 村上誠一 助言者 秋藤洋一
11:50	胃集検の会 総会
13:30	市民公開講座 「胃がん—検診の重要性について—」 講師: 秋藤洋一 「大腸がんと生活習慣」 講師: 八島一夫 「肝臓がんと肝炎ウイルス・生活習慣」 講師: 松田裕之 司会 岡本公男
15:30	閉 会

シンポジウムⅠ 2月6日(土) 9:05~10:45

『消化器がん検診受診率50%をめざして』

司会: 鳥取県中部医師会立三朝温泉病院内科外来診療部長 石飛 誠一
鳥取県福祉保健部医療政策監兼次長兼健康政策課長 藤井 秀樹

- 消化器がん検診受診率50%をめざして
米子市福祉保健部健康対策課主幹 生田真由美
 - がん検診受診率50%をめざして
山口県健康福祉部健康増進課健康づくり班主幹 西生 敏代
 - 消化器がん検診受診率50%をめざして~鳥根県における取組み~
鳥根県健康福祉部健康増進課健康増進グループリーダー 魚谷 幸枝
 - 香川県におけるがん検診受診率向上対策について
香川県健康福祉部健康福祉総務課健康政策グループ課長補佐 星川 洋一
 - 岡山県におけるがん検診受診率向上への取組み
岡山県健康福祉部健康対策課健康づくり班主幹 前原 幹子
 - 「受診する」~行動変容へ向けた地域介入の過去・現在・未来
広島大学大学院保健学研究科保健学専攻看護開発科学講座教授 宮腰由紀子
- 特別発言: 山口県精度管理協議会胃・大腸がん部会長 河村 奨
かわむら内科

シンポジウムⅡ 2月6日(土) 14:50~16:30

『大腸がん検診における問題点—精度の高い検診をめざして—』

司会: 徳島県総合健診センター参事 本田 浩仁
司会: 山陰労災病院副院長 古城 治彦

- 基調講演「死亡率減少を達成するために大腸がん検診に求められるもの」
講師: 福井県健康管理協会・県民健康センター所長 松田 一夫
- 職域(小規模事業所)における大腸がん検診の現状と課題
(財)鳥根県環境保健公社 佐々木宏之
 - 地域大腸がん検診~今日的課題と対策~
山口県精度管理指導協議会胃・大腸がん部会
かわむら内科理事 河村 奨
 - 大腸内視鏡検査における偽陰性症例の検討
香川県立がん検診センター部長 安田 貢
 - 安全で精度の高い大腸がん検診をめざして
~大腸がん検診に関する民事訴訟事例の検討から~
広島大学保健管理センター助教 日山 亨

一般演題1 2月6日(土) 16:30~16:58 第1会場【1F研修センター】

座長:川崎医科大学内科学食道・胃腸科講師 録田 智有

1. 腹部超音波検診における性別・年齢別に見た疾患別発生頻度
(財)山口県予防保健協会 田中 剛司
2. 大腸がん検診における精密検査未受診者の追跡調査について
(財)愛媛県総合保健協会 栄 浩司
3. バリウムの誤嚥と対策について
(財)徳島県総合健診センター 赤岩 寛志
4. 高齢者における撮影の工夫
(財)鳥取県保健事業団 三宅 二郎

一般演題2 2月6日(土) 16:58~17:33 第1会場【1F研修センター】

座長:山陰労災病院第2消化器内科部長 謝花 典子

5. 胃がん内視鏡検診における胃癌見逃し例の検討
鳥取生協病院内科 宮崎 慎一
6. 当院での胃癌検診における経鼻内視鏡の現状
鳥取赤十字病院内科 堀江 聡
7. 胃内視鏡検診における発見胃がんの検討
~米子市胃がん検診の成績から~ 山陰労災病院内科 謝花 典子
8. 境港市における胃癌施設検診の現状と問題点
松野医院 松野 充孝
9. 鳥取県中部地区の胃がんの状況について
鳥取県中部消化器がん検診読影委員会 佐藤 徹

-12-

一般演題3 2月6日(土) 16:30~16:51 第2会場【4F会議室】

座長:いづみの病院外科部長 長田 裕典

10. 大腸癌検診を契機に発見された虫垂粘液嚢胞腫の一例
山口大学放射線科 清水 建策
11. 検診にて発見された Peutz-Jeghers 症候群の一例
香川県立がん検診センター消化器科 青木 利佳
12. 潰瘍性大腸炎発症3年前にPET-CT 検診にて回盲部の異常がみられた1例
島根大学医学部第二内科 谷村 隆志

一般演題4 2月6日(土) 16:51~17:26 第2会場【4F会議室】

座長:島根大学医学部臨床看護学教授 足立 経一

13. 前壁二重造影法が診断に有用であった早期未分化胃癌の二例
松江市立病院消化器内科 田中 新亮
14. 胃がん内視鏡検診で発見され、ESDが可能であった食道粘膜癌の4症例
鳥取県立中央病院内科 清水 辰宣
15. 経鼻内視鏡検診が有用であった早期胃癌の一例
鳥取県済生会境港総合病院 消化器内科 佐々木祐一郎
16. 職員胃健診における各種健診法の費用と効果についての検討
島根大学医学部臨床看護学 足立 経一
17. 胃がん検診-費用対効果の検討-
鳥取県健康対策協議会胃がん対策専門委員会 吉中 正人

-13-

シンポジウム 2月7日(日) 9:00~10:30

『胃X線基準撮影画像の視覚的評価方法』

司会:(財)鳥取県保健事業団施設検診課課長 大久保 誠
助言者:(財)鳥取県保健事業団西部本部参与 三浦 邦彦

1. 視覚的評価法の概要
鳥取生協病院 小西 哲生
2. 使用薬剤等の観点から
香川医療生活協同組合高松平和病院 山岡 知晴
3. 使用機器の観点から
(財)淳風会健康管理センター 大角 博久
4. 撮影手技の観点から
日本鋼管福山病院 石川 祐三

-14-

症例検討会(胃集検の会) 2月7日(日) 10:30~11:50

司会:社会保険下関厚生病院放射線技師長補佐 村上 誠一
助言者:鳥取県立厚生病院内科部長 秋藤 洋一

症例提示

島根県
愛媛県

MEMO

-15-

第41回中国四国地方会

国立病院機構高知病院消化器内科 井上修志

2011年2月5日～6日に高知市文化プラザかるぽーとで開催されました、第41回日本消化器がん検診学会中国四国地方会、第41回中国四国地方会胃集検診の会の学会長を勤めさせて頂きました。

我が国の胃がん検診は長らくX線による検診が行われてきました。2016年より対策型検診に内視鏡が取り入れられるようになりましたが、当時はまだ対策型には認められていませんでした。しかし、既に内視鏡による検診を進める施設も多数見られており、徐々に内視鏡検診の注目度が増していた時期でもあり、シンポジウムに取り入れさせて頂きました。期待通りX線、内視鏡検査、またABC検診それぞれの立場で発表、討論していただき、有意義な時間を過ごさせて頂きました。また、今後の検診をさらに進めるためには行政の強力は必須であり、新しい試みとして、行政の立場から特別講演で、「高知県の消化器がん検診の現況」について、当時の高知県健康対策課課長の藤村隆先生に御講演頂き、高知県の日本一の健康長寿県を目指す意気込みと、今後の検診事業の取り組みについて、改めて確認することができました。この企画は、参加者に大変評判良く、胸をなでおろすことが出来ました。さらに、上部消化管のみならず大腸、肝胆膵の検診に関しても、現在も第一線で御活躍の多数の著明な先生方に御出席、ならびに御講演、御発表いただき、大変勉強させて頂きました。

まだまだ、消化器がん検診には多くの課題が存在します。検診受診率の低迷、内視鏡検診導入に関してもマンパワー不足、精度管理など様々な問題があります。これらの問題の解決方を本部に発信するのが支部学会の重要な役目と考え、今後、私も微力ながらできる限りの御協力出来ればと思います。

当学会を無事に終える事が出来たのは、当時の支部長の吉原正治先生をはじめ、会に御参加していただきました皆様、会の運営を支えて頂きました、秋森容子様、スタッフの皆様の御陰と思います。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。



第41回日本消化器がん検診学会中国四国地方会
第41回中国四国地方胃集検の会
日程表

第1日 2月4日(金)	
日本消化器がん検診学会中国四国地方会	
18:00	幹事会 ホテル日航高知旭ロイヤル(6階)
19:00	懇親会 ホテル日航高知旭ロイヤル(6階)
中国四国支部・放射線技師部会	
17:00	幹事会 サウスブリーズホテル(3階)
第2日 2月5日(土) 第41回日本消化器がん検診学会中国四国地方会 <敬称略>	
高知市文化プラザかるぼーと 小ホール(2階)	
8:30	受付
9:00	開会の挨拶 学会長 井上修志
9:05	シンポジウムI 「胃がん検診における今後の展望」(血液検査、X線検査、内視鏡検査) 司会 香川県立がん検診センター 部長 安田 貢 司会 日立記念病院 谷野節男 特別発言 医療法人かわむら内科 理事 河村 奨
10:45	特別講演1 「高知県の消化器がん検診現況」 講師 高知県健康政策部健康対策課 課長 藤村 隆 司会 独立行政法人国立病院機構高知病院 診療部長 井上修志
11:10	特別講演2 「内視鏡検診の現況 経鼻内視鏡も含め」 講師 川崎医科大学内科学(食道・胃腸科) 教授 春間 賢 司会 広島大学保健管理センター教授 吉原正治
12:20	ランチョンセミナー 「肝細胞がんの早期発見に向けて」 講師 高知大学医学部消化器内科学 教授 西原利治 司会 日本赤十字社 高知赤十字病院 院長 中村章一郎 ・評議員会(第5展示室)
13:20	総会
13:50	教育講演 「日常診療における造影超音波検査について」 講師 国南病院 院長 久直史 司会 川崎医科大学検査診断学内視鏡・超音波部門 教授 晶 二郎
14:50	シンポジウムII 「大腸がん検診における今後の展望」 司会 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部消化器内科学 教授 高山哲治 司会 広島大学病院 内視鏡診療科 教授 田中信治
16:45	一般演題 司会 山陰労災病院 第二消化器 内科部長 謝花典子
17:30	閉会

第3日 2月6日(日) 第41回中国四国地方胃集検の会
中国四国支部・放射線技師部会研修会 <敬称略>

高知市文化プラザかるぼーと 小ホール(2階)	
8:30	受付
9:00	シンポジウム 「胃X線検査における危機管理」 司会 財団法人徳島総合健診センター 赤岩寛志 司会 財団法人高知県総合健康協会 渡辺直孝
10:15	「胃X線検査の撮影と読影」 司会 社会保険下関厚生病院 村上誠一 助言者 高知赤十字病院健診部長兼第七内科部長 大黒隆司
11:30	技師部会総会
13:30	第41回日本消化器がん検診学会中国四国地方会 市民公開講座 1. ピロリ菌除去による胃がんの予防 講師 北海道大学病院光学医療診療部 診療教授 加藤元嗣 2. 「うんち」の話 講師 医療法人三和会 国吉病院 院長 国吉宣俊 司会 独立行政法人国立病院機構高知病院 診療部長 井上修志
15:30	閉会

シンポジウムI 2月5日(土) 9:05~10:45

「胃がん検診における今後の展望」(血液検査、X線検査、内視鏡検査) 司会 香川県立がん検診センター 部長 安田 貢 司会 日立記念病院 谷野節男 特別発言 医療法人かわむら内科 河村 奨
1. 当施設における10年間(平成11年~20年)の胃がん検診について 高知赤十字病院健診部 大黒隆司
2. これからの胃がん検診における胃がんハイリスク検診の位置づけ 広島大学 保健管理センター 日山 亨
3. 当院で最近5年間で上部内視鏡検査を施行し、同時に血清HpIgG抗体と血清ペプシノゲン値を測定した症例の検討 国立病院機構高知病院 消化器科 板垣達三
4. 「施設検診における胃がんリスク検診の運用について」 香川県立がん検診センター 青木利佳
5. 胃がん内視鏡検診の現状と今後の課題 山陰労災病院 消化器内科 謝花典子
6. 経鼻内視鏡検査における実施現況と課題点、およびその対処法 一通常内視鏡との違いによる早期胃癌発見率もふまえて KKR 高松病院 消化器内視鏡センター 消化器内科 尾上磨琴

シンポジウムII 2月5日(土) 14:50~16:30

「大腸がん検診における今後の展望」 司会 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部消化器内科学 教授 高山哲治 司会 広島大学病院 内視鏡診療科 教授 田中信治
1. 生活習慣調査を用いた大腸癌検診の普及についての検討 香川県立がん検診センター 安田 貢
2. 当施設における10年間(平成11年~20年)の大腸がん検診について 高知赤十字病院健診部 大黒隆司
3. 大腸用カプセル内視鏡の使用経験 広島大学病院 内視鏡診療科 岡 志郎
4. 民間病院における大腸がん検診受診率向上への方策 医療法人三和会 国吉病院 消化器内科 国吉宣俊
5. 高知県幡多地域の大腸がんの現状からみた大腸がん検診の有用性の検討 高知県立幡多けんみん病院消化器科 矢野有佳里
6. Sessile Serrated Adenoma/Polyp(SSA/P)の内視鏡診断 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 消化器内科学 藤村泰輝
7. 大腸がん検診における今後の展望 医療法人かわむら内科 河村 奨

一般演題

2月5日(土)16:45~17:30

司会	山陰労災病院 消化器内科	謝花典子
1.	人間ドック胃X線検診で発見された十二指腸乳頭部神経内分泌腫瘍の1例 高知検診クリニック	溝渕洋子
2.	当協会におけるバリウム誤嚥の現状と対策 財団法人愛媛県総合保健協会	大西弘高
3.	胃X線検診における所見用語についての検討 香川県立がん検診センター	安田 貢
4.	胃内視鏡検診の安全性に関する検討 山陰労災病院 消化器内科	謝花典子
5.	大腸がん検診で発見された無症候性虫垂炎の一例 徳島県総合健診センター	伊賀彰子
6.	検診を契機に発見された卵巣甲状腺腫の一例 国立病院機構高知病院 消化器科	友兼 毅

シンポジウム 第41回中国四国地方胃集検の会

中国四国支部・放射線技師部会研修会

2月6日(日)9:00~10:15

「胃X線検査における危機管理」		
司会	財団法人徳島県総合健診センター	赤岩寛志
司会	財団法人高知県総合保健協会	渡辺直孝
1.	胃X線検査におけるリスクについて 倉敷成人病センター	高木一成
2.	当協会における高齢者に対する危機管理 財団法人高知県総合保健協会	杉本洋輔
3.	胃バリウム検査における危険因子とその工夫・対策 JA山口厚生連 小郡第一総合病院	三輪真治
4.	胃X線検査における危機管理について ～高齢者・身障者が安全に検査できるには～ 財団法人愛媛県総合保健協会	富野 浩

「胃X線検査の撮影と読影」

2月6日(日)10:15~11:30

司会	社会保険下関厚生病院	村上誠一
助言者	高知赤十字病院健診部長兼七内科部長	大黒隆司
症例提出	広島県障害者対策協議会健康管理増進センター 財団法人鳥取県保健事業団	品川祐樹 大久保誠

第42回 日本消化器がん検診学会中国四国地方会
第42回 中国四国地方胃集検の会
日程表

第1日目 12月9日(金)

18:00	幹事会 (宇部全日空ホテル 15階 コンフォート)
19:00	懇親会 (宇部全日空ホテル 15階 コンフォート)

第2日目 12月10日(土) 第42回 日本消化器がん検診学会中国四国地方会 [敬称略]

8:30	受付	
9:30	開会の挨拶 来賓挨拶	学会長 有山 重美 宇部市長 久保田 后子
9:40	シンポジウム 「胃がん検診の現状と課題」 司会 川崎医科大学附属病院 鎌田 智有 司会 山口大学医学部附属病院 清水 建策	
11:10	特別講演1 「山口県の消化器がん検診の実態」 講師 かむら内科 河村 奨 司会 広島大学保健管理センター 吉原 正治	
12:10	ランチョンセミナー 「精査としての大腸内視鏡検査の質の向上を目指して」 講師 セントヒル病院 楢垣 真吾 司会 心臓病センター柳原病院 藤村 宜憲 評議員会	
13:10	総会	
13:40	特別講演2 「超音波検診によるガン早期発見の実績を明確に！カテゴリ判定をめくって」 講師 大阪府立成人病センター 田中 幸子 司会 宇部リハビリテーション病院 有山 重美	
14:40	一般演題 司会 香川県立がん検診センター 安田 貢 司会 山陰労災病院 謝花 典子	症例検討会 司会 川崎医科大学附属病院 井上 和彦 司会 下関厚生病院 村上 誠一
16:30	閉会	

※12月10日(土) 日本医師会生涯教育カリキュラム 5単位 (CC:1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 82)

第3日目 12月11日(日) 第42回 中国四国地方胃集検の会
中国四国支部・放射線技師部会研修会 [敬称略]

8:30	受付	
9:30	パネルディスカッション 「基準撮影に加えて任意撮影」 司会 日立記念病院 谷野 節男 司会 宇部興産中央病院 磯部 雅史 パネリスト 日本鋼管福山病院 石川 祐三 山口赤十字病院 山野井 健 島根県環境保健公社 内田 量弘 倉敷成人病センター 鷲見 和幸 高松平和病院 山岡 知晴	
11:00	特別講演 「胃がんX線検診の読影基準を求めて」 講師 早期胃癌検診協会 吉田 諭史 司会 広島県地域保健医療推進機構 松岡 洋矢	
12:15	技師部会総会	
14:00	市民公開講座 1. 「みんなで行こう がん検診！」 講師 宇部市長 久保田 后子 2. 「健やかで幸せな人生を送るためがん検診をうけましょう」 講師 東京都予防医学協会 小野 良樹 司会 宇部リハビリテーション病院 有山 重美	
15:30	閉会	

※12月11日(日) 日本医師会生涯教育カリキュラム 3.5単位 (CC:11, 12, 13, 14, 22, 23, 54)

シンポジウム

12月10日(土) 9:40~11:10

「胃がん検診の現状と課題」

司会：川崎医科大学附属病院 院長 鎌田 智有
司会：山口大学医学部附属病院 光学医療診療部 主任 清水 建策

- 胃がん検診の現状とリスク分類を加味した展開
広島大学大学院 分子病態制御内科学 伊藤 公訓
- 胃X線検診における新たな読影カテゴリ分類の提案
香川県立がん検診センター 消化器科 青木 利佳
- 米子市における胃がん検診の現状と問題点
- X線検診と内視鏡検査の比較検討を中心に -
山陰労災病院 消化器内科 謝花 典子
- 胃X線所見用語と読影所見の現状とその標準化に向けて
- 陥凹~平坦病変を中心に -
島根県環境保健公社 佐々木 宏之
- 技師の読影補助を目指して
林病院 放射線科 和田 健太郎

一般演題

12月10日(土) 14:40~16:30

◇司会：香川県立がん検診センター 安田 貢

- 当院における胃X線検査 撮影法改良の報告 ~基準撮影法を目指して~
宇部興産中央病院 磯部 雅史
 - 対策型胃癌X線検診における逐年受診群の胃癌見逃し原因についての検討
広島原爆障害対策協議会 品川 祐樹
 - 高齢者における撮影の工夫
鳥取県保健事業団 三宅 二郎
 - 照射線量からみた胃がん検診撮影法の検討(半導体式線量計の使用経験から)
山口県予防保健協会 齋藤 紀映
 - 当施設における遠隔読影システムの運用試験
福山市医師会総合健診センター 山口 隼平
 - 下部前壁撮影時における撮影順序の検討
中国労働衛生協会 竹内 誠
- ◇司会：山陰労災病院 消化器内科 謝花 典子
- 平成19年以降に判決が出された胃がん・大腸がんの検査に関係する訴訟事例の検討
広島大学保健管理センター 日山 亨
 - 検診時内視鏡にて発見された陥凹型十二指腸腺腫の2例
鳥取赤十字病院 堀江 聡
 - 平成21年度胃X線集団検診発見胃がんからみた読影医所見と技師チェック
安来市医師会病院 佐々木 修一
 - 大腸がん検診にて発見された同時性・異時性多発大腸癌の一例
徳島県総合健診センター 伊賀 彰子
 - 自己免疫性肝疾患の1症例
山口県予防保健協会 河野 浩二

症例検討

12月10日(土) 14:40~16:30

司 会 : 川崎医科大学附属病院 准教授 井上 和彦
司 会 : 下関厚生病院 放射線部技師長 村上 誠一

症例① 「枕の使用が有効であった症例」

医療法人社団清仁会 林病院 放射線科¹、枝川内科胃腸科医院²、
財団法人防府消化器病センター・防府胃腸科病院 消化器科³、
山口大学大学院 医学系研究科 消化器病態内科学(第一内科)⁴、
九州大学大学院 医学系研究科 形態機能病理学⁵

○和田 健太郎¹、前川 進²、三浦 進³、岡崎 幸紀³、西川 潤⁴、平橋 美奈子⁵

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

症例② 「隆起性病変の1例」

鳥取生協病院

○小西 哲生

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

パネルディスカッション

12月11日(日) 9:30~11:00

「基準撮影に加えたい任意撮影」

司 会 : 日立記念病院 谷野 節男
司 会 : 宇部興産中央病院 磯部 雅史

パネリスト : 日本鋼管福山病院 石川 祐三

パネリスト : 山口赤十字病院 山野井 健

パネリスト : 島根県環境保健公社 内田 豊弘

パネリスト : 倉敷成人病センター 鷲見 和幸

パネリスト : 高松平和病院 山岡 知晴

第43回中国四国地方会

愛媛大学医学部 放射線科 津田 孝治

2012年に松山市で第43回の地方会を開催させていただきました。あれから早いもので7年近くがたってしまいました。長く胃集検の業務に携わってきた関係で、検診学会に所属はしていましたが、それまで学会活動と言えるほどの事はしておりませんでした。松山での開催を遡ること2年くらい前に、松山赤十字病院の淵上院長から、君は集検学会に入っているのかと尋ねられ、一応会員ですとお答えしたところ、2012年の地方会会長に推薦するからねと言われてしまい、びっくりしました。愛媛県の検診学会の活動は、少し低調となっていたようで、人選に苦勞されて指名がかかったのだと思います。それから、学会の事や運営の事など、支部長であった広島大学の吉原先生や日山先生に相談して進めることになりました。放射線科の中では、消化器を専門としていたのですが、検診学会の方は知っている先生も少なく困ってしまいました。心配したのですが、多くの先生方から暖かいご協力やご支援をいただくことができました。無事に学会を終えたときには、肩の荷がおりてほっとしたのと同時に、感謝の気持ちでいっぱいでした。その後、認定医資格も取得し、会員としての責務を果たそうと努力しております。時の経つのは早いもので、いつの間にか還暦を過ぎてしまいました。もうしばらくは、頑張ろうと思う今日この頃です。



第43回日本消化器がん検診学会中国四国地方会

第43回中国四国胃集検の会

日程表

第1日目 12月14日(金)

17:00	幹事会(松山全日空ホテル6F 雲海)
19:00	情報交換会(松山全日空ホテル6F 雲海)

第2日目 12月15日(土)第43回日本消化器がん検診学会中国四国地方会(敬称略)

愛媛県医師会館(5Fホール)	
8:30	受付
9:30	開会の挨拶 学会長 津田 孝治
9:40	シンポジウム 「胃癌リスクとがん検診」 司会 川崎医科大学総合臨床医学 准教授 井上 和彦 司会 香川県立がん検診センター 部長 安田 貢
11:10	特別講演 「これからの消化器がんの検診について」 講師 宮城県対がん協会がん検診センター 所長 渋谷 大助 司会 広島大学保健管理センター 教授 吉原 正治
12:10	ランチョンセミナー 「大腸スクリーニング内視鏡検査のコツとピットフォール」 講師 広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治 司会 松山赤十字病院 院長 瀬上 忠彦 評議員会(4F第2会議室)
13:10	総会
13:40	教育講演 「NAFLD診断の最新観 ～超音波検査をいかに使いこなすか～」 講師 愛媛大学医学部先端病態制御内科学 助教 廣岡 昌史 司会 岡山大学大学院保健学研究科 教授 池田 敏
14:40	一般演題 1 司会 徳島みらい健康づくり機構 参事 本田 浩仁
15:20	一般演題 2 司会 山陰労災病院第二消化器内科 部長 謝花 典子
15:50	休憩
16:00	症例検討会 司会 下関厚生病院 放射線部 技師長 村上 誠一 司会 愛媛大学医学部生体画像応用医学 准教授 津田 孝治
17:30	閉会

第3日目 12月16日(日)第43回中国四国地方胃集検の会
中国四国支部技師部会研修会

愛媛県医師会館(5Fホール)	
8:30	受付
9:30	一般演題 司会 愛媛県総合保健協会 濱田 寛弘 司会 徳島県総合検診センター 赤岩 寛志
10:50	特別講演 「基準撮影法と技師誌影」 講師 早期胃癌検診協会中央診療所 技師長 工藤 泰 司会 日立記念病院 谷野 節男
11:50	技師部会総会
13:30	市民公開講座 1. 「がん検診へ行こう」 講師 愛媛大学医学部生体画像応用医学 教授 望月 輝一 2. 「早く見つけて優しく治す」 - 最近の胃癌・大腸癌・食道癌の低侵襲治療法 - 講師 愛媛大学医学部消化管腫瘍外科 教授 渡部 祐司 司会 愛媛大学医学部生体画像応用医学 准教授 津田 孝治
15:00	閉会

シンポジウム 12月15日(土) 9:40~11:10

「胃癌リスクとがん検診」

司会 : 川崎医科大学総合臨床医学 准教授 井上 和彦
司会 : 香川県立がん検診センター 部長 安田 貢

- 基調講演「胃がんリスク診断の位置づけ」
川崎医科大学総合臨床医学 井上 和彦
- 胃がんリスク評価の課題と検診体制についての考察
広島大学大学院 消化器・代謝内科 伊藤 公訓
- 当センターにおけるABC分類の現状
徳島県総合検診センター 診療部 青木 利佳
- ABCD分類における胃癌リスク診断の有用性と問題点について
国立病院機構高知病院 消化器科 藤野 康輝
- 内視鏡による胃癌リスク評価(当院人間ドックにおける)
KKR高松病院 消化器内科 前田 剛
- 胃癌検診における鳥肌胃炎の意義
徳島大学病院 消化器内科 北村 晋志
- 人間ドックへの経鼻内視鏡検査導入後の胃癌発見率の変化に関する検討
島根県環境保健公社 総合健診センター 田中 志乃
- 対策型胃X線検診へのリスク分類導入の現状と今後の展望について
香川県立がん検診センター 安田 貢

一般演題 1 12月15日(土) 14:40~15:20

- ◇司会: 徳島県総合検診センター 参事 本田 浩仁
- 米子市における胃がん施設検診の現状と問題点～第13報～
山陰労災病院 消化器内科 謝花 典子
 - 当院におけるABC分類に関する検討
杏仁会松尾内科病院 内視鏡科 新川 俊也
 - ベトナムにおける胃癌検診導入に向けての予備的研究(国際共同研究)の概要
広島大学保健管理センター 日山 亨
 - 検診胃X検査にて発見され、CT enterographyにて確定診断された腸回転異常の症例
日本鋼管福山病院 放射線科 石川 祐三

一般演題 2 12月15日(土) 15:20~15:50

- ◇司会: 山陰労災病院消化器内科 部長 謝花 典子
- 大腸がん検診を契機に発見された薬剤起因性小腸潰瘍の一例
山口大学医学部放射線科 岸 充之
 - 山口県都市部における大腸がん検診の実態
山口県消化器がん検診研究会 河村 奨
 - 受診率低迷の要因と消化器がん検診協力機関認定の試み
山口県生活習慣病検診管理指導協議会胃がん大腸がん部会 河村 奨

症例検討会

12月15(土) 16:00~17:30

◇司会：下関厚生病院放射線部 技師長 村上 誠一
◇司会：愛媛大学医学部生体画像応用医学 准教授 津田 孝治

症例①「がん検診で発見された胃癌（基準撮影法1）」

愛媛県総合保健協会

○宮野 浩、濱田 覺弘、柴 浩司、遠藤 昌夫、大西 弘高、石水 教史、
宮本 修治、大野 智博、上田 章仁、保氣口 博

症例②「未定」

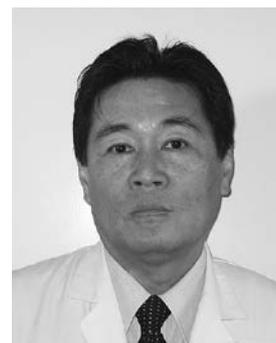
一般演題（技師部会研修会）

12月16日(日) 9:30~10:50

◇司会：愛媛県総合保健協会 濱田 覺弘
◇司会：徳島県総合検診センター 赤岩 寛志

1. 胃がん検診において高齢者に対する注意点
高知県総合保健協会 畑山隆
2. 腹臥位正面位（下部前壁頭低位）における体位保持の工夫について
～より安全に撮影するには～
愛媛県総合保健協会 宮野 浩
3. バリウム検査前の飲水について
香川県予防医学協会 松井真澄
4. 胃部X線検診における技師の読影補助について
鳥取県保健事業団 三宅二郎
5. センターにおける技師の読影力評価について ～第一報～
愛媛県厚生連健診センター 梶原 篤
6. センターにおける技師の読影力評価について ～第二報～
愛媛県厚生連健診センター 梶原 篤
7. 検診時に精密検査を必要とする病変を発見した時の対応について
松山市民病院 放射線室 小畑 あゆみ
8. 胃X線造影検査における透視観察の重要性
愛媛県総合保健協会 宮野 浩

第44回日本消化器がん検診学会中国四国地方会



島根県環境保健公社総合健診センター 足立 経一

第44回日本消化器がん検診学会中国四国地方会および胃集検の会は、平成25年12月14日（土）、15日（日）に松江市くにびきメッセで開催させていただきました。特別講演は、和歌山県立医大の一瀬雅夫教授、札幌厚生病院・臨床病理科の市原 真先生、教育講演（超音波研修会）は島根大学の佐藤秀一先生にお願いしました。シンポジウムでは「ヘリコバクターピロリ除菌時代の胃スクリーニング」で企画し、シンポジウム8題、一般演題24題と多くの演題をいただき、心配していた冬の山陰の天候も何とか大丈夫だったと記憶しています。前夜の拡大プログラム委員会では、ホテルにチェックインされたはずの主賓の1人がなかなか登場されず、連絡もとれず、大変なことがおこっているかもしれないとあわてましたが、全く心配ありませんでした。この学会では企画から運営まで、外部業者に依頼することなく小生と島根県環境保健公社の事務の女性と二人でほぼ行い、学会当日には公社、島根大学第二内科の職員、MRさんたちにも助けていただき、何とか無事に開催することができました。2日目の昼食には松江で有名なうなぎ店の弁当をスタッフの方に配り大変好評でした。

日程表

12月13日(金)	
18:00	県代表幹事会(ホテル一畑 サンシャインB)
第1日目 12月14日(土)	
第1会場(国際会議場) 第2会場(501会議室)	
08:00	受付
08:50	開会の挨拶 学会長 足立 経一
09:00	教育講演(超音波研修会) 「腹部超音波検査における私の工夫」 講師 島根大学医学部 第二内科 佐藤 秀一 司会 公益財団法人島根県環境保健公社 総合健診センター 足立 経一
10:00	一般演題(I) 座長 山陰労災病院 消化器内科 謝花 典子
10:56	一般演題(II) 座長 松江赤十字病院 消化器内科 内田 靖
10:56	一般演題(III) 座長 下関厚生病院 放射線科 村上 誠一
11:10	幹事会(501会議室) 11:10~11:50
12:05	ランチョンセミナー 「大腸CT検査~新しい大腸がん検診への 挑戦」 講師 川崎医科大学 消化管内科学 松本 啓志 司会 広島大学 保健管理センター 吉原 正治
13:05	特別講演(1) 「胃癌ハイリスクとしてのH.pylori感染胃 炎~除菌時代の対応」 講師 和歌山県立医科大学 第二内科 一瀬 雅夫 司会 島根大学医学部 第二内科 木下 芳一

第1日目 12月14日(土)

第1会場(国際会議場)		第2会場(501会議室)
14:10	シンポジウム 「ヘリコバクターピロリ除菌時代の胃スク リーニング」 司会 鳥取大学医学部 機能病態内科学 八島 一夫 KKR 高松病院 健康医学センター 安田 貢	
15:55	特別講演(2) 「胃癌X線像と病理組織像の対比」 講師 札幌厚生病院 臨床病理科 市原 真 司会 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 消化器内科学 高山 哲治	
17:00	閉会	

第2日目 12月15日(日)

501会議室	
08:00	受付
09:00	一般演題(IV) 座長 広島大学 保健管理センター 日山 亨
09:40	症例検討会 座長 島根県立中央病院 内視鏡科 藤代 浩史 日立記念病院 放射線科 谷野 節男
12:00	閉会の挨拶

シンポジウム

12月14日(土) 14:10~15:50

「ヘリコバクターピロリ除菌時代の胃スクリーニング」

◇司会: 鳥取大学医学部 機能病態内科学 八島 一夫
◇司会: KKR 高松病院 健康医学センター 安田 貢

- H. pylori 除菌時代の胃がん診断・スクリーニング
広島大学病院 消化器・代謝内科 伊藤 公訓
- H. pylori 除菌時代の胃内視鏡スクリーニング~H. pylori 陰性胃がん、陽性胃がん、
除菌後胃がんの内視鏡像
川崎医科大学 消化管内科学 鎌田 智有
- ピロリ菌感染者全除菌時代の胃がん検診
とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 青木 利佳
- 上部内視鏡検査におけるインジゴカルミン散布の有用性
島根県環境保健公社 総合健診センター 田中 志乃
- 上部消化管疾患に対し、若年成人におけるScreening initial H. pylori testは有用
である
香川県済生会病院 消化器内科 尾立 磨琴
- 当院検診受診者におけるHelicobacter pylori 抗体陽性者の現状
出雲市立総合医療センター 内科 小林 祥也
- 当協会職員健診におけるABC分類の現況
中国衛生労働協会 高野 友爾
- H. pylori 感染胃炎の診断と治療を考慮した胃がんスクリーニング
KKR 高松病院 健康医学センター 安田 貢

一般演題 1

12月14日(土) 10:00~10:56

◇座長: 山陰労災病院 消化器内科 謝花 典子

- 検診にて発見され内視鏡的切除が可能であったBarrett食道癌の一例
徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 消化器内科学 中村 文香
- 上部消化管内視鏡検診にて診断した好酸球性食道炎の1症例
とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 青木 利佳
- 好酸球性食道炎の3例
島根県環境保健公社 総合健診センター 三代 知子
- 健診で発見されたヘリコバクター・ピロリ陰性胃 MALT リンパ腫の1例
島根県立中央病院 消化器科 上野 さや香
- 検診の上部消化管X線造影検査後にバリウムイレウスをきたし外科手術を要した1例
松江市立病院 消化器内科 上田 直樹
- 低用量アスピリン関連小腸潰瘍の2例
聖比留会セントヒル病院 消化器内科 檜垣 真吾
- 薬剤性小腸粘膜障害のCT enteroclysis/enterography 所見
山口大学医学部 放射線科 清水 建策

一般演題 2

12月14日(土) 10:56~11:44

- ◇座長：松江赤十字病院 消化器内科 内田 靖
8. 検診で見出した自己免疫性膵炎の一例
とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 伊賀 彰子
9. 腹部超音波検査で膵管拡張を指摘され、膵臓癌と診断した1例
高知病院 初期臨床研修医 二里 志乃
10. 人間ドックを契機に診断に至った膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) の一例
松江赤十字病院 消化器内科 板倉 由幸
11. 胃がん2次検診時内視鏡での胃静脈瘤が発見契機となった膵神経内分泌癌の1例
鳥取赤十字病院 内科 堀江 聡
12. 当施設での人間ドックにおける5年間の腹部超音波検査成績
島根県環境保健公社 総合健診センター 高橋 和子
13. アミノインデックスがリスクスクリーニング (AICS) の有用性
松江赤十字病院 健診部 末次 浩

一般演題 3

12月14日(土) 10:00~10:48

- ◇座長：下関厚生病院 放射線部 村上 誠一
14. 透視観察が有効であった胃カルチノイドの一例
中国労働衛生協会 竹内 誠
15. DR胃がん検診車の運用方法について
愛媛県総合保健協会 宮本 修治
16. 胃集団検診で見逃し癌とみなされる症例についての検討 (第1報)
愛媛県厚生連健診センター 佐藤 哲也
17. 胃集団検診で見逃し癌とみなされる症例についての検討 (第2報)
愛媛県厚生連健診センター 佐藤 哲也
18. 胃部 X線検診における技師の読影補助について (第2報)
鳥取県保健事業団 大久保 誠
19. 胃集団検診時の追加撮影の意義に関する検討
島根県環境保健公社 今岡 伸治

一般演題 4

12月15日(日) 9:00~9:40

- ◇座長：広島大学 保健管理センター 日山 亨
20. 出雲市の胃透視、血液検診による胃癌検診結果5年間の集計と当院での経鼻内視鏡
検診の現状
出雲市立総合医療センター 内科 結城 美佳
21. 境港市における胃癌施設検診の現状と問題点
境港医師協会 松野 充孝
22. 米子市における胃がん施設検診の現状と問題点~第14報~
山陰労災病院 消化器内科 謝花 典子
23. 前年陰性発見進行胃がんの検討
安来市医師会病院 佐々木 修一
24. がん検診における法的医療水準
広島大学 保健管理センター 日山 亨

症例検討会

12月15日(日) 10:00~12:00

- ◇座長：島根県立中央病院 内視鏡科 藤代 浩史
◇座長：日立記念病院 放射線科 谷野 節男
1. 人間ドックの胃X線検査にて発見された病変
日本鋼管福山病院 放射線科 石川 祐三
2. 組織型分類に苦慮した症例
淳風会 倉敷第一病院 藤原 光宏

第45回消化器がん検診学会中国四国支部地方会を開催して

徳島大学大学院医師薬学研究部消化器内科学 高山 哲 治

私は、2014年12月13、14日に「第45回中国四国支部地方会」及び「第45回中国四国胃集検の会」を徳島市で開催させて頂きました。当日、雪は降っておりませんでした。徳島県にしてはかなり寒かったことを記憶しております。特別講演1は角川康夫先生（国立がん研究センター中央病院）に「大腸カプセル内視鏡の現状と今後の展望」、特別講演2は中原慶太先生（佐賀県医師会成人病予防センター）に「胃X線読影法“虎の巻”」という題名でご講演を賜りました。ランチオンセミナーでは、吉田優先生（神戸大学）に「メタボロミクスによるがんバイオマーカー探索」と題してご講演を賜りました。いずれも、2014当時には大変ホットな内容であり、感銘を受けたのを覚えております。

シンポジウムは、「消化器がん検診のさらなる質の向上を目指して」というテーマで、多数の演題が発表され活発に討論されました。また、当科の谷口達哉先生が超音波の教育講演（超音波研修会）を行いました。他にも、一般シンポジウム及び演題27演題、症例検討会では2演題が発表され、盛況な会であったと思います。本地方会に合わせて、医師研修会、放射線技師研修会も行われました。検診に関わる医師と放射線技師と一緒に学び討論できた有意義な会になったと思います。

日程表

12月13日(土) 第45回日本がん検診学会中国四国地方会
(平成26年度 日本消化器がん検診学会中国四国支部医師研修会・超音波研修会)

8:00	受付開始	
第1会場(大ホール)		
8:50	開会の挨拶 会長 高山哲治	
9:00	教育講演(超音波研修会) 「腹部超音波検診と肝腫瘍診断」 講師 徳島大学大学院 消化器内科学 谷口 達哉 司会 とくしま未来健康づくり機構 本田 浩仁	
9:50		
10:00	一般演題1 座長 山陰労災病院 消化器内科 謝花 典子	
11:02		
11:04	一般演題2 座長 とくしま未来健康づくり機構 青木 利佳	第2会場(2階 小ホール) 11:10-12:00 幹事会
11:57		
12:20	第2会場(2階 小ホール)	
ランチョンセミナー 「メタボロミクスによるがんバイオマーカー探索」 講師 神戸大学大学院 病態解析学 吉田 優 司会 国立病院機構 高知病院 消化器科 井上 修志		第3会場(1階 控室) 12:00-13:00 中国四国支部 放射線研修 委員会幹事会
13:10		
13:20	第1会場(大ホール)	
13:20	特別講演1 「大腸カプセル内視鏡の現状と今後の展望」 講師 国立がん研究センター中央病院 内視鏡科 角川 康夫 司会 徳島大学大学院 消化器内科学 高山 哲治	
14:10		
14:15	シンポジウム 「消化器がん検診のさらなる質の向上を目指して」 司会 KKR高松病院 人間ドックセンター 安田 貢 広島大学病院 消化器・代謝内科 伊藤 公訓 特別発言 広島大学 保健管理センター 吉原 正治	
15:50		
15:55	一般演題3 座長 山口大学 放射線科 清水 建策	
16:48		

12月14日(日) 第45回中国四国胃集検の会
(平成26年度 日本消化器がん検診学会中国四国支部放射線研修会)

8:00	受付開始	
第1会場(大ホール)		
9:00	特別講演2 「胃X線読影法“虎の巻”」 講師 佐賀県医師会成人病予防センター 中原 慶太 司会 とくしま未来健康づくり機構 赤岩 寛志	
10:00		
10:15	症例検討会 司会 とくしま未来健康づくり機構 青木 利佳 鳥取県保健事業団 大久保 誠	
11:55	特別発言 佐賀県医師会成人病予防センター 中原 慶太	
12:00	閉会の挨拶	

シンポジウム

12月13日(土) 14:15~15:50

「消化器がん検診のさらなる質の向上を目指して」

司会 KKR高松病院 人間ドックセンター 安田 貢
広島大学病院 消化器・代謝内科 伊藤 公訓
特別発言 広島大学 保健管理センター 吉原 正治

- 胃X線所見からみたABC分類のあり方-A群中のハイリスク群の検討—
KKR高松病院 人間ドックセンター 安田 貢
- 当院病院受診者におけるABC検診の実態とその有用性
国立病院機構 高知病院 平尾 章博
- 集検発見胃がんにおけるX線の胃粘膜萎縮度の検討
～診療放射線技師の立場から～
とくしま未来健康づくり機構 赤岩 寛志
- 胃X線検診におけるH.pylori感染胃炎を考慮した胃がんリスク拾い上げの検討
川崎医科大学 消化管内科学 鎌田 智有
- 胃粘膜萎縮判定における内視鏡医間の interobserver agreement および intraobserver agreement に関する検討
広島大学 保健管理センター 白山 亨
- 大腸内視鏡検査における大腸ポリプ見逃し率の前向き臨床的検討
セントヒル病院 消化器内科 楢垣 真吾
- 大腸におけるSerrated polyposis syndromeの発症リスク
徳島大学病院 消化器内科 松本 早代
- メタボリック症候群の逆流性食道炎発症における内臓脂肪および生活習慣病の影響
徳島大学大学院 地域総合医療学 曾我部 正弘

一般演題1

12月13日(土) 10:00~11:02

座長 山陰労災病院 消化器内科 謝花 典子

- 上部消化管内視鏡検診とヘリコバクター・ピロリ除菌について
高知赤十字病院 健診部 大黒 隆司
- 当施設人間ドック受診者におけるH.pylori (HP) 感染状況についての検討
鳥根県環境保健公社 総合健診センター 足立 經一
- 米子市における胃がん施設検診の現状と問題点 ~第15報~
山陰労災病院 消化器内科 謝花 典子
- JA高知病院 健診センターの人間ドックにて発見された、低分化・未分化型胃がん症例の検討
JA高知健診センター 黒岩 厚夫
- 人間ドックにおける好酸球性食道炎についての検討
鳥根県環境保健公社 総合健診センター 三代 知子
- 経鼻内視鏡検診における内視鏡送水装置の有用性
徳島大学病院 消化器内科 北村 晋志
- 人間ドックの偶発症の2例
四国こどもとおとなの医療センター 消化器内科 林 亨

一般演題2

12月13日(土) 11:04~11:57

座長 とくしま未来健康づくり機構 青木 利佳

- 集検発見胃がんにおける描出能の検討
～診療放射線技師の立場から～
とくしま未来健康づくり機構 栗飯原 誠
- バリウム検査前の飲水と背景粘膜について
香川県予防医学協会 松井 真澄
- 平成24年度対策型胃がんX線検診成績
広島県原簿害対策協議会 健康管理・増進センター放射線科 品川 祐樹
- 胃がん検診デジタル化移行期におけるモニター読影の方法
香川県総合健診協会 板倉 謙次
- 胃がん検診のデジタル化と新たな試み
愛媛県総合保健協会 石水 敦史
- 胃がん検診デジタル化に伴う検診成績の比較検討
—平成23年度と24年度の最終確定調査結果より—
鳥取県保健事業団 三宅 二郎

一般演題 3

12月13日(土) 15:55~16:48

座長 山口大学 放射線科

清水 建策

1. CT-Colonography における腸管拡張の視覚的評価に関する基礎的検討
～Room Air と CO2 自動注入器の比較～
広島原爆障害対策協議会 榎本 佳史
2. 壁外伸展が腸間膜付着側か否かを考慮した、造影併用 CT colonography による
進行大腸癌ステージングの試み
愛媛大学医学部 放射線科 津田 孝治
3. 当センターにおける腹部超音波巡回検診の取り組み
とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 内科 伊賀 彰子
4. 腹部超音波検査にて発見された腺上皮内癌の一例
川崎医科大学附属病院卒後臨床研修センター 勝又 諒
5. 直腸良性リンパ濾胞性ポリープの1例
東京ミッドタウンクリニック 人間ドックセンター 北 嘉昭
6. 小児からの長期便秘患者に発生した腹痛を契機として判明した腸回転異常症
の二例
つるぎ町立半田病院 消化器内科 中國 雅彦

症例検討会

12月14日(日) 10:15~11:55

司会 とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター

青木 利佳

鳥取県保健事業団

大久保 誠

特別発言 佐賀県医師会成人病予防センター

中原 慶太

1. 淳風会健康管理センター 北河 岳史
2. とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 岡本 哲也

第46回日本消化器がん検診学会中国四国地方会を開催して

広島大学大学院消化器・代謝内科学教授 茶 山 一 彰

第46回地方会では、4つの試みを行いました。

① 初の海外講師による講演

本地方会では初となる海外講師として、ベトナムのホーチミン医科薬科大学病院内視鏡部部長の Quach Trong Duc 先生をお招きしました。検診の領域でも、日本はリーダーシップを発揮すべきであり、相互理解は、そのスタートして重要なものと考えています。

② 初の内視鏡技師のシンポジスト

胃がん検診は、今後、内視鏡検診が主流となり、内視鏡技師とのチームワークがますます求められます。そこで、本地方会では初となる内視鏡技師のシンポジストとして、JA 尾道総合病院内視鏡センター 楠見朗子看護師にご発表いただきました。

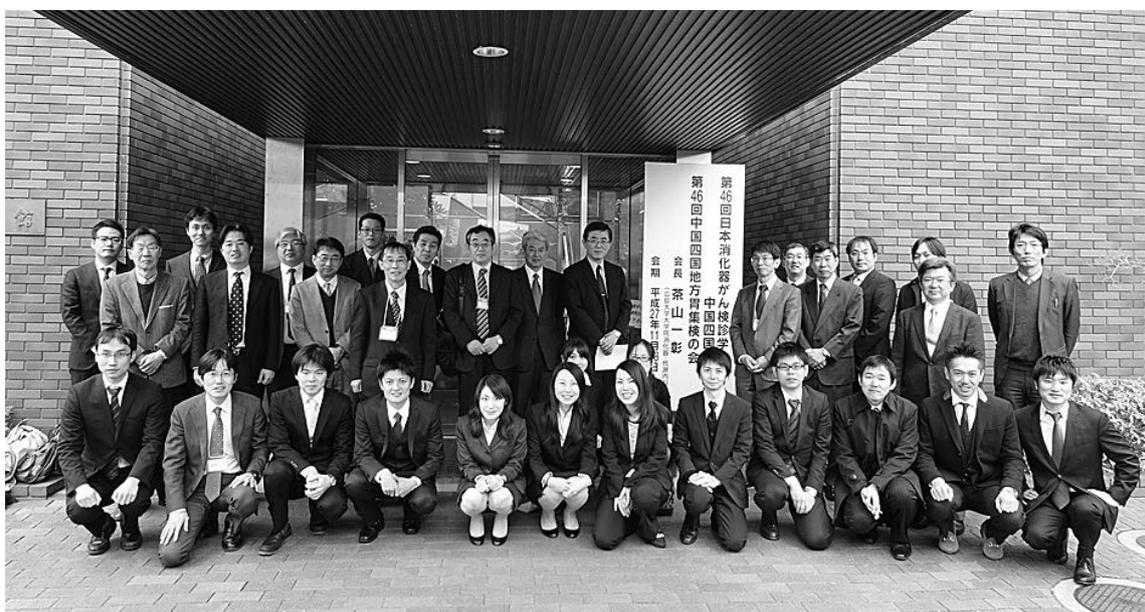
③ 初のコメンテーター制の採用

本地方会では初となるコメンテーター制を採用いたしました。これにより、議論がより深まったように思います。

④ 女性および若手の積極的な座長への指名

検診の分野でもさらなる女性・若手の活躍が求められています。女性・若手を積極的に座長に指名させていただきました。また、9名のシンポジストのうち5名が女性でした。

250名を超える参加があり、討論も活発になされ、実り多い地方会になったのではないかと考えております。ご参加いただいた皆様、また、運営に携わっていただいた皆様に、この場をお借りして、御礼申し上げます。



● 日程表 ●

第1日目 11月28日(土) 第46回日本消化器がん検診学会中国四国地方会 (平成27年度中国四国支部医師研修会/放射線技師研修会/超音波研修会) 第46回中国四国地方胃集検の会

Table with 2 columns: 第1会場(2階, 大会議室) and 第2会場(1階, 中会議室). Rows include 8:30 受付開始, 9:00 開会のあいさつ, 9:05 教育講演, 10:00 一般演題1 (X線撮影), 10:40 一般演題2 (大腸), 11:04 一般演題3 (上部消化管1), 11:39 ランチョンセミナー, 12:50 特別講演1 (超音波研修会), 13:50 シンポジウム, 15:45 特別発言, 16:46 事務局からの連絡.

第2日目 11月29日(日) 第46回日本消化器がん検診学会中国四国地方会 (平成27年度中国四国支部放射線技師研修会)

Table with 2 columns: 第1会場(2階, 大会議室) and 第2会場(1階, 中会議室). Rows include 9:00 特別講演2, 10:00 症例検討会, 11:50 事務局からの連絡, 11:55 閉会のあいさつ.

シンポジウム

11月28日(土) 13:55~15:45

「消化器がん検診の現状と今後の展望」

- 司会 島根県環境保健公社 総合健診センター 足立 経一 KKR高松病院 人間ドックセンター 安田 貢
● 特別発言 日本消化器がん検診学会中国四国支部長 広島大学 保健管理センター 吉原 正治

- 1. 胃がん検診の現状と今後の展望 -胃X線検査の立場から- 中国労働衛生協会 竹内 誠
2. 胃がん集団検診受診者におけるH. pylori(HP)感染診断・除菌歴の現況 島根県環境保健公社 総合健診センター 足立 経一
3. 徳島県における対策型胃がん検診の現状と今後 とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 青木 利佳
4. 安全・安楽な検診を目指した上部内視鏡検査における工夫 JA尾道総合病院 内視鏡センター 楠見 朗子
5. 三原市の胃がん内視鏡検診導入の経緯 三菱三原病院 内科 寺面 和史
6. 胃がん内視鏡検診の現状と今後の課題 -米子市胃がん検診の検討から- 山陰労災病院 消化器内科 諸花 典子
7. 胃がん検診における胃がんリスク評価活用の課題と展望 広島大学大学院 消化器・代謝内科学 木曾まより
8. 当院における便潜血陽性者に対する大腸CT検査の有効性:大腸がん検診導入への課題 川崎医科大学 消化管内科学 松本 啓志
9. 非B非C肝細胞癌の臨床的特徴と高危険群の絞り込みの可能性について 広島大学病院 消化器・代謝内科 長沖 祐子

一般演題1

(X線撮影)

11月28日(土) 10:00~10:40

- 座長 広島県地域保健医療推進機構 松岡 洋矢
● コメンテーター 愛媛県総合保健協会 石水 敦司

- 1. 対策型胃がんX線検診の前壁胃がん 広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター 品川 祐樹
2. 対策型検診で発見された逐年進行癌についての検討(第3報) 愛媛県厚生連健診センター 梶原 篤
3. 対策型検診で発見された逐年進行癌についての検討(第4報) 愛媛県厚生連健診センター 梶原 篤
4. デジタル胃がん検診に伴う追加撮影の有効性 鳥取県保健事業団 三宅 二郎
5. 胃がん検診における読影カテゴリー分類2点の推移について(診療放射線技師の視点より) 香川県総合健診協会 荒尾 隆広

一般演題2

(大腸)

11月28日(土) 10:40~11:04

- 座長 松江市立病院 消化器内科 堀江 聡
● コメンテーター KKR高松病院 内科 前田 剛

- 6. 当院における全大腸内視鏡検査挿入困難例の検討 杏仁会 松島内科病院 新川 俊也
7. 大腸がん検診(職域)精検受診率向上への小さな試み 島根県環境保健公社 佐々木宏之
8. 大腸がんの新規発生率および罹患リスクに関するコホート研究 広島大学大学院 疫学・疾病制御学 藤井 紀子

一般演題3 (上部消化管1) 11月28日(土) 11:07~11:39

- 座長 とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 青木 利佳
- コメンテーター 川崎医科大学 総合臨床医学 井上 和彦

9. 当施設における15年間(平成11年~25年)の胃がん検診について
高知赤十字病院 健診部 大黒 隆司
10. 内視鏡的胃粘膜萎縮所見と血中抗*H. pylori* IgG抗体診断との対比
鳥根県環境保健公社 総合健診センター 三代 知子
11. 胃がんリスク診断でA群だったが萎縮性胃炎を認めた11例の検討
香川県立中央病院 検診センター 蓮井 利実
12. 内視鏡検診におけるバイオマーカーとしての胃黄色腫の意義
徳島大学病院 消化器内科 北村 晋志

一般演題4 (上部消化管2) 11月28日(土) 15:50~16:14

- 座長 瀬戸内海病院 内科 伊賀 彰子
- コメンテーター とくしま未来健康づくり機構 本田 浩仁

13. 当院の内視鏡検査で診断された咽喉頭腫瘍の臨床病理学的特徴
杏仁会 松尾内科病院 日山 亨
14. ドックで発症前後から治療経過を観察できた好酸球性食道炎の1例
中国電力株式会社 中電病院 内科 金 宣眞
15. 検診で発見され内視鏡的粘膜下層剥離術で切除した食道顆粒細胞腫の2例
松江市立病院 消化器内科 山下 太郎

一般演題5 (上部消化管3) 11月28日(土) 16:14~16:46

- 座長 広島鉄道病院 消化器内科 吉田 成人
- コメンテーター 高知赤十字病院 健診部 大黒 隆司

16. 人間ドックの上部消化管内視鏡検査で発見された*Helicobacter pylori* 菌陰性未分化型胃癌の2例
鳥根県環境保健公社 総合健診センター 田中 志乃
17. 血清抗*H. pylori* 抗体陽性を契機に発見された未分化型早期胃癌の1例
広島大学病院 内視鏡診療科 吉福 良公
18. 検診を契機に発見された胃MALTリンパ腫合併早期胃癌の1例
広島大学病院 内視鏡診療科 実綿 倫宏
19. 当院の内視鏡検査で発見された早期胃癌の内視鏡的特徴
河村内科消化器クリニック 河村 徹

症例検討会 11月29日(日) 10:10~11:50

- 司会 川崎医科大学 消化管内科学 鎌田 智有
鳥取県保健事業財団 大久保 誠
- 読影コメンテーター 松山赤十字病院 胃腸センター 藏原 晃一
聖比留会 セントヒル病院 消化器科 檜垣 真吾
- 病理解説 県立広島大学 人間文化学部 健康科学科 嶋本 文雄

1. 他施設にて異常を指摘され、当院にて精密検査を行った症例
日本鋼管福山病院 放射線科 石川 祐三
2. 逐年の住民検診によって発見された1例
広島大学病院 診療支援部 画像診断部門 田村 隆行

第47回日本消化器がん検診学会中国四国地方会を開催して

川崎医科大学健康管理学教授 鎌田 智 有

平成27年12月10日、11日におきまして「第47回日本消化器がん検診学会中国四国地方会」並びに「第47回中国四国胃集検の会」（テーマ：未来に羽ばたく消化器がん検診を目指して）を川崎医科大学にて開催させて頂きました。開催に際しましては、前支部長であります吉原正治先生、他関係の先生方のお陰と改めて心から御礼を申し上げます。

本地方会で取り上げたかった企画が2つありました。1つには、「大腸CT検査」による新たな大腸がん検診の普及であります。中国四国地方会では初めてとなる「大腸CTハンズオンセミナー」を開催し、座学～CTワークステーションを使ったデモンストレーションを行いました。千葉県や大阪府を含めた30名のご応募があり、新しい大腸検査への熱い思いと期待を感じました。

もう1つには特別企画「アジアにおける内視鏡診療～中国・マレーシアからの現状」として、中国 Dongmei Qian 先生とマレーシア Mahadevan Deva Tata 先生を招聘し、消化器がんと内視鏡についてご講演を頂きました。両国ともに検診が普及できず、効率よく早期がんをいかに診断するかについて模索している状況で、内視鏡による国際交流を実感できた企画でした。

その他一般演題14題、シンポジウム6題、超音波研修会、胃症例検討会、会長講演およびスポンサードセミナーなどを企画し、中国四国地方会では過去最多315名のご参加を頂きました。掲載写真は準備に携わって頂いたスタッフ一同です。大変に思い出に残る学会となり、どうもありがとうございました。



日程表 12月10日(土)

講演会場 (2F 大講堂)	
8:30~ 受付開始	
8:50	開会の挨拶 会長 鎌田 智有
9:00	教育講演 (超音波研修会) 【より効果的な超音波検診とは】 講師：島 二郎 (川崎医科大学 検査診断学) 司会：秋藤 洋一 (鳥取県立厚生病院 内科)
9:50	一般演題1 座長：足立 経一 (鳥根県環境保健公社総合検診センター)
10:19	一般演題2 座長：吉田 成人 (医療法人JR広島病院 消化器内科)
10:51	一般演題3 座長：楢垣 真吾 (医療法人聖比留会セントヒル病院 消化器内科)
11:15	会長講演 【ピロリ菌と歩んできた道、そしてこれからの道】 講師：鎌田 智有 (川崎医科大学 健康管理学/川崎医科大学総合医療センター 総合検診センター) 司会：吉原 正治 (日本消化器がん検診学会中国四国支部長/広島大学 保健管理センター)
11:45	ランチョンセミナー 【未来に羽ばたく大腸CT検査のために ~検査の必要性和標準化の観点から~】 講師：永田 浩一 (国立がん研究センター 社会と健康研究センター 検診開発研究部) 司会：田中 信治 (国立大学法人広島大学病院 内視鏡診療科/IBDセンター)
12:50	特別企画 【アジアにおける内視鏡診療 ~中国・マレーシアからの現状~】 講師：Dongmei Qian (首都医科大学附属北京同仁医院 消化内科) Mahadevan Deva Tata (Department of Surgery Tuanku Ja'after Hospital Seremban) 司会：楠 裕明 (川崎医科大学 総合臨床医学) 眞部 紀明 (川崎医科大学 検査診断学)
14:00	シンポジウム 【ヘリコバクター・ピロリ感染を考慮したこれからの胃がん検診】 司会：伊藤 公調 (広島大学大学院 消化器・代謝内科学) 青木 利佳 (徳島県総合検診センター) 特別発言：井上 和彦 (淳風会旭ヶ丘病院 内視鏡センター)
15:40	一般演題4 座長：井上 修志 (国立病院機構高知病院 消化器科)
16:17	学会事務局よりお知らせ
16:25	イブニングセミナー 【ピロリ菌感染を考えた胃がん検診を目指して】 講師：八島 一夫 (鳥取大学医学部 機能病態内科学分野) 司会：井上 和彦 (淳風会旭ヶ丘病院 内視鏡センター)
17:25	

- 8 -

日程表 12月11日(日)

講演会場 (2F 大講堂)	
8:00~ 受付開始	
8:30	モーニングセミナー 【胃がん検診の課題 - X線・内視鏡・リスクの光と闇 -】 講師：入口 陽介 (東京都がん検診センター 消化器内科) 司会：春開 賢 (川崎医科大学/川崎医療福祉大学)
9:20	5F 多目的フロア
9:30	9:30~11:30 大腸CT ハンズオンセミナー 第1部：座学 第2部： CTワークステーションを 使ったデモンストレーション 第3部：症例解析 共催：株式会社AZE / 富士フイルムメディカル㈱
11:30	学会事務局よりお知らせ
11:35	閉会の挨拶

- 9 -

シンポジウム

12月10日(土) 14:10~15:40

【ヘリコバクター・ピロリ感染を考慮したこれからの胃がん検診】

司会：広島大学大学院 消化器・代謝内科学 伊藤 公調
徳島県総合検診センター 青木 利佳
特別発言：淳風会旭ヶ丘病院 内視鏡センター 井上 和彦

- S-1 胃X線検査によるHP感染の判定について
愛媛県厚生連健診センター 佐藤 哲也
- S-2 逐年胃がん検診X線画像からみたヘリコバクターピロリ (HP) 除菌判定の妥当性に関する検討
公益財団法人鳥根県環境保健公社 今岡 伸治
- S-3 X線による胃がん検診における過形成性胃炎拾い上げの有用性の検討
(公財) 岡山県健康づくり財団 中島 明久
- S-4 広島県における胃内視鏡検診の現状について
広島大学 消化器・代謝内科 益田 和彦
- S-5 松江市での上部消化管内視鏡検査による胃がん検診の現状
泉胃腸科医院 泉 明夫
- S-6 胃がんリスクに応じた胃がん検診システムの再構築に向けて - 徳島県の現状
公益財団法人とくしま未来健康づくり機構徳島県総合検診センター 青木 利佳

- 16 -

一般演題1

12月10日(土) 9:55~10:19

【胃1】

座長：鳥根県環境保健公社総合検診センター 足立 経一

- 1-1 米子市における胃がん施設検診の現状と課題点 ~ 第16報 ~
山陰労災病院 消化器内科/鳥取県西部医師会 謝花 典子
- 1-2 逐年検診で発見された40代女性の早期胃癌症例
淳風会会館第一病院 森本 真一
- 1-3 胃リンパ系腫瘍の胃がん検診X線画像での描出に関する検討
公益財団法人鳥根県環境保健公社 樋野 秀樹

一般演題2

12月10日(土) 10:19~10:51

【食道・胃】

座長：医療法人JR広島病院 消化器内科 吉田 成人

- 2-1 胃がんX線検診を契機に発見された腹部食道GISTの1例
川崎医科大学 消化管内科学 大澤 元保
- 2-2 胃X線検査撮影台の逆傾斜軽減 - より安全な前壁撮影をめざして -
公益財団法人広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター 放射線科 品川 祐樹
- 2-3 対策型胃がん検診を契機に発見されたH. pylori陰性の4型胃がん
(公財) 岡山県健康づくり財団 中島 明久
- 2-4 隔年の検診で2型進行癌と診断された症例
一般財団法人淳風会健康管理センター 北河 岳史

- 17 -

一般演題3

12月10日(土) 10:51~11:15

「大腸」

座長：医療法人聖比留会セントヒル病院 消化器内科 楢垣 真吾

- 3-1 Serrated polyposis syndromeの臨床病理学的特徴についての検討
徳島大学病院 消化器内科 中村 文香
- 3-2 CT-Colonographyの腸管拡張、右下側臥位の有用性
公益財団法人広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター 放射線科 品川 祐樹
- 3-3 大腸CT検査とS状結腸内視鏡検査との併用により診断された超高齢者大腸腫瘍の1例
川崎医科大学 総合臨床医学 神崎 智子

一般演題4

12月10日(土) 15:45~16:17

「胃2」

座長：国立病院機構高知病院 消化器科 井上 修志

- 4-1 平成26年度の山口県胃がん検診状況について
山口県消化器がん検診研究会 清水 建策
- 4-2 胃がん検診における胃がん見落としに関する一考察 - 受診者側への対応の観点から -
広島大学保健管理センター 日山 亨
- 4-3 ヘリコバクターピロリ (HP) 感染と血清脂質との関連性の検討
島根県環境保健公社総合健診センター 足立 経一
- 4-4 胃内視鏡検診における検査時間の検討
淳風会健康管理センター/川崎医科大学総合医療センター 総合内科2 春間 賢

- 18 -

胃症例検討会

12月11日(日) 9:30~11:30

司会：広島大学 保健管理センター 日山 亨
岡山県健康づくり財団 山神 涼一
読影コメントーター：医療法人草加草仁会草加病院 草加 勝康
KKR 高松病院 人間ドックセンター 安田 貢
病理解説：川崎医科大学 病理学1 秋山 隆

1. 対策型検診にて異常を指摘された症例
日本鋼管福山病院 放射線科 石川 祐三
2. 発見3年前の上内視鏡検査、2年前と1年前の胃透視にて異常を指摘できなかった一例
倉敷中央病院 消化器内科 山本 峻平

- 19 -

大腸CTハンズオンセミナー

12月11日(日) 9:30~11:30

共催：株式会社AZE/富士フィルムメディカル株式会社

第1部：座学

- 1 大腸CTのエビデンス、ガイドライン、これからの方向性
国立がん研究センター社会と健康研究センター 検診開発研究部 永田 浩一
- 2 前処置の講義
長崎県上五島病院 放射線科 安田 貴明
- 3 ガス注入の講義
医療法人まつおかクリニック 放射線科 清水 徳人
- 4 読影方法の講義
川崎医科大学 消化管内科学 松本 啓志

第2部：CTワークステーションを使ったデモンストレーション

WS担当者による画像構築～読影までの工程を説明
株式会社AZE/富士フィルムメディカル株式会社

第3部：症例解析

各ワークステーション別に分かれて各自解析
(株式会社AZE:4台、富士フィルムメディカル株式会社2台の各テーブルに分かれ、実際の症例を用いて操作)
北海道消化器科病院 放射線科 高林 健

※事前申込制となります。
※終了後、受講票を配布いたします。

- 20 -

第48回日本消化器がん検診学会中国四国地方会

KKR 高松病院内科 前 田 剛

第48回地方会（2年前、高松で開催）では、多数の参加をいただき誠にありがとうございました。私は、平成1年4月にKKR高松病院へ着任しました。以降、住民健診の胃X線読影に携わっていましたが、消化器内科医・一般内科医としての診療を主に行って来ました。そのような私が、3年前に第48回地方会会長を拝命しました。臨床の現場では、症状が出現して病院を受診される消化器がんの患者さんと日々、接しています。消化器がん検診をより多くの人々に受診していただき、なるべく早期にがんが診断されることを願い、特別講演、教育講演、シンポジウムを企画しました。演者の先生方、会員の皆様のお蔭で盛会となり、心より御礼申し上げます。消化器がん検診の現場では、多職種（医師、看護師、放射線技師、臨床検査技師、事務職）が一つの目標に向かって職務を行っています。“チーム医療”という言葉が広まっていますが、消化器がん検診は発足当初より、“チーム医療”そのものであったと思います。私は、本学会に参加するたびに、同志の集まりであることを強く感じます。本学会のさらなる発展を祈っています。追記：地方会前日には、雲の上の存在である先生方と懇談し素晴らしい時間を過ごすことができました。



日程表

1日目 12月9日(土)

第1会場 (タワー棟6F かがわ国際会議場)		第2会場 (ホール棟6F 62会議室)	
8:30	受付開始		
8:50	開会の挨拶		
8:55	会長講演 「消化器がん検診への思い-KKR高松病院での28年間を振り返って」 演者 前田 剛 (KKR高松病院 内科) 司会 原田 英雄 (岡山大学名誉教授)		
9:20	一般演題1 座長 鎌田 智有 (川崎医科大学 総合医療センター 健康管理学)		
9:41	一般演題2 座長 蔵原 晃一 (松山赤十字病院 胃腸センター)		
10:02	一般演題3 座長 小林 三善 (KKR高松病院 消化器内科)	10:00	幹事会
10:30	一般演題4 座長 井上 和彦 (淳風会旭ヶ丘病院)	10:40	
11:08	教育講演 (超音波研修会) 「肝疾患における超音波内視鏡の役割」 講師 鎌田 英紀 (香川大学医学部 消化器・神経内科) 司会 前田 剛 (KKR高松病院 内科)		
12:00	ランチョンセミナー 「5年が経過した静岡市胃がん内視鏡検診. その現状と課題」 演者 川田 和昭 (静岡赤十字病院 検診部・経鼻内視鏡センター) 司会 謝花 典子 (山陰労災病院 消化器内科)		
13:10	特別講演 「CT colonography による大腸がん検診の現状と展望」 演者 崎崎 克彦 (済生会熊本病院 予防医療センター) 司会 高山 哲治 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部 消化器内科学)		
14:20	シンポジウム 「消化器がん検診のさらなる発展を求めて-今できること」 司会 足立 経一 (鳥根環境保健公社総合健診センター) 井上 修志 (国立病院機構高知病院 消化器科) 特別発言 吉原 正治 (広島大学 保健管理センター)		
15:50	一般演題5 座長 本田 浩仁 (とくしま未来健康づくり機構)		
16:15	ミニシンポジウム 「中四国における対策型内視鏡検診の取り組みと課題」 司会 大黒 隆司 (高知赤十字病院 健康管理センター) 磯本 一 (鳥取大学医学部 機能病態内科学) 特別発言 春間 賢 (川崎医科大学/川崎医療福祉大学)	16:15	放射線研修委員会幹事会
17:20	支部事務局よりお知らせ	17:00	
17:25			

2日目 12月10日(日)

第1会場 (タワー棟6F かがわ国際会議場)	
8:30	モーニングセミナー 「これからの胃X線検診に必要な背景胃粘膜診断とその応用」 演者 中島 滋美 (JCHO滋賀病院) 司会 安田 貢 (KKR高松病院 人間ドックセンター)
9:20	胃症例検討会 司会 青木 利佳 (徳島県総合健診センター) 大久保 誠 (鳥取県保健事業団 健診事業部) 読影コメンテーター 山ノ井 昭 (香川県立中央病院検診部) 日山 亨 (広島大学 保健管理センター) 病理解説 石川 亮 (香川大学医学部付属病院 病理診断科)
11:10	支部事務局よりお知らせ
11:15	
11:15	閉会の挨拶
11:20	

その他関連会議 12月8日(金)

第2会場 (ホール棟6F 62会議室)	
17:00	あり方委員会
18:00	
18:00	県代表幹事会
19:00	

シンポジウム

12月9日(土) 14:20~15:50

「消化器がん検診のさらなる発展を求めて-今できること」

- 司会 鳥根環境保健公社総合健診センター 足立 経一
国立病院機構高知病院 消化器科 井上 修志
- 特別発言 広島大学 保健管理センター 吉原 正治

1. 米子市における胃がん検診の現状と課題~今できること~
山陰労災病院 消化器内科 謝花 典子
2. ピロリ菌感染を考慮した胃がん検診の取り組み:鳥取県・伯耆町における試み
鳥取大学 機能病態内科学 八島 一夫
3. 胃がん検診における罹患リスクを用いた実施体制の検討
広島大学病院 消化器・代謝内科 益田 和彦
4. 岡山県対策型胃がんX線検診における胃がんリスク群拾い上げの有用性
川崎医科大学総合医療センター 健康管理学 鎌田 智有
5. 地域がん登録からみた胃がん・大腸がん検診の意義
鳥根環境保健公社総合健診センター 足立 経一
6. 盲腸到達後の鎮痙剤投与による大腸腫瘍検出率の改善効果についての検討
聖比留会セントヒル病院 消化器内科 楢垣 真吾
7. 腹部超音波検査における膵臓の描出関連因子の検証と描出向上への取り組み
KKR高松病院 検査科 長田 剛

ミニシンポジウム

12月9日(土) 16:15~17:20

「中四国における対策型内視鏡検診の取り組みと課題」

- 司会 高知赤十字病院 健康管理センター 大黒 隆司
鳥取大学医学部 機能病態内科学 磯本 一
- 特別発言 川崎医科大学/川崎医療福祉大学 春間 賢

1. 広島県における内視鏡検診の現状と課題
広島大学保健管理センター 吉原 正治
2. 鳥取市における内視鏡検診読影体制の変遷
鳥取県健康対策協議会 岡田 克夫
3. 倉敷市でスタートした対策型胃がん内視鏡検診:胃炎京都分類によるH.pylori感染者拾い上げと医療機関への誘導の試み
倉敷中央病院 古林 麻美
4. 胃内視鏡検診におけるHp感染状態とリスク層別化の必要性
KKR高松病院 人間ドックセンター 安田 貢
5. 徳島県における対策型内視鏡検診の取り組み
公益財団法人とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 青木 利佳

一般演題 1

12月9日(土) 9:20~9:41

●座長 川崎医科大学 総合医療センター 健康管理学 鎌田 智有

1. 当協会における胃がん検診の撮影実績及び年齢分布について……………
公益財団法人 愛媛県総合保健協会 宮本 修治
2. 胃がん検診の完全デジタル運用に向けて……………
公益財団法人 香川県総合健診協会 廣瀬 純一
3. 当施設での技師読影の現状について……………
公益財団法人 香川県予防医学協会 松井 真澄

一般演題 2

12月9日(土) 9:41~10:02

●座長 松山赤十字病院 胃腸センター 蔵原 晃一

4. 透視観察が有用であった早期胃がんの2例……………
公益財団法人広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター放射線科 品川 祐樹
5. 検診X線検査で発見された胃アミロイドーシスの一例……………
公益財団法人 中国労働衛生協会 竹内 誠
6. 前年度受診歴がある進行がん症例の検討……………
公益財団法人 鳥取県保健事業団 三宅 二郎

- 17 -

一般演題 3

12月9日(土) 10:02~10:30

●座長 KKR高松病院 消化器内科 小林 三善

7. 当院における過去10年間の胃がん発見率……………
医療法人杏仁会 松尾内科病院 新川 俊也
8. 内視鏡検診における咽頭観察の工夫……………
徳島大学病院 消化器内科 北村 晋志
9. 経鼻内視鏡にて発見された鳥肌胃炎除菌後未分化型早期胃癌の一例……………
川崎医科大学 消化器内科学 村尾 高久
10. 便潜血反応で発見され、症状も少なく経過が比較的緩徐であり腫瘍との鑑別が困難であった憩室炎の1症例……………
独立行政法人国立病院機構高知病院 消化器内科 栗原 健士

一般演題 4

12月9日(土) 10:40~11:08

●座長 淳風会旭ヶ丘病院 井上 和彦

11. 当センター胃X線検診におけるヘリコバクター・ピロリ除菌状況……………
高知赤十字病院 健診部 大黒 隆司
12. Helicobacter pylori除菌後に発見されたスキルス胃癌の2例……………
鳥根県環境保健公社総合健診センター 三代 知子
13. 若年者のHelicobacter pylori感染率……………
公益財団法人とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 青木 利佳
14. 当院人間ドックにおけるABC検診の現状……………
松山赤十字病院 胃腸センター 浦岡 尚平

- 18 -

一般演題 5

12月9日(土) 15:50~16:11

●座長 とくしま未来健康づくり機構 本田 浩仁

15. 胃内視鏡検査時のショックによる死亡が関係した訴訟事例の検討……………
広島大学保健管理センター 日山 亨
16. 当施設における腹部超音波検診6年間分の成績と癌症例の報告……………
出雲市立総合医療センター 松原 夕子
17. 非侵襲的肝線維化評価法の比較検討 ―脂肪肝における肝癌の囲い込みをめざして―……………
香川県立中央病院 肝臓内科 筒井 朱美

胃症例検討会

12月10日(日) 9:30~11:10

●司会 とくしま未来健康づくり機構 青木 利佳
鳥取県保健事業団 健診事業部 大久保 誠

●読影コメントーター 香川県立中央病院 検診部 山ノ井 昭
広島大学 保健管理センター 日山 亨

●病理解説 香川大学医学部付属病院 病理診断科 石川 亮

1. 当院初回受診で発見された症例……………
一般財団法人淳風会 健康管理センター 北河 岳史
2. 当院人間ドック受診のEGDで胃に異常を指摘された症例……………
鳥取生協病院 小西 哲生

- 19 -

第49回日本消化器がん検診学会中国四国地方会

山陰労災病院消化器内科 謝 花 典 子

50周年記念の前年度に当たる2018年12月に、鳥取市にて、第49回日本消化器がん検診学会中国四国地方会を開催させていただきました。テーマは、検診に携わる医師、放射線技師、メディカルスタッフの方々にとって、精度が特に大切であることを理解し、現在から将来に向けて、幅広く役立つ意義ある会になるよう「消化器がん検診の未来を見据えて—高精度で最適な検診の追求を—」と致しました。学会の準備から終了したあとまで、本当に、ご指導いただいた先生方、会員の皆様、ご支援ご協力していただいた方々に深く感謝しております。たくさんの方に支えられていたこと、今は、私にとって忘れられない思い出ではありますが、今後も、検診に関わりつつ、地道に学んでいきたいと思っています。最後に、これからの消化器がん検診学会のますますの発展をお祈り申し上げます。

日程表

1日目 12月8日(土) 鳥取県健康会館 (敬称略)

第1会場 (1F研修センター)		第2会場 (4F会議室)	
8:30	受付		
8:50	開会の挨拶		
9:00	教育講演 「スクリーニングUSとPoint of care US」(超音波研修会) 講師 孝田 雅彦 (鳥取県日野病院組合日野病院) 司会 池田 敏 (倉敷成人病検診センター)		
9:50	一般演題1 座長 蔵原 晃一 (松山赤十字病院 胃腸センター)		
10:11	一般演題2 座長 濱本 哲郎 (同愛会 米子博愛病院)	10:10	幹事会
10:39		10:50	
10:44	一般演題3 座長 秋藤 洋一 (国民健康保険 智頭病院)		
11:05			
11:26	一般演題4 座長 楢垣 真吾 (聖比留会セントヒル病院 消化器内科)		
11:30	会長講演 「鳥取県、米子市の胃がん検診の現状とこれからの課題一歩を顧みるとともに」 演者 薮花 典子 (山陰労災病院 消化器内科) 司会 吉原 正治 (日本消化器がん検診学会中国四国支部長/広島大学 保健管理センター)		
11:50	ランチセミナー 「大腸腫瘍内視鏡診療の最前線」 演者 田中 信治 (広島大学大学院 医歯薬保健学研究所 内視鏡医学) 司会 三浦 邦彦 (鳥取県保健事業団 西部健康管理センター)		
13:00			
13:10	特別講演1 「内視鏡検診とその後」 演者 芳野 純治 (大名古屋ビルセントラルクリニック/藤田保健衛生大学名誉教授) 司会 磯本 一 (鳥取大学医学部機能病態内科学)		
14:00			
14:05	特別企画 Q&Aコーナー: 対策型胃内視鏡検診について 「対策型検診の基本理念」 講師 濱島ちさと (帝京大学 医療技術学部 看護学科) 司会 岡田 克夫 (鳥取県健康対策協議会) 安田 賢 (KKR高松病院 人間ドックセンター)		
14:50	特別発言 春開 賢 (川崎医科大学総合医療センター 総合内科学2)		
14:55	一般演題5 座長 鎌田 智有 (川崎医科大学総合医療センター 健康管理学)	14:55	一般演題6 座長 青木 利佳 (とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター)
15:30		15:30	
15:30	シンポジウム 「消化器がん検診体制における諸問題と今後の展望」 司会 本田 浩仁 (とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター) 八島 一夫 (鳥取大学医学部機能病態内科学)		
17:05	特別発言 井上 和彦 (淳風会健康管理センター)	16:15	放射線研修委員会幹事会
17:05	支部事務局よりお知らせ	17:00	
17:10			

2日目 12月9日(日) 鳥取県健康会館 (敬称略)

第1会場 (1F研修センター)	
8:30	受付
9:00	特別講演2 「胃がんX線検診における読影判定区分の勘所」 演者 伊藤 高広 (奈良県立医科大学 放射線医学教室) 司会 薮花 典子 (山陰労災病院 消化器内科)
9:50	10:00 胃症例検討会 司会 足立 経一 (鳥取県環境保健公社 総合健診センター) 大久保 誠 (鳥取県保健事業団 巡回健診課) 読影コメンテーター 日山 亨 (広島大学 保健管理センター) 大黒 隆司 (高知赤十字病院 健康管理センター)
11:40	病理解説 庄盛 浩平 (山陰労災病院 病理診断科)
11:40	支部事務局よりお知らせ
11:45	
11:45	開会の挨拶
11:50	

その他関連会議 12月7日(金) 「ホテルニューオータニ鳥取」
鳥取市今町2丁目153 (JR鳥取駅より徒歩3分)
TEL (0857) 23-1111

3F「龍の間」	
17:00	あり方委員会
18:00	
18:00	県代表幹事会
19:00	

シンポジウム 12月8日(土) 15:30~17:05

「消化器がん検診体制における諸問題と今後の展望」

- 司会 公益財団法人とくしま未来健康づくり機構
徳島県総合健診センター 本田 浩仁
鳥取大学医学部 機能病態内科学 八島 一夫
- 特別発言 淳風会健康管理センター 井上 和彦

- 胃X線検診における慢性胃炎読影の現状
鳥取県環境保健公社 総合健診センター 足立 経一
- 受診歴別にみた対策型胃X線検診の検診精度
公益財団法人 とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 青木 利佳
- 平成28年度山口県胃がん住民検診について
山口県消化器がん検診研究会 清水 建策
- 胃がん検診における課題と展望 一広島県の現状からの考察一
広島大学病院 消化器・代謝内科 伊藤 公訓
- ピロリ菌感染を考慮した胃がん検診の現状と展望: 鳥取県・伯耆町における取り組み
鳥取大学医学部 機能病態内科学分野 八島 一夫
- H. pylori 現感染症例に対する除菌治療の実施状況
一人間ドックで診断された症例について一
KKR高松病院 人間ドックセンター 安田 賢
- B型肝炎ウイルス関連初発肝細胞癌の臨床的背景因子の検討
鳥取大学医学部附属病院 消化器内科 的野 智光
- 糖尿病患者のFib-4 index 2.67以上を規準とする非B非C型肝炎細胞癌のサーベイ
ランスは有用である可能性がある
山陰労災病院 消化器内科 岸本 幸廣

一般演題 1 12月8日(土) 9:50~10:11

- 座長 松山赤十字病院 胃腸センター 蔵原 晃一

- 食道エックス線像を検討できた好酸球性食道炎の3症例
淳風会健康管理センター 松永 晃輝
- 胃がん検診を契機に食道アカラシアに対しPOEMを行った1症例
鳥取大学医学部 機能病態内科学 池淵 雄一郎
- 新規上部消化管内視鏡検査用マウスピースの有用性
安来市立病院 消化器内科 上田 直樹

一般演題 2 12月8日(土) 10:11~10:39

- 座長 同愛会米子博愛病院 内科 濱本 哲郎

- 十二指腸腫瘍性病変についての検討
公益財団法人 鳥取県環境保健公社 総合健診センター 三代 知子
- 大腸内視鏡検査歴のある患者への便潜血検診は有効か?
鳥取県立中央病院 消化器科 楠 龍策
- 便潜血陽性を契機におこなったCT colonography(CTC)で発見された
表面陥凹型早期大腸癌の1例
鳥取県立厚生病院 消化器内科 野口 直哉
- 便潜血陽性を契機に診断した腸管静脈硬化症の1例
鳥取県済生会境港総合病院 消化器内科 佐々木祐一郎

一般演題 3

12月8日(土) 10:44~11:05

●座長 国民健康保険 智頭病院 秋藤 洋一

8. ピロリ除菌から10年後に発見された進行胃がんの一例
公益財団法人 中国労働衛生協会米子検診所 大楨 隆行
9. 胃癌を合併した胃底腺ポリポースの一例
徳島大学病院 消化器内科 津保 友香
10. 胃内視鏡検診を契機に診断されたA型胃炎の臨床的検討
川崎医科大学総合医療センター 健康管理学 角 直樹

一般演題 4

12月8日(土) 11:05~11:26

●座長 聖比留会セントヒル病院 消化器内科 楢垣 真吾

11. バリウム検診後の大腸穿孔から晩期合併症として重篤な栄養障害を来した1例
坂出市立病院 消化器内科 綾木 麻紀
12. 大腸がん検診（便潜血検査法）にて発見された大腸癌の臨床病理学的特徴
鳥取大学医学部 機能病態内科学 長谷川亮介
13. 大腸sessile serrated polyp/adenoma 由来と考えられた大腸smがんの一例
聖比留会セントヒル病院 消化器内科 楢垣 真吾

-16-

一般演題 5

12月8日(土) 14:55~15:30

●座長 川崎医科大学総合医療センター 健康管理学 鎌田 智有

14. 当施設における胃がん内視鏡検診の現状
公益財団法人 中国労働衛生協会米子検診所 高野 友爾
15. 胃粘膜に性差はあるか？—胃エックス線像からの検討
川崎医科大学総合医療センター総合内科学2 春間 賢
16. 境港市における胃癌施設検診の現状と問題点
境港医師協会 松野 充孝
17. 当院における40歳未満のStageIV症例を含めた胃癌の検討
山陰労災病院 消化器内科 向山 智之
18. 消化器がん検診におけるガイドラインの取り扱いについて
広島大学保健管理センター 日山 亨

MEMO

-17-

一般演題 6

12月8日(土) 14:55~15:30

●座長 公益財団法人とくしま未来健康づくり機構
徳島県総合健診センター 青木 利佳

19. 健診ドックにおける腹部超音波検（健）診の臨床的意義
—当院における腹部超音波検（健）診の検討—
川崎医科大学 検査診断学（内視鏡・超音波） 中藤 流以
20. 腹部超音波検診における腹部超音波検診判定マニュアル導入の効果
出雲市立総合医療センター 松原 夕子
21. 逐年受診の食道がん症例から学ぶ
公益財団法人 鳥取県保健事業団 三宅 二郎
22. FPD及び胃部X線検査支援システム搭載検診車について
公益財団法人 広島県地域保健医療推進機構 中垣 健治
23. 検診胃X線検査で指摘され、当日中に摘出されたアニサキス症例
一般財団法人 広島県環境保健協会 富士田亮介

胃症例検討会

12月9日(日) 10:00~11:40

●司会 島根県環境保健公社 総合健診センター 足立 経一
鳥取県保健事業団 巡回健診課 大久保 誠
●読影コメンテーター 広島大学 保健管理センター 日山 亨
高知赤十字病院 健康管理センター 大黒 隆司
●病理解説 山陰労災病院 病理診断科 庄盛 浩平

1. Dieulafoy様潰瘍出血を契機に発見された胃癌の一例
鳥取生協病院 放射線室 小西 哲生
2. 任意型検診で発見された胃がん症例
公益財団法人とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター 赤岩 寛志

-18-

第50回地方会開催記

高知赤十字病院 健康管理センター 大黒隆司

今回の地方会は、記念すべき第50回大会でした。そこで、本学会のテーマを「温故知新－中国四国支部50年の歩みと、これからの消化器がん検診」としました。

初日の特別講演は渋谷大助理事長・吉原正治前支部長・井上和彦現支部長の各先生方に、消化器がん検診の基本や課題、今後目指すべき方向についてなどの内容をお話いただきました。教育講演では高知大学医学部消化器内科の耕崎拓大先生に「検診や一般診療で遭遇する膵疾患」、ランチョンセミナーでは日本医科大学消化器内科の貝瀬満先生に「早期癌を見落とさない上部消化管内視鏡のコツ」についてご講演いただきました。シンポジウムは、「中国四国支部50年の歩み」と「新しい時代の消化器がん検診」の2つで、それぞれ10題（各県1題＋記念誌について）、7題（食道1題、胃2題、大腸2題、腹腔内臓器1題、膵臓1題）の発表がありました。一般演題は16題でした。二日目は早期胃癌検診協会の中島寛隆先生に「胃 X 線検査の現状と展望について」講演していただきました。最後に症例検討会を行い閉会となりました。

今回は資金不足のため全会員へのパンフレット送付は行わず、学会支部ホームページにPDFで掲載するとともに当日参加者に無料配布を行いました。学会自体も例年よりは質素に運営し、至らぬ点が多々あったかと思えます。

最後に、本学会の開催にあたりご尽力いただいた支部長・監事・あり方委員会委員・県代表幹事をはじめとする役員の方々、講演や発表いただいた先生方、そして学会に参加していただいた皆様に御礼申し上げます。



日程表

1日目 12月7日(土) 高知城ホール (敬称略)		サブ会場 (2Fくすのき1,2)	
メイン会場 (4F多目的ホール)		サブ会場 (2Fくすのき1,2)	
8:00	受付		
8:50	開会あいさつ		
9:00	教育講演 「健診や一般診療で遭遇する痔疾患」 講師: 松崎拓大 高知大学医学部消化器内科 司会: 大黒隆司 高知赤十字病院健診センター		
9:50	一般演題1 座長: 本田浩仁 公益財団法人とくま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター	10:10~11:00	幹事会
10:11	一般演題2 座長: 国吉直俊 医療法人三和会国吉病院 消化器内科		
10:32	一般演題3 座長: 木村哲夫 医療法人グリーンハウス クリニックグリーンハウス		
11:00	特別講演1 「がん検診の基本と消化器がん検診のトピックス」 講師: 渋谷大助 宮城県がん協会がん検診センター 司会: 井上和彦 一般財団法人洋風会 洋風会健康管理センター		
11:50	12:00 ランチョンセミナー 共催: オリンパス株式会社 「早期癌を見逃さない上部消化管内視鏡のコツ」 講師: 貝瀬 清 日本医科大学消化器内科学 司会: 西岡 量 高知県総合保健協会中央健診センター		
12:50	13:00 特別講演2 「消化器がん検診の課題とこれからのについて」 講師: 吉原正治 広島大学保健管理センター 司会: 井上修志 独立行政法人国立病院機構高知病院		
13:30	13:30 特別講演3 「医療の進歩、また、疾患スペクトルの変化に対応できる消化器がん検診をめざして」 講師: 井上和彦 一般財団法人洋風会 洋風会健康管理センター 司会: 井上修志 独立行政法人国立病院機構高知病院		
14:00	14:00 シンポジウム1 「中国四国支部 50年の歩み」 司会: 高山哲治 徳島大学大学院医療薬学研究所 消化器内科学分野		
15:20	15:25 一般演題4 座長: 日山 亨 広島大学保健管理センター	15:25~15:46	一般演題5 座長: 藤田智有 高知医科大学総合健康センター健康管理部
15:53	15:55 シンポジウム2 「新しい時代の消化器がん検診」 司会: 謝花典子 独立行政法人労働者健康与安全機構 山崎労務病院 司会: 重原足一 松山赤十字病院 消化器内科	16:15~17:00	放射線研修委員会 幹事会
17:15	17:15 支部事務局より連絡		
17:20			

2日目 12月8日(日) 高知城ホール (敬称略)	
メイン会場 (4F多目的ホール)	
8:30	受付
9:00	特別講演4 「胃X線検査の現状と展望」 講師: 中島寛隆 公益財団法人早期胃癌検診協会 司会: 増田真吾 医療法人聖比叡会セントラル病院 消化器科
9:50	10:00 胃症別検討会 司会: 安田 真 安田内科 大久保 誠 鳥取県保健事業団 胃腸内科 コメンテーター: 藤村信徳 胃腸科 消化器内科 青木利佳 公益財団法人とくま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター
11:00	11:05 支部事務局より連絡
11:05	11:10 閉会あいさつ

プログラム

12月7日(土) 高知城ホール メイン会場 (4F多目的ホール)

- 8:50~9:00 開会あいさつ
- 9:00~9:50 教育講演
「健診や一般診療で遭遇する痔疾患」
講師: 松崎拓大 高知大学医学部消化器内科
司会: 大黒隆司 高知赤十字病院健診センター
- 9:50~10:11 一般演題1
座長: 本田浩仁 公益財団法人とくま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター
- 1-1 内視鏡検診にて発見された自己免疫性胃炎に合併した早期胃癌の1例
○松本いづか(まつもと いづか)、北村智志、三井康博、三好人正、藤野泰輝、中村文香、田中貴大、田中久美子、友成祐、岡本耕一、宮本弘志、佐藤康史、大車直樹、高山哲治 徳島大学消化器内科
- 1-2 多発性胃底腺ポリプが消失し、その後早期胃癌が発見された1例
○野津 巧(のつ たかみ)、三代 知子、足立 経一、堀江 聡、石原 俊治
1) 公益財団法人鳥取県環境保健公社 総合健診センター、2) 松江市立病院、3) 鳥取大学医学部第二内科
- 1-3 X線による胃がん検診を契機に診断された上消化管胃腸炎の二例
○三代 剛(みしろ つよし)、沖本英子、石村典久、足立経一、石原俊治
1) 鳥取大学医学部附属病院 消化器内科、2) 独立行政法人国立病院機構浜田医療センター 消化器内科、3) 公益財団法人鳥取県環境保健公社 総合健診センター

10:10~11:00 幹事会 ※サブ会場 (2Fくすのき1,2)

- 10:11~10:32 一般演題2
座長: 国吉直俊 医療法人三和会国吉病院 消化器内科
- 2-1 日野町における胃X線検診および胃内視鏡検診での内視鏡検査を含めた胃がん検診の実例
○佐々木修一(ささき しゅういち)、下坂拓矢、長尾裕一郎、イ ヨシイ、李田雅彦
李 瑛、紙本美菜子
1) 日野町内科、2) 総合診療科

- 2-2 当施設での胃がん検診における胃X線検査の役割
○角 直隆(すみな なおおき)、藤田智有、貴船紀明、河本博文、森間 賢、高尾俊弘
1) 川崎医科大学 健康管理学、2) 川崎医科大学 総合診療学(内視鏡・超音波)、3) 川崎医科大学 総合内科学2
- 2-3 高知県における内視鏡検診の現状
○權村信隆(むらた のぶたか)
高知県胃内視鏡検診推進委員会、高知県総合保健協会、民村病院
- 10:32~10:53 一般演題3
座長: 木村哲夫 医療法人グリーンハウス クリニックグリーンハウス
- 3-1 食道がん発見におけるターニングポイント
○肥山篤(はたやま あつ)、森田 祥、渡辺直幸、坂本弘典、大森秋史、西村志哲、杉本洋輔、原澄江、池田静恵、森田 佳二郎、岩田 純
1) 公益財団法人高知県総合保健協会、2) 高知県・高知市病院企業体立高知医療センター
- 3-2 腹腔鏡直盲鏡検診結果からの未把握胃癌の検討
○松原夕子(まつばら ゆうこ)、福原寛之、福庭暢彦、佐藤秀一
出雲市立総合健康センター 1) 健康管理センター、2) 総合診療科、3) 内科
- 3-3 他疾患精査CTを契機に発見された肝・胆管合流異常症の一例
○別所希美(べつしょ きみ)、早加裕康、佐々木智壮、大庭金輔、北川貴之、西枝禮士、青木啓輔、時崎三三、佐藤慶貴、中島健博、岡田敏正、佐良史明、上野高輝、吉田浩司、日野悠輔
川崎医科大学 1) 卒後臨床教育研修センター、2) 研修センター・パンシオン、3) 肝胆腸内科学、4) 消化器外科、5) 病理学

11:00~11:50 特別講演1

- 「がん検診の基本と消化器がん検診のトピックス」
講師: 渋谷大助 宮城県がん協会がん検診センター
司会: 井上和彦 一般財団法人洋風会 洋風会健康管理センター

- 12:00~12:50 ランチョンセミナー 共催: オリンパス株式会社
「早期癌を見逃さない上部消化管内視鏡のコツ」
講師: 貝瀬 清 日本医科大学消化器内科学
司会: 西岡 量 高知県総合保健協会中央健診センター

13:00~13:30 特別講演2

「消化器がん検診の課題とこれからについて」

講師:吉原正治 広島大学保健管理センター

司会:井上修志 独立行政法人国立病院機構高知病院

13:30~14:00 特別講演3

「医療の進歩、また、疾患スペクトルの変化に対応できる消化器がん検診をめざして」

講師:井上和彦 一般財団法人厚風会 厚風会健康管理センター

司会:井上修志 独立行政法人国立病院機構高知病院

14:00~15:20 シンポジウム1

「中国四国支部 50年の歩み」

司会:高山哲治 徳島大学大学院医歯薬学系研究部 消化器内科学分野

広島県の消化器がん検診

吉原正治 広島大学保健管理センター

徳島県における消化器がん検診の沿革

秋藤洋一 国民健康保険済生会病院

島根県における消化器がん検診の歩み

足立経一 公益財団法人島根県環境保健公社 総合健診センター

岡山県の消化器がん検診の歩み ~後口の住民検診の歴史から~

福岡啓祐 医療法人瀬島病院

山口県徳島がん検診の歩み

清水達孝 医療法人河野病院

徳島県 50年の歴史から未来へ

本田浩仁 公益財団法人島根県環境保健公社 総合健診センター

愛媛県支部における消化器がん検診の50年

津田孝治 愛媛大学大学院医学系研究科 放射線医学

高知県における消化器がん検診の歩み

井上修志 独立行政法人国立病院機構 高知病院

香川県支部の歩み

安田 賢 安田内科

50周年記念誌の編纂にあたって

日山 亨 広島大学保健管理センター

15:25~15:53 一般演題4

座長:日山 亨 広島大学保健管理センター

4-1 米子市における胃がん検診検診の現状と課題点 ~第17報 リスク層別化検査導入に関する検討~

○謝花典子(しのかのり)1, 向山智之2, 八島一夫2, 野坂美仁3, 津本利郎3, 岸本華貴1, 藤本 一2, 三浦雅彦4

1)山陰労災病院消化器内科, 2)鳥取大学医学部消化器内科学, 3)同要会博愛病院内科, 4)鳥取県健康事業部健康推進センター, 5)鳥取県西部医師会

4-2 ヘリコバクターピロリ未感染患者における胃癌についての検討

○三代 真子(みしろ ともこ)1, 野津 巧1, 足立 経一1, 旭江 聡2, 石原 俊治3

1)公益財団法人島根県環境保健公社 総合健診センター, 2)松江市立病院 消化器内科, 3)徳島大学医学部 第2内科

4-3 クリニックにおける内視鏡データ管理 ~スクリーニングJEDを用いた胃内視鏡検診~

○木村哲夫(きむら てつお), 木村雅子, 井上修志
医療法人グリーンハウス ケンニツクグリーンハウス

4-4 ポータブルメディアを利用したオフラインレポート運用について

○大泉光司(おおいずみ ひろし), 坂倉謙次, 小林大輔, 荒尾隆広, 大塚真由, 廣瀬純一, 防越 仁, 武田 薫, 山ノ井 昭

公益財団法人香川県総合健診協会 検診課 放射線技師等

15:25~15:46 一般演題5

座長:鎌田智有 川崎医科大学総合医療センター健康管理学

※サブ会場 (2Fくすのき 12)

5-1 大腸がん検診2年連続陽性者における精検結果の解析

○足立経一(あだち きよひこ)1, 野津 巧1, 三代知子1, 佐々木宏之2, 佐藤方剛2, 石原俊治3

1)島根県環境保健公社 総合健診センター, 2)島根県環境保健公社, 3)鳥取大学 第二内科

5-2 中国四国大腸CT研究会における大腸CT 実用試験実施の報告

○岩野晃男(いわの てるあき)

徳島県立病院 放射線科

5-3 検診の便通血を契機に発見されたリンチ症候群疑わしい多発大腸がんの1例

○池上幸治(いけがみ こうじ)1, 藤原 晃一1, 大城 由美2, 南 仁三2, 船津 隆4, 村田 征吾1, 和留 博徳1, 末永 文彦1, 廣森 高祐1, 平田 敬1, 浦岡 尚平1

1)松山赤十字病院 胃腸センター, 2)松山赤十字病院 病室診療科, 3)松山赤十字病院 外科, 4)松山赤十字病院 胃腸科

15:55~17:15 シンポジウム2

「新しい時代の消化器がん検診」

司会:謝花典子 独立行政法人労働者健康安全機構 山陰労災病院

聴取者: 松山赤十字病院 消化器内科

2-1 検診における食道造影検査の意義

○大角博久(おおくみ ひろし)1, 春間 賢, 松尾浩二, 井上和彦, 市場俊雄, 豊嶋英三, 内田純一, 久本信實2, 鎌田智有2

1)厚風会健康管理センター, 2)厚風会ロングライフホスピタル, 3)川崎医科大学健康管理学

2-2 当センターにおける20年間(平成11年~30年)の胃がん検診実績と今後の課題

○大黒隆司(おおくろ たかし), 西内順子, 山崎麗子

高知赤十字病院 健診部

2-3 ヘリコバクターピロリ陰性時代の胃がん検診-特に除菌者における留意点-

○榎 幸作(えの こうさく)1, 吉原正治2, 伊藤公則1, 日山亨2, 長崎直子1, Abuduwai Maidna1, 頼田尚尚2, 黒木一俊1, 小刀崇弘2, 保田智之2, 田中信治2, 茶山一彰2

1)広島大学病院 消化器-代謝内科, 2)広島大学 保健管理センター, 3)広島大学病院 内視鏡診療科

2-4 大腸CT検査を開始して11年の経験より

○岩野晃男(いわの てるあき)

徳島県立病院 放射線科

2-5 当センターにおける大腸CT検査の導入について

○佐藤哲也(さとう てつや)1, 岩野晃男2, 梶原 晃1, 寺坂利香1, 岡崎香津世1, 溝田洋子1, 城戸智子1, 木原瑞穂1, [M]山泉雅光1, 田中伸司1

1)愛媛県厚生連 健診センター, 2)徳島県立病院

2-6 体外式超音波検査を用いた消化器がん検診の臨床的有用性についての検討

~当院超音波検診における治療開始率からみた検討~

○中島達也(なかとう たい)1, 眞部紀明2, 鎌田智有2, 中村 純4, 末廣満彦4, 笹井貴子4, 川中実和4, 河本博文4, 森岡 賢4, 鳥 二郎2, 橋 裕明2, 藤田 薫2, 井上和彦2

1)川崎医科大学 消化器-代謝内科, 2)川崎医科大学 検査診断学(内視鏡-超音波), 3)川崎医科大学 健康管理学, 4)川崎医科大学 総合内科学2, 5)川崎医科大学 総合臨床医学, 6)厚風会 健康管理センター

2-7 当院人間ドックにおける精密早期発見の取り組み

○前田 剛(まえた つよし)1, 龍田 美和2, 小林 三善2, 安田 賢2

1)KCR 高松病院 内科, 2)KCR 高松病院 消化器内科, 3)KCR 高松病院 人間ドックセンター

16:15~17:00 放射線研修委員会幹事会

※サブ会場 (2Fくすのき 12)

17:15~17:20 支部事務局より連絡

12月8日(日)高知城ホール メイン会場(4F 多目的ホール)

9:00~9:50 特別講演4

「胃X線検査の現状と展望」

講師: 中島秀隆 公益財団法人早期胃癌検診協会

司会: 植垣真吾 医療法人望北留会セントル病院 消化器科

10:00~11:00 胃症例検討会

司会:安田 賢 安田内科

大久保 健 鳥取県泉健本会 巡回健診課

コメンテーター: 植村信隆 西村病院 消化器内科

青木利佳 公益財団法人としま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター

11:00~11:05 支部事務局よりお知らせ

11:05~11:10 閉会あいさつ

編集後記

日本消化器がん検診学会中国四国支部が発足して50周年の記念誌を発刊する運びとなりました。前支部長の吉原正治先生、現支部長の井上和彦先生、そして、あり方委員会の謝花典子先生、本田浩仁先生、安田貢先生のお力を借りながら編集作業を進めてまいりました。発刊に際し、快く原稿を執筆くださった支部長および地方会会長経験の先生方にこの場をお借りして深謝申し上げます。

この50周年記念誌には、支部長および地方会会長経験の先生方の原稿とともに、第1回から第50回までのプログラムを掲載しています。演題名や演者名に、懐かしさや思い出を感じられる先生もおられることかと思ひます。この記念誌は中国四国支部の学問的進歩を含め、まさに50年間の足取りをまとめたものと思ひます。

発足から50年という1つの節目を超え、新たな50年がすでにスタートしています。わが国のがんの死亡数と罹患数は、人口の高齢化のため、ともに増加し続けています。そのため、消化器がん検診はますます重要となつてきています。幸いにも中国四国支部は優秀な人材にあふれています。中国四国支部が、今まで以上に消化器がん検診の世界をリードしていくことを確信しています。

最後になりましたが、編集作業中に第25回地方会会長を担当された瀧上忠彦先生がご逝去されました。瀧上忠彦先生は、消化器内科領域のリーダー的存在であり、中国四国支部の活動にも多大な貢献をされました。編集に携わった者一同、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

令和2年6月

編集担当 広島大学保健管理センター 日 山 亨

日本消化器がん検診学会
中国四国支部

50周年記念誌

令和2年8月

発行

一般社団法人日本消化器がん検診学会
中国四国支部

印刷

株式会社ニシキプリント

